

産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業

# 関東山梨地域大学連携による 産業界等のニーズに対応した 教育改善

関東山梨地域大学グループ

最終報告書

平成 27 年 3 月

関東山梨地域大学グループ

幹事校 電気通信大学

副幹事校 武蔵野大学

宇都宮大学 横浜国立大学 亜細亜大学 北里大学 創価大学  
東京経済大学 日本社会事業大学 神奈川工科大学 昭和音楽大学  
山梨英和大学 和泉短期大学 昭和音楽大学短期大学部



**関東山梨地域大学グループ**

**最終報告書**

## 目次

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 1. 取組の概要.....                       | 1  |
| 1-1. 取組の目的.....                     | 1  |
| 1-2. 取組の目標.....                     | 2  |
| 1-3. 取組の概要.....                     | 3  |
| 1-4. 取組の実施体制.....                   | 5  |
| 1-5. 採択時の留意事項への対応状況.....            | 7  |
| 2. 本事業の取組状況.....                    | 8  |
| 2-1. グループ全体の取組状況.....               | 8  |
| 全体での取組実績.....                       | 9  |
| 合同FDの開催.....                        | 10 |
| グループ全体によるシンポジウム開催.....              | 11 |
| 平成25年度.....                         | 11 |
| 平成26年度.....                         | 11 |
| 各大学によるシンポジウム等開催.....                | 12 |
| グループ全体による広報活動.....                  | 13 |
| 2-2. テーマ別の取組状況.....                 | 15 |
| テーマ① 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化.....  | 15 |
| テーマ② 産業界のニーズにマッチした学修評価・指導方法の開発..... | 22 |
| テーマ③ 産官学地域共同によるインターンシップの高次化.....    | 28 |
| 2-3. 大学間連携の状況.....                  | 42 |
| 和泉短期大学・北里大学「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」..... | 42 |
| 2-4. 各大学の取組状況.....                  | 45 |
| 宇都宮大学.....                          | 45 |
| 電気通信大学.....                         | 47 |
| 横浜国立大学.....                         | 49 |
| 亜細亜大学.....                          | 51 |
| 北里大学.....                           | 53 |
| 創価大学.....                           | 55 |
| 東京経済大学.....                         | 57 |
| 日本社会事業大学.....                       | 59 |
| 武蔵野大学.....                          | 61 |
| 神奈川工科大学.....                        | 63 |
| 昭和音楽大学.....                         | 65 |
| 山梨英和大学.....                         | 67 |
| 和泉短期大学.....                         | 69 |
| 昭和音楽大学短期大学部.....                    | 71 |
| 3. 取組の今後.....                       | 73 |
| 当該事業の継続プラン.....                     | 73 |
| 4. 取組の実績・成果.....                    | 75 |
| 全体の取組に対する評価.....                    | 75 |
| 「大学間連携」に対する満足度(グループ各大学).....        | 75 |
| 「産官学連携」に対する満足度(各参加企業・自治体等).....     | 78 |
| 「本取組の成果」について(シンポジウム参加者).....        | 79 |
| 5. 外部評価委員会からの第三者評価.....             | 80 |
| 総評.....                             | 80 |
| 実施体制への評価.....                       | 80 |
| 事業内容(グループ全体、産学連携)への評価.....          | 80 |
| 事業内容(テーマ別)への評価.....                 | 80 |
| テーマ1.....                           | 80 |
| テーマ2.....                           | 81 |
| テーマ3.....                           | 81 |
| 事業継続への評価.....                       | 81 |



|                                                   |     |
|---------------------------------------------------|-----|
| 6. 評価委員からの評価結果.....                               | 82  |
| 参考資料.....                                         | 87  |
| 体系的キャリア教育の可視化モデル(テーマ①) .....                      | 88  |
| 産学連携教育モデル:各大学のカリキュラムの改善点(テーマ①) .....              | 103 |
| インターンシップ共通アンケート(テーマ③) .....                       | 111 |
| 教育改善研究会 開催情報 .....                                | 116 |
| 各大学の取組内容紹介ポスター(平成26年3月1日 中間報告シンポジウム ポスター展示) ..... | 117 |
| 各大学の成果紹介ポスター(平成27年2月28日 成果報告シンポジウム ポスター展示) .....  | 135 |
| 各大学のシンポジウム等の情報.....                               | 153 |

## 1. 取組の概要

### 1－1. 取組の目的

本事業は、産業界のニーズに対応した人材育成の取組を行う大学・短期大学(以下「大学等」という。 )が、地域ごとに共同して地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等(以下「産業界等」という。 )と産学協働のための連携会議を形成して以下のような取組を実施することにより、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材の育成に向けた取組の充実が図られるよう国として支援し、幅広い職業人養成に比重を置く大学の機能別分化に資することを目的としています。

- ① 地域における大学等がグループを形成し(以下「大学グループ」という。 )、大学グループと産業界等との間に産学協働のための連携会議を設置し、大学グループ全体の取組体制の整備や質の向上を図る。
- ② ①の大学グループ内では、大学間で連携して取り組むテーマ(以下「取組テーマ」という。 )を複数設定し、大学間と産業界等の協働の下で取組の推進にあたる。
- ③ ②の推進のため、産学協働のための連携会議では、地域における産業界等の人材ニーズの把握、大学グループの取組の発展・充実に向けた産業界等との協力体制の構築の検討や、取組テーマ毎の成果の共有、グループ内外の大学・地域等に対する広報・啓発等を広く実施する体制を構築する。

(産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業 公募要領より抜粋)

## 1-2. 取組の目標

本グループでは以下の目標を、申請時に提示した。

### 取組テーマと達成目標・成果

|       | 取組テーマ①                                                                                                                                          | 取組テーマ②                                                                                                                                                                 | 取組テーマ③                                                                                                                                                   |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取組テーマ | 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化                                                                                                                        | 産業界のニーズにマッチした学修評価・指導方法の開発                                                                                                                                              | 産官学地域共同によるインターンシップの高次化                                                                                                                                   |
| 達成目標  | <b>【共通目標】</b><br><b><u>産業界のニーズに対応した教育改善による学士課程教育全般の質的向上へ</u></b><br>・各大学の取組によって得た知識・知見と成果の共有<br>・成果の社会発信                                        |                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                          |
|       | 学士課程教育の質的向上に繋がる産業界と連携した教育の開発・実践                                                                                                                 | 学生の主体的な学修を支えるための学修評価・指導方法の多元的な研究開発                                                                                                                                     | 産業界との連携強化による新たなインターンシップ・モデルの開発                                                                                                                           |
| 成果    | <input type="checkbox"/> グループ/各大学<br>・体系的キャリア教育プログラムモデルの作成<br>・産学連携教育モデルの作成<br><br><input type="checkbox"/> その他<br>キャリア開発科目のグループ<br>大学相互単位互換の検討 | <input type="checkbox"/> グループ<br>①ポートフォリオモデルの確立、②アセスメントの改善、③FDにおけるアクティブ・ラーニングの推進<br><br><input type="checkbox"/> 各大学<br>・評価マネジメント方法の確立および質的向上<br>・教育方法の改善開発と教員の教育能力の涵養 | <input type="checkbox"/> グループ<br>・ジェネリックスキル獲得型モデルの確立<br>・課題解決型教育モデル(チームビルディング等の活用による)の開発<br><br><input type="checkbox"/> 各大学<br>プログラムの質的転換による主体性のある学生の増加 |

この目標をもとに、その達成の如何をPDCAサイクルを回しながら事業を進めてきた。

### 1-3. 取組の概要

関東山梨地域大学グループは、電気通信大学を幹事校とし、一都三県に亘る国立大学3校、私立大学9校、短期大学2校の大学・短期大学計14校で構成する。

大学グループと産業界は連携協力体制を確立し、実効性のある実施計画を策定・推進していく。取組の推進インフラとなる産業界との連携については、より強固な協力体制の構築を目指す。そこで、これを実現するために、積極的に協力して頂ける経済等13団体と14大学で、中核組織「関東山梨地域産学協働協議会」を結成した。本協議会では、主に次の4つの事項を4つのステップ(計画)で、大局的かつ総合的に大学と産業界との連携協力の在り方等について協議検討並びに評価検証する。

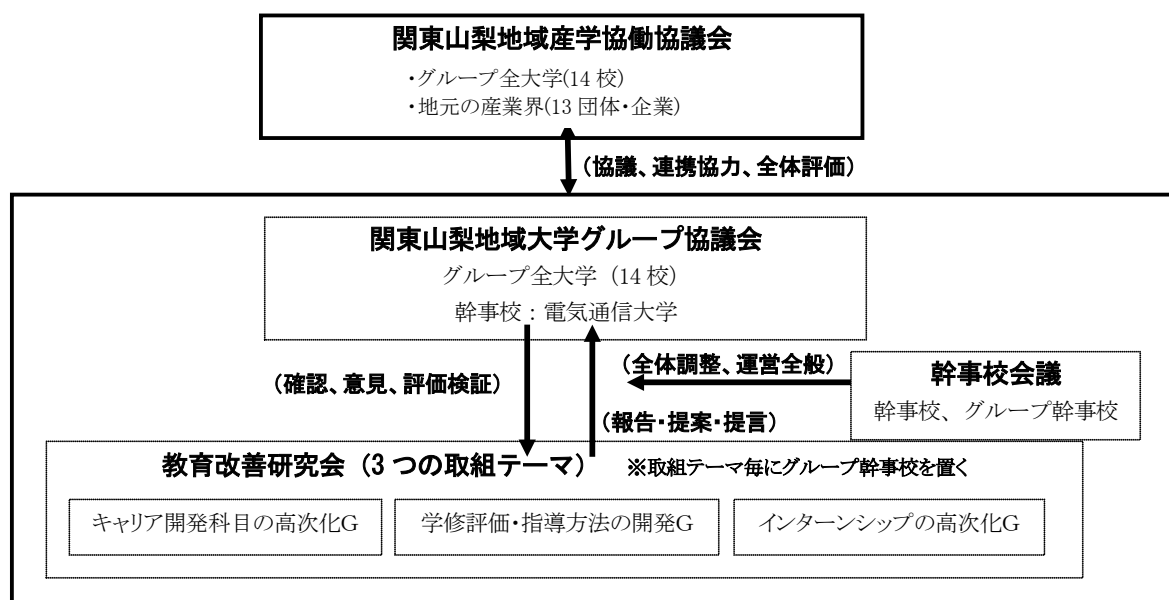
- ① 産業界の人材ニーズと大学の産業界へのニーズの把握
- ② 産業界と大学の接続に関する課題の共有
- ③ 産業界と大学間の連携協力体制の構築
- ④ 各大学及び大学グループ合同での取組と取組成果の評価検証

ステップ1: ニーズ把握

ステップ2: 課題共有

ステップ3: 協力体制構築

ステップ4: 評価検証



- ① 産業界の人材ニーズと大学の産業界へのニーズの把握  
平成24年度～25年度には、産業界委員に教育改善研究会にご参加いただき、そこでの意見をもとに、産業界のニーズの把握を行ったが十分な把握ができなかったため、平成26年度は産学協働協議会にて、産業界委員の各委員の考える産業界の人材ニーズについての講演をもとにディスカッションを行った。さらに外部評価委員会でも産業界のニーズについて知見のある外部評価委員の方から、産業界のニーズについての講演とディスカッションを行った。そこでの発見は、産業界のニーズというものではなく、産業界の企業個々のニーズというものは存在し、それは多様であるということであった。
- ② 産業界と大学の接続に関する課題の共有  
産業界と大学において、接続の一形態がインターンシップである。テーマ③で主に議論されていた。また、平成26年度12月に実施したインターンシップ報告会には、大学、産業界から多くの参加を得ることができ、産業界委員からも忌憚ない意見をいただいた。インターンシップは大学教育の中で、多くの学びを得ることができるメリットがあることが確認できた。
- ③ 産業界と大学間の連携協力体制の構築  
産学協働協議会の開催、教育改善研究会や合同FDへの産業界委員の参加により、大学教育について産業界の観点から意見をいただき、各大学の取組内容に反映できるようなインプットを得ることができた。産業界が大学のキャリア教育について知見を得る機会にもなり、産業界と大学間の連携協力体制の構築ができた。特に、合同FDでは実際に講義を見学していただくことにより、大学のキャリア教育の実践についての高い評価と、このような教育が浸透していくことにより、これまでに発生している産業界のニーズと大学のキャリア教育における課題解決に繋がる、とのコメントをいただいた。

④ 各大学及び大学グループ合同での取組と取組成果の評価検証

各大学及び大学グループ合同での取組と取組成果の評価検証については、年度内に2回開催した外部評価委員会にて行ってきた。最終の評価検証については、平成27年2月17日に開催された外部評価委員会にて行い、平成27年2月28日開催の成果報告シンポジウムにて報告を行った

## 1-4. 取組の実施体制

本連携取組における、産業界と本グループおよび大学間の連携協力の実施体制は「関東山梨地域産学協働協議会」、「関東山梨地域大学グループ協議会」と「幹事校会議」、そして「教育改善研究会」で構成する。「外部評価委員会」は、独立して、本事業の取組について第3者的な立場から評価を行い、本事業の改善につなげる助言を行う。

### 1) 外部評価委員会

本事業の取組内容について、評価を行う。外部評価委員については、産業界の有識者を委嘱し、年度の間と年度末に、本グループの事業について評価を行い、グループにフィードバックを行う。

### 2) 関東山梨地域産学協働協議会

産業界とグループ全大学で構成する本取組の中核組織。この会議の議長および会議進行は幹事校が行い、前述の「(1) 大学グループの構成と産業界等との連携」のとおり、4つの事項を4つのステップで取組の確認・協議検討を行う(PDCAサイクル)。なお、必要に応じ取組に対する評価を目的とした、外部評価者を招聘することができることとする。尚、関東山梨地域産学協働協議会を構成する団体、企業は以下の通りである。

|                           |
|---------------------------|
| (公社) 栃木県経済同友会             |
| (株) 日立製作所                 |
| 日産自動車(株)                  |
| 東京経営者協会                   |
| (公社) 相模原・町田大学地域コンソーシアム事務局 |
| (株) JTBコーポレートセールス         |
| 東京経済大学・多摩地域産学連携推進委員会      |
| (社福) 清瀬市社会福祉協議会           |
| (特非) 武蔵野スポーツクラブ           |
| 神奈川県内陸工業団地(協組)            |
| (公財) 川崎市文化財団              |
| 山梨県中小企業団体中央会              |
| (一社) 相模原市幼稚園協会            |

### 3) 関東山梨地域大学グループ協議会

大学グループ運営の中核組織。議長および会議進行は幹事校の電気通信大学が行い、年間2回開催する。ここでは、主に次のことを確認・協議検討する。

- ・グループ全体の方向性と基本計画の決定
- ・グループ共通の取組計画や合同事業の決定
- ・取組テーマの状況と成果の品質管理・評価
- ・教育改善研究会各グループの提案・提言の協議・評価
- ・その他の連絡事項等の確認・調整

### 4) 幹事校会議

幹事校副幹事校とテーマ別幹事校および副幹事校の6校合せて8校で構成し、グループ全体並びに取組全般の総合的な調整を行う。ここでは、主に次の調整を行う。

- ・関東山梨地域産学協働協議会と関東山梨地域大学グループ協議会の議題決定及び運営調整
- ・教育改善研究会各グループの活動掌握および各グループの提案・提言の事前調整
- ・グループ共通の取組計画・合同事業の企画運営
- ・グループ全体の情報発信(広報)に関する計画策定

尚、正副幹事校および各テーマ別分科会の正副幹事校は以下の通りである。

|      |              |
|------|--------------|
| 幹事校  | 電気通信大学       |
| 副幹事校 | 武蔵野大学        |
| テーマ① | 幹事校 横浜国立大学   |
|      | 副幹事校 亜細亜大学   |
| テーマ② | 幹事校 昭和音楽大学   |
|      | 副幹事校 神奈川工科大学 |
| テーマ③ | 幹事校 創価大学     |
|      | 副幹事校 東京経済大学  |

#### 5) 教育改善研究会

取組テーマ毎に研究会を設定し、取組テーマに対する教育改善を目的に深く調査研究する。そこで得た情報や知見については、関東山梨地域大学グループ協議会に報告するとともに、具体的な教育改善策を上程する。

## 1-5. 採択時の留意事項への対応状況

本事業受託の際に、以下の留意点を文部科学省から提示された。

以下の留意点に対する対応状況は、翌年度以降、補助金の交付申請時に提出を求める取組達成状況等において確認するので、遺漏なきよう対応願いたい。

- ① 本大学グループ全体の取組目標を「ジェネリック・スキルの修得」と明確にしたことは評価できる。「ジェネリック・スキル」に対する認識を参加大学間で共有化した上で、それを中核に据えた具体的な目標を定め、PDCAサイクルを構築されたい。
- ② 多様な特徴を有する大学によって構成されているという本大学グループの特色を活かし、教員の交流にとどまらず、PBL等の共同実施やキャリア教育の公開等を通じた学生の交流も検討されたい。
- ③ 産業界との連携について、大学グループの会議等に参加するだけでなく、取組に対する具体的な連携関係をより明確にするとともに、そのような具体的な連携関係を構築できる産業界からの参加を一層拡大するよう努めていただきたい。
- ④ 海外インターンシップについては、「ジェネリック・スキルを高めるための一手法」と位置付けた上で、国内インターンシップ等では達成できない等、他の手法では代替できない達成目標を明確にした上で実施されたい。
- ⑤ 取組の推進にあたっては、外部評価を十分に活用されたい。

留意事項に対して、以下のように対応を行った。

- ① 「ジェネリック・スキル」は、社会人として一般的に必要な能力で、汎用的能力として各大学が共通して取り組むものとして、産業界委員からの意見もあり「社会人基礎力」をベースに進めることとした。社会人基礎力は、各大学がキャリア教育で取り組むもので、各大学のキャリア教育の実態を調査して、各テーマ毎にPDCAサイクルを構築して取り組んだ。各大学のキャリア教育が産業界のニーズに応えているかについては、教育改善研究会や合同FD、シンポジウムにおける産業界委員他からのフィードバックをいただき、産学協働協議会での産業界ニーズをテーマとする産業界委員からの講演を実施した。テーマ①では、シラバス調査を年度毎に行い、各大学のキャリア教育の拡充状況を把握した。テーマ②ではアクティブラーニングの実施調査を行い、具体的なアクティブラーニングの実施状況と得られる能力の把握を行った。
- ② ・平成26年12月に実施した合同インターンシップ報告会で11大学の学生が発表した。産業界委員には、講評、評価者として参加していただいた。また、情報交換会（ノンアルコール）で、学生間そして学生と教職員および産業界委員と大変有意義な交流・コミュニケーションができた。  
・本グループの活動から和泉短期大学と北里大学共同による PBL が生まれ、2 年間に渡り継続して実践した。また、平成 27 年度以降も継続する計画であるという報告があった。また、平成27年1月に開催した教育改善研究会では教員の発表があり、和泉短期大学、北里大学、受け入れ側のさがまちコンソーシアムの担当者、担当教員からのコメントも発表した。  
・キャリア教育の公開については、合同FDを行い、産業界委員および各大学の教職員が講義を見学する取組を行った。講義の見学だけではなく、講義前に事前の説明があり、講義後にフィードバックの時間を設け、アンケートにも回答するなど交流を進める仕組みを実践した。  
・このような共同での PBL が実践されるような信頼関係が構築できたことで、テーマ B では参加大学の学生による合同の事前講義とインターンシップに発展した。
- ③ 産業界委員には、会議の参加だけではなく、各大学の講義を公開する合同FDにも参加、実際の講義を見学いただいた。また、産業界委員による産業界ニーズをテーマとした講演も産学協働協議会で賜る機会を設けた。また、大学間連携の実践例にもなっている和泉短期大学と北里大学の共同 PBL でも、産業界委員のさがまちコンソーシアムの協力をいただいて実施した。
- ④ 海外インターンシップは、『ダイバシティの精神、異文化への理解、適応能力、そして語学力といった、グローバル人材として要されるスキルが向上されると考えられる』としてきている（留意点对応状況調査票より引用）。実際に海外インターンシップを行っている宇都宮大学の報告・説明会見学や、グループ連携校の合同で実施したインターンシップ報告会での海外インターンシップ経験者からの報告から、当初考えられていたグローバル人材として要されるスキルが向上したと判断した。
- ⑤ 外部評価については、平成25年度から外部評価委員会を立ち上げ、本事業への第3者機関として外部評価を行っていただいた。特に、初年度から中間報告を行い、評価を次の年度の活動に反映する仕組みを構築した。本年2月に開催した報告会において、外部評価委員長から評価報告が行われた。



## 2. 本事業の取組状況

### 2-1. グループ全体の取組状況

| テーマ | 申請書上の<br>「達成目標」(Plan)                                                                                                                                                                  | Do<br>「達成目標」、「効果」に<br>対して実際に<br>実施した項目                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | Check<br>「達成目標」、「効果」<br>に対する達成度 | Action<br>達成の可否<br>次のアクション                                                                                                                                                                          |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全体  | ① 産業界の人材ニーズと大学の産業界へのニーズの把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の大学や学士課程教育に対するニーズ</li> <li>大学が企業に求める協力事項</li> <li>産業界におけるグローバル化や情報化で求められる人材ニーズ</li> <li>労働市場や就業状況の変化、など</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>産学協働協議会にて分科会を開催し、各テーマごとに大学関係者と産業界関係者とのコミュニケーションを行った。</li> <li>教育改善研究会を開催し、参加された産業界委員の意見から産業界のニーズを把握した。</li> <li>合同FDを開催し、産業界委員への参加を促した。参加された方からアンケートやヒアリングなどで、産業界の方の意見をいただいた。</li> <li>「産業界のニーズと大学教育について考える」をテーマに中間報告シンポジウムを開催した。</li> <li>産学協働協議会にて、各産業界委員から産業界のニーズについての発表を行い、大学側委員とのディスカッションを行った。</li> </ul> | ○                               | <p>＜達成事項＞</p> <p>産業界のニーズを把握する機会を多く設け、産業界のニーズへの理解を深めることができた。</p> <p>産学協働協議会の産業界委員による講演、外部評価委員による講演、教育改善研究会や合同FDなどから、産業界のニーズの把握作業を進めてきており、「産業界のニーズ」というものではなく、個別の企業のニーズがあるという理解に至った。</p>               |
|     | ② 産業界と大学の接続に関する課題の共有 <ul style="list-style-type: none"> <li>産業界を担う人材を育成するために必要な制度や内容等</li> <li>産学連携事業の機会創出の可能性と課題</li> </ul>                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ○                               | <p>＜達成事項＞</p> <p>各大学での産学連携は実践されている。あらたにグループ内の大学間と産業界委員団体との連携事例が生まれた。</p> <p>大学個別の取組においては、産業界との連携を実施していたが、あらたに和泉短期大学、北里大学、産業界委員のさがまちコンソーシアムが連携した事例がうまれた。</p>                                         |
|     | ③ 産業界と大学間の連携協力体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>最適な体制の検討</li> <li>具体的な組織化</li> <li>連携推進における各種コンプライアンスの確認</li> </ul>                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ○                               | <p>＜達成事項＞</p> <p>産学協働協議会を設置した。産学協働協議会にて産業界のニーズについて議論を行った。</p> <p>連携の一環として、産業界のニーズについて、各産業界委員からの情報提供をいただいた。大学側にて産業界ニーズの把握を行った。</p>                                                                   |
|     | ④ 各大学及び大学グループ合同での取組と取組成果の評価検証 <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の客観的評価</li> <li>産学連携PDCAサイクルの確立</li> </ul>                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ○                               | <p>＜達成事項＞</p> <p>外部評価委員会を開催し、事業の評価を行った。事業の評価に際して、全体と各テーマについてPDCAを作成した。</p> <p>平成25年度は9月と翌3月に外部評価委員会を開催した。平成26年度も9月と2月に実施した。特に平成26年度については2回に渡り、外部評価委員より産業界ニーズについて講演をいただいた。最終的に事業の内容についても高い評価を得た。</p> |

## 全体での取組実績

### <平成 24 年度>

|          |                    |          | 4・5 月 | 6・7 月               | 8・9 月 | 10・11 月              | 12 月             | 1 月                 | 2・3 月                   |
|----------|--------------------|----------|-------|---------------------|-------|----------------------|------------------|---------------------|-------------------------|
| 主な取組     |                    |          |       |                     |       |                      | 協定書<br>締結        | 研修会等                | 協議会<br>シンポジウム           |
| 取組・評価体制  | 関東山梨地域産学協働協議会      | 年 2 回    |       |                     |       |                      |                  | 第 1 回<br>(1/16)     | 第 2 回<br>(3/26)         |
|          | 関東山梨地域大学グループ協議会    | 年 2 回    |       | 第 2,3 回<br>(7/9,19) |       | 第 4,5 回<br>(10/2,11) | 第 6 回<br>(12/10) |                     | 第 7 回<br>(3/8)          |
|          | 幹事校会議              | 年 4 回    |       | 第 1 回<br>(7/4)      |       | 第 2 回<br>(10/11)     | 第 3 回<br>(12/10) | 第 4 回<br>(1/23)     | 第 5,6 回<br>(2/4,2/27)   |
|          | 教育改善研究会取り組みテーマ①    | 年 3 回    |       |                     |       |                      |                  | 第 1 回<br>(1/16)     |                         |
|          | 教育改善研究会取り組みテーマ②    | 年 3 回    |       |                     |       |                      |                  |                     | 第 1 回<br>(3/26)         |
|          | 教育改善研究会取り組みテーマ③    | 年 3 回    |       |                     |       |                      |                  |                     |                         |
| 合同研究・研修会 | FD研修回・ワークショップテーマ①② | 年 1, 2 回 |       |                     |       |                      |                  | 授業研究(1/16)<br>電気通信大 |                         |
|          | FD研修回・ワークショップテーマ③  | 年 1, 2 回 |       |                     |       |                      |                  |                     | FD ワークショップ<br>(3/8)武蔵野大 |

### <平成 25 年度>

|          |                          |       | 4・5 月          | 6・7 月           | 8・9 月           | 10・11 月           | 12 月              | 1 月 | 2・3 月                    |
|----------|--------------------------|-------|----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|-----|--------------------------|
| 主な取組     |                          |       |                |                 |                 |                   |                   |     | 協議会<br>シンポジウム            |
| 取組・評価体制  | 外部評価委員会                  | 年 2 回 |                |                 |                 | 第 1 回<br>(10/3)   |                   |     | 第 2 回<br>(3/17)          |
|          | 関東山梨地域産学協働協議会            | 年 2 回 |                |                 | 第 3 回<br>(8/5)  |                   |                   |     | 第 4 回<br>(3/27)          |
|          | 関東山梨地域大学グループ協議会          | 年 2 回 |                | 第 8 回<br>(6/20) | 第 9 回<br>(8/5)  | 第 10 回<br>(11/13) | 第 11 回<br>(12/19) |     | 第 12,13 回<br>(3/17,3/27) |
|          | 幹事校会議                    | 年 4 回 | 第 7 回<br>(5/9) | 第 8 回<br>(6/6)  | 第 9 回<br>(9/26) |                   | 第 10 回<br>(12/2)  |     | 第 11 回<br>(2/20)         |
|          | 教育改善研究会取り組みテーマ①          | 年 3 回 |                | 第 2 回<br>(6/20) |                 | 第 3 回<br>(11/13)  | 第 4 回<br>(12/19)  |     |                          |
|          | 教育改善研究会取り組みテーマ②          | 年 3 回 |                | 第 2 回<br>(6/20) |                 | 第 3 回<br>(11/13)  | 第 4 回<br>(12/19)  |     |                          |
|          | 教育改善研究会取り組みテーマ③          | 年 3 回 |                |                 | 第 1 回<br>(8/5)  | 第 2 回<br>(11/13)  | 第 3 回<br>(12/19)  |     |                          |
| 合同研究・研修会 | FD研修回・ワークショップテーマ①        | 年 3 回 |                | 第 2 回<br>(6/20) |                 | 第 3 回<br>(11/13)  | 第 4 回<br>(12/19)  |     |                          |
|          | FD研修回・ワークショップテーマ②        | 年 3 回 |                | 第 2 回<br>(6/20) |                 | 第 3 回<br>(11/13)  | 第 4 回<br>(12/19)  |     |                          |
|          | FD研修回・ワークショップテーマ③        | 年 3 回 |                |                 | 第 1 回<br>(8/5)  | 第 2 回<br>(11/13)  | 第 3 回<br>(12/19)  |     |                          |
|          | 合同FD                     |       | 適宜公開           |                 |                 |                   |                   |     |                          |
| 成果報告     | 中間成果報告<br>(グループ共通ホームページ) |       | 適宜情報公開         |                 |                 |                   |                   |     |                          |
|          | シンポジウム                   |       |                |                 |                 |                   |                   |     | シンポジウム<br>(3/1)          |

### <平成 26 年度>

|          |                          |       | 4・5 月  | 6・7 月                    | 8・9 月           | 10・11 月           | 12 月                   | 1 月              | 2・3 月            |
|----------|--------------------------|-------|--------|--------------------------|-----------------|-------------------|------------------------|------------------|------------------|
| 主な取組     |                          |       |        | 協議会<br>研修会               | 外部評価<br>委員会     | 研修会               |                        |                  | 協議会<br>シンポジウム    |
| 取組・評価体制  | 外部評価委員会                  | 年 2 回 |        |                          | 第 3 回<br>(9/16) |                   |                        |                  | 第 4 回<br>(2/17)  |
|          | 関東山梨地域産学協働協議会            | 年 2 回 |        | 第 5 回<br>(7/22)          |                 |                   |                        |                  | 第 6 回<br>(2/28)  |
|          | 関東山梨地域大学グループ協議会          | 年 2 回 |        | 第 14,15 回<br>(6/17,7/22) |                 |                   |                        | 第 16 回<br>(1/20) | 第 17 回<br>(2/17) |
|          | 幹事校会議                    | 年 4 回 |        | 第 12,13 回<br>(6/3,7/15)  |                 | 第 14 回<br>(10/14) |                        | 第 15 回<br>(1/13) |                  |
|          | 教育改善研究会取り組みテーマ①          | 年 3 回 |        | 第 5 回<br>(6/17)          |                 | 第 6 回<br>(10/21)  |                        | 第 7 回<br>(1/20)  |                  |
|          | 教育改善研究会取り組みテーマ②          | 年 3 回 |        | 第 5 回<br>(6/17)          |                 | 第 6 回<br>(10/21)  |                        | 第 7 回<br>(1/20)  |                  |
|          | 教育改善研究会取り組みテーマ③          | 年 3 回 |        | 第 4 回<br>(6/17)          |                 | 第 5 回<br>(10/21)  |                        | 第 6 回<br>(1/20)  |                  |
| 合同研究・研修会 | FD研修回・ワークショップテーマ①        | 年 3 回 |        | 第 5 回<br>(6/17)          |                 | 第 6 回<br>(10/21)  |                        | 第 7 回<br>(1/20)  |                  |
|          | FD研修回・ワークショップテーマ②        | 年 3 回 |        | 第 5 回<br>(6/17)          |                 | 第 6 回<br>(10/21)  |                        | 第 7 回<br>(1/20)  |                  |
|          | FD研修回・ワークショップテーマ③        | 年 3 回 |        | 第 4 回<br>(6/17)          |                 | 第 5 回<br>(10/21)  | インターンシップ<br>報告会(12/13) | 第 6 回<br>(1/20)  |                  |
|          | 合同FD                     |       | 適宜公開   |                          |                 |                   |                        |                  |                  |
| 成果報告     | 中間成果報告<br>(グループ共通ホームページ) |       | 適宜情報公開 |                          |                 |                   |                        |                  |                  |
|          | シンポジウム                   |       |        |                          |                 |                   |                        |                  | シンポジウム<br>(2/28) |

## 合同 FD の開催

合同FDについては、平成 25 年度の幹事校の講義の公開から開始し、平成 26 年度は 14 大学すべての講義の公開につなげた。平成 25 年度には 53 の講義を公開し、平成 26 年には 104 の講義を公開した。

各大学から 2 年間に 99 名(平成 25 年度 72 名、平成 26 年度 27 名)、産業界委員は 8 名の参加があった。

教員は自らの大学の講義も抱えており移動時間もあり制限もある中、広く公開したことで多数の参加が得られた。

| 開催大学名              | 25 年度<br>開催回数 | 26 年度<br>開催回数 |
|--------------------|---------------|---------------|
| 電気通信大学 (幹事校)       | 25            | 37            |
| 武蔵野大学 (副幹事校)       | 0             | 10            |
| 横浜国立大学 (テーマ①幹事校)   | 5             | 14            |
| 亜細亜大学 (テーマ①副幹事校)   | 3             | 10            |
| 昭和音楽大学 (テーマ②幹事校)   | 4             | 2             |
| 神奈川工科大学 (テーマ②副幹事校) | 9             | 9             |
| 創価大学 (テーマ③幹事校)     | 3             | 3             |
| 東京経済大学 (テーマ③副幹事校)  | 1             | 3             |
| 宇都宮大学              | 1             | 5             |
| 北里大学               | －             | 2             |
| 日本社会事業大学           | －             | 3             |
| 山梨英和大学             | －             | 1             |
| 昭和音楽大学短期大学部        | 2             | 1             |
| 和泉短期大学             | －             | 4             |
| <b>総計</b>          | <b>53</b>     | <b>104</b>    |

## グループ全体によるシンポジウム開催

本グループでは、平成 25 年度に中間報告シンポジウムを武蔵野大学にて開催した。また、平成 26 年度についても電気通信大学にて開催した。構成として本グループからの成果報告と、産業界のニーズに関するテーマで有識者の参加の下、パネルディスカッションを行った。

## 平成 25 年度



関東山梨地域大学グループは、文部科学省、経済産業省、産業界関係者、大学関係者とともに、産業界のニーズに対応した大学教育を考えるシンポジウムを開催します。

大学関係者は産業界のニーズを理解し、キャリア教育に活かす機会にしたいと考えております。

**平成 26 年 3 月 1 日(土)**  
**13:30-17:35** (情報交換会 18:00-19:30)  
**武蔵野大学 有明キャンパス 3号館 301教室**

〒138-0181 東京都江東区有明3-3-3  
 りんかい線・国際展示場駅 徒歩7分  
 ゆりかもめ・国際展示場正門駅 徒歩6分



■主 催 経済産業省産学官連携推進委員会  
 主催 武蔵野大学、電気通信大学、関東山梨地域大学グループ、文部科学省、経済産業省、産業界関係者、大学関係者、有識者  
 共催 経済産業省産学官連携推進委員会  
 協賛 経済産業省、文部科学省、産業界関係者、大学関係者、有識者

■主 催 経済産業省産学官連携推進委員会  
 主催 武蔵野大学、電気通信大学、関東山梨地域大学グループ、文部科学省、経済産業省、産業界関係者、大学関係者、有識者  
 共催 経済産業省産学官連携推進委員会  
 協賛 経済産業省、文部科学省、産業界関係者、大学関係者、有識者

# 産業界のニーズに対応した 大学教育を考える

参加費  
無料  
※情報交換会は  
会費3,000円です

### 関東山梨地域大学グループシンポジウム プログラム

**第1部：シンポジウム 13:00-17:35**  
 ※講演者等、変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

- 13:00 受付開始
- 13:30 開会
- 13:30-13:40 開会挨拶 中村 孝文 (武蔵野大学 副学長)
- 13:40-14:10 基調講演 (Ⅰ) 牛尾 剛文様 (文部科学省 高等教育局 専門教育課長)
- 14:10-14:40 基調講演 (Ⅱ) 斎藤 太様 (経済産業省 経済産業政策局 参事官 (併) 産業人材政策担当参事官室長)
- 14:40-16:00 本グループの取り組み内容および中間報告  
 14:40-15:00 関東山梨地域大学グループ取り組みの概要と中間報告  
 阿部 浩二 (電気通信大学 副学長)
- 15:00-15:20 テーマ1「産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高度化」  
 市村 光之 (横浜国立大学 特任講師)
- 15:20-15:40 テーマ2「産業界のニーズにマッチした学修評価・指導方法の開発」  
 根木 昭 (昭和音楽大学 教授)
- 15:40-16:00 テーマ3「産官学地域連携によるインターンシップの高度化」  
 長谷部 秀孝 (創価大学 教授・キャリアセンター長)
- 16:00-16:20 本グループにおける事例紹介  
 「知の世界をひろげよう」幅広い視野と就業力を身につける、武蔵野BASISの挑戦ー  
 久富 健 (武蔵野大学 教授・教養教育部長)
- 16:20-16:30 ～休憩～
- 16:30-17:30 パネルディスカッション『産業界のニーズに対応した大学教育を考える』  
 パネリスト：牛尾 剛文様 (文部科学省 高等教育局 専門教育課長)  
 斎藤 太様 (経済産業省 経済産業政策局 参事官 (併) 産業人材政策担当参事官室長)  
 小林 浩様 (リクルート進学総研所長 リクルート「カレッジマネジメント」編集長)  
 日井 啓祐様 (東京経営者協会 労働・研修部 担当部長 (人材・研修担当))
- コーディネーター：竹内 利明 (電気通信大学 特任教授)
- 17:30-17:35 閉会挨拶 辰 仁司 (産総研大学 教授・経営学部長)

**第2部：情報交換会 18:00-19:30**

【会場】武蔵野大学有明キャンパス 3号館 ロハスカフェ ARIAKE  
 【会費】3,000 円 (情報交換会では軽食・飲物をご用意いたします。)

同時開催 ポスターセッション 18:00-19:30  
 【会場】武蔵野大学有明キャンパス 3号館 (情報交換会場隣で開催します。)

■申込要領  
 参加希望者は、件名を「シンポジウム参加申込」とし、氏名・ご所属・職名・ご連絡先メールアドレス・情報交換会参加の有無を明記の上、下記アドレスへ電子メールで送信してください。  
 ※なお、情報交換会の会費は3,000円となります。  
 E-mail: [uec@s-needs.uec.ac.jp](mailto:uec@s-needs.uec.ac.jp)

■申込期限 平成26年2月21日 (金)

■問合せ先 電気通信大学 関東山梨地域大学グループ 事務局  
 〒182-8585 東京都調布市調布丘1-5-1  
 E-mail: [uec@s-needs.uec.ac.jp](mailto:uec@s-needs.uec.ac.jp) 電話：042-443-5785 Fax：042-441-1525

## 平成 26 年度



関東山梨地域大学グループでは、平成24年度に採択されました文部科学省『産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業』の最終年度に際し成果報告シンポジウムを開催いたします。

当日は、関東山梨地域大学グループからの成果報告を行い、「産業界ニーズと大学のキャリア教育」をテーマにパネルディスカッションを行います。

**平成 27 年 2 月 28 日(土)**  
**13:00-16:30** (情報交換会 17:00-18:30)  
**電気通信大学 新C棟 103教室**

〒182-8585 東京都調布市調布丘1-5-1  
 京王線・調布駅 中央口改札 中央口より徒歩5分



■主 催 関東山梨地域大学グループ  
 主催 武蔵野大学、電気通信大学、関東山梨地域大学グループ、文部科学省、経済産業省、産業界関係者、大学関係者、有識者  
 共催 経済産業省産学官連携推進委員会  
 協賛 経済産業省、文部科学省、産業界関係者、大学関係者、有識者

■主 催 経済産業省産学官連携推進委員会  
 主催 武蔵野大学、電気通信大学、関東山梨地域大学グループ、文部科学省、経済産業省、産業界関係者、大学関係者、有識者  
 共催 経済産業省産学官連携推進委員会  
 協賛 経済産業省、文部科学省、産業界関係者、大学関係者、有識者

# 産業界のニーズと 大学のキャリア教育

参加費  
無料  
※情報交換会は  
会費2,000円です

### 関東山梨地域大学グループシンポジウム プログラム

**第1部：シンポジウム 13:00-16:30 (12:30 開場)**  
 ※講演者等、変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

- 12:30 受付開始 (新C棟301教室)
- 13:00 開会 司会 藤木 健 (電気通信大学 特任講師)
- 13:00-13:05 開会挨拶 阿部 浩二 (電気通信大学 副学長)
- 13:05-13:20 文部科学省 金子 実様 (文部科学省 高等教育局 視学官)
- 13:20-13:35 経済産業省 宮本 崇男様 (経済産業省 産業技術振興課 大学連携推進室長)
- 13:35-14:35 関東山梨地域大学グループ活動報告  
 13:35-13:50 全体報告 松本 利憲 (新事業 電気通信大学 特任教授)
- 13:50-14:05 テーマ1報告  
 市村 光之 (テーマ1幹事校 横浜国立大学 特任教授)
- 14:05-14:20 テーマ2報告  
 根木 昭 (テーマ2幹事校 昭和音楽大学 教授)
- 14:20-14:35 テーマ3報告  
 長谷部 秀孝 (テーマ3幹事校 創価大学 教授)
- 14:35-15:00 外部評価委員 報告  
 岩波 利光様 (外部評価委員会委員長 日本電気株式会社 特別顧問)
- 15:00-15:15 ～休憩～
- 15:15-16:20 パネルディスカッション『産業界のニーズと大学のキャリア教育』  
 パネリスト：宮本 崇男様 (経済産業省 産業技術振興課 大学連携推進室長)  
 岩波 利光様 (日本電気株式会社 特別顧問)  
 三枝 健様 (日本自動車株式会社 研究企画部)  
 市村 光之 (横浜国立大学 特任教授)
- コーディネーター：竹内 利明 (電気通信大学 特任教授)
- 16:20-16:30 閉会挨拶 小野 康男 (横浜国立大学 大学教育総合センター長)

**第2部：情報交換会 17:00-18:30**

【会場】電気通信大学 B 棟 1 階  
 【会費】2,000 円 (情報交換会では軽食・飲物をご用意いたします。)

同時開催 ポスターセッション 17:00-18:30  
 【会場】電気通信大学 B 棟 1 階 (情報交換会場隣で開催します。)

■本日の配布資料  
 ・表紙 (この用紙) ・報告資料 (テーマ1) ・京総研大学 地域交流活動報告書  
 ・経済産業省 産学連携 報告資料 (テーマ2) ・京総研大学 経営学部産学官連携プログラム  
 ・報告資料 (テーマ3) ・武蔵野大学 シンポジウム テラシ  
 ・報告資料 (全体) ・外部評価委員会 報告資料 ・東京経済大学 シンポジウム テラシ

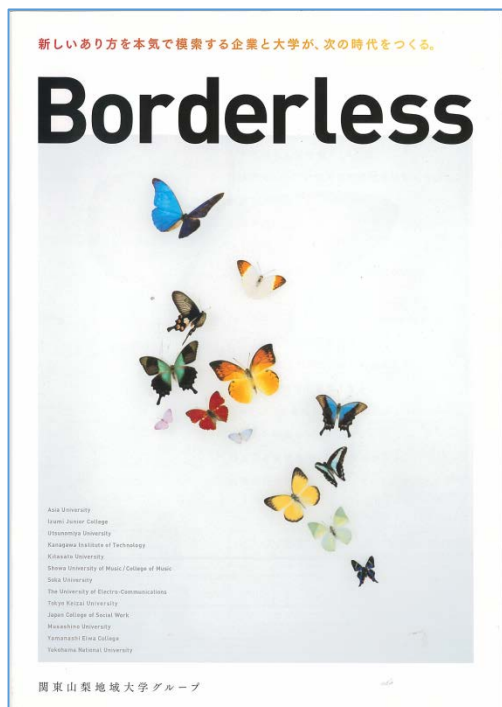
■問合せ：電気通信大学 関東山梨地域大学グループ 事務局  
 〒182-8585 東京都調布市調布丘1-5-1 電話：042-443-5785 Fax：042-441-1525  
 ※本事業の最終報告書は3月下旬以降、下記のサイトに掲載いたします。  
 Web: <http://www.s-needs.uec.ac.jp/news/>

# 各大学によるシンポジウム等開催

| 開催大学            | 開催日付                     | 開催名称                                                                                                                                | 参加者数    | 参加者数<br>本グループ<br>関係者 |
|-----------------|--------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------|
| 宇都宮大学           | 平成 25 年 6 月 5 日          | 宇都宮大学国際ワークショップ<br>ー国際インターンシップの実践と課題についてー                                                                                            | 49 名    | —                    |
| 宇都宮大学           | 平成 25 年 11 月 14 日        | 平成 25 年度国際インターンシップ報告・説明会                                                                                                            | 54 名    | 4 名                  |
| 宇都宮大学           | 平成 26 年 5 月 13 日         | 平成 26 年度国際インターンシップ報告・説明会                                                                                                            | 約 100 名 | —                    |
| 宇都宮大学           | 平成 26 年 12 月 9 日         | 平成 26 年度国際インターンシップ報告・説明会                                                                                                            | 28 名    | —                    |
| 宇都宮大学           | 平成 25 年 11 月 9 日         | 2013 年度宇都宮大学キャリアフェスティバル                                                                                                             | 880 名   | —                    |
| 宇都宮大学           | 平成 26 年 10 月 25 日        | 2014 年度宇都宮大学キャリアフェスティバル                                                                                                             | 720 名   | 2 名                  |
| 宇都宮大学           | 平成 26 年 6 月 6 日          | 課題発見・解決型インターンシップ報告会                                                                                                                 | 150 名   | —                    |
| 亜細亜大学           | 平成 25 年 10 月 15 日        | キャリア・インターンシップ事後研修報告会                                                                                                                | —       | 8 名                  |
| 亜細亜大学           | 平成 26 年 10 月 4 日         | 経営学部 インターンシップ 報告 会<br>( <a href="http://www.asia-u.ac.jp/asu_news/2014/10/740/">http://www.asia-u.ac.jp/asu_news/2014/10/740/</a> ) | 70 名    | 5 名                  |
| 亜細亜大学           | 平成 26 年 12 月 22 日        | 経営学部 プレゼンバトル<br>(募集ポスター、案内ポスター添付)                                                                                                   | 80 名    | 3 名                  |
| 東京経済大学          | 平成 25 年 3 月 15 日         | 産学連携シンポジウム「多摩地域の産学連携の<br>今を語る～東経大の地域連携の可能性～」(後<br>援:経済産業省関東経済産業局、多摩信用金<br>庫、東京都中小企業振興公社、八王子市)                                       | 111 名   | 4 名                  |
| 東京経済大学          | 平成 26 年 2 月 15 日         | シンポジウム「国分寺 新しいまちへの期待 北<br>口再開発をめぐる」(共催:東京都中小企業<br>振興公社)                                                                             | 35 名    | —                    |
| 東京経済大学          | 平成 26 年 7 月 11 日         | 東京経済大学・多摩信用金庫共同シンポジウム<br>「飛躍する多摩ものづくり企業 地域産業の活<br>性化と挑戦する経営者」(後援:経済産業省関<br>東経済産業局)                                                  | 85 名    | 1 名                  |
| 東京経済大学          | 平成 27 年 2 月 27 日         | シンポジウム「国分寺 新しいまちへの期待 北<br>口再開発と商店街」(共催:東京都中小企業振<br>興公社)                                                                             | 80 名    | —                    |
| 東京経済大学          | 平成 27 年 3 月 27 日<br>(予定) | 第 2 回東京経済大学・多摩信用金庫共同シン<br>ポジウム「多摩の中小企業の知られざる国際化<br>と経営者の姿 ～地域連携に求められる新たな<br>役割とは?～」                                                 | —       | —                    |
| 日本社会事業大学        | 2014 年 9 月 20 日          | シンポジウム「アクティブ・ラーニングの創造—地<br>域事業所と連携した大学生の参加型学習—」                                                                                     | 31 名    | 11 名                 |
| 武蔵野大学           | 平成 25 年 3 月 8 日          | 産学連携 FD ワークショップ                                                                                                                     | 130 名   | 28 名                 |
| 武蔵野大学           | 平成 26 年 11 月 30 日        | 武蔵野大学 FD シンポジウム                                                                                                                     | 160 名   | 10 名                 |
| 神奈川工科大学         | 平成 25 年 3 月 1 日          | 教育シンポジウム                                                                                                                            | 146 名   | 6 名                  |
| 昭和音楽大学          | 平成 26 年 1 月 14 日         | 実社会に生きる大学の学び                                                                                                                        | 76 名    | 9 名                  |
| 昭和音楽大学          | 平成 27 年 1 月 20 日         | 産業界が求める人材                                                                                                                           | 52 名    | 29 名                 |
| 昭和音楽大学<br>短期大学部 | 平成 26 年 1 月 14 日         | 実社会に生きる大学の学び                                                                                                                        | 76 名    | 9 名                  |
| 昭和音楽大学<br>短期大学部 | 平成 27 年 1 月 20 日         | 産業界が求める人材                                                                                                                           | 52 名    | 29 名                 |
| 和泉短期大学          | 平成 25 年 11 月 23 日        | はっぴいアクアリウムプロジェクト主催<br>「子ども体験イベント」                                                                                                   | 645 名   | 50 名                 |
| 和泉短期大学          | 平成 26 年 12 月 7 日         | はっぴいアクアリウムプロジェクト主催<br>「子ども体験イベント」                                                                                                   | 635 名   | 50 名                 |

## グループ全体による広報活動

### 1 広報用パンフレット「Borderless」作成



平成25年3月に作成し、各大学にて関係する産業界にも配布を行った。また、大学グループで開催したシンポジウム等でも配布を行った。

### 2 広報用ウェブサイト開設



<http://www.s-needs.uec.ac.jp/Borderless>と同タイミングで公開した。





## 2-2. テーマ別の取組状況

### テーマ① 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高度化

| テーマ  | 申請書上の<br>「達成目標」<br>(Plan)                                                                                                                                        | 申請書上の<br>「効果」                                          | Do<br>「達成目標」、「効果」<br>に対して実際に<br>実施した項目                                                                                                                                              | Check<br>「達成目標」、「効果」<br>に対する達成度 | Action<br>達成の可否<br>次のアクション                                                             |                                                                               |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| テーマ① | <b>【共通目標】</b><br><b>産業界のニーズに対応した<br/>教育改善による学士課程教<br/>育全般の質的向上へ</b> <ul style="list-style-type: none"><li>各大学の取組によって得た<br/>知識・知見と成果の共有</li><li>成果の社会発信</li></ul> |                                                        | 教育改善研究会を2<br>回実施し、産業界委<br>員を交え議論した。産<br>業界のニーズについ<br>ては外部評価委員の<br>意見も伺った。                                                                                                           | ○                               | キャリア開発科目の<br>高次化活動の最終<br>段階として、各大学<br>の先進事例、改善<br>課題を共有できた。                            | 最終報告書を取りま<br>めると共に、2/28 のシ<br>ンポジウムで活動結果<br>を報告した。                            |
|      | 【テーマ別】<br>学士課程教育<br>の質的向上に<br>繋がる産業界<br>と連携した教<br>育の開発・実<br>践                                                                                                    | □グループ<br>/各大学<br><br>・体系的キャ<br>リア教育プロ<br>グラムモデ<br>ルの作成 | 画一的な「プログラ<br>ム」を作るよりも、各校<br>がその課題・実情に<br>応じて、体系的にキャ<br>リア教育を実践でき<br>ることが肝要との結論<br>に至った。<br>求められるキャリア教<br>育要件を整理し、キャ<br>リア教育の現状を可<br>視化して管理し、継<br>続的に分析・改善し<br>ていく「可視化モデ<br>ル」を構築した。 | ○                               | ＜達成事項＞<br>グループ各校がそ<br>の課題・実情に応<br>じて、体系的にキャ<br>リア教育の現状を<br>可視化し、分析す<br>る仕組みを構築で<br>きた。 | 最終報告書にて、H27<br>年度開設のキャリア関<br>連科目を、左記「可視<br>化モデル」で集計、報<br>告した。                 |
|      |                                                                                                                                                                  | □グループ<br>/各大学<br><br>・産学連携<br>教育モデル<br>の作成             | 他大学の先進事例を<br>参考に、各大学は自<br>学の教育方針や学生<br>の資質、進路先を踏<br>まえて自学に最適化<br>し、成果はシラバス調<br>査で確認・共有する<br>方針を検討、合意し<br>た。                                                                         | ○                               | ＜達成事項＞<br>活動成果の取りまと<br>め方針を確定でき<br>た。                                                  | 産学連携や科目の改<br>善状況について、最終<br>報告書にて、H27 年度<br>開設のキャリア関連科<br>目のシラバスを集計し、<br>報告した。 |
|      |                                                                                                                                                                  | □その他<br>キャリア開発<br>科目のグル<br>ープ大学相<br>互単位互換<br>の検討       | 個別大学間での単位<br>互換の可能性を検討<br>した。                                                                                                                                                       | ○                               | ＜達成事項＞<br>関東一円に広がる<br>立地条件、各大学<br>の学年暦の相違等<br>から、単位互換は<br>現実的に困難と判<br>断した。             | 単位互換の可能性検<br>討を完了した。                                                          |

テーマ①分科会は、横浜国立大学を幹事校、亜細亜大学を副幹事校とし、関東山梨地域大学グループ全14大学・短大合同の分科会として運営された。産業界のニーズを反映し、かつ各グループ校の先進事例や特色ある取組を吸収しつつ、それぞれの教育方針や学生の実情に応じてキャリア開発科目を高度化することが目的である。本活動を通して、体系的キャリア教育の可視化モデル、および各大学の特色を活かした産学連携教育モデルを計画通り構築した。



## 産業界ニーズの把握

キャリア開発科目を高次化する前提として、産業界が大卒人材や大学教育に求めることを把握することが肝要である。テーマ①分科会では、FD 研修会や教育改善研究会の場で、求められるジェネリック・スキルを中心に産業界委員と大学関係者の間で継続的に議論を重ねた。

その結果、大卒人材に産業界が期待するスキルは多様で、業界/職種により、さらに大企業/中小企業間に温度差があることがわかった。たとえば大企業の委員からは、グローバル対応力を含め主体性、課題解決力、情報発信力等のスキル向上を求める声が多く、中小企業をよく知る委員からはやる気や明朗さ、素直さなど人間性を重視する意見が挙げられた。さらに、一般教養、リベラル・アーツの素養の重要性も指摘された。

大学教育に求めることとしては、従来型の講義中心の授業形態を脱してアクティブ・ラーニングを取り入れた双方向性の授業の拡大の声が多かった。ディスカッション等により論理的思考力を鍛え、ジェネリック・スキルを高めることを期待している。産学連携の授業、産業界の人材を活用し企業活動の現実を学生に体感させる授業の推進も求められた。インターンシップに関しては拡大強化の声とともに、インターンシップの期間と学業との両立に課題があり、受け入れ企業側の負担もあり、調整・工夫が必要であることが指摘された。

### 活動成果事例：産業界ニーズ調査結果

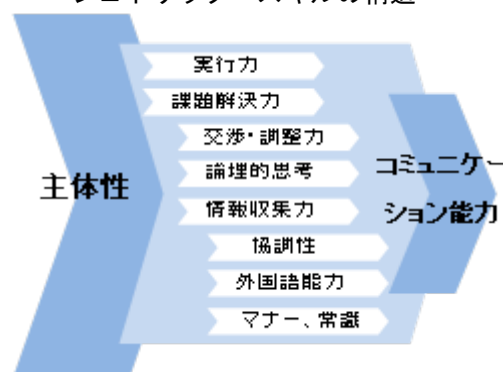
テーマ①分科会の活動成果の一例として、横浜国立大学が実施し、教育改善研究会（H25 年 12 月）で共有・議論した「産業界ニーズ調査」結果を示す。本調査は卒業生 22 名、および企業の人事担当者 14 名を対象に、H25 年 8～9 月にインタビュー法により実施された。若手社員の抱える課題を企業側・本人側の両面から探ることで、ジェネリック・スキルの具体的な中身を抽出するのが目的である。

#### 入社 1～2 年目社員の課題

企業側が新入社員に求めることは、ひと言で表現すると、「どんな場所でも適応する柔軟性や忍耐力を備え、自ら考えて主体的に動くことができる」人ということになる。課題としては主に、以下が挙げられた。

- ・ 仕事をやり遂げる責任感(主体性)
- ・ 自ら課題や改善点を探し、よりよいものを生み出す課題解決力
- ・ 仕事の本質を理解しようとする問題発見・情報収集力
- ・ 異質なものを受け入れ広い人間関係を築くコミュニケーション力
- ・ よい意味での競争意識
- ・ 取引先や先輩・上司との電話、メールのやりとりのマナー
- ・ 理想と現実とのギャップを乗り越える忍耐力・適応力

#### ジェネリック・スキルの構造



調査結果からジェネリック・スキルが発揮されるまでの大まかな構造が浮かび上がった。①担当職務に対する《主体性》がジェネリック・スキルの原動力として作用する、②主体性に基づき、ジェネリック・スキルが発動する、③それらは《コミュニケーション能力》により、周囲に働きかけられる、という構造である。産業界委員からは、チームで発揮すべき主体性と独断専行のような独り善がりな行動力をはき違えないこと、一連の思考と行動の底流に《モチベーション》がある等の指摘があった。

新卒社員は自分の課題の本質が主体性にあることは認識できておらず、実体が掴みにくい主体性をいかに体感させるかが、大学教育現場において取り組むべき課題であることがわかった。

#### 入社 5～6 年目の社員の課題

入社 5～6 年目の社員は、「組織のリーダーになる意識と、より高度な業務遂行能力」が求められている。

- ・ 今までより広い視野を持ち、業務のレベルを上げる
- ・ 組織の中での役割を管理職目線で積極的に果たしてほしい
- ・ 私生活を含めキャリア形成意識をもつ
- ・ 女性総合職では、男性と同じ条件下で活躍を期待する

卒業生はまだ経験浅く、自分の業務範囲しか見えていない状況で、期待に答えきれていない。さらに、結婚・育児を含め私生活との調和に悩み、会社および自分自身の将来に漠とした不安を感じている。ライフ・キャリアの視点から、自律的なキャリア形成を促すキャリア教育の必要性が確認できた。

#### 産業界が大学教育に求めること

産業界が大学教育全般に求めることとしては、論理的思考力を養う教育、主体的な学びを促す教育、理系は基礎力、グローバル対応では国内で通用する実務能力と異文化を受け入れる姿勢を身につける教育が挙げられた。

キャリア教育に求めることとしては、以下 4 点が挙げられた。

- ・ 理想と現実を埋めるリアリティあるキャリア教育を

- ・ 職業観(働く意味、学問との係わり)を醸成するキャリア教育を
- ・ アクティブ・ラーニング(プロジェクト型、双方向授業)で主体性を
- ・ インターンシップ:長期を望む意見と、限界を感じる意見あり

ジェネリック・スキルには、主体性を原動力として発揮される課題解決力等の一連のスキルと、ビジネス環境や私生活などの変化に応じて自律的にキャリアを形成するためのスキルがある。ジェネリック・スキルの多くは、いわゆる「キャリア教育科目」でしか学べないものではなく、各専攻の学問研究の過程で培うことができるもので、大学教育として総合的に取り組む課題である。キャリア教育はそれを補完する役割なのではないだろうか。

## 体系的キャリア教育プログラムモデル

産業界のニーズを明らかにする活動と共に、テーマ①分科会ではそれらのニーズに応える体系的なキャリア教育プログラムのありかたを検討した。本大学グループ 14 校には、総合大学、理工系大学、芸術系大学、保育・福祉系大学など、それぞれ特色ある大学が含まれる。グループ各校の教育方針、学生の資質、進路先も多様で、キャリア教育に要請される内容も多岐にわたる。それはいわゆる文系/理系の違いに留まらない。理工系大学では、専門技術を活かすコミュニケーション能力の向上が求められ、芸術系大学では、専門教育と連動した体系的なキャリア教育をカリキュラムの中に位置づけ、多方面で活躍できる人材育成を目指し、保育・福祉系大学では保育・福祉系職場への就職を前提に専門性を磨くキャリア教育が求められている。

こうした多様な大学の知見を活かし、キャリア開発科目の高次化に向けてあるべきキャリア教育の体系を検討した結果、画一的な「プログラム」を作るよりも、グループ各校がその教育方針、学生の資質、進路先に応じて、体系的にキャリア教育を実践できる仕組みを構築することが有効であるとの結論に至った。具体的には、求められるキャリア教育要件を整理し、大学ごとにキャリア教育の現状を可視化して管理し、継続的に分析・改善していく仕組みである。そこで、下表の Changing/Expansion/Practice の 3 フェーズでキャリア教育を捉え、キャリア教育要件として、履修学年、学修目標、主要な学修内容を整理した。

## 体系的キャリア教育の可視化モデル

|                             | フェーズの定義                                                                                                                                      | 主対象   | 学修目標                            | 主要な学修内容           |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------------------------------|-------------------|
| <b>フェーズ 1<br/>Changing</b>  | <b>学業や将来の進路決定に主体的に取り組む動機づけをする授業：</b><br>EX: キャリアの捉えかたを学ぶ講義、個人ワークやグループ・ワーク、ディスカッションにより考えさせる授業、社会人講師の講話など。自学の教育方針、学生の能力・資質に鑑みキャリア形成の動機づけになる授業。 | 1～2 年 | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する | 学業と将来との係わりの理解     |
|                             |                                                                                                                                              |       |                                 | 雇用・就業や社会状況への関心と理解 |
|                             |                                                                                                                                              |       |                                 | 自己理解              |
|                             |                                                                                                                                              |       |                                 | 概略的な職業理解          |
| <b>フェーズ 2<br/>Expansion</b> | <b>社会人として必要な力を身につける授業：</b><br>EX: ジェネリック・スキルを涵養するための PBL、ディスカッションやディベートを取り入れた授業、職場見学や実務者との交流などの産学連携授業など。学生の能力・資質に鑑み、ジェネリック・スキルを高めるため必要な授業。   | 2～3 年 | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する          | 前に踏み出す力の修得        |
|                             |                                                                                                                                              |       |                                 | 考え抜く力の修得          |
|                             |                                                                                                                                              |       |                                 | チームで働く力の修得        |
|                             |                                                                                                                                              |       |                                 | より具体的な職業理解        |
| <b>フェーズ 3<br/>Practice</b>  | <b>将来に向けて磨き高める授業：</b><br>EX: インターンシップ、ジェネリック・スキルを実践するための PBL、ディスカッションやディベートを取り入れた授業。学生の主要進路先や能力・資質に鑑み、就職準備や卒業後の人生設計に必要な授業。                   | 2～4 年 | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く   | ジェネリック・スキルの実践     |
|                             |                                                                                                                                              |       |                                 | 職業体験              |
|                             |                                                                                                                                              |       |                                 | 就職準備              |
|                             |                                                                                                                                              |       |                                 | キャリアビジョンの構築       |

- ・ グループ 14 校のキャリア教育課題は多様であり、画一的には論じられない。このモデルを運用するにあたっては、以下に留意した。
- ・ ディスカッションや PBL、インターンシップなどの手法は、どのフェーズでも活用可能である。各大学の学修目標に応じて最適な手法を採用する。

- 履修対象学年はあくまで目安である。各フェーズはこの学年に必ずしも合致する必要はなく、各大学のキャリア教育カリキュラムに基づき、最適な履修学年を設定する。
- 必要な学修内容は多岐にわたるが、各フェーズの主要な学修内容を4項目に絞って明記した。殊に、フェーズ2のジェネリック・スキルに関する学修内容は、さまざまな観点から考えられるが、ここでは「社会人基礎力」の3カテゴリに加え、「より具体的な職業理解」とした。
- 各科目の学修内容は、該当項に点数を記入(合計10点)する。重きを置く項は2～3点とする。これにより、重きをおく項やフェーズを可視化する。

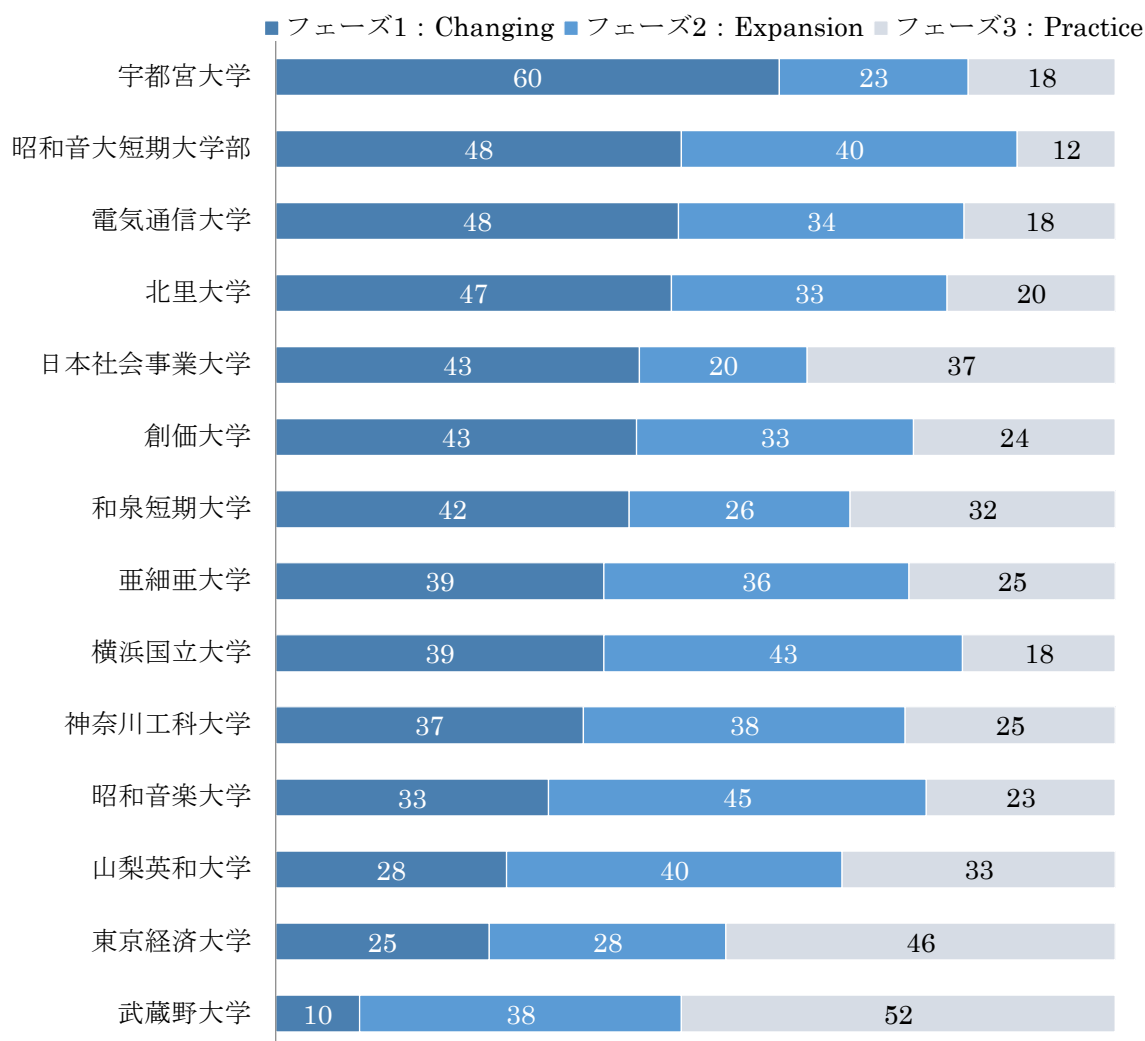
## 可視化モデルの記入例

(横浜国立大学のキャリア教育科目から)

| 科目名               | 履修対象     | フェーズ 1:<br>Changing |             |      |          | フェーズ 2:<br>Expansion |          |            |            | フェーズ 3:<br>Practice |      |      |             |
|-------------------|----------|---------------------|-------------|------|----------|----------------------|----------|------------|------------|---------------------|------|------|-------------|
|                   |          | 学業と将来の係わり理解         | 雇用や社会への関心理解 | 自己理解 | 概略的な職業理解 | 前に踏み出す力の修得           | 考え抜く力の修得 | チームで働く力の修得 | より具体的な職業理解 | ジェネリックスキルの実践        | 職業体験 | 就職準備 | キャリアビジョンの構築 |
| キャリアデザイン A        | 全学/1～2 年 | 1                   |             | 3    | 2        | 1                    | 1        | 1          | 1          |                     |      |      |             |
| キャリアデザイン B        | 全学/1～2 年 | 1                   | 3           | 1    |          | 1                    | 1        | 1          |            |                     |      |      | 2           |
| Wake Up! プロジェクト   | 全学/1 年   | 3                   |             | 1    | 1        | 1                    | 2        | 2          |            |                     |      |      |             |
| まなび座 I・校友会リレートーク  | 全学/1 年   | 3                   | 1           | 1    | 2        | 1                    | 1        | 1          |            |                     |      |      |             |
| 機械工学と社会との係り合い     | 理工/1～4 年 | 2                   | 1           |      | 2        | 1                    | 1        | 1          | 1          |                     |      |      | 1           |
| システム・エンジニアリング     | 全学/1～4 年 | 2                   | 1           |      | 2        | 1                    | 1        | 1          | 1          |                     |      | 1    |             |
| まなび座 II・リーダーシップ実践 | 全学/2～4 年 | 1                   |             | 1    | 1        | 2                    | 2        | 3          |            |                     |      |      |             |
| ビジネス・コミュニケーション    | 全学/2～4 年 | 1                   | 1           | 1    |          | 1                    | 1        | 3          | 1          |                     |      | 1    |             |
| キャリア・ケーススタディ      | 全学/2～4 年 | 1                   | 1           | 1    |          | 1                    |          |            | 3          |                     |      | 1    | 2           |
| マイ・プロジェクト・ランチャー   | 経営/1～4 年 | 1                   |             |      |          | 1                    | 1        | 3          | 1          | 2                   |      | 1    |             |
| インターンシップ          | 経営/2～4 年 |                     |             |      |          |                      |          |            | 1          | 3                   | 3    | 2    | 1           |
| 小計                |          | 16                  | 8           | 9    | 10       | 11                   | 11       | 16         | 9          | 5                   | 3    | 6    | 6           |
| 合計                |          | 43                  |             |      |          | 47                   |          |            |            | 20                  |      |      |             |

上記の横浜国立大学のケースでは、本事業の活動を通じて、主体性の醸成を重点にジェネリック・スキルを強化するキャリア教育を目指して改善を進めている。H25～27 年度にかけて、フェーズ 1、2 に当たる科目を多く新規開講した。その結果として、合計欄ではフェーズ 1、2 の点数が高くなっていることがわかる。さらにこの結果から、現在の取組が達成された後、手薄なフェーズ 3 が次の取組課題になりうることもわかる。数値により可視化することで、自学のキャリア教育の実現度合いを確認する仕組みである。

グループ 14 大学の H27 年度開講予定のキャリア開発科目を、この可視化モデルにより数値化し、3 フェーズの割合を次に示す。



フェーズ1の比率が最も多い宇都宮大学は、4年一貫のキャリア教育の中で特に基盤教育に重点を置き、社会への関心や学業に対する主体的な取組の姿勢を醸成することに力を注いでいる。一方、フェーズ3の比率が多い武蔵野大学や東京経済大学は、地域の産業界との結びつきを強化し、学生がインターンシップに参加しやすい科目作りに努めている。なお、可視化モデルにより数値化したグループ各大学のデータは、参考資料にまとめた。

## 産学連携教育モデル：キャリア開発科目の高次化状況

活動を通じて共有された産業界ニーズをベースに、他大学の先進事例に学びつつ、グループ各大学が自学の教育方針や学生の資質、進路先を踏まえて自学に最適化しキャリア開発科目を高次化すること、産学連携でキャリア教育モデルを確立することが本分科会のゴールである。

グループ14大学は、おのおのその特色を活かした工夫や試みをキャリア教育現場で展開している。FD研修会や教育改善研究会、合同FDによる授業見学などを通じてそれらを目の当たりにし、大いに刺激を受けた。たとえば、電気通信大学は1年生と3年生が合同で必修のキャリア教育科目を履修し、相互作用で学生の成長を促す。亜細亜大学は、新入生が社会人にインタビューし、仕事の遣り甲斐などを記事にまとめる過程でジェネリック・スキルを身に付けさせるユニークな仕掛けを作っている。横浜国立大学ではディスカッションの活性化のためクリッカーを活用した反転授業や産学連携PBLを開始した。昭和音楽大学短期大学部、日本社会事業大学などでは、学生の進路を見据えて産学連携により大学の専門性に基づいた工夫をしている。さらに、宇都宮大学では地元企業と連携しつつ、海外インターンシップを推進している。

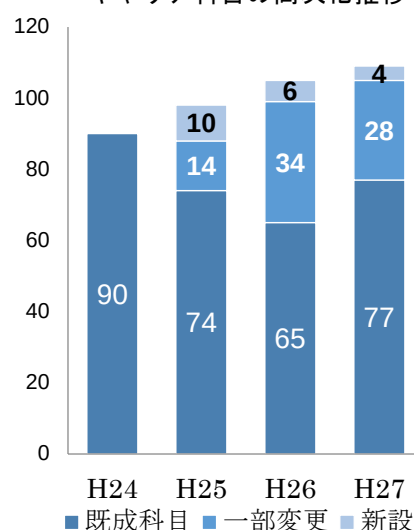
グループ各大学は、各種研究会や合同FDからの学びを通じて、自学に最適な教育モデルの構築に努めてきた。本分科会では、H24～27年度までグループ14大学の各年度のシラバス調査を定期実施し、改善状況を集計分析して、メンバー校にシェアしている。グループ14大学の本事業対象キャリア教育科目は、本事業開始前(H24年4月)の合計90科目から、本事業完成段階(H27年度開講予定分)で109科目に増加した。改善された科目は延べ76科目、新設された科目は20科目に上り、これが本事業によるテーマ①分科会活動の最終成果である。なお、グループ14大学のキャリア教育関連科目のシラバス、キャリア開発科目の改善状況の詳細は、参考資料にまとめた。



グループ 14 大学のキャリア開発科目の高次化内容は、次の 5 つに大別できる。

- キャリア教育科目の体系化:グローバル人材を含む産業界ニーズをベースにした、キャリア教育体系の全般的な見直し
- ジェネリック・スキルの強化:共有された産業界ニーズに基づく授業内容の改善
- アクティブ・ラーニングの推進:ジェネリック・スキル強化のための授業手法の改善
- 産学連携授業の導入:ジェネリック・スキル強化、将来の進路選定のサポートに向けた授業内容の改善
- インターンシップの充実:ジェネリック・スキル強化、将来の進路選定のサポートに向けた授業内容の改善

キャリア科目の高次化推移



本分科会の活動成果の具体例として、キャリア開発科目の高次化により、グループ各大学が確立したキャリア教育モデルの一部を示す。

**宇都宮大学:**産業界との密接な連携の下で課題発見・解決型インターンシップを開発するとともに「起業の実際と理論(アントレプレナーシップの養成)」で先輩起業家・市民との交流やグループワークをより充実させるなど学生の主体性やチームワーク、課題解決力を育成した。

**電気通信大学:**「キャリア教育基礎」で、社会人 OB の講話の際に、講話内容について産業界からのコメントを活かしたものに修正した。事業所見学でも行っている産業界の若手 OB とのコミュニケーションの機会を増やすため、若手 OB によるパネルディスカッションを導入した。

**横浜国立大学:**「まなび座Ⅰ(新入生)/Ⅱ(上級生)」の合同授業をH27年度開講する。校友会の協力で、社会人との対話により学業と職業との係わりや、働く意義を考える。Ⅱの上級生は新入生たちのワークをリードする過程で、自分らしいリーダーシップの発揮のしかたを模索する。

**亜細亜大学:**「新規インターンシップ科目」合同FDから、企業紹介パンフレット等の成果物制作型インターンシップの教育効果の高さと、その必要性を見出し、平成 27 年度の新規インターンシップ科目として開講すべく検討・準備中。

**北里大学:**学生の特性に合うキャリア教育体系を構築中。初年次段階で、主体的に学業及び社会に向かう姿勢を醸成し、学生の本分である学業の充実に加え、ジェネリック・スキルを養成できるようにする。

**創価大学:**「社会貢献と経済学」では、産業界側と大学共同で、シラバスを作成した。学業と将来の係わり、職業理解、社会貢献と職業などの理解が、初年次でも理解できるような授業構成に改善した。産学連携により学外講師を招き、社会の諸状況を、よりリアルに学ばせている。

**東京経済大学:**地元の信用金庫と連携協定を締結し、授業への講師派遣、地元企業の紹介などを行う予定。「インターンシップ」「地域インターンシップ」の受け入れ企業の拡大や課題解決型インターンシップの実施が可能となる。

**日本社会事業大学:**3 年生対象の「専門演習」において、実際の活動とかかわった学びを行う。障害者支援、被災地、発展途上国の NGO、国内の NPO などとかかわりを持っているクラスが既にあるが、その数を増やす。

**武蔵野大学:**学年縦割授業をベースとするアクティブラーニングの授業を、H27 より一部の学部で採用する。「国内インターンシップ」では、実習期間 2 週間以上 2 単位の他に、1 週間 1 単位のプログラムを新設し、より多くの学生が就業体験できるように改善した。

**神奈川工科大学:**「業界研究」では各業界から外部講師を招聘し、自己の適性と社会に存在する多様な産業の実態を把握し、出来る限り就職のミスマッチを未然に防止することによりキャリアデザインに取り組む。各自の適性に見合った業界を選択するための一助とする。

**昭和音楽大学:**「音楽人研究」では自分と音楽の関係を客観的な視点で捉え、芸術関連組織や音楽系企業と連携し、学生が実際に仕事の現場を訪問し、調査研究をふまえて、レポートにまとめプレゼンテーションを行う。将来の職業を考え、具体的なイメージを掴ませる。

**山梨英和大学:**地元企業と協働で PBL 型授業や課題解決型インターンシップを開講することで、課題解決力の育成に努めている。さらに、地元産業界と連携を強化し、多様な職種(企業人、NPO 法人、官公庁)の方の講話や現地視察の場を設け、職業観を涵養する機会を設けている。

**和泉短期大学:**「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を開講した。Ⅰでは①キリスト教の教えに基づく価値形成、②市民・生活者としての視点の醸成③専門職としての成長の3点を取り入れた。Ⅱでは、幼稚園、保育所等の関係者、卒業生を講師を招き職種の理解を深める。

**昭和音楽大学短期大学部:**「音楽人基礎①」の授業で、音楽業界関係者を招聘し、グループワークを導入した。音楽に関わるテーマについて多様なコースを超えて話し合う機会を持ち、グループ内で意見をまとめ発表も行い、コミュニケーション力を強化する。

## グループ大学相互単位互換の検討

---

テーマ①分科会では、キャリア開発科目のグループ大学相互単位互換についても可能性を検討した。その結果、関東一円に広がる立地条件、各大学の学年暦の相違等から、単位互換は現実的に困難と判断した。

一方、単位互換を含む大学間の連携を検討する過程で、和泉短期大学と北里大学による共同インターンシップ「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」が実現した。同プロジェクトについては「2-3大学間連携」参照。

## FD 研修会および教育改善研究会の実施状況

---

本分科会は、大学グループ協議会で方向性を随時討議しつつ、FD 研修会および教育改善研究会にて産業界委員の意見を取り入れつつ進めた。実施した研究会等は以下の通り。発表資料など詳細は参考資料にまとめた。

### FD 研修会：

- H25 年 3 月：電気通信大学「キャリア教育の取組および授業見学」
- H25 年 6 月：宇都宮大学「宇都宮大学における 4 年一貫キャリア教育」
- H26 年 6 月：横浜国立大学「アクティブ・ラーニング事例：主体的な学びの模索」

### 教育改善研究会：

- H25 年 11 月：亜細亜大学「インタビュー実践」（オリエンテーション・ゼミナール）
- H25 年 12 月：横浜国立大学「産業界ニーズ調査結果とキャリア教育体系の整備」
- H26 年 10 月：日本社会事業大学「アクティブ・ラーニングの創造－地域事業所と連携した大学生の参加型学習」
- H27 年 1 月：昭和音楽大学短期大学部「実践的な成果発表の機会について」

## テーマ② 産業界のニーズにマッチした学修評価・指導方法の開発

| テーマ  | 申請書上の<br>「達成目標」<br>(Plan)                                                                                                                            | 申請書上の<br>「効果」                                         | Do<br>「達成目標」、「効果」<br>に対して<br>実際に実施した項目                                                                         | Check<br>「達成目標」、「効果」<br>に対する<br>達成度 | Action<br>達成の可否<br>次のアクション                                                                                           |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テーマ② | <b>【共通目標】</b><br><b>産業界のニーズに対応した教育改善による学士課程教育全般の質的向上へ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各大学が取組によって得た知識・知見と成果の共有</li> <li>成果の社会発信</li> </ul> |                                                       | 連携大学の協議会及び産業界委員の意見を聴きながら、下記の取組を行い、また教育改善研究会において議論し、課題を共有した。                                                    | ○                                   | ポートフォリオに係る事例、アセスメント、汎用的能力、アクティブ・ラーニングに係る事例の収集と集約を行い、連携大学間で共有した。                                                      |
|      | <b>【テーマ別】</b><br>学生の主体的な学修を支えるための学修評価・指導方法の多元的な研究開発                                                                                                  | <input type="checkbox"/> グループ<br>① ポートフォリオモデルの確立      | ポートフォリオに係る事例の紹介(3 大学)及び言及を得るとともに産業界委員、大学間での意見交換を行った。                                                           | ○                                   | <達成事項><br>事例発表と研究協議を通じて、学生が大学生活を通して得た活動体験を記録し、主体性を持ち、将来の職業を意識した学修を促す仕組みとすることに、共通性がある反面、学部・学科により多様性を持たせる必要もある事が確認された。 |
|      |                                                                                                                                                      | ② アセスメントの改善                                           | アセスメントの改善は、評価の在り方に関わるため、8 大学のアセスメント事例、1 大学の学修評価の事例、14 大学のカリキュラムポリシー、ディプロマポリシー、学修成果(期待できる成果と汎用的能力)の事例を収集し、集約した。 | ○                                   | <達成事項><br>各大学が育成している「汎用的能力」の類型化を図るとともに、経産省調査、昭和音大調査と比較しそのズレを比較した。                                                    |
|      |                                                                                                                                                      | ③ FDにおけるアクティブ・ラーニングの推進                                | 1 大学の事例の紹介と14 大学の事例を収集し、集約した。                                                                                  | ○                                   | <達成事項><br>各大学の事例を整理し、類型化を図った。                                                                                        |
|      |                                                                                                                                                      | <input type="checkbox"/> 各大学<br>・評価マネジメント方法の確立および質的向上 | 上記の②アセスメントの改善と一体として捉えたため、同欄に同じ。                                                                                | ○                                   | <達成事項><br>上記②の欄に同じ。                                                                                                  |
|      |                                                                                                                                                      | <input type="checkbox"/> 各大学<br>・教育方法の改善開発と教員の教育能力の涵養 | 教育改善研究会(6 回)、産業界の委員会を含めたシンポジウム(2 回)のほか、合同FDを開催した。                                                              | ○                                   | <達成事項><br>左欄の会議等により課題の共有と深化を図った。                                                                                     |
|      |                                                                                                                                                      |                                                       |                                                                                                                |                                     | 最終報告書において、詳細を体系的に取りまとめた。                                                                                             |
|      |                                                                                                                                                      |                                                       |                                                                                                                |                                     | 最終報告書においてまとめた。                                                                                                       |
|      |                                                                                                                                                      |                                                       |                                                                                                                |                                     | 最終報告書において、これらの詳細をまとめた。                                                                                               |
|      |                                                                                                                                                      |                                                       |                                                                                                                |                                     | 最終報告書において、これらをまとめた。                                                                                                  |
|      |                                                                                                                                                      |                                                       |                                                                                                                |                                     | 上記②の欄に同じ。                                                                                                            |
|      |                                                                                                                                                      |                                                       |                                                                                                                |                                     | 最終報告書において、具体的にまとめた。                                                                                                  |

## (1) 成果目標、推進体制と全体の枠組み

「テーマ②」は、「学生の主体的な学修を支えるための学修評価・指導方法の多元的な開発研究」である。(ア)現状と課題の共有、(イ)対応策の開発、(ウ)各大学取組への反映・実践、というプロセスで取組を行うこととし、(イ)の対応策としては、①ポートフォリオモデルの確立、②アセスメントの改善、③FDにおけるアクティブ・ラーニングの推進、の3つの施策を設定し、この3つの施策の開発・改善を成果目標とした。

「テーマ②」には、幹事校・昭和音楽大学、副幹事校・神奈川工科大学を含む12大学(昭和音楽大学、神奈川工科大学、横浜国立大学、電気通信大学、亜細亜大学、創価大学、東京経済大学、日本社会事業大学、武蔵野大学、山梨英和大学、和泉短期大学、昭和音楽大学短期大学部)が参加したが、調査研究の過程で資料収集の対象としたのは、連携14大学すべてである。

全体の枠組みは、(ア)評価の在り方、(イ)指導方法の開発、の2つの括りとした。(ア)評価の在り方は、3つの施策の中の「②アセスメントの改善」を主たる内容とし、(イ)指導方法の開発は、3つの施策の中の「①ポートフォリオモデルの確立」及び「③FDにおけるアクティブ・ラーニングの推進」を主たる内容とした。

なお、共通して学生に求められるのは「汎用的能力」であるため、本取組全体を通じ「汎用的能力」に焦点が当てられており、「テーマ②」もこの「汎用的能力」を対象とする。

また、「テーマ②」は、実体面を対象とする「テーマ①」(汎用的能力を涵養する体系的キャリア教育プログラムモデル等の開発)、「テーマ③」(汎用的能力と課題解決能力の涵養を主体としたインターンシップ・モデルの開発)を、方法論(学修評価・指導方法の開発)の面で支えるものとして位置付けられる。

## (2) 評価の在り方

上述したように、「評価の在り方」は「アセスメントの改善」を主たる内容とするが、これは「学修評価」に還元されるとともに、その対象である「汎用的能力」の設定に帰着する。このため、主として「汎用的能力」の類型化に焦点を当て、以下の手順で調査研究を進めた。

### 1) 2つの「ポリシー」と「学修成果」の事例の収集

大学は、教育の理念や目的に即して、「カリキュラム・ポリシー」、「ディプロマ・ポリシー」を定めているが、最近では「学修成果」を明示することも求められるようになった。学修成果は、カリキュラム・ポリシーに基づいて設定され、ディプロマ・ポリシーは、学修成果の達成度を勘案して設定される。すなわち、2つのポリシーと学修成果は密接に関連し、いわば三位一体の関係にある。このため、そのすべてについて14大学から事例を収集した。

その際、「学修成果」は、包括的な「期待できる効果」と、個別具体的な「汎用的能力」に区分して報告を受けた。そして、「期待できる成果」は、そのまま生の事例として集成するとともに、特に「汎用的能力」について、以下のとおり整理・集約した。

### 2) 「汎用的能力」の整理・集約

「汎用的能力」について、全体を体系化して、①人間関係・社会形成、②自己理解・自己管理能力、③課題解決能力、の3グループに整理し、かつ各大学との関係が読み取れるよう、【表1】にまとめた。

これに見るとおり、第1位は「コミュニケーション力」(14大学)、第2位は「問題対処・課題解決力」(11大学)、第3位は「論理的思考力」、「国際性(異文化理解・適応)」、「表現力(文章や言葉)」、「倫理観」(以上9大学)、第4位は「知識・教養」、「問題発見・認識力」、「主体性」(以上7大学)となっている。

一方で、「プレゼンテーション力」、「マネジメント力」、「考察力」、「革新性」(以上3大学)は最下位である。



【表 1】

|               | 汎用的能力           |            |         |       |             |     |         |                    |     |             |     |                 |     |     |     |          |           |          |                 |     |     |     |     |       |     |     |
|---------------|-----------------|------------|---------|-------|-------------|-----|---------|--------------------|-----|-------------|-----|-----------------|-----|-----|-----|----------|-----------|----------|-----------------|-----|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
|               | 人間関係・社会形成       |            |         |       |             |     |         |                    |     | 自己理解・自己管理能力 |     |                 |     |     |     |          |           | 課題対応能力   |                 |     |     |     |     |       |     |     |
| 大学名           | ①<br>コミュニケーション力 | プレゼンテーション力 | リーダーシップ | 知識・教養 | ③<br>論理的思考力 | 技能  | マネジメント力 | ⑤<br>国際性（異文化理解・適応） | 判断力 | 読解力         | 理解力 | ④<br>表現力（文章や言葉） | 創造力 | 責任感 | 感性  | ⑥<br>倫理観 | 情報発信・活用能力 | 問題発見・認識力 | ②<br>問題対処・課題解決力 | 実行力 | 行動力 | 主体性 | 分析力 | 予測する力 | 考察力 | 革新性 |
| 宇都宮大学         | 1               | 1          |         | 1     | 1           | 1   | 1       | 1                  | 1   | 1           | 1   | 1               | 1   | 1   | 1   | 1        | 1         | 1        | 1               | 1   | 1   | 1   | 1   | 1     | 1   | 1   |
| 電気通信大学        | 1               |            |         |       | 1           | 1   |         | 1                  |     |             |     |                 |     |     |     |          | 1         |          |                 |     |     |     | 1   |       |     |     |
| 横浜国立大学        | 1               |            | 1       | 1     | 1           | 1   |         | 1                  |     |             |     |                 |     | 1   |     | 1        |           |          |                 |     |     |     |     |       |     |     |
| 亜細亜大学(経営学部)   | 1               |            |         | 1     |             |     |         | 1                  |     | 1           |     | 1               | 1   | 1   |     |          |           | 1        | 1               | 1   |     | 1   |     |       |     |     |
| 北里大学(海洋生命科学部) | 1               |            |         | 1     |             | 1   | 1       |                    |     |             |     |                 |     |     |     | 1        |           |          | 1               |     |     |     |     |       |     |     |
| 東京経済大学        | 1               |            | 1       |       |             |     |         |                    |     | 1           |     |                 | 1   | 1   |     | 1        | 1         | 1        | 1               | 1   |     | 1   |     | 1     | 1   | 1   |
| 日本社会事業大学      | 1               | 1          |         | 1     |             |     | 1       | 1                  |     |             |     | 1               | 1   | 1   | 1   |          | 1         | 1        | 1               | 1   | 1   | 1   |     |       |     | 1   |
| 武蔵野大学         | 1               |            |         | 1     | 1           | 1   | 1       | 1                  | 1   | 1           | 1   | 1               | 1   |     | 1   | 1        | 1         | 1        | 1               | 1   | 1   | 1   | 1   |       |     |     |
| 創価大学(経済学部)    | 1               |            |         |       | 1           |     |         | 1                  |     |             |     |                 |     |     |     |          |           | 1        | 1               |     |     |     |     |       |     |     |
| 神奈川工科大学       | 1               | 1          |         | 1     | 1           | 1   | 1       | 1                  | 1   | 1           | 1   | 1               | 1   | 1   |     | 1        | 1         | 1        | 1               | 1   | 1   | 1   | 1   |       |     |     |
| 昭和音楽大学        | 1               |            | 1       |       | 1           |     |         |                    |     |             |     | 1               | 1   |     | 1   |          | 1         |          | 1               |     |     |     | 1   | 1     |     |     |
| 山梨英和大学        | 1               |            |         |       |             |     |         |                    |     |             | 1   | 1               |     |     |     |          |           |          |                 |     |     |     |     |       |     |     |
| 和泉短期大学        | 1               |            |         |       |             | 1   |         | 1                  | 1   |             |     | 1               |     |     |     |          |           |          | 1               | 1   | 1   | 1   |     |       | 1   |     |
| 昭和音楽大学短期大学部   | 1               |            | 1       |       | 1           |     |         | 1                  |     |             |     | 1               | 1   |     | 1   | 1        | 1         |          | 1               |     |     |     | 1   | 1     |     |     |
|               | 14              | 3          | 4       | 7     | 9           | 6   | 3       | 9                  | 4   | 5           | 5   | 9               | 8   | 6   | 4   | 9        | 5         | 7        | 11              | 6   | 6   | 7   | 6   | 4     | 3   | 3   |
|               | 100%            | 21%        | 29%     | 50%   | 29%         | 64% | 43%     | 21%                | 29% | 36%         | 36% | 64%             | 57% | 43% | 29% | 64%      | 36%       | 50%      | 79%             | 43% | 43% | 50% | 43% | 29%   | 21% | 21% |

### 3) 経済産業省調査との比較

一方、経済産業省の「大学生の『社会観』の把握と『社会人基礎力』の認知度向上実証に関する調査」（平成 22 年 3 月）によれば、「社会に出て活躍するために必要だと考える能力要素」は、次のとおりである（企業の回答のみを掲げる）。

第 1 位は「コミュニケーション力」、第 2 位は「人柄（明るさ・素直さ等）」、第 3 位は「主体性」、第 4 位は「一般常識」となっている。

逆に、「語学力」、「独創性」などは最下位であり、「課題発見力」、「論理的思考力」、「一般教養」などもそれほど重きが置かれていない。

以上のとおり、「コミュニケーション力」は、経産省調査、「テーマ②」の事例（14 大学）ともに第 1 位であり、その必要性の認識は両者に共通している。また、「主体性」についても、経産省調査、「テーマ②」の事例（7 大学）ともかなり重点が置かれている。

反面、経産省調査では「課題解決力」をあまり期待していないが、「テーマ②」の事例では、「問題対処・課題解決力」（11 大学）、「問題発見・認識力」（7 大学）を重視しており、両者の間にズレが見られる。「論理的思考力」（9 大学）についても、同様である。

なお、経産省調査で高い「人柄（明るさ・素直さ等）」については、「テーマ②」の事例では、人格に関わるものであることもあって、学修成果としての汎用的能力には加えていない。

### 4) 昭和音楽大学調査との比較

昭和音楽大学キャリア支援センターは、これまで、「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」とその前身である「大学生の就業力育成支援事業—キャリアマネジメント力を備えた音楽人育成一」の中で、「社会における音大卒業生の『ニーズ調査』」（2012 年 3 月）、「産業界の人材ニーズ調査」（2014 年 1 月）、「卒業生の就業状況調査」（2014 年 3 月）の 3 つの調査を実施し、報告書として取りまとめた。このうち、後二者の報告書に基づく結果を要約すれば、次のとおりである。

「社会人としての基礎力」について、産業界一般は、「自己管理能力」、「時間厳守」、「計画力」などの“自律型”ないし“堅実型”の人材を欲し、「チャレンジ精神」や「成果への期待」などの“挑戦型”ないし“成果型”の人材は必ずしも要求していない。昭和音大・短大卒業生の意見も一致している。

「対人関係」について、産業界一般では、「自己主張力」、「挨拶」、「気配り」を重要視し、「組織優先」はさほど重要視していない。昭和音大・短大卒業生の意見では、「気配り」は共通するが、「周りを考えて行動する」という組織優先とともとれる項目の比重が高い。

「採用時に重要視される能力」について、産業界一般では、「報・連・相」、「学ぶ姿勢」、「チームワーク」に比重が置かれ、「リーダーシップ」は必ずしも求められていない。昭和音大・短大卒業生の意見でも、リーダーシップは、実際の仕事の中で身に付けるものと考えている模様である。

[大学教育への期待]については、産業界一般は、「課題解決力修得」、「チームプロジェクト経験」、「職業意識向上プログラム」を要請しているが、「語学力向上」は、ほとんど期待していない。昭和音大・短大卒業者の意見もほぼ同じである。

[大学が取り組むべきこと]については、産業界一般は、「コミュニケーション力の育成」、「アクティブ・ラーニング授業の実施」、「職業観・勤労観の醸成」を重視し、「リーダー人材の育成」への期待度は低い。昭和音大・短大卒業者の意見もほぼ同じである。

#### 5) 総括

前項の昭和音楽大学調査によれば、産業界が大学教育に基づき学生に期待している能力の範囲は広く、項目も多岐にわたっている。なお、経産省調査でも、昭和音大調査ほどではないがその範囲は広い。

[社会人としての基礎力]と[対人関係]にあげられた諸項目は、“人間”としての資質・能力・態度、また“社会人”としてわきまえるべき礼儀、作法といった類のものであり、14 大学が学修成果として想定している汎用的能力には含まれないものが多い。しかし、これらは、卒業時に身に付けさせるべき基本的な素養でもあり、大学教育全体の中のキャリア科目で培っていくこと配慮すべきであろう。

[採用時に重要視される能力]についても、同様のことがいえる。なお、「チームワーク」は、後述するアクティブ・ラーニングで培う能力であろう。

[大学教育への期待]と[大学が取り組むべきこと]では、「コミュニケーション力の育成」や「課題解決力修得」が重視され、14 大学が想定する汎用的能力と共通している。なお、「アクティブ・ラーニング授業の実施」や「チームプロジェクト経験」は、後述するアクティブ・ラーニングに関わる事項である。また、「職業意識向上プログラム」や「職業観・勤労観の醸成」は、大学全体の中のキャリア科目で対応すべき事項である。

このように、産業界が期待する能力には、キャリア教育で身に付けさせられる素養、学修成果として想定される汎用的能力、アクティブ・ラーニングで培う能力の3つが含まれている。今後、各大学では、これら産業界が期待する能力をきめ細かく分類整理し、学生に総合的に身に付けさせるよう、大学全体のカリキュラムの中での位置付けを考えていくべきであろう。

#### 6) その他

授業の具体的なアセスメントとして、各大学では、授業の事前と事後を比較する達成度の測定が手法としてとられている。

しかし、大学、学部のカリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーにより、その設定内容は異なり、かつ、授業科目によって項目設定の仕方が異なっている。また、その運営を業者に委託している例が多く、その場合には、事例としての提供を受けることが困難であった。

このため、具体的なアセスメントの事例に関しては、提供が可能であった8 大学からこれらを収集し集成した。

### (3) 指導方法の開発

前述したように、「指導方法の開発」は、「ポートフォリオモデルの開発」と「FD におけるアクティブ・ラーニングの推進」を主たる内容とする。

#### (ア) ポートフォリオモデルの確立

##### 1) 現状と課題の共有

「テーマ②」の各連携大学がそれぞれ有するポートフォリオシステムについて、教育改善研究会を通じて、当該システムの運用状況や課題、問題点を共有した。

一方、平成 24 年度 of 教育改善研究会において、幹事校・昭和音楽大学と副幹事校・神奈川工科大学が、ポートフォリオシステムに焦点を当てた発表をした際、参加していた企業や経済等団体の側から「各大学で活用しているポートフォリオシステムが、産業界でどう生かされるかが分かりづらい」という指摘を受けた。

この指摘を受けたことを踏まえ、平成 25 年度以降 of 教育改善研究会では、以下のような形でこの調査を進めていった。

##### 2) 各大学からの事例報告と課題の検討

平成 25 年度以降 of 教育改善研究会では、発表校に対し、何らかの形でポートフォリオシステムについて言及してもらうこととした。

これにより、3 大学が、主としてポートフォリオシステムに焦点を当てた事例発表を行い、アクティブ・ラーニングや学修成果を図るアセスメントの実施等に係る課題を取り上げた3 大学も、ポートフォリオシステムについて言及した。

これらの発表事例をもとに、各大学で当該システムを運用することにより、個々の学生が自分自身の体験や学びをどう認識し、社会でどう生かせるかについて、産業界委員との意見交換も交え、研究・協議を行った。

##### 3) 総括

上記 of 教育改善研究会における各連携大学の事例発表の共有と研究・協議を通じ、ポートフォリオシステムは、大学入学時から学生が段階的に自らの能力開発と目的意識を持つよう促すために活用できること、またそのような認識で運用していくことが有用であることが確認された。

すなわち、ポートフォリオシステムは、個々の学生が、大学生活を通して得た活動体験を記録することで、自分の成長を自覚し、「行動力」、「情報収集力」、「文章作成力」、「自立心」等の力を培うことにつながるものであり、このシステムの構築により、学生が主体性を持ち、将来の職業も意識した学修を促す仕組みが整えられるといえる。

すでに各大学とも、ポートフォリオシステムは導入しており、また、各大学・学部特性によりその内容は異なっている。このため、必然的にその運用方法にはダイバーシティがあり、一律に集約させていくことは現実的とは言えないことも確認された。

しかし、研究協議から得た他大学の情報は参考に値するものが多く、各大学でも今後の改善につなげていった。例えば、研究協議で課題となったことを生かし、学生が大学生活の体験から得られたことが自分自身の強みとして社会で生かせる力であるということを認識させるような機能を追加するとともに、企業情報等の組込みも行い、関連業界との連携が密になるよう、その改善を図った大学の例もあった。

#### (イ)FD におけるアクティブ・ラーニングの推進

##### 1)アクティブ・ラーニングの事例の収集と整理・集約

アクティブ・ラーニングに係る事例の収集については、事例ごとに、内容と修得できるスキルの明記、発見学修、問題解決学修、体験学習、調査学修、グループディスカッション(GD)、ディベート、グループワーク(GW)、その他の7項目のうちの該当項目、正規科目か非正規科目かの別、科目名、対象学部、年次、必修・選択の別、単位数について記入することとして、14大学から事例を収集し、整理と類型化を行った。

その結果は、【別紙】の表に取りまとめた。なお、各大学からは、A4用紙1枚にまとめられる程度に限定した提示を要請したため、すべてを網羅しているとはいえないが、この表により、大筋の傾向を知ることができる。

##### 2)アクティブ・ラーニングの実施状況

最も多く実施されているのは、「グループワーク(GW)」であり(41事例、12大学)、それに次ぐのが「グループディスカッション(GD)」(31事例、11大学)、「体験学習」である(31事例、12大学)。すなわち、GW、GDが最も一般的な形態であり、体験学習がこれに次ぐものと考えられる。

その次に位置しているのが、「発見学修」(28事例、11大学)、「問題解決学修」(27事例、14大学)、「調査学修」(24事例、10大学)である。特に課題解決学修は、全大学が導入している。

一方、「ディベート」(5事例、5大学)は、極めてわずかとなっている。

##### 3)産業界の期待との整合性

(2)の4)、5)でも触れたように、産業界の大学へのアクティブ・ラーニングに対する期待は大きい。「アクティブ・ラーニング授業の実施」を要請しているほか、その一環をなす「チームワーク」や「課題解決力修得」があげられていた。GW、GDはチームワークを培い、問題解決学修は直接期待に込めている。なお、課題解決力は汎用的能力の重要な項目ともなっている。

##### 4)合同FDによる授業参観

アクティブ・ラーニングに関しては、合同FDとして、14大学がそれぞれ関係の授業を他大学に開放した。

それにより、平成24年度から26年度までの3年間、各大学のスタッフが、相互に他大学の授業を参観し、アクティブ・ラーニングの実態に触れ、自校のカリキュラムの改善のための参考とした。

| アクティブラーニングに係る調査の回答まとめ       |                                    |                    |      |      |      |    |       |    |     | 別紙2                                               |
|-----------------------------|------------------------------------|--------------------|------|------|------|----|-------|----|-----|---------------------------------------------------|
| 大学名                         | 対象学部                               | アクティブラーニングの実施科目と内容 |      |      |      |    |       |    |     | 備 考                                               |
|                             |                                    | 発見学修               | 問題解決 | 体験学修 | 調査学修 | GD | ディベート | GW | その他 |                                                   |
| 宇都宮大学                       | 全学                                 | 4                  | 3    | 6    | 2    | 5  |       | 6  | 5   | 「その他」とは、学部横断型複数教員による協同担当や、学外からゲストスピーカーを招聘することを指す。 |
|                             | 国際学部<br>教育学部<br>工学部                | 1                  | 1    | 1    |      |    |       |    |     |                                                   |
|                             | 国際学部<br>教育学部<br>農学部                | 1                  | 1    | 1    |      |    |       | 1  |     |                                                   |
| 電気通信大学                      | 情報理工学部                             | 4                  | 2    | 5    | 4    | 2  | 1     | 4  |     |                                                   |
| 横浜国立大学                      | 全学                                 | 2                  | 1    |      | 2    | 1  |       | 1  |     |                                                   |
|                             | 経済学部                               | 1                  | 1    | 1    |      |    |       | 1  |     |                                                   |
| 亜細亜大学                       | 経営学部                               | 1                  | 1    | 1    | 1    |    |       |    |     |                                                   |
| 北里大学                        | 海洋科学部                              |                    | 1    |      |      | 2  | 1     | 2  |     | 他の体験実習と組み合わせて単位取得可能                               |
| 創価大学                        | 経済学部                               | 1                  | 1    |      | 1    |    |       | 1  |     |                                                   |
| 東京経済大学                      | 経済学部、経営学部、<br>現代法学部<br>コミュニケーション学部 |                    | 1    | 1    | 1    | 1  | 1     | 1  |     |                                                   |
|                             | 経済学部                               |                    |      |      | 1    | 1  |       | 1  | 1   |                                                   |
| 日本社会事業大学                    | 全学                                 | 3                  | 3    | 3    |      | 3  |       | 3  |     | 全学(ただしアクティブラーニングを取り入れているゼミに限る)                    |
| 武蔵野大学                       | 全学                                 | 1                  | 1    |      | 1    | 1  |       | 1  |     |                                                   |
|                             | 全学(薬学部以外)                          | 2                  | 1    | 2    | 2    | 1  |       | 2  |     |                                                   |
| 神奈川工科大学                     | 全学                                 | 2                  | 1    | 1    | 5    | 5  | 1     | 5  |     |                                                   |
|                             | 創造工学部<br>ホームエレクトロニクス開発学科           |                    | 1    | 1    | 1    | 1  |       | 1  |     |                                                   |
| 昭和音楽大学                      | 音楽芸術運営学科<br>アートマネジメントコース           | 1                  | 1    | 1    |      |    |       | 1  |     |                                                   |
|                             | 全学                                 |                    |      | 1    |      | 2  |       | 1  |     |                                                   |
| 山梨英和大学                      | 人間文化学部                             | 2                  | 2    | 2    | 1    | 3  |       | 5  | 4   |                                                   |
| 和泉短期大学                      | 全学                                 | 2                  | 2    | 2    |      |    | 1     | 1  |     |                                                   |
| 昭和音楽大学短期大学部                 | 音楽科<br>ピアノコース                      |                    | 1    | 1    | 1    | 1  |       | 1  |     |                                                   |
|                             | 全学                                 |                    |      |      |      | 1  |       | 1  |     |                                                   |
|                             | 音楽芸術コース(2年)<br>音楽教養コース(1年)         |                    | 1    | 1    | 1    | 1  |       | 1  |     |                                                   |
|                             |                                    | 28                 | 27   | 31   | 24   | 31 | 5     | 41 | 10  |                                                   |
| ※GD:グループディスカッション GW:グループワーク |                                    |                    |      |      |      |    |       |    |     |                                                   |

### テーマ③ 産官学地域共同によるインターンシップの高次化

| テーマ  | 申請書上の<br>「達成目標」<br>(Plan)                                                                                                                                                  | 申請書上の<br>「効果」                                                 | Do<br>「達成目標」、「効果」<br>に対して実際に<br>実施した項目                                                                                                                                                                             | Check<br>「達成目標」、「効果」に<br>対する達成度 | Action<br>達成の可否<br>次のアクション                                                                                                                                            |
|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| テーマ③ | <b>【共通目標】</b><br><b>産業界のニーズに対応した</b><br><b>教育改善による学士課程教</b><br><b>育全般の質的向上へ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各大学の取組によって得た知識・知見と成果の共有</li> <li>成果の社会発信</li> </ul> |                                                               | インターンシップの取組、企業及び参加学生へのアンケート実施状況等を調査し、連携校に還元し、関連した研修・授業等を公開した。                                                                                                                                                      | ○                               | 各大学の取組によって得た知識・知見を各大学が共有した。取組をテーマ③幹事校のHPで発信を開始。                                                                                                                       |
|      | <b>【テーマ別】</b><br>産業界との連携強化による新たなインターンシップ・モデルの開発                                                                                                                            | <input type="checkbox"/> グループ・ジェネリックスキル獲得型モデルの確立              | 各大学のインターンシップと成果測定の取組状況をアンケートにより調査した。インターンシップにおける共通アンケートを作成し、連携校に実施を依頼した。インターンシップにおける共通アンケート実施により、参加学生が感じるジェネリックスキル向上と受入れ企業等が感じる参加学生のジェネリックスキル向上の差を測定できる。また、参加学生が感じる重要度の高いジェネリックスキルと受入れ企業等が求めるジェネリックスキルの認識の差を測定できる。 | ○                               | <達成事項><br>アンケートにより、インターンシップ前後の学生の変化の把握が十分でない大学が多いことが分かった。<br>インターンシップにおける共通アンケート実施により、ジェネリックスキル獲得に関して、グループ全体が共通の認識で取組むことができた。<br>インターンシップにおける共通アンケートの分析結果を出した。        |
|      |                                                                                                                                                                            | <input type="checkbox"/> グループ・課題解決型教育モデル(チームビルディング等の活用による)の開発 | 各大学で行われている課題解決型教育モデルの先行事例を教育改善研究会、合同FDなどにより共有した。<br>各大学で行われている課題解決型モデルを中心に、取組の成果を発表するインターンシップ合同成果発表会の開催日・開催場所が決定した。ここでは、インターンシップの取組に関して、産業界の委員等の意見を伺う。                                                             | △                               | <達成事項><br>課題解決型インターンシップの取組内容、課題を共有できた。<br>インターンシップ合同成果発表会に向けて、課題解決型インターンシップへの取組の強化を図った。<br>インターンシップで獲得できるジェネリックスキルを明確化するための共通アンケートを実施し、分析した。12月にインターンシップ合同成果発表会を開催した。 |

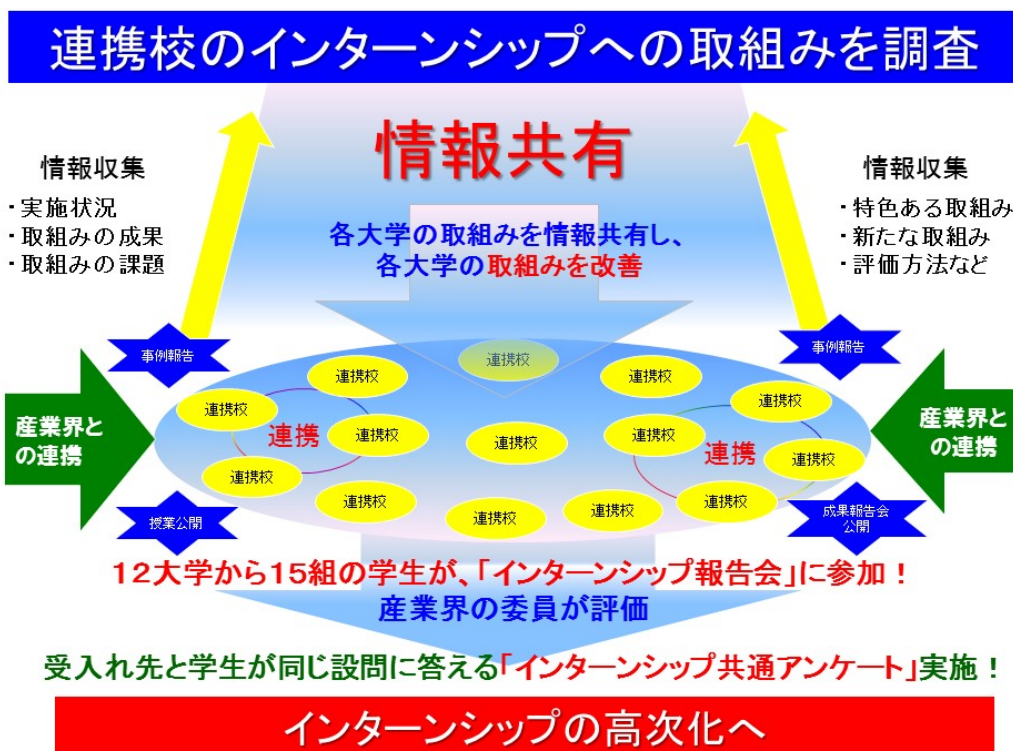
|  |  |                                                   |                                                |   |                                                                                                       |                                              |
|--|--|---------------------------------------------------|------------------------------------------------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
|  |  |                                                   |                                                |   | <未達事項><br>インターンシップ<br>共通アンケート<br>の分析結果に<br>関して、産業界の<br>委員に意見を伺<br>う。                                  |                                              |
|  |  | □各大学<br>・プログラム<br>の質的転換<br>による主体性<br>のある学生<br>の増加 | 各大学においてプロ<br>グラムの新設や改善<br>が行われた(別紙調<br>査結果参照)。 | ○ | <達成事項><br>参加学生及び受<br>入企業の拡大を<br>課題と認識して<br>いる大学が多い<br>ことを把握した。<br>各大学において<br>改善策を検討<br>し、それを共有し<br>た。 | 各大学における取<br>組の課題を改善し、<br>主体性のある学生<br>を増加させる。 |

テーマ③分科会は、創価大学を幹事校、東京経済大学を副幹事校とし、関東山梨地域大学グループ全 14 大学・短大合同の分科会として、この中の 11 校が参加し運営された。

各大学でのインターンシップの取組を共有し、研究し合うことにより、産業界と連携した質の高いインターンシップを実施するために、概要以下のとおり実施した。

- 各大学でのインターンシップの取組の詳細を取りまとめ、これを各大学で共有した。これにより、各大学におけるジェネリック・スキルの養成方法が共有化され、ジェネリック・スキル獲得型のインターンシップのモデルを確立することができた。各大学における課題解決型の取組を共有する中で、大学間で連携した取組があった。
- インターンシップ報告会(12 大学 14 組が参加)を開催し、参加した学生より、ジェネリック・スキル獲得型及び課題解決型の取組の発表があり、産業界から様々な講評等をもらい、ジェネリック・スキル獲得型及び課題解決型教育モデルの開発が大きく前進した。
- 14 大学が共同で開催したFD研修会や教育改善研究会において、各大学におけるインターンシップの取組を積極的に公開し、意見交換を図る中で、インターンシップの高次化を推進した。
- インターンシップの受け入れ先と参加者が、同じ設問に答える共通アンケートを実施し、その結果を、取組の改善に活用した。





#### 各大学におけるインターンシップの現状を掌握

取組方や参加人数の違いはあるが、インターンシップは、関東山梨地域大学グループ全14大学・短大で実施されている。しかしながら、各大学におけるインターンシップの取組には特色があり、その現状を掌握することなく、本グループ内の大学が連携した取組を行うことは、難しいと考えた。そこで、各大学において、どのようなインターンシップが行われているか、調査を行った(実施状況・取組の成果・取組の課題など)。各大学の専門性の違いや取組の考え方の違いにより、各大学のインターンシップの取組が異なることを掌握することができた。これらを比較できるようにまとめ、各大学に送った。その結果、各大学で実施しているインターンシップにおいて、ジェネリック・スキル獲得型のインターンシップ・モデルを確立することにつなげることができた。これらの取組を実施する中で、北里大学と和泉短期大学と産業界が連携して行うインターンシップが実施された。

また、各大学で使用しているインターンシップに関するアンケート(受入れ企業対象・参加学生対象)を提出していただき、グループ内での共有指標の作成に役立てた。

#### 関東山梨地域大学グループ「インターンシップ報告会」の開催



2014年12月13日土曜日、関東山梨地域大学グループ・テーマ③「産官学地域共同によるインターンシップの高次化」グループ主催の「インターンシップ報告会」が、電気通信大学にて、約90名が参加して、開催された。この報告会では、関東山梨地域大学グループのうち12の大学から15組の学生が参加し、インターンシップの成果を発表した。報告会の冒頭、関東山梨地域大学グループ幹事校の電気通信大学・阿部浩二副学長より開会の挨拶があった。テーマ③幹事校・創価大学キャリアセンター長・経済学部教授長谷部秀孝の司会進行で報告会は進められた。3～4組ごとに学生が発表し、審査委員や来場者からの学生への質疑応答や講評を行った。講評の中では、忌憚ない意見などもあり、学生・産業界の方々・教職員において、様々学びを得る機会となった。学生の発表から、各大学のインターンシップの取組の

違いや、インターンシップから何を学ばれたかなど、様々な角度の発表があった。審査員は、関東山梨地域大学グループ外部評価委員会委員長・日本電気株式会社の岩波利光氏を審査委員長として、同じく外部評価委員会の株式会社ロッテ顧問の平坂敏夫委員も参加した。また、産業界委員からも公益社団法人相模原・町田大学地域コンソーシアム事務局の伊藤晃氏、東京経営者協会の臼井啓能氏、特定非営利活動法人・武蔵野スポーツクラブの上村智士郎氏、日産自動車株式会社の三枝信雄氏、公益社団法人・栃木県経済同友会の内藤靖氏、公益財団法人・川崎市文化財団の北條秀衛氏、山梨県中小企業団体中央会の山本良一氏(50音順)の計9名の審査委員にて審査を行った。産業界から様々な講評等を受け、ジェネリック・スキル獲得型及び課題解決型教育モデルの開発が大きく前進した。

今回、九州・沖縄・山口地域大学グループのご厚意により、九州・沖縄・山口地域大学グループにて使用されているルーブリックを利用し、評価を行った。

今回の報告会の審査の結果は以下の通りである。

最優秀賞(第1位)は、2社のインターンシップに挑戦した横浜国立大学の渡辺さんだった。単位認定外のインターンシップにご自身の意思で2社参加した経験を発表した。目的と結果を明確に示した発表だった。優秀賞(第2位)は、韓国からの留学生で山梨県庁へのインターンシップを行った山梨英和大学の蘆さんだった。質疑の際には、流暢な日本語に会場からは驚きの声が上がった。また韓国と日本の考え方の違いについても言及した。第3位は、介護施設へのインターンシップについて発表した神奈川工科大学の小笠原さん、被災地のインターンシップから海外留学時の活動につなげた創価大学の高嶋さんのお二人だった。小笠原さんは、中高時代に就業体験、職場見学で訪問された介護施設にインターンシップとして携わった経験を発表した。高嶋さんは、被災地南三陸へのインターンシップを経験したのち、留学先のインドネシアで独自の被災地支援活動を行ったことについて発表した。

受賞者は、審査委員長の日本電気株式会社岩波利光氏より、賞状と関東山梨地域大学グループ各大学からの寄せられた賞品を授与された。その後、懇親会に移り、発表を行った各大学の学生同士の交流もあり、盛会のうちに終了した。

## FD 研修会および教育改善研究会の実施状況

本分科会は、FD研修会を3回、教育改善研究会を6回開催し、連携校で行われている先進事例を共有した。いずれも産業界委員に出席いただき、産業界からの意見もふまえて「インターンシップの高次化」について検討を行った。実施した研究会等は以下の通りである。発表資料など詳細は参考資料にまとめた。



## FD 研修会

- H25 年 3 月:武蔵野大学「産学連携教育の効果と可能性を考える」
- 武蔵野大学の担当教員とインターンシップ先の担当者から、「夜さ来い祭りとの協働による産学チームビルディングの現状と成果」と「ホスピタリティ産業との産学連携における効果と課題」をテーマに、長期インターンシップの事例が報告された。長期インターンシップにおける、インターンシップ受け入れ先との関係構築、大学の組織的な実施体制、取組内容について共有された。
- H25 年 11 月:東京経済大学「地域インターンシップ成果報告会」  
東京経済大学の「地域インターンシップ」の成果報告会を産業界委員とともに見学し、12グループのインターンシップ成果報告が共有された。
- H26 年 12 月:合同インターンシップ報告会  
連携校の中から12大学、14グループによる合同インターンシップ成果報告会を実施した。産業界委員、外部評価委員に審査を依頼し、それぞれの発表についてコメントをいただいた。合同インターンシップ報告会の効果として、学生に発表の機会を提供することができたこと、他大学の事例が教職員及び学生に共有されたこと、産業界から審査員を招くことで産業界の意見を直接聞くことができたことなどがあげられる。



- H25 年 8 月：昭和音楽大学「インターンシップの実践」

昭和音楽大学の授業担当教員から授業の概要について説明が行われた後、インターンシップに参加した学生3名から、音楽公演の企画、運営等に関わる実践型のインターンシップについて報告が行われた。実践的な課題に取り組むことが、ジェネリック・スキルの養成につながる事例が共有された。
- H25 年 11 月：東京経済大学「地域インターンシップの取組」

東京経済大学の「地域インターンシップ」担当の教員から科目設置の経緯、取組内容について報告が行われた。「地域インターンシップ」の特徴として、①地元自治体及び企業との連携協定に基づき、安定的に実施していること、②事前学習では地元のゲスト講師を招くなどして、地域課題の理解を深めていること、③学生の就業体験だけではなく、受け入れ企業等に対する貢献につながる内容となっていることが紹介された。報告に対して、参加者アンケートで以下の意見が出されており、今後の検討課題として共有された。

80名の参加希望者が、選抜により半分しか参加できないのはもったいない。質をとるか量をとるかは悩みどころであるが、少人数で行うのであれば、2週間～4週間の実習が実施できればより充実するのではないかと。

「地域インターンシップ」の結果として、地元への就職状況に変化があったか知りたかった。就職率の高さと企業等の協力の関係はあるのではないかと。長期にわたって連携するためには、大学と地域に WIN-WIN の関係構築が必要である。

地元のいわゆる一流企業ではない企業でのインターンシップでも、学生の満足度、達成度が極めて高いと感じた。きめ細かな事前学習やフォローの成果と思われる。
- H25 年 12 月：山梨英和大学「インターンシップにおける段階履修の確立」

山梨英和大学の担当者から、インターンシップ科目の開発に関する考え方や背景の説明と、授業担当の教員から授業内容について報告が行われた。インターンシップの改善にあたって、「STEP1 ニーズ把握」、「STEP2 カリキュラム策定」、「STEP3 支援体制強化」の三段階について報告が行われ、学生の特徴の把握、教育効果の明確化、コーディネータの養成と外部機関との連携について、情報を共有することができた。
- H26 年 6 月：創価大学「産業界のニーズに応えるインターンシップ 課題解決型インターンシップの事例」

創価大学のインターンシップ担当教員から、①インターンシップにおける基礎力測定について、②課題解決型インターンシップの事例、③インターンシップに関する共通アンケートについて報告が行われた。

課題解決型のインターンシップの事例として「東北復興インターンシップ」の取組の紹介では、インターンシップ受け入れ企業(南三陸ホテル観洋)、大学、コーディネート協力企業(JTBコーポレートセールス)の三者の WIN-WIN-WIN の関係構築と、その関係構築に基づく課題設定と学生の取組について報告が行われた。

また、インターンシップの基礎力測定の事例として、就業力主観テストを利用した学生の意識の変化に関する調査結果が報告され、実習前後の比較において「創造的思考力」の伸長度合いが高いことが報告された。課題解決型インターンシップに参加することで、普段経験できない取組を通して、既成概念にとらわれない新しい気づきを得られている事例が共有された。
- H26 年 10 月：宇都宮大学「国際インターンシップとは 海外でインターンシップを行う意義等」

宇都宮大学の担当教員から、国際インターンシップの意義として、①自分の適性を知る、②実務能力や適応能力を高める、③自分のキャリアプランを考えることの三点が説明され、同校における平成 24 年度からの取組状況について報告が行われた。

この事例報告により、国際インターンシップを実施する上での課題として、予算の確保、実施体制、危機管理と緊急事態時の判断などがあることが共有された。また、実際に国際インターンシップに参加した学生2名からの報告では、国際インターンシップの内容やその成果を共有することができた。
- H27 年 1 月：和泉短期大学・北里大学「はっぴいアクアリウム・プロジェクトの取り組み 繋がる力・繋げる力」

和泉短期大学の担当教員から、和泉短期大学と北里大学が共同で実施した「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」について報告が行われた。このプロジェクトは、一回目が平成 25 年度 11 月に実施された後、さらに内容を充実させて二回目が平成 26 年度 12 月に実施された。異なる大学の学生が一つのプロジェクトを実施する過程で、ジェネリック・スキル(企画力、実行力、協調性、コミュニケーション能力、チームワークなど)を伸ばすことが目標とされ、その結果として、学生自身の自己評価結果が報告された。

今回の取組から、支援する側の課題として、①プロジェクトの教育目標を明確にすること、②インターンシップの教育的効果を具体的に提示すること、③目標達成のための支援を具体的にインターンシップ先に依頼すること、④大学とインターンシップ先が定期的に支援のあり方について協議することなどが報告され、ジェネリック・スキル獲得型インターンシップの事例と課題が共有された。

# 関東山梨地域大学グループ「インターンシップ共通アンケート」の開催

インターンシップの高次化のために、「インターンシップを受入れている企業側のニーズ」を調査した。また「インターンシップを経験した学生の自己評価」と「受入れ企業の学生の評価」の相関性を分析することにより、インターンシップの事前研修や事後研修に生かすことができるのではないかと考えた。そこで、「インターンシップ共通アンケート」を実施し、以下のような結果が得られた。

## □ アンケート用紙

- アンケート用紙は今回以下3部で構成しています。

インターンシップ受入先に関するアンケートのお願い、受入先様用インターンシップアンケート、学生用インターンシップアンケート

インターンシップ受入れご担当者様

インターンシップ受入れ先に関するアンケートのお願い

日頃より学生のインターンシップ受入れにつきましましては、格別のご協力をいただいております。より感謝を申し上げます。

私たち、関東山梨地域大学グループは、文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善体制整備事業」に採択され、その活動の一環として、インターンシップの高次化に取り組んでいます。この中で、学生の基礎力向上のために、新たなインターンシップモデルの開発や課題型インターンシップのあり方について検討をしております。

つきましては、大変お忙しいところかと存じますが、別紙の受入れ学生に関するアンケートに回答いただくとともに、以下のアンケートにも、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

アンケート結果につきましては、企業名・個人名が特定されることがないかと、分析結果公開させていただきます。分析結果は、ご協力いただきました企業・団体にもお伝えをさせていただきます。9月末日をもち、アンケートをお届けした大学担当者、アンケートを回収いたします。ご不明な点に関するお問い合わせは、アンケートをご依頼させていただきました大学担当者まで、お願い致します。

関東山梨地域大学グループ  
(インターンシップ高次化)  
創価大学キャリアセンター長 長谷部

\*関東山梨地域大学グループ参加校：学習院大学、聖光学院大学、横浜国立大学、明治大学、神奈川工科大学、北里大学、昭和大学、創価大学、東京経済大学、山梨県立大学、山梨大学、山梨学院大学、山梨英和大学、山梨福祉大学、山梨県立大学附属大学

~~~~~切り取り~~~~~

1. 貴社（貴団体）名 \_\_\_\_\_

2. 貴校 ① 製造業 ② 流通業 ③ サービス業 ④ 金融業 ⑤ その他( ) \_\_\_\_\_

3. 貴社に入社を希望する学生に対して特に求める基礎力を、下記の中(1～10)から3つお選びください。各号に○を付けていただけますでしょうか？ご回答いただく担当者様のお考えで結構でございます。

1. 論理的思考力（論理的な視点から論理的に思考を展開する力）

2. 言語表現力（日本語及び外国語を用いて、正確な文章を書き、話す力）

3. 数値的分析力（数値的・統計的なデータを正確に把握し、分析する力）

4. 対人基礎力（目標に向けて他者と協力的に仕事を進める力）

5. 対議決能力（多様性を理解し、建設的に議論を推進していく力）

6. 自己育成力（自らの行動や目標を、理想的な自己に近づけていく力）

7. 課題設定力（客観的に情報を収集し、本質的な課題を設定する力）

8. 目標達成力（自らの計画や目標を、具体的に実現していく力）

9. 創造的思考力（既成概念にとらわれず、独断的に考える力）

10. 高次化対応力（高なる環境においても自らの能力を発揮できる力）

アンケートのご協力、大変ありがとうございました。

学生用 インターンシップ・アンケート(終了時に回答)

アンケート記入日 年 月 日 ( )

受入れ企業・団体様用

インターンシップ・アンケート(終了時に回答)

アンケート記入日 年 月 日 ( )

受入れ学生の大学名・氏名 \_\_\_\_\_

実施日数 \_\_\_\_\_

以下の各つの問いに対して、インターンシップ開始時と終了時で、どのように変化をされたかを評価し、「○」を付けてください。

1. 仕事の内容の難易度が、進捗を定めて、仕事に取り組むことができる。

2. 仕事において、適切な資源を使うことや、仕事を進めることができる。

3. 仕事で扱う数(金額等も含む)を正確に扱うことができる。

4. 他者と協力して仕事を進めることができる。

5. 意見を交わす際、建設的な話し合いをすることができる。

6. 仕事を進めて、自身の目標に近づけることができる。

7. 仕事を進めて、自身の目標を達成し、その結果に向けて努力をすることができる。

8. 仕事を進めて、自身の目標を達成することができる。

9. 既成概念にとらわれずに、創造的に仕事を進めることができる。

10. 既成概念の中でも、自らの力を発揮することができる。

11. インターンシップを通して、特に向上したと思われる点があればお書きください。

## □ 回収状況

- 今回のインターンシップ前後の基礎力評価結果の使用データは、受入先および学生それぞれのアンケートにともに回答している票の124件をベースとした。

「インターンシップ受入先に関するアンケートのお願い」回収状況

|       |    |
|-------|----|
| 全体回収  | 46 |
| 製造業   | 5  |
| 販売業   | 3  |
| サービス業 | 12 |
| 金融業   | 4  |
| その他   | 22 |

「インターンシップアンケート」回収状況

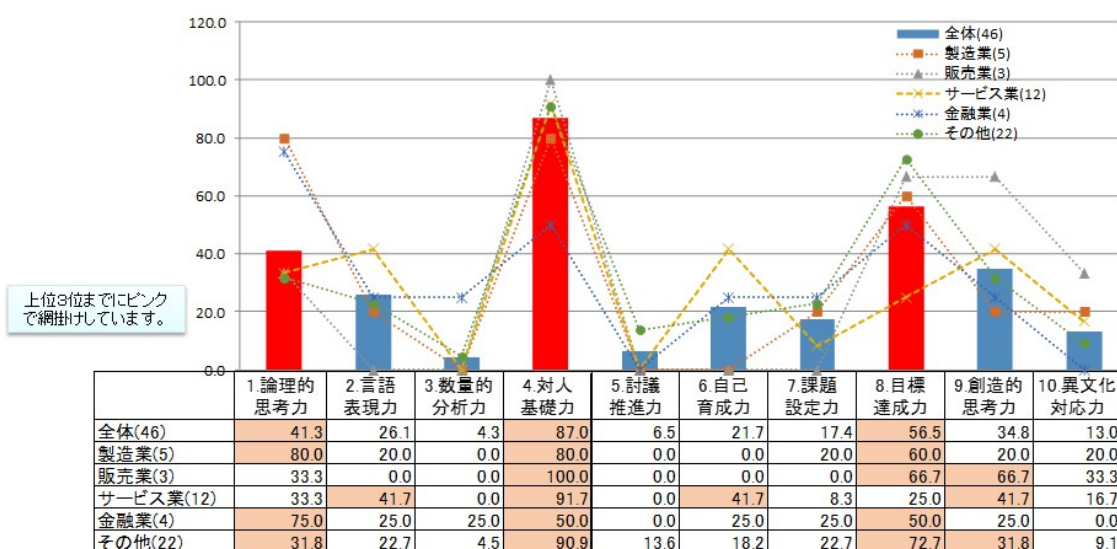
|         | 受入先 | 学生  | マッチング数 |
|---------|-----|-----|--------|
| 全体回収    | 152 | 140 | 124    |
| 宇都宮大学   | 15  | 20  | 15     |
| 横浜国立大学  | 10  | 10  | 10     |
| 亜細亜大学   | 9   | 12  | 9      |
| 神奈川工科大学 | 33  | 15  | 8      |
| 創価大学    | 45  | 43  | 43     |
| 東京経済大学  | 9   | 9   | 8      |
| 武蔵野大学   | 10  | 10  | 10     |
| 山梨英和大学  | 21  | 21  | 21     |

|            | 受入先     | 学生 | マッチング数 |
|------------|---------|----|--------|
| 業種         | 製造業     | 15 | 14     |
|            | 販売業     | 3  | 3      |
|            | サービス業   | 62 | 64     |
|            | 金融業     | 5  | 6      |
|            | その他     | 34 | 34     |
|            | 不明      | 33 | 19     |
| インターンシップ期間 | 5日以内    | 59 | 51     |
|            | 6日～10日  | 42 | 34     |
|            | 14日～29日 | 43 | 43     |
|            | 30日以上   | 6  | 10     |
|            | 不明      | 2  | 2      |

## □ 企業の求める基礎力

- 入社の際に企業が求める基礎力は、「対人基礎力」、「目標達成力」、「論理的思考力」と続いて高くなっている。一方、「数量的分析力」は低い。
- 業種別に見ると、サービス業では、「対人基礎力」の他、「言語表現力」、「自己育成力」、「創造的思考力」へのニーズが高い。

企業の求める基礎力

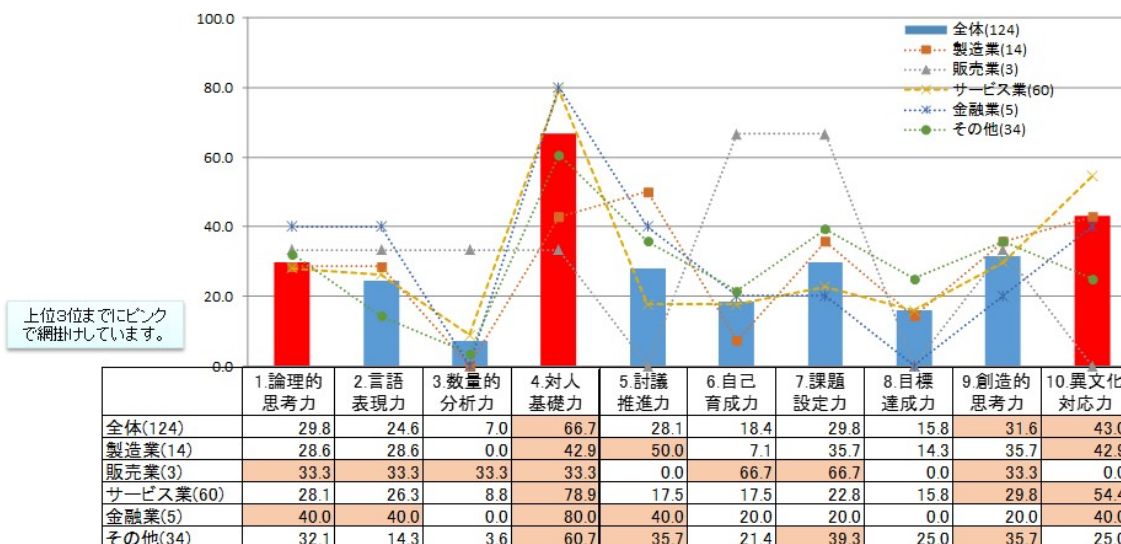




## □ 学生が必要と考える基礎力

- 学生が必要と考える基礎力は、「対人基礎力」、「異文化対応力」、「論理的思考力」と続いて高くなっている。一方、「数量的分析力」は低い。
- 業種別に見ると、サービス業のインターンシップに参加した学生は、「対人基礎力」の他、「異文化対応力」が必要だと考える学生が多い。

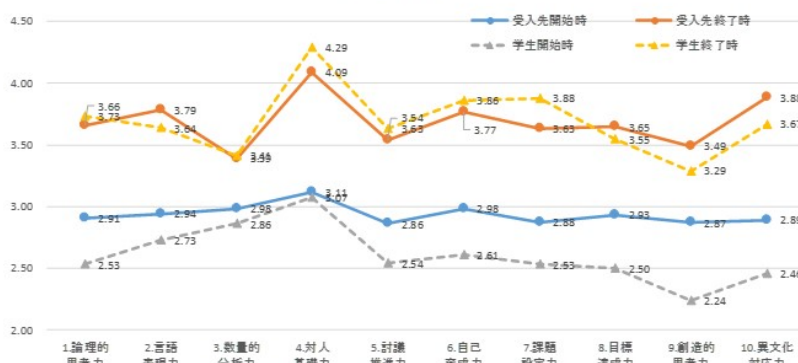
学生が必要だと考える基礎力



## □ インターンシップ前後測定

- 受入先全体で見ると、「言語表現力」、「対人基礎力」、「異文化対応力」の伸びが大きい。
- 学生全体で見ると、「対人基礎力」、「自己育成力」、「課題設定力」の伸びが大きい。

全体評価平均



上位3位までにピンクで網掛けしています。

|            |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|------------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 受入先全体(124) | 受入先開始時 | 2.91     | 2.94    | 2.98     | 3.11    | 2.86    | 2.98    | 2.88    | 2.93    | 2.87     | 2.89      |
|            | 受入先終了時 | 3.66     | 3.79    | 3.39     | 4.09    | 3.54    | 3.77    | 3.63    | 3.65    | 3.49     | 3.88      |
|            | 伸び幅    | 0.75     | 0.84    | 0.41     | 0.98    | 0.67    | 0.78    | 0.75    | 0.71    | 0.62     | 0.99      |
| 学生全体(124)  | 学生開始時  | 2.53     | 2.73    | 2.86     | 3.07    | 2.54    | 2.61    | 2.53    | 2.50    | 2.24     | 2.46      |
|            | 学生終了時  | 3.73     | 3.64    | 3.41     | 4.29    | 3.63    | 3.86    | 3.88    | 3.55    | 3.29     | 3.67      |
|            | 伸び幅    | 1.20     | 0.91    | 0.55     | 1.21    | 1.09    | 1.25    | 1.35    | 1.05    | 1.05     | 1.21      |

## □ 期間別(短期間)

- 短期間(5日以内)のインターンシップでは、受入先、学生共に、「対人基礎力」「課題設定力」の伸びが大きい。

短期間インターン 評価平均



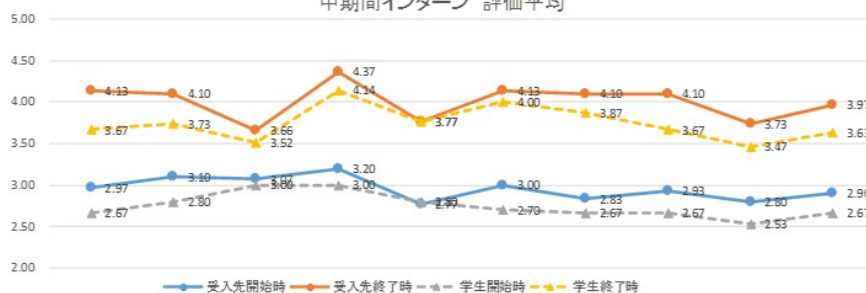
上位3位までピンクで網掛けしています。

|          |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|----------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 5日以内(44) | 受入先開始時 | 2.84     | 2.81    | 2.88     | 2.91    | 2.70    | 2.95    | 2.83    | 2.86    | 2.81     | 2.80      |
|          | 受入先終了時 | 3.47     | 3.40    | 3.12     | 3.84    | 3.30    | 3.59    | 3.48    | 3.33    | 3.19     | 3.66      |
|          | 伸び幅    | 0.63     | 0.58    | 0.24     | 0.93    | 0.60    | 0.63    | 0.64    | 0.48    | 0.38     | 0.85      |
| 5日以内(44) | 学生開始時  | 2.73     | 2.98    | 2.88     | 3.09    | 2.52    | 2.70    | 2.59    | 2.68    | 2.27     | 2.59      |
|          | 学生終了時  | 3.59     | 3.50    | 3.14     | 4.07    | 3.57    | 3.68    | 3.82    | 3.57    | 3.09     | 3.50      |
|          | 伸び幅    | 0.86     | 0.52    | 0.26     | 0.98    | 1.05    | 0.98    | 1.23    | 0.89    | 0.82     | 0.91      |

## □ 期間別(中期間)

- 中期間(6日～10日以内)のインターンシップでは、受入先、学生共に、「課題設定力」の伸びが大きい。  
又、受入先は、「目標達成力」、「論理的思考力」の伸びが大きい、一方、学生は、「対人基礎力」、「自己育成力」の伸びが大きい。

中期間インターン 評価平均



上位3位までピンクで網掛けしています。

|            |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|------------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 6日～10日(30) | 受入先開始時 | 2.97     | 3.10    | 3.07     | 3.20    | 2.77    | 3.00    | 2.83    | 2.93    | 2.80     | 2.90      |
|            | 受入先終了時 | 4.13     | 4.10    | 3.66     | 4.37    | 3.77    | 4.13    | 4.10    | 4.10    | 3.73     | 3.97      |
|            | 伸び幅    | 1.17     | 1.00    | 0.59     | 1.17    | 1.00    | 1.13    | 1.27    | 1.17    | 0.93     | 1.07      |
| 6日～10日(30) | 学生開始時  | 2.67     | 2.80    | 3.00     | 3.00    | 2.80    | 2.70    | 2.67    | 2.67    | 2.53     | 2.67      |
|            | 学生終了時  | 3.67     | 3.73    | 3.52     | 4.14    | 3.77    | 4.00    | 3.87    | 3.67    | 3.47     | 3.63      |
|            | 伸び幅    | 1.00     | 0.93    | 0.52     | 1.14    | 0.97    | 1.30    | 1.20    | 1.00    | 0.93     | 0.97      |

## □ 期間別(長期間)

- 長期間のインターンシップ(14日以上)のインターンシップでは、受入先、学生共に、「異文化対応力」の伸びが大きい。又、学生の「論理的思考力」の伸びが大きい。

長期間インターン 評価平均



上位3位までピンクで網掛けしています。

|             |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|-------------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 14日～29日(43) | 受入先開始時 | 3.02     | 3.00    | 3.02     | 3.21    | 3.12    | 3.00    | 2.93    | 3.00    | 3.00     | 3.00      |
|             | 受入先終了時 | 3.56     | 3.84    | 3.53     | 4.05    | 3.44    | 3.56    | 3.35    | 3.67    | 3.51     | 4.05      |
|             | 伸び幅    | 0.53     | 0.84    | 0.51     | 0.84    | 0.33    | 0.56    | 0.42    | 0.67    | 0.51     | 1.05      |
| 14日～29日(43) | 学生開始時  | 2.30     | 2.49    | 2.91     | 3.12    | 2.37    | 2.42    | 2.35    | 2.28    | 2.02     | 2.21      |
|             | 学生終了時  | 3.93     | 3.70    | 3.72     | 4.63    | 3.51    | 3.88    | 3.88    | 3.47    | 3.40     | 3.91      |
|             | 伸び幅    | 1.63     | 1.21    | 0.81     | 1.51    | 1.14    | 1.47    | 1.53    | 1.19    | 1.37     | 1.70      |

## □ 期間別(最長期間)

- 30日以上 longest 期間インターンシップでは、受入先では「言語表現力」、「討議推進力」、「自己育成力」の伸びが大きい。学生は、「論理的思考力」の伸びが大きい。

※該当数が少なく参考値程度として掲載

最長期間インターン 評価平均

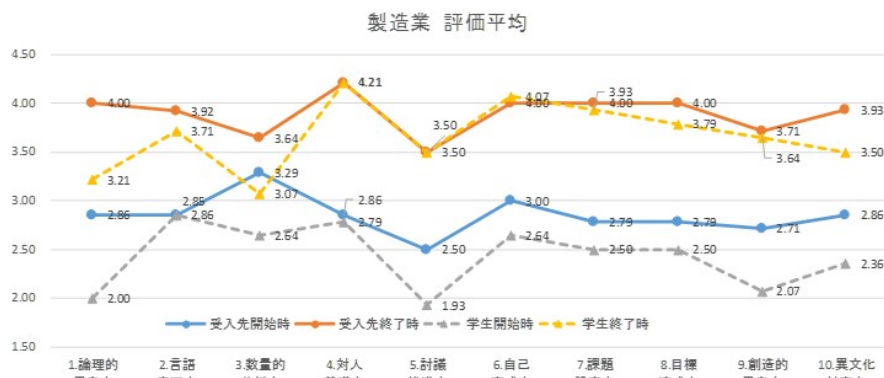


上位3位までピンクで網掛けしています。

|          |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|----------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 30日以上(6) | 受入先開始時 | 2.67     | 3.00    | 3.00     | 3.50    | 3.00    | 3.00    | 3.00    | 3.00    | 2.67     | 3.00      |
|          | 受入先終了時 | 3.50     | 4.50    | 3.00     | 4.67    | 4.50    | 4.50    | 4.17    | 3.50    | 4.00     | 3.67      |
|          | 伸び幅    | 0.83     | 1.50    | 0.00     | 1.17    | 1.50    | 1.50    | 1.17    | 0.50    | 1.33     | 0.67      |
| 30日以上(6) | 学生開始時  | 2.17     | 2.50    | 1.67     | 3.00    | 2.50    | 2.83    | 3.00    | 2.17    | 2.17     | 2.17      |
|          | 学生終了時  | 3.83     | 3.83    | 2.67     | 4.17    | 4.00    | 4.50    | 4.50    | 3.67    | 3.33     | 3.33      |
|          | 伸び幅    | 1.67     | 1.33    | 1.00     | 1.17    | 1.50    | 1.67    | 1.50    | 1.50    | 1.17     | 1.17      |

## 業種別(製造業)

- 製造業では、受入先と学生ともに、「対人基礎力」の伸びが大きい。
- 受入先では、「課題設定力」「目標達成力」の伸びが大きく、学生では「創造的思考力」「討議推進力」が大きい。

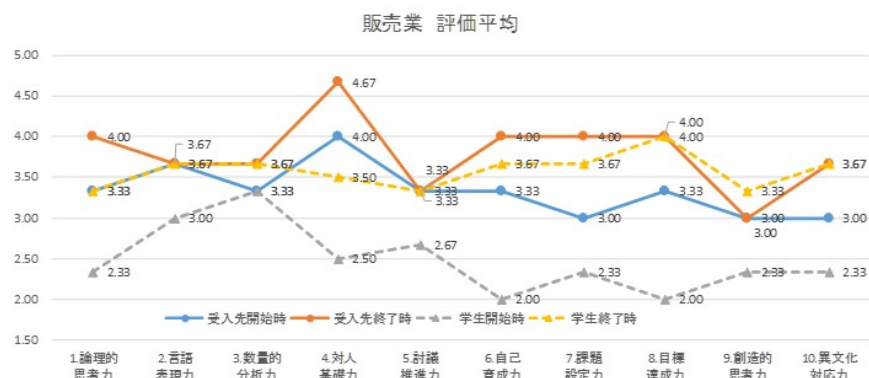


上位3位までピンクで網掛けしています。

|         |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|---------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 製造業(14) | 受入先開始時 | 2.86     | 2.85    | 3.29     | 2.86    | 2.50    | 3.00    | 2.79    | 2.79    | 2.71     | 2.86      |
|         | 受入先終了時 | 4.00     | 3.92    | 3.64     | 4.21    | 3.50    | 4.00    | 4.00    | 4.00    | 3.71     | 3.93      |
|         | 伸び幅    | 1.14     | 1.08    | 0.36     | 1.36    | 1.00    | 1.00    | 1.21    | 1.21    | 1.00     | 1.07      |
| 製造業(14) | 学生開始時  | 2.00     | 2.86    | 2.64     | 2.79    | 1.93    | 2.50    | 2.50    | 2.50    | 2.07     | 2.36      |
|         | 学生終了時  | 3.21     | 3.71    | 3.07     | 4.21    | 3.50    | 4.07    | 3.93    | 3.79    | 3.64     | 3.50      |
|         | 伸び幅    | 1.21     | 0.86    | 0.43     | 1.43    | 1.57    | 1.43    | 1.43    | 1.29    | 1.57     | 1.14      |

## 業種別(販売業)

※該当数が少なく参考値として掲載



上位3位までピンクで網掛けしています。

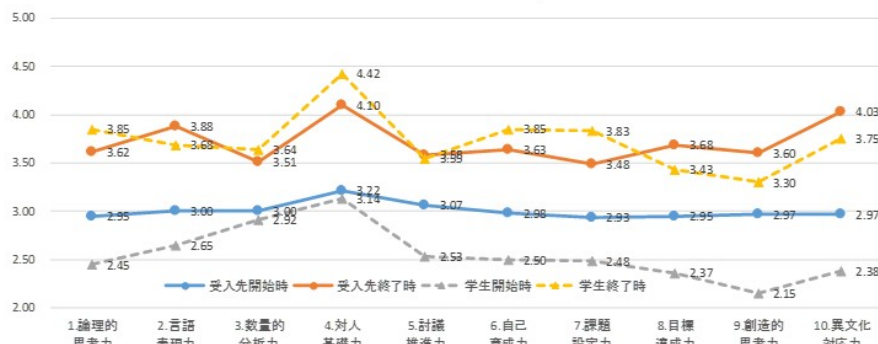
|        |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|--------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 販売業(3) | 受入先開始時 | 3.33     | 3.67    | 3.33     | 4.00    | 3.33    | 3.33    | 3.00    | 3.33    | 3.00     | 3.00      |
|        | 受入先終了時 | 4.00     | 3.67    | 3.67     | 4.67    | 3.33    | 4.00    | 4.00    | 4.00    | 3.00     | 3.67      |
|        | 伸び幅    | 0.67     | 0.00    | 0.33     | 0.67    | 0.00    | 0.67    | 1.00    | 0.67    | 0.00     | 0.67      |
| 販売業(3) | 学生開始時  | 2.33     | 3.00    | 3.33     | 2.50    | 2.67    | 2.00    | 2.33    | 2.00    | 2.33     | 2.33      |
|        | 学生終了時  | 3.33     | 3.67    | 3.67     | 3.50    | 3.33    | 3.67    | 3.67    | 4.00    | 3.33     | 3.67      |
|        | 伸び幅    | 1.00     | 0.67    | 0.33     | 1.00    | 0.67    | 1.67    | 1.33    | 2.00    | 1.00     | 1.33      |



## 業種別(サービス業)

- サービス業では、受入先では「異文化対応力」「対人基礎力」「言語表現力」の伸びが大きい。
- 学生では「論理的思考力」「課題設定力」「異文化対応力」の伸びが大きい。

サービス業 評価平均



上位3位までピンクで網掛けしています。

|           |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|-----------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| サービス業(60) | 受入先開始時 | 2.95     | 3.00    | 3.00     | 3.22    | 3.07    | 2.98    | 2.93    | 2.95    | 2.97     | 2.97      |
|           | 受入先終了時 | 3.62     | 3.88    | 3.51     | 4.10    | 3.58    | 3.63    | 3.48    | 3.68    | 3.60     | 4.03      |
|           | 伸び幅    | 0.67     | 0.88    | 0.51     | 0.88    | 0.52    | 0.65    | 0.55    | 0.73    | 0.63     | 1.07      |
| サービス業(60) | 学生開始時  | 2.45     | 2.65    | 2.92     | 3.14    | 2.53    | 2.50    | 2.48    | 2.37    | 2.15     | 2.38      |
|           | 学生終了時  | 3.85     | 3.68    | 3.64     | 4.42    | 3.55    | 3.85    | 3.83    | 3.43    | 3.30     | 3.75      |
|           | 伸び幅    | 1.40     | 1.03    | 0.72     | 1.29    | 1.02    | 1.35    | 1.35    | 1.07    | 1.15     | 1.37      |

## 業種別(金融業)

※該当数が少なく参考値として掲載

金融業 評価平均



上位3位までピンクで網掛けしています。

|        |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|--------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| 金融業(5) | 受入先開始時 | 3.00     | 2.75    | 2.75     | 3.00    | 2.50    | 3.00    | 3.00    | 2.67    | 2.33     | 3.33      |
|        | 受入先終了時 | 4.00     | 3.50    | 3.50     | 4.00    | 4.00    | 4.50    | 4.67    | 4.33    | 3.67     | 4.67      |
|        | 伸び幅    | 1.00     | 0.75    | 0.75     | 1.00    | 1.50    | 1.50    | 1.67    | 1.67    | 1.33     | 1.33      |
| 金融業(5) | 学生開始時  | 3.00     | 2.40    | 2.80     | 2.40    | 3.00    | 2.80    | 2.40    | 2.80    | 2.40     | 3.00      |
|        | 学生終了時  | 4.00     | 3.00    | 2.80     | 4.20    | 4.20    | 3.60    | 4.00    | 3.80    | 3.00     | 4.00      |
|        | 伸び幅    | 1.00     | 0.60    | 0.00     | 1.80    | 1.20    | 0.80    | 1.60    | 1.00    | 0.60     | 1.00      |

## □ 業種別(その他業種)

- その他業種では、受入先では「対人基礎力」「言語表現力」「自己育成力」の伸びが大きい。
- 学生では「課題設定力」「自己育成力」「討議推進力」の伸びが大きい。

その他業種 評価平均

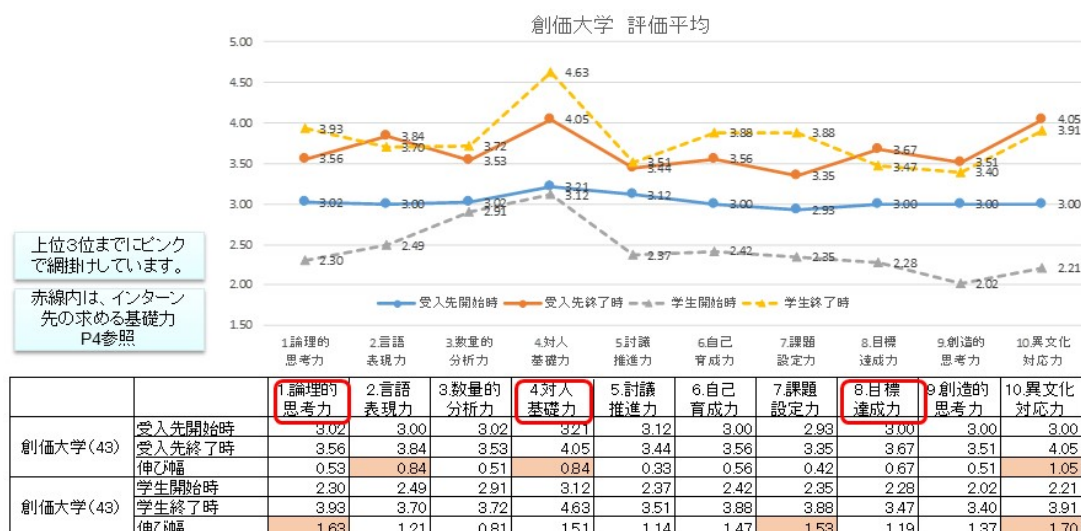


上位3位までリンクで網掛けしています。

|         |        | 1.論理的思考力 | 2.言語表現力 | 3.数量的分析力 | 4.対人基礎力 | 5.討議推進力 | 6.自己育成力 | 7.課題設定力 | 8.目標達成力 | 9.創造的思考力 | 10.異文化対応力 |
|---------|--------|----------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|-----------|
| その他(34) | 受入先開始時 | 2.88     | 2.76    | 2.82     | 3.06    | 2.68    | 3.00    | 2.85    | 2.94    | 2.82     | 2.79      |
|         | 受入先終了時 | 3.56     | 3.62    | 3.06     | 4.09    | 3.44    | 3.79    | 3.59    | 3.35    | 3.26     | 3.56      |
|         | 伸び幅    | 0.68     | 0.85    | 0.24     | 1.03    | 0.76    | 0.79    | 0.74    | 0.41    | 0.44     | 0.76      |
| その他(34) | 学生開始時  | 2.76     | 2.71    | 2.73     | 3.26    | 2.71    | 2.71    | 2.65    | 2.62    | 2.29     | 2.50      |
|         | 学生終了時  | 3.79     | 3.50    | 3.27     | 4.21    | 3.74    | 3.79    | 3.91    | 3.59    | 3.12     | 3.53      |
|         | 伸び幅    | 1.03     | 0.79    | 0.55     | 0.94    | 1.03    | 1.09    | 1.26    | 0.97    | 0.82     | 1.03      |

## □ 大学別 創価大学

- 創価大学個別で見ると、受け入れ先の評価として、「言語表現力」「対人基礎力」「異文化対応力」の伸びが大きい。学生の評価としては、「論理的思考力」「課題設定力」「異文化対応力」への幅が大きい。
- 企業の求める「対人基礎力」「論理的思考力」の評価は受入先と学生ともに伸びが高いが、「目標達成力」はやや伸びが低い。



## □ 総括

- 企業が学生に求める基礎力は、「対人基礎力」「目標達成力」「論理的思考力」と続いて高くなっている。一方「数量的分析力」は低い。
- 一方、学生が必要と考える基礎力は、企業ニーズ同様「対人基礎力」「論理的思考力」があり、その他、「異文化対応力」も必要と考える学生が多い。
- インターンシップ前後測定で見ると、受入先、学生共に、全ての項目において伸長しており、学生にとって、成長を感じた有意義な体験だった事が想定される。又、企業側も、学生の成長を感じている事がわかる。
- 期間別に見ると、短期、中期、長期共に、「課題設定力」の伸長は高い。又、短期、中期では「対人基礎力」の伸長が高いのに対し、長期、最長期では、「論理的思考力」の伸長が高くなっている。短期間ではなく、長期間のプログラムだからこそ、学生に課題を与えたりと論理的に考えさせる訓練を積み重ねられている事が想像できる。

## 2-3. 大学間連携の状況

### 和泉短期大学・北里大学「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」

関東山梨地域大学グループ内産学連携事例として、和泉短期大学、北里大学、そして産業界委員として参画されているさがまちコンソーシアムの「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」があげられる。

これは、本グループのシンポジウム開催時にPBLの成果発表の一環として北里大学の「アクアリウム・ラボ」プロジェクトを展示した。この展示がきっかけで、和泉短期大学が行っている親子のひろば「はっぴい」に参画し、その後発展。さがまちコンソーシアムが運営管理されているユニコムプラザさがみはらを会場に、両大学の学生を中心に企画運営し、700名あまりの来客を得た。



2015年1月20日  
産官学地域共同によるインターンシップの高次化  
和泉短期大学・北里大学  
「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」  
の取組ー繋がる力・繋げる力ー



和泉短期大学 平田 美智子

### インターンシップの高次化とは

インターンシップのタイプ

- ①事務の手伝いや営業先への同行など、社員のそばで仕事を体験したり、見たりする
- ②座学で企業の説明を受けたり、工場を見学したりする
- ③参加学生同士でグループを作り、新商品の発案など企業から与えられた課題に取り組む  
ー「はっぴいアクアリウムプロジェクト」

北里大学と和泉短期大学の学生同士でグループを作り、市民(親子)向けのイベントを企画し実施する、持ち込み型のインターンシップ

### きっかけは(なぜ北里と和泉)?

- ・2013年関東山梨大学グループの中間発表会で北里大学の「アクアリウムラボ」が移動水族館を開催
- ・和泉短期大学の子育てひろば「はっぴい」で移動水族館を開催してもらうよう依頼、和泉のボランティアサークルの学生も協力することになった  
→6月実施、成果あった(両大学の学生約20人の共同作業可能) → 北里学生と和泉学生を **繋げる**

### 「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」 スタート(2013年6月) **繋がった!**



### インターンシップ先 相模原市立市民・大学交流センター 「ユニコムプラザさがみはら」

運営団体: 社団法人さがまちコンソーシアム

- ・「ユニコムプラザさがみはら」では市民を対象とし、大学生・市民ボランティアによるイベント企画を募集していた。
- ・学生と市民の交流を目的とした、より大きなイベント企画を実施する公共施設として最適であった。



- \*「一般社団法人さがまちコンソーシアム」は関東山梨大学協議会のメンバーであり、北里大学の産業界の協力機関でもあった。
- \*学生が、市民向けのイベント(子ども体験イベント)を企画・運営するので、会場・会議室の提供、企画・運営の支援をしてほしいと依頼する。
- \* (しかし、明確なイメージは依頼した側も、依頼された側も持っていなかった) → 何とか **繋げる** ことには成功

### インターンシップのプログラムと目標

- ・インターンシップは学生の自主的な活動で、授業ではない。
- ・相模原市の施設で、親子を対象としたイベント(移動水族館や子育てひろば)を学生グループが企画・運営する。
- ・その過程で、学生は**就業力(企画力・実行力・協調性・コミュニケーション能力・チームワーク他)**を伸ばしていく。
- ・インターンシップ先の施設の運営に当たる「さがまちコンソーシアム」の職員にイベント開催について学びながら進める。大学と「さがまちコンソーシアム」が連絡調整する。

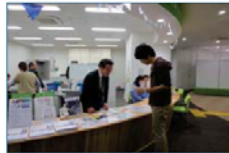
### 目標(子ども体験イベントの開催)

- ・子ども体験イベント開催ー2013年11月23日(土・祝)
- ・主催: 「はっぴいアクアリウムプロジェクト」(北里大学・和泉短大)
- ・共催: 一般社団法人さがまちコンソーシアム
- ・協力: 「相模原に冒険遊び場をつくる会」(市民団体)
- ・両大学の学生は数名からなる実行委員会を作り、会議はユニコムプラザ会議室で行い、職員・大学教員も同席し、学生はアドバイスを受けた(会議の運営も学んだ)



## イベント開催までの準備

- ・地域の市民団体(冒険遊び場)へ協力依頼、プログラム作り、広報(チラシ・ポスター作成、配布)、
- ・ユニコム職員の方から広報などの助言を受けた。



社会に出てイベントなどを企画・運営するための準備

## 2013年度

| 時間          | 10:30~                                                                                                                                              | 13:00~14:30 | ~15:00 |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------|
| ロビー         | おもちゃ作り<br>(和泉短期大学ボランティアグループ)                                                                                                                        |             |        |
| セミナー<br>ルーム | 講演会                                                                                                                                                 |             |        |
| 実験室2        | ミニ水族館<br>(北里アクアリウムラボ)                                                                                                                               |             |        |
| マルチ<br>スペース | 冒険遊び場 (和泉・相模原に冒険遊び場をつくる会「和泉・相模原の冒険遊び場」)<br>・和泉・相模原の冒険遊び場をつくる会「和泉・相模原の冒険遊び場」<br>・和泉・相模原の冒険遊び場をつくる会「和泉・相模原の冒険遊び場」<br>・和泉・相模原の冒険遊び場をつくる会「和泉・相模原の冒険遊び場」 |             |        |

講演会「遊びが子どもと大人の  
パートナーシップ」  
・和泉短期大学、子育てひろばなど、子どもが  
遊ぶことも大人が遊ぶ場所のあり方について二人の  
実例から考えていきます。

講師：中川 市子(和泉短期大学) 渡辺 孝一(和泉短期大学)  
司会：和泉 孝一(和泉短期大学)

会場：ユニコムプラザさがみはら  
和泉短期大学から徒歩5分

入場料：無料  
予約：不要

## イベントは成功

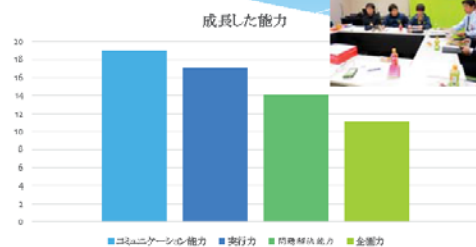
- ・大勢の親子(約700名)が参加。運営した学生は50人。
- ・学生企画の水族館やおもちゃ作り、冒険遊び場など体験型プログラムが大好評
- ・子どもが喜ぶので親たちも満足
- ・当日は事故や怪我人もなかった



## イベント後の学生の振り返り

- ・【良かった点】
- ・専門分野の異なる大学の学生から、互いに学び合うことが多かった。
- ・他大学の学生と交流でき、刺激になった。
- ・【困難だった点】
- ・スケジュール決定や連絡。会議で議論が少なかった。
- ・大学ごとの意見があり、歩調が合わない。価値観が違う。
- ・学生同士の交流があまりなかった。一繋がる力必要

## プロジェクトを通して成長した能力 (学生自身の評価)



## 2014年度「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」スタート

4月に新メンバーによる実行委員会発足

- ・両大学参加学生の親睦を図る仕掛け(繋がる力)
- ・7月に合同会議と親睦会
- ・11月23日(日)、合同事前準備会



- ・子ども体験イベントは12月7日(日)開催
- ・プログラムはできるだけ子どもが楽しめる企画
- ・北里と和泉の合同企画「わくわく冬の魚祭り」

## 2014年度「はっぴいアクアリウム・プロジェクト」主催 「子ども体験イベント〜ここに魚が! 遊び場が!」

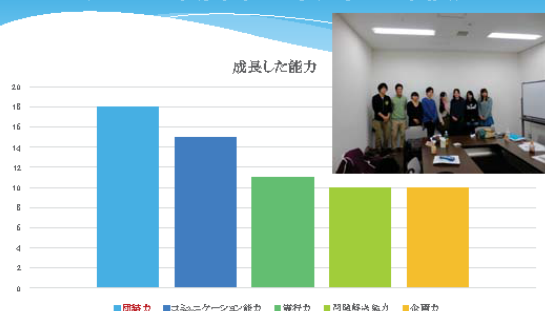
会場  
日程:2014年12月7日(日)10:30~15:00  
場所:ユニコムプラザさがみはら全館

### プログラム

- 1.北里アクアリウムラボミニ水族館(北里)
- 2.おもちゃ作り(和泉)
- 3.冒険遊び(和泉、相模原に冒険遊び場を作る会)
- 4.ステージ(市民団体、和泉、北里)  
和泉、ピアノ(手遊び)、手話部、ジャグリング部
- 5.和泉・ラボ共同企画「わくわく!!冬の魚祭り」  
魚釣り・シルエット合わせ一緑日(案)輪投げ、空き缶ピラミッド、空気砲
- 6.アクアカルチャー(タコ解剖教室)  
内容「タコの解剖教室」
- 7.スタンブリー「魚の不思議な〜つけた」(和泉)、景品(北里)



## プロジェクトを通して成長した能力 (2014年度学生自身の評価)



## 2014年度学生の振り返り (アンケートに寄せられた意見)

- \* コミュニケーションと情報共有の大切さ
- \* お互いの長所を理解し、それを企画に生かす



- \* インターンシップ先・教職員への要望
- \* 「もう少し社会人(職員・先生)からの大人目線(社会ではこうやっている、..みたいな)の意見が欲しい」
- \* 「学生ではできない部分のフォロー」
- \* 「第三者からの問題点の指摘。ただし、明確に示すのではなく、学生自身が気付くようにする」

## 支援する側の課題 ー大学がインターンシップ先に依頼ー

- \* プロジェクト(インターンシップ)の教育目標を明確にする
- \* インターンシップの教育的効果を具体的に提示する(コミュニケーション能力、チームワーク他)
- \* 目標達成のための支援を具体的にインターンシップ先に依頼する(どのタイミングでどのように学生に伝えてほしいなど)
- \* 大学とインターンシップ先が定期的に支援の在り方について話し合う
- \* 支援のマニュアル化 → 次年度の目標

## インターンシップを企画する

- \* 目標設定(教育的効果): **繋がる力**
- \* 目標達成までの支援方法の計画
- \* 効果測定と省察
- \* インターンシップ先と大学との **コミュニケーション: 繋げる力**



ご清聴ありがとうございました



## 2-4. 各大学の取組状況

### 宇都宮大学

#### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | <p>1. 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化</p> <p>(1) 産官学連携によるキャリア開発科目の実践と教材開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グローバル化に対応したキャリア形成のために、グローバル社会の最前線の実務経験者等を講師とするなど、地域の産業界(公益社団法人栃木県経済同友会など)等とも連携し、産官学による連携科目を開発し実施する(「企業のグローバル戦略とキャリア形成」(2単位)など)。地域産業界等と連携して教材開発の取組を推進する。</li> <li>キャリアフェスティバルでは、グローバル化を積極的に推進している企業の参加を求め、学生が第一線で活躍している企業人に触れる機会を拡げる。また、保護者の積極的な参加を促す。</li> </ul> |
| ○  | <p>(2) 産官学と連携した円卓会議の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産業界のニーズを把握し PDCA サイクルによる教育改善を持続的に行う組織的な基盤として、栃木県、公益社団法人栃木県経済同友会、民間企業を構成員とするグローバル人材育成のための「円卓会議」を設置し、キャリア科目の開発や国際インターンシップに取り組む。</li> </ul>                                                                                                                                                                     |
| ○  | <p>2. 産官学地域共同によるインターンシップの高次化</p> <p>(1) 国際キャリア合宿セミナーの実施と教材開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際キャリア合宿セミナーとして「国際キャリア開発基礎」(2単位)や「国際実務英語Ⅰ」(2単位)などを、休業期間を利用した集中合宿を通じて行い、実践的な英語運用力の向上などのキャリア教育を実施する。</li> <li>連携校からも学生の参加を募集するとともに教材開発を図り、産官学と連携校の知見を活かした共有化に努める。</li> </ul>                                                                                             |
| △  | <p>(2) 国際インターンシップの実施とマニュアルの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産官学連携(特に公益社団法人栃木県経済同友会等との連携)によって「国際インターンシップ」(2単位)を行う。</li> <li>リスク管理等のマニュアルを作成し連携校との意見交換等を通じて共有化できる教材開発に努める。</li> </ul>                                                                                                                                                                               |
| △  | <p>3. 期間終了後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業の期間終了後は、自己評価、連携校による評価、産業界からの評価(「円卓会議」での評価)から評価報告書を作成し、成果と課題を明らかにする。</li> <li>本事業で取組むキャリア開発科目とインターンシップの高次化は、本学のグローバル人材育成の目標を達成するための重要な実践の一つと位置付けており、事業終了後も産官学の連携を一層発展させながら、大学の経常経費等を充てて継続させる。</li> </ul>                                                                                                           |

#### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制                                               |
|----|-------------------------------------------------------------------|
| ○  | <ul style="list-style-type: none"> <li>本学ホームページによる情報発信</li> </ul> |

## ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

### 1. 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化

#### (1) 産官学連携によるキャリア開発科目の実践と教材開発

- ・ グローバル社会の最前線で活躍している実務経験者による基盤キャリア教育科目「働くことの意味と実際(グローバル時代のキャリア形成)」を開講し、グローバル展開する企業の人事政策やグローバルな環境で活躍するためのキャリア形成など、グローバル化に対応したキャリア科目の拡充を図ることができた。  
また、キャリアフェスティバルにおいても、グローバル化を積極的に推進している企業(地元企業を含む)で経営や人事に携わり活躍している方をパネリストに迎え、シンポジウムや分科会で学生と交流する機会を上げた。なお、保護者に対し積極的な参加を促した結果、平成 25、26 年度の 2 年間で合計 365 名の参加があった。
- ・ 経済社会の状況・企業経営・職業・人々の働き方の実態を理解し、進路・職業選択ができる目を養うことを目的とした基盤キャリア教育科目「人間と社会」において、産業界からのゲストスピーカーによる講義の充実を図り、また、「キャリアデザイン」、「企業のグローバル戦略とキャリア形成」及び宇都宮市と大学コンソーシアムとちぎとの連携科目「起業の実際と理論(アントレプレナーシップの養成)」において、複数の企業人や創業経営者をゲストに迎え学生指導や交流の機会を設けるとともに、OB・OG との意見交換の場を設け企業・企業人の理解と大学の学びとの関係の理解のためのプログラムを拡充するなど産業界のニーズを取り入れたカリキュラムの改善が図れた。
- ・ さらに平成 25 年度からは地元企業と密接に連携し、チーム型の長期インターンシップである「課題発見・解決型インターンシップ」を開始、平成 26 年度は受入先を4企業(平成 25 年度1企業)に拡充するとともに、受入企業毎に指導・助言体制の拡充を図った。

以上のプログラムの実施により、学生は企業が世界を見据えて活動していることを実感し、こうした社会の中で働くことのリアルな認識と学びへの意欲を醸成するとともに、主体性、起業家精神、課題解決力などのジェネリックスキルの育成が図られていることが、実施後の学生の感想文や授業評価、企業からの評価により明らかとなった。

また、各学部における独自のキャリア教育の取組との具体的な連携を進めることに役立っている。

#### (2) 産官学と連携した円卓会議の設置

「産業界のニーズに対応した教育改善のための産官学会議」を2度開催(25・26 年度)し、特に本学と産業界の連携協力の在り方では貴重な意見(インターンシップに関しては、企業側のプラス面や技術面の解決は不可能であり期待しすぎないことが必要等々)を頂き、本事業推進に役立てることができた。

### 2. 産官学地域共同によるインターンシップの高次化

#### (1) 国際キャリア合宿セミナーの実施と教材開発

平成 25 年度から、内容の充実を図るとともに科目を整理し、科目名を「国際キャリア開発」と「国際実務英語(平成 26 年度からは「International Career Seminar」)」に変更して実施した。

平成 26 年度には、「事前学習資料集」「合宿セミナーワークブック」を作成し、受講者が2泊3日の短期間でも効率的に学修し、セミナーの目的を十分に達成できるようにした。また、栃木県経済同友会とは、栃木県内の企業等からの分科会講師派遣について協力体制を確立することができた。これらの改善の結果、語学力や国際経験等、そこだけが重視されるのではなく、他を尊敬し共感し、グローバルについて自らの活動から多様的に広く捉えることができた等、実施後の学生アンケート等からも好評を得た。

#### (2) 国際インターンシップの実施とマニュアルの開発

海外の企業等でインターンシップに参加し、国際的な生の現場において実務的・実践的な体験を通して、専門知識だけでなく、語学力、コミュニケーション能力、異文化理解など、国際化の進展に伴う産業界や地域社会等のニーズに対応できる能力が育成された。また、インターンシップ実施により、海外への関心が強くなった学生も多く、終了後に、より長期の海外留学に参加した学生もあり、国際インターンシップへの参加による効果が現れている。

## 電気通信大学

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                                                                        |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 二重構造にある本学のキャリア教育を整備するとともに「関東山梨地域大学グループ」における連携を通じて、本学のキャリア教育の高度化と産業界のニーズを的確に捉えた教育体制への改善・充実を進めていく。                                                                                                                     |
| ○  | 幹事校として、中核組織に参加する 10 の経済等団体を中心とする産業界のニーズを把握し、各校の教育改善への取組の調整役としてテーマ別幹事校である横浜国立大学、東京経済大学、昭和音楽大学の協力を得ながら、教育改善の実現にリーダーシップを発揮する。                                                                                           |
| ○  | 連携による教育改善の効果を確実なものとするために、新規に教員を採用して連携業務と本学のキャリア教育担当をそれぞれ 1/2 ずつ担当する。                                                                                                                                                 |
| ○  | 本教員は、事業遂行のために積極的に中核組織や協力企業・経済等団体及び参加各校を訪問して、現場の実態を把握しながら教育改善の実現を目指すグループ参加各校と産業界の調整役としての役割を担っていく。                                                                                                                     |
| ○  | 平成 24 年度においては、中核組織の協議会を始め、FD研修会やシンポジウムを開催する。                                                                                                                                                                         |
| △  | 更に、「関東山梨地域大学グループ産学連携事業取組集」の作成と関東山梨地域大学グループ共通ホームページ・基本部（グループ取組概要、各大学取組紹介、グループ会議議事録等文字情報追加機能）を完成して、広報に活用するとともに産業界との連携ツールとする。                                                                                           |
| ○  | 本学のキャリア教育においては、学生の勉学に対するモチベーションと、社会人基礎力の向上を基本においたコミュニケーション力の向上に取り組んでいく。                                                                                                                                              |
| ○  | 1. キャリア教育科目の再編<br>1) キャリア教育演習<br>① キャリア教育演習（昼間コース全学必修）<br>・今回の見直しで、平成 25 年度より通年隔週開講から 1 学期毎週開講に変更する。<br>・学年横断教育（3 年生と一部合同授業）を開始する。<br>・身近な先輩である 3 年生との合同授業で学び、学生同士のピアサポート体制を導入する。                                    |
| ○  | ② 電気通信大学概論（選択必修）1 年生後学期<br>今回の見直しで、平成 25 年度より 1 学期から 2 学期に変更する。                                                                                                                                                      |
| ○  | 2) 2 年次のキャリア教育<br>① キャリアデザイン 1（選択必修）2 年生前学期（3 学期）<br>② キャリアデザイン 2（選択必修）2 年生後学期（4 学期）                                                                                                                                 |
| ○  | 3) 3 年次のキャリア教育<br>① キャリア教育演習リーダー（平成 25 年度新規開講：平成 23 年度入学生から必修科目）<br>・1 年生と 3 年生の合同授業<br>1 年生との合同授業を通じて 1 年生にアドバイスする過程で、自らの生活習慣、勉学、キャリアデザインについて考える機会とする。平成 25 年 4 月から開講するため平成 24 年度において教材開発を行う。                       |
| ○  | ② その他のキャリア教育科目（ベンチャービジネス概論、技術者倫理等）を継続                                                                                                                                                                                |
| ○  | 2. 産学官連携によるキャリア教育の推進<br>① 上記事業所（企業等）見学は、企業と政府系機関等を合わせて 48 事業所の協力を得ている。8 年間に渡り継続しながら協力企業等を増やしてきたなかで、運営ノウハウを獲得してきた。本取組において更に発展強化することを本事業の中核に据え、学生がインターンシップに参加する前段階で低学年次のブレインターンシップとして位置づけることで、インターンシップに参加する学生数の増加を目指す。 |

|   |                                                                                                                                                                                                                        |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○ | <p>②企業のニーズを把握する</p> <p>平成 24 年度に本学の学生の事業所(企業等)見学を受入れていただいた担当者(主として窓口は人事部門)と懇談に協力いただいた若手エンジニア(主として本学の卒業生)にアンケートを行い、本学の学生(1, 2 年生)が近い将来産業界で活躍するために必要な能力や欠けていると考える能力について調査して、その結果をまとめ、本学のキャリア教育に反映していく。</p>               |
| ○ | <p>③情報の共有化</p> <p>上記②の内容を関東山梨地域大学グループ協議会に報告して、内容について意見交換を行う。更に、シンポジウム等において、発表して、全国のキャリア教育関係者で共有する。</p>                                                                                                                 |
| ○ | <p>3. 本事業の支援期間終了後の取組</p> <p>本学では、平成 22 年度の学部改組において、キャリア教育を基礎教育における重要な教育と位置付けて選択必修科目とした。また、大学生の就業力育成支援事業で、必修科目を 2 科目追加した。平成 24 年度は非常に厳しい予算状況にあり、本事業における支援が必須であるが、本事業における支援が終了する平成 27 年度以降については、学内予算で本事業と同等の取組を継続する。</p> |

#### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制            |
|----|--------------------------------|
| ○  | ・「関東山梨地域大学グループ案内パンフレット」による情報発信 |
| ○  | ・共通ホームページによる情報発信               |

#### ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>幹事校として、本学とはまったく異なる 13 大学のキャリア教育に接して、自らのキャリア教育科目を振り返るいい刺激となっただけではなく、具体的に他大学の取組内容を具体的に活かした事例もあった。</p> <p>他大学に講義を公開する合同 FD の基礎となったのは、第 1 回の産学協働協議会時に教育改善研究会を共催し、本学のキャリア・デザイン 2 の講義見学であり、産業界委員が、現状の大学のキャリア教育を理解するよい機会になるのと同時に他大学へのいい影響を与えることができた。また、産業界委員及び他大学の教職員から様々なフィードバックを得ることができた。</p> <p>テーマ A において、連携校各大学との信頼関係を構築したことで、テーマ B の 7 大学での合同講義にも結び付いた。また、本学で開催している事業所見学のノウハウを移転する基礎となった。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 横浜国立大学

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | ①キャリア教育開発科目の高次化のグループ幹事校となる。より明確に産業界のニーズを把握し、効果的にギャップ分析・解消を目指した取組を推進する。                                                                                       |
| △  | (1)産業界ニーズの把握 ①産業界と教職員による協議会の設置<br>日産自動車(株)と関係教職員を中心に定期的に協議会を開催し、産業界の第一線担当者による最新のニーズに関する意見交換やカリキュラム編制への省察を行い、実務家とともに科目開発を行う。<br>→定期的に協議しているが、産学連携科目の開発は継続検討中。 |
| ○  | (1)-②産業界のニーズ把握に関するアンケートの実施<br>就職ガイダンスや産学連携等による連携企業に対して、企業が求める人材像及び学生に求める力についてアンケートを実施し、その分析結果をカリキュラムマップ編成時にフィードバックする。                                        |
| ○  | (1)-③本事業の連携校の知見の活用(関東山梨地域産学協働協議会の連携企業のニーズ把握)<br>連携校及び連携校の提携企業等のニーズを把握することが可能となることから、多角的な視点で産業界が学生に求める力を把握し、本学の学生が身に付けた力とのギャップについての分析に資する。                    |
| ○  | (2)新アクティブラーニング型キャリア教育の充実<br>能動的学修(アクティブラーニング)への転換を意識した新しいキャリア教育を更に充実する。双方向型の新たなキャリア科目を主に1,2年次が履修する教養教育科目(2単位)に新設する。                                          |
| ○  | (3)産業界ニーズと大学の人材育成とのギャップを分析<br>産業界が身に付けて欲しい力と学生に身につけた力とのギャップについて検証し、カリキュラムマップ編成時にフィードバックする仕組み(学内協議会運営と連動)を構築する。さらに本学卒業生に対する産業界(就職先)の評価、ニーズ把握と状況の推移等を分析する。     |
| ○  | (4)ポートフォリオによる振り返り<br>平成25年度から稼働予定のポートフォリオシステムにより、紙媒体のキャリアデザインファイルのWEB化、提出用ポートフォリオ(学修成果・キャリアデザインの振り返り)を推進する。                                                  |
| ○  | 期間終了後の取組<br>自己評価、成果報告会等を含めた評価書を作成し、成果と課題を明確にする。また、本事業は恒常的なキャリア教育高次化のため、終了後は大学の経常経費等を充てて事業を継続させる。                                                             |

### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制                                                                                                                        |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 本学のウェブサイトにおいて、本事業の取組内容、経過、成果等を逐次情報提供する。大学ウェブサイトの教育において採択された場合の本申請事業の取組内容を情報提供する。大学教育総合センターのホームページは、リニューアルにより本事業の取組を効果的に情報発信するページを設ける予定である。 |
| ○  | 連携校共同で作成予定のホームページと、本学のキャリア教育サイトをリンクさせることによって情報共有・連携を図る。取組を共有するため連携校と同ホームページに内容、経過等を逐次情報提供する。                                               |
| ○  | 毎年、新入生の入学時及びオープンキャンパス等で入学希望者・保護者等へ配布しているキャリア教育パンフレットにおいて本事業における取組を効果的に情報発信する予定である。                                                         |

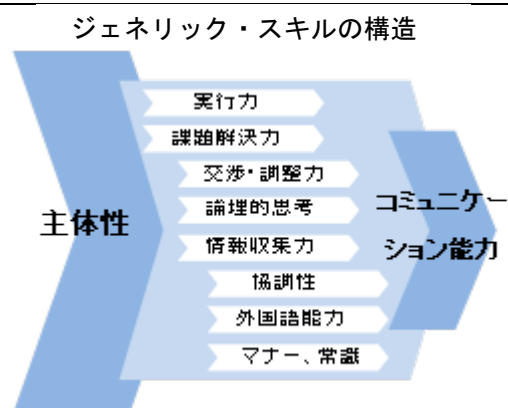


## ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

### 1. 産業界ニーズの把握

ジェネリック・スキルの構造と新卒社員の具体的な課題を探り、キャリア教育の改善に資する目的で、企業人事担当者および卒業生36名にインタビュー調査を実施し(H25年8～9月)、ジェネリック・スキルの構造や、産業界が大学教育に求めることを把握した。なお、調査結果の概要は、「2-2 テーマ別の取組:テーマ1」参照。

この調査結果を含め、本事業の合同FDや研究会等で紹介された多様な先進事例を参考に、本学キャリア教育科目の新規開設または改善を進めている。なお、この調査結果は、本事業・教育改善研究会で共有し(H25年12月)、産業界ニーズの理解の深化に資した。



### 2. キャリア教育科目の高次化とアクティブ・ラーニングの推進

本事業の成果を元にH26年度までに5科目を新設した。H27年度にはさらに2科目新設を予定している。アクティブ・ラーニングや産学連携を取り入れ、学生の授業満足度は全学平均を大幅に上回っている。

| 新設キャリア関連科目      | 新設時期  | 授業手法の特徴            | 学生授業アンケート<br>総合満足度(4段階) | 出席率 |
|-----------------|-------|--------------------|-------------------------|-----|
| キャリアデザイン A      | H25 春 | 調べもの学習型 PBL、グループ発表 | 3.55 (平均 3.24)          | 92% |
| キャリアデザイン B      | H25 秋 | グループディスカッション、反転授業  | 3.78 (平均 3.29)          | 92% |
| キャリア・ケーススタディ    | H25 秋 | 産学連携:現役社会人の体験談     | 3.82 (平均 3.29)          | 88% |
| ビジネス・コミュニケーション  | H25 秋 | グループディスカッション、反転授業  | 3.82 (平均 3.29)          | 85% |
| Wake up! プロジェクト | H26 春 | 産学連携:課題解決型 PBL     | 3.82 (平均 3.24)          | 98% |
| まなび座Ⅰ(予定)       | H27 春 | 産学連携:社会人とのディスカッション | —                       | —   |
| まなび座Ⅱ(予定)       | H27 春 | グループワーク、ディスカッション   | —                       | —   |

### 3. 本事業に参加して

グループ各校の教育方針、学生の資質、希望進路先は多様であり、求められるキャリア教育のありかたも多様である。本学内においても、学生の資質、能力は多様である。さらに産業界のニーズは、企業により温度差があり、時代の変化とともに変容する。常に産業界および学生のニーズを把握して、キャリア教育に反映すること、結果を検証し改善するサイクルを回すことが大学の責務と再認識した。



## 亜細亜大学

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 従来から外部講師による特別講義を実施しているが、今後は、産業界、官公庁で活躍している経営者・実務家などマネジメントする立場にある講師を中心に依頼し、各産業界の現状、将来展望および社会が求めている人材像、学生時代に身に付けるべき能力等を講義いただく。 |
| △  | 特別講義の中で、産業界が求めているニーズを学生自身が的確に把握し、自らが考え、行動に移すことを目指す動機付けの役割を果たす。                                                               |
| ○  | 経営学部の科目である「トップマネジメント特別講義」をはじめとした、特別講義については、開設学部にとどまらず、全学部の学生が聴講するのはもちろん「関東山梨地域大学グループ」へも順次公開していく。                             |
| ○  | 「オリエンテーションゼミナール」の授業は、経営学の専門科目への連結が重要であり、1 年次後期に開講する「基礎ゼミナール」にてグループ学習による企業訪問・工場見学などインターンシップの雛形を実践し、学生自ら産業界のニーズを体感認識する計画である。   |
| △  | 「基礎ゼミナール」に実務家教員による講演会などを取り入れ、グループ学習の中でリーダーシップや責任感、協調性などを涵養していく。                                                              |
| ○  | 学生が社会的・職業的に自立するためには、自らの成長度の把握が必須であり、すでに導入している就業力認定マイレージシステムを利用し、全教員が個々の学生の成長度を可視化できるシステムを活用し、必要に応じて教員が面談等を通し指導助言をする。         |
| ○  | 一大学が産業界と独自に連携していくには自ずから限界があるため、平成 24 年度から新たに『関東山梨地域産学協働協議会』へ参加し、取組範囲の拡大を図る。                                                  |

### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制                                                    |
|----|------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 取組内容及び取組成果は、学内ネットワークを介して教職員・学生へ逐次周知報告すると共に学外へも大学ホームページを通して広く社会へ公開していく。 |
| ○  | 在学生の父母については、毎月定期的に学内広報紙を通して報告できる体制となっている。                              |

## ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

### 1.インタビュー実践（オリエンテーション・ゼミナール）の成果について

#### H26 インタビュー実践に関する満足度調査結果

| 項目               | H24   | H25   | H26   |
|------------------|-------|-------|-------|
| 「インタビュー実践の取組」に満足 | 78.6% | 79.9% | 81.6% |
| 「聴きとる力」が向上した     | 77.9% | 79.7% | 81.2% |
| 「文章を作る力」が向上した    | 75.7% | 79.3% | 83.2% |
| 「行動する力」が向上した     | 78.0% | 77.1% | 81.8% |
| 「自立する力」が向上した     | 59.3% | 63.8% | 70.5% |
| 「生きぬく力」が向上した     | 54.3% | 54.2% | 60.3% |

授業開始当初から、一定の評価を学内外でもらっている『インタビュー実践！』。取り組んでいる学生たち自身の反応は、最初4月の時点ではまだ面倒臭がっているが、記事作成後のアンケートではほぼ80%以上の学生が満足している。また、教授する側の教員の指導技術も向上しているせいか、1年目、2年目、3年目と少しずつ評価が高くなっていることが分かる。とくに「文章を作る力」の満足度が高く、これは添削の丁寧な指導と、徹底した記事再提出の仕組みが充実しているからであろう。

文章の上達に近道は無く、いかに丁寧な指導を心がけるかが重要な決め手になってくる。また、文章上達のためには作品を完成させる経験を多く積ませることが大切であるのだが、その完成への目標として、優秀作品集を毎年刊行していることが効果的であることが分かる。「自立する力」の向上も2年前と比較して10%以上も向上し、このプログラムの汎用性、有益性が推し量られる。

### 2.就業力マイレージシステムの活用状況及び成果について

本学で稼働させたポートフォリオ的なシステムに、就業力マイレージシステム(以下、「就マイ君」)がある。

本学経営学部には、1年次から4年次まで2,143名の学生が在籍している。平成27年2月5日現在、就マイ君に登録された活動記録数は、14,095件であり、1人平均6.6件である。現実には、1件以上登録した学生数は1,631名であり、最高70件の登録をした学生がいる一方、512名は未活用である。特に1・2年次の未登録者が多いため、入学時オリエンテーションで本システムを紹介し、その場で登録させるとともに、3年次必修科目「トップ・マネジメント特別講義」の毎回の授業について自分はどうか考えたかを登録させるように指導した。その結果、3年次後期にはほぼ全員が10回以上の登録を行うようになった。

活動登録区分は、学業、キャリア、サークル、ボランティア、その他であるが、上述のようにトップ・マネジメント特別講義の授業から考えたことを登録させたため、学業とキャリアで90%を超える。

ボランティアとその他の合計は、わずか986件(7%)ではあるが、これこそ学生が義務や強制ではなく、日常生活の中で何かしら自信を得たことをうかがわせる活動登録であると考えられる。つまり学生が社会化し、「自立する力」や「生きぬく力」を得ていることが明らかな点である。

また本システムは、学生が自分で記録したデータ全てを読むことができ、そのことで自分にどんな自信がついたのかも振り返ることができ、就職エントリー時の自己分析にも効果的である点は特筆すべきであろう。

## 北里大学

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                                                  |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 「海洋生命科学概論AおよびB」「技術者倫理」に職業観・勤労観を講ずる外部講師を選定し、講義を実施する。                                                                                                                                            |
| ○  | 企業・団体より講師を招聘し、2、3年生に対して職業観・勤労観を醸成する講義を行う。一般教育課程での取組に加えて専門課程での取組もさらに充実させていく。外部講師については教育委員会とキャリア形成支援室が外部評価委員とコーディネーターの助言を受けて選定する。                                                                |
| ○  | 正課授業の中で社会人講師や職業人の講義を取り入れる「融合型授業科目」のさらなる充実を図る。                                                                                                                                                  |
| ○  | 社会人基礎力としてのプレゼンテーション能力の向上や自発的に問題意識を持って取り組む姿勢などを獲得するための講座を開設して、学生が自主的に活動するための基礎を学ぶ場とする。                                                                                                          |
| ○  | 専任の講座担当教員を配置して、学生が社会における問題点を考え、行動を自発的に起こすことを目指す。さらに連携大学との共同で、ボランティアや課題解決型授業などを合同で行い、アクティブラーニングにつながる教育改善を行う。事業終了後も学生自らが学び合う場として自主運営できるようになるための基盤づくりとする。                                         |
| ○  | 学生が企画・展示・運営・管理を主体的に行う「ミニ水族館」を学内で運営し、連携先企業とのイベント共催や学内外での実務体験を行う。本学部の特徴を生かし、学芸員志望者や増養殖企業への就職希望者のスキルアップとともにチームとして協力して企画・運営・管理を行い、さらに来館者への説明案内を行うことで社会人基礎力として重要なコミュニケーション能力や協調性の向上をこのプロジェクトによって図る。 |
| △  | 連携企業・団体の協力の下、インターンシップの内容の充実と参加者の増加を図る。インターンシップへの関心を高める施策として、2 年次生を対象にガイダンスを行う。2 年次生、3 年次生を対象にインターンシップへの複数回の参加を促進し、社会から学ぶことの重要性を浸透させる。                                                          |
| ○  | 企業との連携強化を図ることで、恒常的なインターンシップの基盤を作る。さらに連携大学と共同し、よりすぐれたインターンシッププログラム事業を実践継続していくことで教育改善を進める。                                                                                                       |

### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制                                                                                                 |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | ミニ水族館の運営や企業との連携、大学間の連携の中に特色を出すことでマスメディアへの露出を増やし、本事業の内容、経過、成果等に関する情報を積極的に広めていく。これと同時に、連携した企業を通して、事業の意義を産業界に積極的に周知する。 |
| ○  | ホームページによる事業内容の告知、事業に伴う各種イベントの告知によって、より広く事業の周知を図り、一般への情報提供とする。                                                       |
| ○  | 学内広報誌、地域広報誌を活用して本事業の取組内容、経過、成果に関して積極的に情報を広く提供する。                                                                    |

## ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

キャリア形成支援に係る講義やプログラムを作成し、実施することができた。キャリア形成プログラムを実施したことにより、学生のスキルアップに今回の事業が寄与したと同時に学内では教職員のキャリア形成に対する関心が高まった。他大学のキャリア教育を参考にアクティブラーニングを専門科目で行う実験的な試行を実施することができた。学生の反応も予想外に良好で、学生主導でディスカッションやプレゼンを行うことができた。一部の学生のリーダーシップによるものが大きいと思われるが、周辺の学生も感化されていると思われ、自己理解が進んだことによる役割分担ができつつあると思われる。特に他大学と共同で行ったインターンシップでは、外部のボランティア団体との交渉や会場を提供いただいた団体の職員からのサポートを受けて、参加した学生の行動が顕著に積極的になった。

この事業に参加することによって、キャリア形成にかかわるプログラムを構築することができた。このプログラムは学部横断的に運用される可能性が出てきた。ミニ水族館を運営するボランティア団体(アクアリウムラボ)はこの事業で運営が強化され、外部の団体と連携したイベントや連携大学と協力して開催するイベントに参加することで学生個人のみならずチームとしてのスキルアップが図れることが示唆された。この事業によって新たに始められた取組の萌芽は引き続きキャリア形成支援事業の枠組みを堅持しながら進化・定着していく可能性が大きくなった。

## 創価大学

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                                                         |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 1年後期の学生を対象とした実学的科目として「社会貢献と経済学」を開講した。この授業を、新たに産業界のニーズに対応した人材を育成するための授業として実施する。                                                                                                                        |
| ○  | 産学連携の授業においては、産業界のニーズに対応した人材を育成するという新たな観点で授業を構築し、連携する企業等と協働で、科目の高次化を図る。この授業においては、産業界の様々な分野で活躍する講師(OB・OGを含む)を招き、様々な観点での社会貢献と考える中、グループワークも取り入れて、学習を深める。                                                  |
| ○  | 産学連携の授業においては、産業界の様々な分野で活躍する講師(OB・OGを含む)を招き、様々な観点での社会貢献と考える中、グループワークも取り入れて、学習を深める。産業界と連携をした授業の成果に関しては、教育改善研究会を中心に意見交換を行い、産学協働協議会・地域大学グループ協議会等で、連携企業や団体・連携大学への波及を図り、更なる教育改善に繋げていく。                      |
| ○  | 企業等と連携し、産業界とのニーズという観点から評価できるように改善していく。また、就業力客観テストを受けた学生へは、その結果を配る際に「就業力強化書」という冊子を配布してきたが、これを産業界のニーズという観点からアドバイスできる冊子に改編していく。                                                                          |
| ○  | 就業力テスト後に、今後の自己開発スケジュールを示す「マイマップ」を学生に書かせ、これをもとに教員が2年生全員に個別指導を実施しているが、この個別に指導においても産業界のニーズに沿った指導ができるように、産業界の意見を求めていく。これらの成果は、教育改善研究会を中心に意見交換を行い、産学協働協議会・地域大学グループ協議会等で、連携企業や団体・連携大学への波及を図り、更なる教育改善に繋げていく。 |
| ○  | 本学経済学部では、全学部在先駆けて、海外インターンシップを実施してきた。このノウハウを生かして、学部主導でも国内のインターンシップを推進していく。                                                                                                                             |
| ○  | 産業界のニーズを熟知した講師によるインターンシップの事前事後研修等を行うことなどにより、インターンシップの高次化を図っていく。また、インターンシップ先に関しては、連携企業等を通して、東北地方を含め全国でインターンシップができる機会を学生に提供していけるように拡大していく。                                                              |
| ○  | 連携校全体の取組の中で、教育改善研究会があり、本学は、テーマ③「産官学地域共同によるインターンシップの高次化」を担当する部会に所属していることから、特にこの取組の成果に関しては、積極的に連携大学へ発信し、意見交換を行い、産学協働協議会・地域大学グループ協議会等でも、連携企業や団体・連携大学への波及を図り、更なる教育改善に繋げていく。                               |
| ○  | 「産業界のニーズ」に対応した人材を輩出するために、連携企業と「産業界のニーズ」に関する検討会を実施する(連携企業に関しては、今後も広げていく予定)。この検討会を中心に地元の産業界や連携する諸大学とも連携や情報共有ができる体制を構築していく。また、連携する企業等と地元を中心とした産業界とも連携し、インターンシップ先の拡大やインターンシップの事前事後教育を充実させていく。             |
| ○  | インターンシップの事前事後教育は、学部教育と密接な関係を持ち、学部の教育完全に繋げていく。また、様々な取組に関しては、連携大学と情報共有するとともに、意見交換も行っていく。これらの取組は、学部の初年時教育の充実が不可欠なため、「社会貢献と経済学」などの初年時教育に大きく力を入れていく。                                                       |
| ○  | 「大学生の就業力支援事業」の取組の際に構築した実施体制を継承し、経済学部キャリア委員会を中心に、全学のキャリア委員会およびキャリアセンターとも連携して実施していく。また、本学経済学部としての取組は、全学のキャリア委員会や全学で行われるFDを通して、周知していくとともに、意見交換を行っていく。                                                    |
| ○  | 学外への本学経済学部のホームページにて、広く周知していく。連携大学全体の取組として、幹事校が中心となって発信するホームページともリンクを貼り、本学の取組と全体の取組の連動性を示していく。                                                                                                         |

■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制           |
|----|-------------------------------|
| ○  | 創価大学経済学部ホームページによる情報発信         |
| ○  | 「関東山梨地域大学グループ案内パンフレット」による情報発信 |
| ○  | 共通ホームページによる情報発信               |

■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

本事業に参加をしたことにより、本学経済学部が、産業界のニーズに対応した人材を育成する取組を行っていることが、学内で明確に認識されるようになった。

本事業で推進をしている東北でのインターンシップ・プログラムは、大学と産業界と受入れ企業のすべてがWin-Winとなる取組として、学内外で高い評価を得ることができ、経済学部以外の学部からも、参加希望者が出てきた。

また、インターンシップ先を訪問するツアーも、同じく経済学部以外の学部からも、参加希望者が出てきた。インターンシップの前後では、効果測定として本学独自の就業力主観テストを実施し、インターンシップによる効果を確認することができた。

1年次後期に開講している産学連携講座「社会貢献と経済学」は、専門性を学ぶことと社会に貢献することの二つの意義を架橋するプログラムとなっており、2年次以降の学びのモチベーションを高める効果があった。この授業に関わった産業界の方々から、この授業の目的や構成などに対して、高い評価を得ることができた。授業の前後では、効果測定として本学独自の就業力主観テストを実施し、この授業による効果を確認することができた。

これらの取組を、積極的に本学経済学部ホームページに掲載することにより、本学の取組を学内外に発信することができ、更なる取組に推進につながった。



## 東京経済大学

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                                                                                    |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 地域貢献の一貫として、多摩地域の産業を調査し、各企業の現状・ニーズを分析・把握し、対外的に情報発信する。                                                                                                                                                                             |
| ○  | 地域の企業・自治体と連携し、その協力・支援の下、地域産業のニーズを反映した学生教育プログラムを多面的に構築・実践しようとしている。                                                                                                                                                                |
| ○  | 平成 24 年 9 月に「東京経済大学＝多摩地域 産学連携推進委員会」(以下、委員会)を学内で発足させた。同委員会では、フォスター電機、多摩信用金庫、東京都中小企業振興公社 多摩支部、八王子市 産業振興課、関東経済産業局といった地域の主要な企業・組織から、地域産業のキーパーソンを派遣してもらい、委員を委嘱している。                                                                   |
| ○  | 中小企業経営論担当の教員(同委員会 副委員長)のゼミナールが「八王子市の中小製造業の実態調査」を実施し、「中小製造業の人材育成とマーケティング」をテーマとして、20 社近くの中小製造業に聞き取り調査を実施している。同調査は委員会で外部委員からの評価を受けながら、調査報告書としてもまとめ、企業、自治体、関東経済産業局などに発信する。                                                           |
| ○  | 同調査を踏まえ、平成 25 年 3 月に「東経大から多摩地域の産業の魅力を発信する(仮題)」シンポジウムを開催する。                                                                                                                                                                       |
| ○  | 委員会とシンクタンク・情報発信機能を拡充し、多摩地域との連携・貢献のレベルをさらに高める。そして、地域の企業との協力体制の下、インターンシップなどの学生教育プログラムを多面的に構築する。                                                                                                                                    |
| ○  | 地域課題解決型の教育も推進していく。平成 24 年度は、国分寺の農業・商業振興のため、「N-1 グランプリ」と銘打ち、国分寺産の食材を使ったレシピコンテスト・商品化やフリーペーパーの発行を学生主体で実施している。                                                                                                                       |
| ○  | 一年生ゼミの中での「国分寺市の観光地振興に関する調査」や国分寺地域の課題やニーズについて市民とともに考えるシンポジウム、ワークショップの開催などを実施し、教育改善につなげていく。                                                                                                                                        |
| △  | 「職業選択とキャリア形成」では、多摩地域の企業の経営者などゲスト講師を招聘し、学生参加型のディスカッションを含む講義を実施する。                                                                                                                                                                 |
| ○  | 地域産業の課題・ニーズを理解できるようにする。加えて、地域企業の魅力への理解を促すことで、本学学生の卒業後の進路として、多摩地域の企業が選択肢の一つになることも促す。                                                                                                                                              |
| △  | 「産業特論Ⅰ・Ⅱ」ではより広範囲な産業界から講師を招き、学生が産業界の多様なニーズや課題を理解するための講座を実施している。なお、上記の授業の開始前・終了後で、履修者が「就業意識」、「社会人基礎力」、「卒業後の目標」に関してどのように変化したか、アンケートによる定量的な評価を試みる。その評価結果は学内の FD 会議で分析するとともに、連携校との共同 FD 会議にて、「外部講師の活用効果」、「参加型授業の効果」といったデータを共有することにする。 |
| △  | 「TKUキャリア力検定」(「基礎学力試験」および学生に実体験を記述させ自己啓発を促す「ワークシート試験」によって構成)をより実態に即したものにした上で、設問や解説を通じて学生に還元し、本事業の評価ツールとして活用する。                                                                                                                    |
| △  | 多摩地域との連携事業を軸に、企業の経営課題を個人・グループで分析する提案型のインターンシップを立案・実施する。将来的に10社程度の企業の参加が得られた段階で、必要と判断された場合に「多摩インターンシップ(仮称)」という独立のプログラムを立ち上げる。                                                                                                     |
| △  | 取組テーマ③の幹事校として、教育改善研究会において、各大学のインターンシップにおける成功・失敗例などを分析し、相互に教授法・効果を共有できるようなテキストの作成を主導する。                                                                                                                                           |
| ○  | 「東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会」の活動に対応するために、本学は「国分寺地域産業研究所」を設置した。これを発展させ、「東京経済大学＝多摩地域 産学連携推進委員会」を包摂するかたちで「地域連携センター(仮称)」を発足する準備を学内の合意の下に進めている。同時に地域連携の対象を従来の国分寺地域から多摩地域全体に拡大する。                                                              |

|   |                                                                                                           |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○ | 本事業は支援期間終了後も継続実施する予定である。支援期間である3年間、多摩の企業との多面的な連携を企図している。本事業を長期的に継続し、規模を漸次拡大することにより、より包括的な連携へと歩を進めることを目指す。 |
|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制                                                                                                                                                                                     |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | ゼミナールの活動を中心に企業への聞き取りやアンケートによる調査を実施し、その結果を報告書としてまとめ、自治体、企業、団体、他大学、学生等に広く発信する。また、地域企業の経営者を招いてのシンポジウムを開催する。国分寺地域連携事業の取組内容についても、報告書にまとめ関係機関や学生に配布し教育改善に役立てる。いずれについても本学 Web サイト及び大学グループ共通ホームページを利用した情報発信を行う。 |
| △  | 産業界からゲスト講師を招いた授業の内容や成果について、受講した学生の意識調査などとあわせて学内のFD会議等で報告し学内で共有する。また、大学グループでのFD研修会において情報共有をはかる。<br>インターンシップの取組については、年度ごとの活動を冊子に取りまとめて受入機関や学生に配布するとともに、大学グループでの情報共有によって改善をすすめる。                           |

#### ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

##### 1. 地元産業界との連携強化

平成 25 年 6 月、それまでの学内における地域連携の拠点であった「国分寺地域産業研究所」を発展させ、新たな地域連携の総合窓口として「東京経済大学地域連携センター」を設けた。このことにより、優れた中小企業が集積している多摩地域を対象にした教育改善・充実体制の整備を行うことができた。また、今回の事業をきっかけとして、平成 26 年 11 月には多摩地域を拠点とする信用金庫と協力協定を締結し、教育研究・学生支援に関して相互に協力する基盤を整備した。平成 26 年度には、共同シンポジウムを二回開催し、ゲスト講師派遣や企業紹介を実施した。今後、さらに地元の産業界や自治体のニーズを教育改善に反映させることが期待できる。

##### 2. 課題解決型授業の推進

上記の産業界との連携強化により、ゼミによる課題解決型授業を推進することができた。多摩地域の中小企業を対象としたフィールドワークの実施、国分寺地域における農業・商業振興の課題への取組、障害者施設とのコラボレーションによる実践的活動などを実施し、今後、産業界と連携した課題解決型授業を推進していくうえでの先行事例となった。

##### 3. インターンシップの推進

当事業において、連携大学の海外インターンシップの事例を共有したことなどにより、本学においても平成 27 年度に海外インターンシップを取り入れた特別講義「グローバル・キャリア入門」を開講することとなった。この授業では、日本人学生をタイの企業でインターンシップさせるとともに、タイの学生を日本の中小企業でインターンシップさせ、その学生たちとの交流を通じてグローバル人材の素養を身に付けることを目的としている。平成 26 年度には、その事前の取組として、本学で学ぶ留学生を多摩地域の中小企業へ1日企業見学させたところ、受け入れ企業からも好評を得た。このような新たな形態のインターンシップを実施することで、学生は、仕事内容の理解だけでなく、中小企業の国際化と地域の課題を同時に学ぶことができると思われる。

■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | <p><b>[1]福祉業界からのアンケート調査による人材養成の検証</b><br/> 福祉業界が大学に期待している人材養成とはどのようなものなのかを明らかにするために卒業生及び福祉業界にアンケート調査を行ない、キャリアデザイン科目の高次化及び学習評価・指導方法の改善を考える基礎資料とする。</p> <p>具体的には、社会人一般に共通する課題(実践力のある人材、コミュニケーション能力のある人材、創造的に仕事を切りひらける人材など)と社会福祉の鍵になる課題(ケアマネジメント、チームアプローチ、コミュニティ・ソーシャルワーク、福祉のまちづくりなど)が、どれくらい大学において身につけているのかを明らかにするとともに、それらの基礎になる能力がどのようにとらえられているのかを把握する。また、産業界委員である清瀬市社会福祉協議会との協働事業を通じて、地域貢献活動「きよせ あんしん まっふ」の作成活動を通じて、学生のバリアフリー感覚と街の現状を把握させソーシャルワーカーとしての気づき感覚などを養うこととした。</p> |
| ○  | <p><b>[2]福祉業界と連携した福祉人材養成に関するシンポジウム・研究会の開催</b><br/> 福祉業界が大学に期待している人材養成とはどのようなものなのかを明らかにするためにシンポジウムを開催し、キャリアデザイン科目の高次化及び学習評価・指導方法の改善を考えるための多彩な視点を汲み取る。</p> <p>具体的には、自治体における福祉計画策定、大型社会福祉法人の経営、NPOでの創造的な実践の創造、社会福祉協議会における住民参加型福祉、ケア労働の高度化などを担える人材の育成に大学がどうかかわれるのかを明らかにする。また、福祉現場との連携による大学の福祉養育を先端的にすすめている海外の研究者を招聘して研究会を開催し、本学の実験的な取組の参考にする。</p>                                                                                                                             |
| ○  | <p><b>[3]福祉業界と連携したキャリアデザイン科目の高次化</b><br/> 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化をすすめるために、キャリアデザイン科目を改善する。</p> <p>先に示した社会人一般に共通する課題(実践力のある人材、コミュニケーション能力のある人材、創造的に仕事を切りひらける人材など)と社会福祉の鍵になる課題(ケアマネジメント、チームアプローチ、コミュニティ・ソーシャルワーク、福祉のまちづくりなど)が身につくように、実践現場から講師を招聘し、少人数の演習形式で学べるようにする。</p>                                                                                                                                                                                                   |
| ○  | <p><b>[4]福祉業界と連携した学習評価・指導方法の開発</b><br/> 講義科目及び演習科目において福祉業界と連携した教育プログラムを実験的にを行い、その評価及び指導方法の提示を行う。</p> <p>具体的には、子ども・家庭福祉分野では虐待への対応やスクールソーシャルワークに、障害者福祉分野では精神障害者支援や当事者活動に、高齢者福祉分野では介護やケアマネジメントに、地域福祉では居場所づくりや住民組織づくりをすすめるために、実践現場とタイアップして授業をすすめるようにする。</p>                                                                                                                                                                                                                   |
| ○  | <p><b>[5]福祉業界と連携した教育プログラムの発信</b><br/> 上記の取組を通して明らかになった課題と実験的な教育プログラムを報告書やインターネット上にまとめて公開する。</p> <p>公開するのは、[1]の福祉業界からのアンケート調査による人材養成の検証結果、[2]の福祉業界と連携した福祉人材養成に関するシンポジウム・研究会で明らかになったこと、そして[3]の福祉業界と連携したキャリアデザイン科目の高次化及び[4]の福祉業界と連携した学習評価・指導方法の開発に関する実験的な取組である。</p>                                                                                                                                                                                                          |
| △  | <p><b>[6]グループ内外での貢献と支援期間終了後の取組</b><br/> [5]のように本事業の成果を広く社会的に発信するとともに、社会福祉の産業界・実践現場との共同によって得られた知見をグループ内の他の大学には特に丁寧に発信する。高齢化の進行にともなう福祉分野の拡大やロボット業界を始めあらゆる産業分野に福祉の視点を入れることが求められている中で、本学からの提案は他の大学にとっても有効ではないかと考える。一方で、社会福祉分野が弱い経営の視点について、グループ内の他の大学から有益な情報を得るようにする。</p> <p>支援期間が終了した後には、調査で明らかになった本学の人材養成の弱さを克服することに継続的に取り組むとともに、実験的に開発した福祉業界との連携による学習評価・指導方法を継続し、FDを通じてさらなる高度化をめざす。</p>                                                                                     |

|   |                                                                                                                   |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| △ | <p><b>[7]推進体制の確立</b></p> <p>[1]～[6]を遂行するために、実験的な取組に参加する教員と教務委員会、学生委員会で「福祉業界との連携推進事業プロジェクト」を構成し、全学をあげて課題に取り組む。</p> |
|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制                             |
|----|-------------------------------------------------|
| ○  | 報告書『アクティヴ・ラーニングの創造―地域事業所と連携した大学生の参加型学習―』による情報発信 |
| ○  | 共通ホームページによる情報発信                                 |

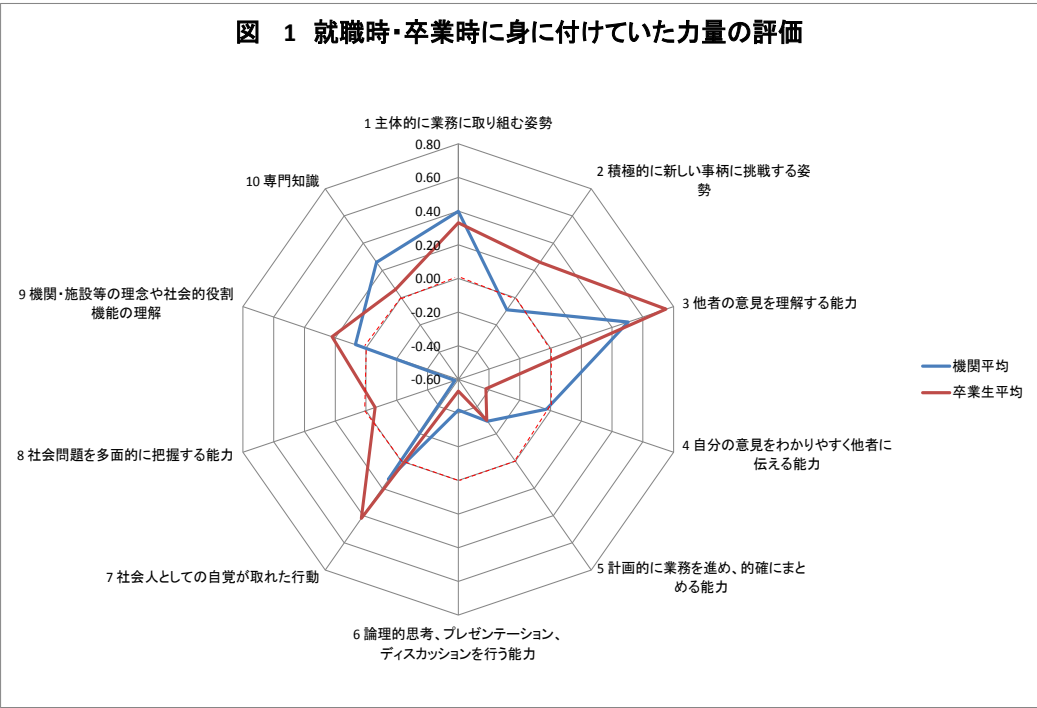
■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

今回の事業に参加してその効果について、キャリアデザインの在り方に関して、教員相互の情報交換が活発化するとともに問題意識の共有化が図れた(本事業への延べ参加教員 11 名)。また、学外からのゲスト講師を延べ 38 教科、延べ 51 名を招き延べ 4,820 名の学生への現場における情報提供を行い自己の将来におけるキャリア形成の機会が提供できた。そして関係した全ての教員が 2013 年度と 2014 年度に報告者を書き、自分が行った教育プログラムの内容や方法を記入するとともに、本事業にかかわった意義や効果も明らかにするようにした。

今回の事業の趣旨に即して優れた取組と思われた3つについて、シンポジウムで報告した。その際、企画した教員、連携した実践現場の方、参加した学生のそれぞれから報告を求め、企画した教員サイドと実際にプログラムを実行した実践現場、その教育プログラムを受けた学生の感想を総合的に交流し、本事業にかかわった意義や効果を明らかにするようにした。

学生の就職先機関及び卒業生に対し、就職時にどれくらいの力量が身についているか力量評価に関するアンケートを実施した結果、「社会問題を多面的に把握する能力」、「論理的思考、プレゼンテーション、ディスカッションを行う能力」、「計画的に業務を進め、的確にまとめる能力」、「自分の意見をわかりやすく他者に伝える能力」、「積極的に新しい事柄に挑戦する姿勢」はマイナス評価となっており、課程教育の中で基本的事項として改善に取り組む必要があることが明らかになった。

図 1 就職時・卒業時に身に付けていた力量の評価





■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                                                                |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 「産学連携ゼミ(3・4 年次)」や「長期インターンシップ実習(3 年次)」など、既に学士課程に配置している <u>産業界と一体となった教育の質的・量的な拡充と深化</u> を図る。                                                                                                                   |
| ○  | 具体的な連携・協働事業を実質化することで、大学における人材育成の現状と産業界のニーズとの差異を無くし、産学連携教育を組込んだ体系的なキャリア開発プログラムモデルの中に、 <u>文系学部における産学連携の基本モデルを確立</u> したい。                                                                                       |
| ○  | ① 地域内産業界(東京都・神奈川県)との連携の強化・拡充<br>地域内産業界との一層の連携強化を図る。はじめは、「短期インターンシップ実習(2 年次)」を軸に連携及び実績を重ね、その連携を通して相互に把握・共有したニーズを取組の改善に活かす。次の展開としては、産業界のニーズに対応する更に深化した実践的能力を開発するため、新たな「 <u>長期インターンシップ実習(3 年次)</u> 」プログラムを開発する。 |
| ○  | ② 長期インターンシップ実習の高次化:複合的産学連携モデルの開発(連携の連鎖)<br>複数の産学連携事業を結合または融合させることで、教育と産学連携における質的な <u>相乗効果</u> を実現するプログラムの開発に挑戦する。                                                                                            |
| ○  | ③ 実務家教員による「産学連携科目(2・3 年次)」の授業数拡充<br>産業界や学生にとって有効な講義を、本学の学士課程教育(育成する人材像)に照らしつつ厳選し、教育課程内に体系的に配置・拡充する。                                                                                                          |
| ○  | ④ 実務家教員によるアクティブ・ラーニングの挑戦<br>初年次導入教育の基幹科目、「キャリアデザイン(1 年次必修)」に実務家教員を効果的に配置することで、 <u>社会や産業界が求める能力等を理解</u> し、その後の学修や将来の進路における目標設定等に繋げて行く。また、産学連携による <u>アクティブ・ラーニングを取り入れることにより</u> 、教育効果の向上に努める。                  |
| ○  | ⑤ グローバル企業との連携拡充<br>産学連携を展開するうえで、 <u>企業のグローバル化のニーズに対応する</u> ために、海外への学生派遣にも取組む。                                                                                                                                |
| ○  | また、将来の大学グループ合同による「海外インターンシップ実習(2・3 年次)」(東京都や地域内に法人本部を置くグローバル企業の海外支店・営業所を想定)への基盤づくりにも挑戦する。                                                                                                                    |
| ○  | ⑥ 「産学連携ゼミ(3・4 年次)」 「インターンシップ実習(2・3 年次)」 「産学連携科目(2・3 年次)」における履修者数増加<br>産業界と一体となった授業を、文系学部学生の 7 割以上が履修することを目標とし、体系的なキャリア開発科目プログラム最適化に努める。そのため、「産学連携ゼミ」と「長期インターンシップ実習」の <u>連携先企業と実務家教員の拡充を教育環境整備の目標</u> とする。    |
| ○  | 産業界の人材ニーズに対応した <u>取組の検証並びに質的保証を可視化</u> するために、在学 4 年間利用するキャリア・ポートフォリオ(各種情報や取組成果の蓄積データ)を活用し、取組の組織的な検証や評価を重ねる。                                                                                                  |
| △  | 最終的には、 <u>産学連携の教育目標基準とキャリア・ポートフォリオを軸とした教育評価検証方法を確立</u> する。その実質化のため、大学と外部評価者(複数の企業)で構成した後述の <u>産学連携による研究会等を学内に組織化</u> し、そこに <u>PDCAサイクル機能</u> を持たせ、定期的・継続的に教育の成果等を評価・検証していく。                                  |
| △  | そのため、成果等を蓄積した各種基本データを有するキャリア・ポートフォリオには、産業界のニーズである「企業が求める人材像」と「業界別の求める人材傾向」の情報を新たに取込む。                                                                                                                        |
| △  | そして、学生の基礎学力や適性、行動特性との相関を検証しつつ、産学連携の各種推進や改善の際の客観的資料および、実際の学生への目標設定指導に活用する。                                                                                                                                    |

|   |                                                                                                                                                                                                                                                    |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○ | <p>・ <b>武蔵野大学産官学連携企業合同会議</b></p> <p>インターンシップや産学連携科目などにおいて、本学と連携協力し人材育成を行っている企業や団体等が定期的に一堂に会し、取組の<b>成果や課題等を相互に共有</b>し、有効な教育方法の開発を含め、産業界と一体となって<b>産学連携教育を改善</b>していく(PDCAサイクル機能)。また、企業同士の連携を深め、産学連携事業同士の複合連携の開発の契機とする。</p>                            |
| ○ | <p>・ <b>ホスピタリティ学研究会</b></p> <p>本学において現在最も産学連携の機能が進んでいる観光業、ブライダル産業、病院・福祉施設などから外部評価者として有識者を招き、ホスピタリティ領域における更なる教育の質的向上を目指す。さらには、同領域の理論及び実践を幅広く調査研究し、得た知見等を具体的に産学連携科目に反映させることで<b>教育の質的向上を継続して推進する</b>。また、産学連携教育の充実に必要なテキスト等の教材や紀要など、具体的な成果物の作成も行う。</p> |
| △ | <p>・ <b>IT・ICT人材育成教育研究会</b>:産業界の中で、マーケティング、Webマーケティング、プログラム、アプリケーションにおける産業界の大学に対するニーズの確認と有効な教育方法を研究する</p>                                                                                                                                          |
| △ | <p>・ <b>地方行政人材育成研究会</b>:地域の中核として、これからの社会を創造する公務員に求められる能力の確認と有効な教育方法を研究する</p>                                                                                                                                                                       |

#### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制       |
|----|---------------------------|
| ○  | 大学公式ホームページ:随時更新           |
| ○  | 大学案内への掲載:年1回(平成25年度制作物から) |
| ○  | 公開シンポジウム:平成26年度           |
| ○  | 各種学会での発表                  |

#### ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>産業界また、他大学の取組を参考にしつつ、本学で実践する産業界と連携したプログラムが大きく充実した。</p> <p>具体的には、</p> <p>①実務家教員の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業界から講師を招聘し授業を展開(実務家教員:50名)※h26実績</li> </ul> <p>②産学連携科目の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業界と連携した実践的な教育プログラム(授業)の開発<br/>(産学連携ゼミ・長期インターンシップ 12科目開講/連携企業・団体 25社)※h26実績</li> </ul> <p>③産学連携教育のPDCAサイクル構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本学の産学連携科目に係る企業や団体等が一堂に集まり成果や課題を共有する合同会議(コロキウム)を実践(年1回)し、より有効な教育手法の開発等を産業界と一体となって産学連携教育を推進できるPDCAサイクルを構築。</li> </ul> <p>④学内組織の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組の成果を評価・検証することにより、各種教育プログラムの高次化を図るためのIR推進室を学内に設置</li> </ul> <p>なお、産学連携教育で実践される具体的な課題に対し、自ら考え、能動的に行動し、協働して答えを見出していく活動を体験し、産業界からのより実践的なフィードバックを得ることにより学生は確実に成長している。また、当該プログラム自体に対する学生の満足度も高く、就職活動等においても自信を持って社会に挑んでいく姿勢を持った学生が着実に増加するなど、本学の就職率の向上にも繋がっている。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                   |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | ユニバーサルアクセス化に対応した新カリキュラムの検討、さらに大学設置基準等の改正に伴う「社会的・職業的自立に向けた指導等」を踏まえ、職業人としての資質能力の形成を自ら確認できる新教育体系を含め検討を行う。                          |
| ○  | 教育の柱としてPBL学習とキャリア教育を有機的に関連付け、広く学生が自ら社会的・職業的自立を具現化していくことを目標に実施する。                                                                |
| △  | 平成 24 年度より導入実施した教育体系および教育課程について、学長直下に配置する「教育開発センター」に新たに「新教育体系調整会議」を設置し、検証・評価を行い改善していく。                                          |
| ○  | 産学共同によるキャリア教育(インターンシップを含む)の推進<br>産業界の連携・協力による、学生の社会的・職業的教育となるキャリア教育やインターンシップ等の教育内容について改善充実をはかる。                                 |
| ○  | キャリア教育やインターンシップ等のアクティブラーニングにおける体験活動を通して基礎学力に裏付けられた技術や技能を修得し、自ら学ぶ習慣や主体的に考え行動する能力の開発を推進する。                                        |
| ○  | 産学連携による実務家教員と共同で企画し、授業・演習に直接担当することにより、学生に対し質の高い効果的な教育を推進していく。                                                                   |
| ○  | 正課授業である「キャリア設計」、「キャリア開発」、「インターンシップ事前準備講座」および「インターンシップ」に実務家教員を効果的に配置し、産業界の人材ニーズに対応した取組を行っていく。                                    |
| ○  | 連携する各大学のキャリア教育の開発・手法等を参考にして、さらなる改善を行い、積極的な公表および報告を行うとともに、広く国民ならびに産業界が期待する学士課程教育に向けて推進していく。                                      |
| ○  | 産業界の人材ニーズに対応した評価・指導方法の改善充実<br>本学では、正課外講座を含む活動を通して得られた具体的な成果、学生の成長度等について可視化する仕組みとして、ICT技術を活用したキャリアポートフォリオを導入した。                  |
| ○  | 学生が自ら学修目標・計画を設定し、学修成果や成長度を学生自らが確認できるようにし、学修の進捗度や生活等へのアドバイス、卒業後の進路決定および将来設計等も履修指導と関連付けて行うこととしている。                                |
| ○  | 学修進捗度へのアドバイスや疑問・質問等への即座の対応により、学生・教員相互連携が深まり、教育効果が高まることが期待される。                                                                   |
| ○  | キャリアポートフォリオを活用した指導方法の取組は、平成 24 年度よりスタートした新たな教育課程より実施している。産学連携を行う実務家教員を含め活用する教職員により検証・評価を行い、学生の成長を可視化できるものとして活用していく。             |
| ○  | 教育目標に対し、学年が進行する中で学生がどのように成長をしているかを把握するために、産学連携によるアセスメントテストを開発・実施していく。                                                           |
| △  | 学生個人の学修方法や成果を確認し改善していくPDCAとして活用・検証していく。                                                                                         |
| △  | 学生の学修成果を確認するルーブリック等の評価法について産学連携による調査研究を行い、学修評価の活用方法を構築し、学生の主体的な学びに関する全学的なFD研修会等を通じて組織的教育を実践していく。                                |
| △  | 連携する各大学で実施している評価・指導方法を参考に、学生の成長度検証について、さらなる改善を行い、広く国民ならびに産業界が求める学士課程教育として評価・指導方法に向けて推進していく。                                     |
| ○  | 本申請プログラムによる産業界のニーズに対応した教育を、本大学グループの活動により相互検証し、その結果を改善に反映することとし、財政支援期間中は各年度末に連携シンポジウムと共同成果報告書の作成、ならびにそれらの評価と検証を行い、PDCAサイクルを確立する。 |
| △  | PDCAサイクルについては、次の2点を重点化し、改善と充実化を図る。<br>1) 本大学グループ事業の結果検証・評価と改善策<br>2) 本学の教育体系の結果検証・評価と改善策                                        |
| △  | 本学の教育体系検証・評価は「新教育体系調整会議」において、随時実施し、その結果について学内への周知ならびにホームページ等による公表を行っていく。                                                        |

## ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制                                                                                                  |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | ・大学ホームページによる公開<br>大学間で連携する取組並びに本学の取組の概要                                                                              |
| ○  | ・本取組の内容や実施例を大学広報誌「KAIT」に掲載                                                                                           |
| △  | ・産業界の人材ニーズへの対応を含めた「新教育体系調整会議」を随時実施<br>本学の取組に関し、PDCAサイクルによる検証・評価・改善となる会議を随時実施する。取組状況、成果報告を行い、その内容を含め、今後の活動について公聴会を行う。 |
| ○  | ・冊子「大学総合案内」への掲載<br>本学の人材育成の目的や本取組を具体的に紹介する。                                                                          |

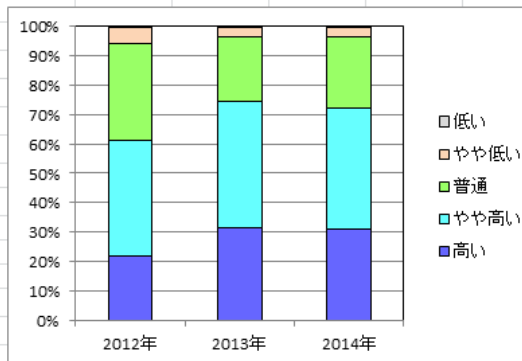
## ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

平成24年度入学時より、「アセスメントテスト」を学年進行とともに実施し、定量的・定性的な進捗状況を把握している。この結果を次年度に向けての教育改善を行う材料としながら、学生の成長度合いを把握することとしている。  
(例:学生自己評価の各年度単位の学科平均値を記載)

### 「キャリア設計」科目 学生による自己評価

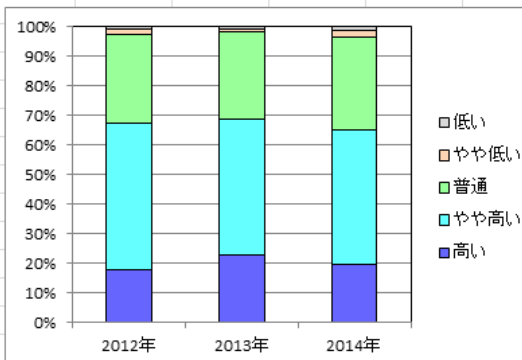
#### シラバス学修成果目標達成度

|      | →改善→  |       | 横ばい   |
|------|-------|-------|-------|
|      | 2012年 | 2013年 | 2014年 |
| 低い   | 0.2%  | 0.2%  | 0.2%  |
| やや低い | 5.7%  | 3.2%  | 3.1%  |
| 普通   | 32.8% | 22.2% | 24.3% |
| やや高い | 39.5% | 43.2% | 41.3% |
| 高い   | 21.9% | 31.2% | 31.1% |



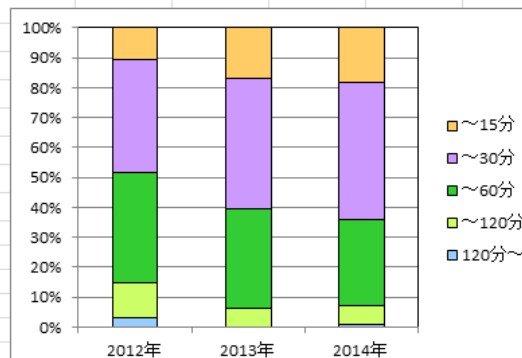
#### 総合満足度

|      | →改善→  |       | 横ばい   |
|------|-------|-------|-------|
|      | 2012年 | 2013年 | 2014年 |
| 低い   | 0.9%  | 0.8%  | 1.1%  |
| やや低い | 1.7%  | 0.8%  | 2.4%  |
| 普通   | 30.0% | 29.6% | 31.5% |
| やや高い | 49.4% | 46.2% | 45.3% |
| 高い   | 18.0% | 22.6% | 19.7% |



#### <週当たり授業外学修時間>

|       | →減少→  |       | 横(ばい) |
|-------|-------|-------|-------|
|       | 2012年 | 2013年 | 2014年 |
| ～15分  | 10.5% | 17.1% | 18.5% |
| ～30分  | 38.0% | 43.5% | 45.4% |
| ～60分  | 36.8% | 33.2% | 29.0% |
| ～120分 | 11.4% | 6.0%  | 6.0%  |
| 120分～ | 3.2%  | 0.2%  | 1.1%  |



## 昭和音楽大学

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                        |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 平成 23 年に実施した「社会における音大卒業生のニーズ調査」の結果を踏まえ、産業界を含む一般社会が音大生に対して抱いている長所と短所を意識した授業内容を検討する。                                                                                   |
| ○  | キャリア科目「音楽人基礎①」(1 年必修)及び「音楽人基礎②」(2年必修)は、一般常識や基礎的な人間力、プレゼンテーション・コミュニケーション能力の強化を図る。また、連携する関連業界や海外の芸術団体等からも外部講師の参加を得ることでその内容を充実させる。                                      |
| ○  | 平成 24 年度「音楽人研究」(2 年選択)を開設し、関連業界との連携のもと、学生がこれらを訪問し、調査研究を踏まえてレポートにまとめ発表させ、業界の実態を認識させる。                                                                                 |
| ○  | 平成 25 年度「フィールドインターンシップ」(3 年選択)を導入し、インターンシップの機会を全学に拡大する。連携する関連業界等の協力のもと、現場での就業体験を行い、実践的な力を獲得させる。                                                                      |
| ○  | キャリア科目・キャリア関連科目も含め、全体としてキャリア教育に資するキャリア科目群として位置付けており、さらにその改善充実と高度化を図る。                                                                                                |
| ○  | ポートフォリオシステムは、学年進行に応じて 4 年生まで完成させ、適切な指導が行われるようにするとともに、履歴表示の高度化やオーディション、企業情報等の組み込みなどを行い、関連業界との連携が密になるようその改善を図る。                                                        |
| ○  | 「音楽人基礎①②」については、授業開始前と終了時に、認識の深まりを中心にその効果を測定・把握している。また、学修支援ツールとして、テキスト教材を製作し、授業評価との関連や連携業界のアドバイス、教育改善研究会等での情報交換などをもとにその改善を図っていく。                                      |
| ○  | 学内の FD、SD において本事業に関して、その周知に努め、学内における認識を深めていく。また、教育改善研究会が本学で開催される際は、本学教職員も参加し、本取組の成果と課題を共有する。                                                                         |
| ○  | 「卒業生が実社会で大学の学びをどう活かしているか」、「卒業生が就業する企業等の方からの評価や意見」を把握し、カリキュラムに生かすため、平成 25、26 年度に卒業生、関連業界関係者の参加を得てシンポジウムを開催し、その内容は報告書としてまとめる。グループ校と共有できる方法と音楽大学独自の方法とを探究し、本テーマの実現を目指す。 |
| ○  | インターンシップに関し、アートマネジメント、舞台スタッフの両コースでは、以前から関連業界との関係は密になっているが、この取組により実技系を含む全学的な規模となるため、関連業界を中心に連携を図っていく。                                                                 |

### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制                                                                                                                      |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 本学ホームページにて、本事業の概要やその内容に係る経過・成果等を産業界も含め、広く情報発信を行い、本事業に関し、積極的に協力を仰ぐ。                                                                       |
| ○  | 初年度にパンフレットを作成し、本事業の概要、内容、期待される成果、達成目標等を掲載し、配付する。本学学生の特性や音楽で培った能力を広く社会で活かせる事を周知し、協力を仰ぐ。                                                   |
| ○  | ニュースレターを作成し、本事業の各年度の具体的な内容、成果や経過を周知する。学内外および地域の団体や自治体等に幅広く周知を行う。                                                                         |
| ○  | キャリア支援センター運営委員会・スタッフ会議を教職員混成で構成し、定期的に会議を開催し、本事業の内容や経過、成果等について情報の共有を積極的に行う。本事業に委員(スタッフ)が積極的に関わり、産業界・地域・学生・卒業生・保護者等に本事業の周知を積極的に行える体制を構築する。 |
| △  | 産業界で活躍するアドバイザーを委嘱し「アドバイザー会議」を年に1回開催し、本事業に関し、大所高所の観点からの意見をもらい、産業界のニーズに対応した人材育成の推進に活かす。                                                    |
| ○  | 産業界他有識者の複数名による外部評価委員会を組織し、各年度末に学内の自己評価に基づき、当該年度の取組を評価してもらう。この役割を上記産業界アドバイザーに依頼し、産業界等で必要とされている人材の把握や産業界との協力体制等の計画を検討する際の重要な情報とする。         |

## ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

平成 25 年度「産業界の人材ニーズ調査」を行い、社会で活躍するために必要な能力を調査した。産業界の求める人材や大学で期待される教育、取り組むべき施策等を把握し、産業界が重要と考える課題解決力、コミュニケーション能力等をキャリア科目の授業に取り入れた。本学卒業生を対象に「卒業生の就業状況調査」も行い、卒業生の現状と音楽で培った力を社会でどう生かしているか等を把握した。卒業生が忍耐力、粘り強さ、感性、集中力等を「音大卒業生の強み」と認識していることが改めて分かった。これらの能力はどんな職業にも必要な汎用的能力であり、キャリア科目等の授業を通じ、学生に意識させる。

専門教育と連動した体系的なキャリア教育の推進において、1 年必修「音楽人基礎①」で多様なコースの学生によるグループディスカッション等を取り入れ、汎用的能力を強化した。2 年必修「音楽人基礎②」では、国内外の音楽業界や芸術団体等との連携、卒業生のパネルディスカッション等から複眼的視点による職業観の育成を行った。

平成 24 年度に 2 年の選択科目として「音楽人研究」を開設した。自分と音楽の関係を客観的な視点で捉え、芸術関連組織や音楽系企業との連携のもと学生が実際に仕事の現場を訪問し、調査研究をふまえて、レポートにまとめプレゼンテーションを行った。

平成 25 年度に 3 年の選択科目として「フィールドインターンシップ」を開設し、インターンシップの機会を全学に拡大した。実際の現場で就業体験を行い、具体的なイメージをつかみ、実践的な力を獲得することができた。客観的に将来の職業について考え、実際の仕事の現場で感じたことや学んだことを自分自身の言葉で文章にし、発表する経験で学生自身が成長を実感することができた。また、演奏等を主専攻とする学生が音楽を多様な方向から捉え視野を広げ将来の方向性を見出すことができた。

平成 26 年度には『履修要綱』にカリキュラムマップを掲載し、科目ごとに獲得できる能力を学生にわかりやすく示した。

ポートフォリオシステムの活用について、既に複数の授業科目で運用しているが、平成 24 年度に、その改善を図り、企業情報等の組込と学生自身の学びを将来に生かす「キャリアデザインシート作成」機能を追加した。また、教育改善研究会の各大学の事例発表や合同 FD の授業相互参観により、連携大学における本事業の取組やキャリア教育の内容を認識する貴重な機会を得た。各大学の課題や成果を共有し、本学におけるキャリア教育の課題や問題点が決して特殊なものではないと認識することができた。

平成 25 年度“実社会に生きる大学の学び”平成 26 年度“産業界が求める人材”をテーマにシンポジウムを開催した。平成 25 年度は「産業界の人材ニーズ調査」の報告や演奏関連・企業就職それぞれで活躍する卒業生のパネルディスカッションを実施した。専門分野での学修成果やその過程で学んだ汎用的能力を社会で生かせることを再認識し、連携大学間でもこれを共有できた。平成 26 年度は、本学で実施した各種調査結果から「産業界の音楽大学への期待」について報告した。産業界等の有識者によるパネルディスカッションを行い「学修成果をどう評価するか」を大所高所の観点より意見をもらった。産業界から見たキャリア教育の成果や課題など生の声が聴け、今後の教育に活かす方法について連携大学間でも共有できた。

本事業の取組により、個性的で多彩な強みを持つ 14 大学が大学の枠を超え、産業界のニーズを大学教育に取り入れ教育全般を高められたことが成果である。また、あまり接点のなかった産業界の視点から音大生の特色を客観的に見ることができ、今後も広い視野と職業意識を持った人材育成を行っていく。



## 山梨英和大学

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                                                                                                |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 2011年3月に山梨県内を中心とした100社に及ぶ企業に調査を行い、大学における教育にどのようなことが求められているのかを明らかにすることで教育改革に繋げた。実施した調査によると、大学時代に身につけてほしい力を「発信力」(0.4Point)、「課題発見力」(2.1Point)、「規律性」(3.7Point)、「創造力」(4.7Point)の順であると仮定した。この「課題発見力・発信力・規律性」の向上を図るため、PBL科目を導入する。                   |
| ○  | 「キャリアデザイン3」の授業において山梨県内の企業2～3社からの課題に対するソリューションを学生が検討し、発表する機会を設ける。また、 <u>社会に出て学び続けることの大切さ</u> を実感できるよう科目を高次化する。                                                                                                                                |
| ○  | 地元企業を取材した企業情報誌「やまぼジ」を発行する。山梨県内の企業を紹介する冊子及びHPを作成する事で、参加学生が地元企業を知るきっかけとなると共に、学生と地元産業界を繋ぐメディアとなる。                                                                                                                                               |
| ○  | 「山梨英和大学産学連携企業支援講演会」を年に2～3回程開催し、地場産業の抱えている課題や現状を理解する機会を設ける。                                                                                                                                                                                   |
| ○  | 講演会以外でも講師を招き、授業で学ぶ機会を設ける。                                                                                                                                                                                                                    |
| ○  | 学生の修得が期待される <u>基礎力(ジェネリックスキル)</u> の設定を行い、年度末には取組の検証を客観的に把握・確認するアセスメントを実施する。                                                                                                                                                                  |
| ○  | 最初に「課題発見力・発信力・規律性」といった、学生の修得が期待される <u>基礎力(ジェネリックスキル)</u> の設定を行い、年度末には取組の検証を客観的に把握・確認するアセスメントを実施する。                                                                                                                                           |
| △  | 取組の検証結果を踏まえ、2015年度以降に本学で予定しているカリキュラム改編の参考とする。                                                                                                                                                                                                |
| ○  | 本事業においては、これまでの職業体験型のインターンシップに加え、インターンシップの改善充実を図る。本学の存する山梨県の産業は、第3次産業が全体企業の66%を占め、中でもサービス業が大きな割合を占めている。この地域特性を十分に把握し、 <u>学生が自ら考え行動し、地域に貢献できるようなプログラム</u> を構築し、産業界からのニーズに対応した人材育成の強化を図るものである。課題設定型インターンシップ:「 <u>課題発見力・課題解決力</u> 」を伸ばすためのプログラム。 |
| ○  | 海外インターンシップ: <u>新たな事にチャレンジする事が出来る、論理性・柔軟性のあるグローバル人材育成</u> が求められている。そのような人材育成のために、海外でのインターンシップを実施する                                                                                                                                            |
| ○  | 長期間インターンシップ:3年次に学生が履修する専門ゼミ等と連携し、長期間でのインターンシップを実施する。                                                                                                                                                                                         |

### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制                                                                                                               |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 本学ホームページによる社会一般に向けた情報提供<br>本事業の目的、取組内容、進捗状況、成果等をタイムリーに公表する。                                                                       |
| ○  | 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に関するリーフレット<br>本事業への理解と協力体制を構築するため、地域の企業や産業関連団体等向けのリーフレットを新たに作成し、インターンシップの改善充実及び産官学共同による学士課程教育の充実化を推進する。 |
| ○  | 地元企業情報誌「やまぼジ」の発行<br>本学在学生等が山梨県内等の企業を取材した成果を冊子化し、後輩学生の就活支援ならびに大企業に目を向けがちな学生の意識を中小・零細企業に向けさせるためのツールとすることを目的とした情報提供の積極的な展開を図る。       |



## ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

### テーマⅠに関する取組：産官学共同による学士課程教育の推進

#### ■PBL 型授業(キャリアデザイン1)

キャリアデザイン1は、1年生の後期に開講する基礎科目(必修、2単位)。平成 25・26 年度は、前年度までの座学を中心とした内容から、学生同士の学び合いを中心とした内容へと改訂を行った。15 回の講義のうち、3回目～15 回目までは5～6名のチーム単位で活動を実施(学年全体では 40 チームを編成)。15 回の授業を通し、「自修力」と「キャリア」について、さまざまな角度から考える。自分自身、さらには自分を取り巻く他者・社会・職業世界についての理解を深め、卒業後のキャリアについて考えるきっかけを提供した。

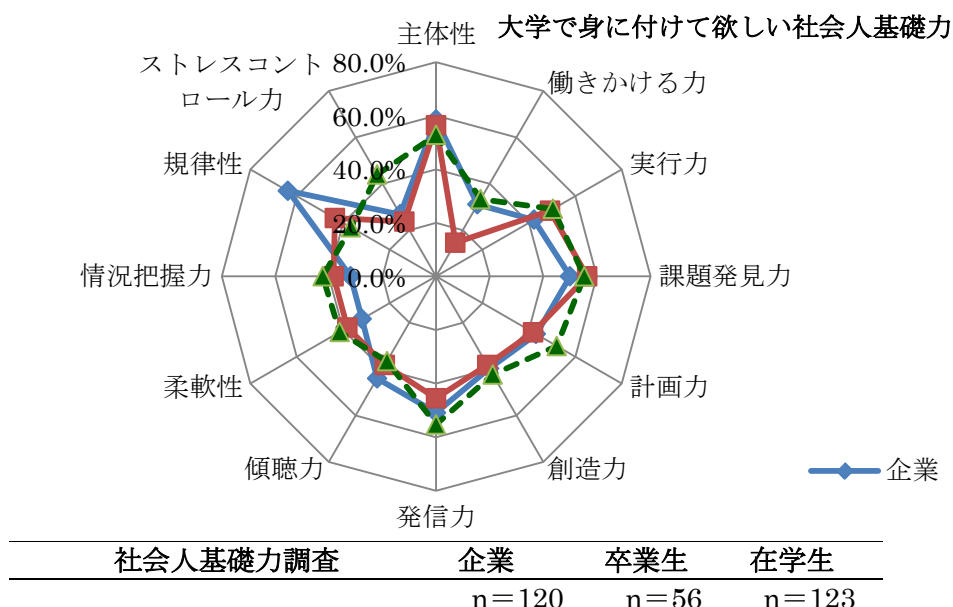
15 回目の終了時に、本学のキャリア教育に関するアンケートを実施した。その中で「キャリアデザイン1の役立ち度」をたずねたところ、「役に立った」が 64.9%、「非常に役に立った」が 19.3%(合計 84.2%)と、おおむね高い評価となった。性別で見ると男子学生の方が「非常に役に立った」が 29.4%と、女子に比べて 15%ポイント近く高くなっている。

#### 今年度の参加学生は180名を34チームに分けてディスカッション7回、プレゼンテーション5回

### テーマⅡに関する取組：学士課程教育成果検証アセスメントの改善

#### ■基礎力に関する企業及び学生調査

修得が期待される基礎力(ジェネリックスキル)調査を行い産業界のニーズを把握するように努めた。企業及び在学生、卒業生で回答が異なったが、企業の採用担当者は「規律性」を身に付けて欲しいと考えている傾向となった。これは2011年3月に山梨県内を中心とした100社に及ぶ企業に調査結果と同じであった。



### テーマⅢに関する取組

#### ■インターンシップ

これまで実施していたインターンシップの形態を改善し、下記の形態を導入。本学の存する山梨県の産業は、第3次産業が全体企業の66%を占める。この地域特性を十分に把握し、学生が自ら考え行動し、地域に貢献できるようなプログラムを構築し、産業界からのニーズに対応した人材育成の強化を図った。

課題設定型インターンシップ：「課題発見力・課題解決力」を伸ばすプログラム。

3年間の成果→参加人数 124人

海外インターンシップ：新たな事にチャレンジする事が出来る、論理性・柔軟性のあるグローバル人材育成のために、海外でのインターンシップを実施。

3年間の成果→参加人数 11人

長期間インターンシップ：PDCA サイクルも実体験を通して学ぶ事ができるよう、長期間でのインターンシップを実施。

3年間の成果→参加人数 5人

インターンシップの学習効果を向上させるため、事前・事後学習にも注力した。特に事前学習では、地元企業の事業課題に対する解決策をチームで検討する演習を導入。自ら考え行動するスキルと意識を磨いた。

教育効果としてはインターンシップの前後では、ジェネリックスキルにも変化が見られた。ジェネリックスキルをはかるアセスメント「PROG」の結果によると、「経験から身に付いた行動特性」を示す「コンピテンシー」の伸長が顕著であった。特に「対自己基礎力」全体(1)と、「対人基礎力」のうちの「統率力」が、インターンシップの後に大きく伸びたことが示された。

(1)対自己基礎力：気持ちの揺れのコントロール、ポジティブ志向、モチベーション維持、主体的行動、良い行動の習慣づけなど

## 和泉短期大学

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                                                                                                        |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | <b>1. 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化</b><br>(1) 産業界(相模原市幼稚園協会・相模原市保育連絡協議会他)と本学教職員が定期的に懇談会を行い、求められる保育者・福祉人材養成を検討し、その結果を教育内容の改善に反映させる。また、学生FD委員会に外部講師を招聘し、学生の自治的な取組の開発を行う。さらに、野外活動の実践講座(相模原市と協働でプレイリーダー講習会)なども実践家講師を招いて実施する。                                 |
| ○  | (2) 主に実務家講師による「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」の授業を改訂・実施していく。また、野外活動の実践講座なども実践家講師を招いて実施する。さらに、授業では扱わない、保育者としての実践的講座(折り紙教室、実習支援教室、文章教室他)をCDセンター支援者により提供し、保育業界で求められているパソコン操作技能習得講座をIT支援者より提供していく。FD・SDの開発に関しては、講師を招聘し、学生FD委員会の運営による学生の自治的な取組を実施し、学内のFD・SD体制を充実する。 |
| ○  | (3) 「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」の授業の評価・改訂を継続して行い、学生のコンピテンシーの達成指数と就業定着率との関連を探るため、卒業生調査を実施する。                                                                                                                                                                         |
| ○  | <b>2. 産業界のニーズにマッチした学修評価・指導方法の開発</b><br>(1) 学生の保育就業力コンピテンシーの5項目(①基礎学力・生活習慣②自ら考える力③自ら行動する力④コミュニケーション能力⑤実践する力)の育成成果を示す指標を開発し、評価を実施する。その評価の結果を基に「キャリアカルテファイル」の改訂を重ねる。                                                                                    |
| ○  | (2) 「キャリアカルテファイル」の評価の改訂を引き続き行い、評価を実施し、「キャリアカルテファイル」の改訂を行う。                                                                                                                                                                                           |
| ○  | <b>3. 産官学地域共同によるインターンシップの高次化</b><br>(1) 「CDセンター」において地域の子育て支援を通じた保育の実践的活動(子育てひろば、「はっぴい」と親子開放)の支援を相模原市と共同で行う。                                                                                                                                          |
| ○  | (2) 「CDセンター」で実施する子育てひろばの保育実践を、相模原市や関東山梨地域大学グループの連携校と共同取組として、学外でも展開する方向性を探る。                                                                                                                                                                          |
| ○  | (3) 子育てひろばを通じた保育実践を学内・学外で、相模原市、関東山梨地域大学グループの連携校と共同で実施し、評価を行う。                                                                                                                                                                                        |

### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

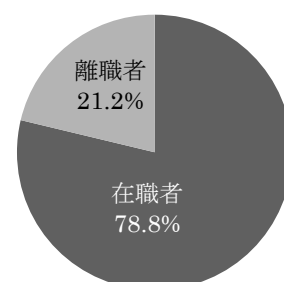
| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制 |
|----|---------------------|
| ○  | ・本学ホームページによる情報発信    |

### ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

#### 1. 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化

①2014年度、卒業生定着率調査(2011、2012、2013年卒)の在職状況について、就職先の保育園・幼稚園・社会福祉(児童・障害者・高齢者)施設へ調査を依頼した。7月下旬に421園・施設(対象の卒業生651名)に調査票を郵送し、343園から回答を得た(回収率81.4%)。過去3年間の卒業生の職場定着率は78.8%であった。業種別に見ると、保育園81%、幼稚園80%、施設70%であった。

定着率 78.8%



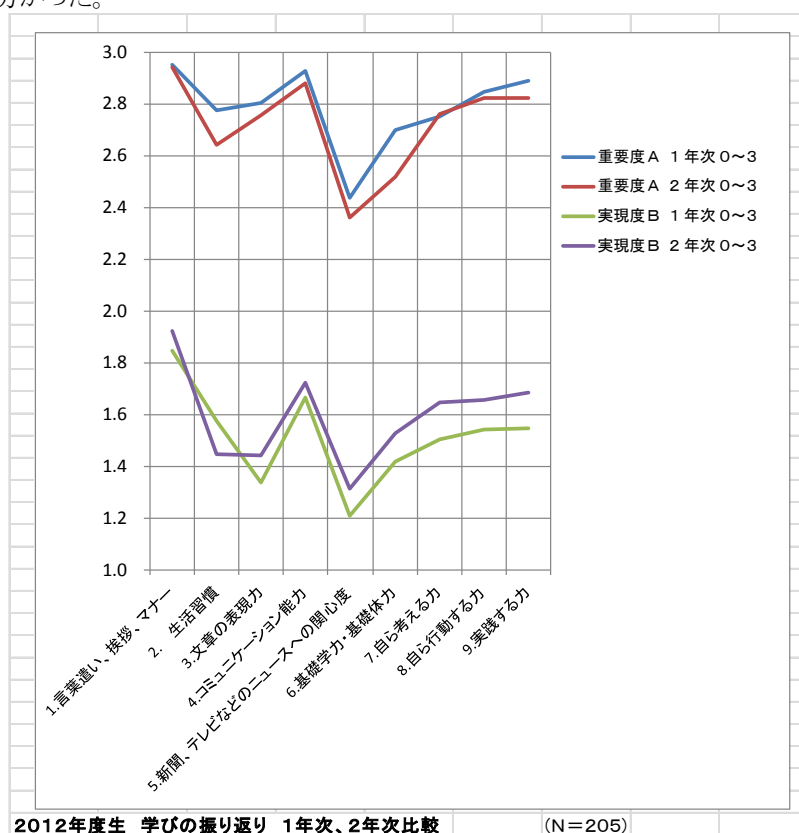
②2014年12月に保育所職員と本学教職員が懇談会を行い、本学のキャリア教育の重要度についてアンケートを実施した。その中で、重要度が高かった項目は、a.入学前から、生活習慣(食生活、睡眠、運動)の記録 b.実習前に生活技術(掃除の仕方、食事マナー等)や保育技術(読み聞かせ、折り紙他)の講習会を開催し、指導している。c.文章能力を向上する取組(新聞記事の要約、文章作成ワーク)をおこなっている、ことであった。これらの結果を踏まえて、教育内容の改善に反映させることになった。

## 2. 産業界のニーズにマッチした学修評価・指導方法の開発

①保育就業力コンピテンシーの5項目の育成成果を評価するため、「学びの振り返りワークシート」(キャリアデザインアンケート)を作成し、各年度の後期末に実施した。これは、学生にコンピテンシーの各項目について、その重要度および実現度を自己評価させるものである。

②2012年度の「学びの振り返り」結果の分析評価から、コンピテンシーの向上のために学生が取り組む「キャリアカルテファイル」の改訂を実施した。2013年度についても同様に「学びの振り返り」結果の分析評価と改訂を実施した。例えば「生活習慣ワークシート」では、保育実習に向けて1週間の睡眠、食事、運動について学生自らが振り返り、改善していくことがし易くなるような改訂を行った。

③2012年度入学の「学びの振り返り」結果から、1年次よりも2年次の方が確実に実現度の向上が図られていることが分かった。



## 3. 産官学地域共同によるインターンシップの高次化

①「CDセンター」において、毎月1回土曜日に学生と大学教職員が共同で地域の親子を対象に行う子育てひろば「はっぴい」を開催した。毎回、季節の行事を取り入れたプログラムを提供し、平均20組の親子が学生や教職員の支援を受けながら過ごす場所として、地域に貢献した。毎週木曜にはCDセンター親子開放「すまいいい」を開催し、毎回10~20組の親子が自由にCDセンターで交流し、支援者に育児相談をし、学生がボランティアや授業で関わるといったプログラムを展開した。

②2013年度より、北里大学海洋生命科学部「北里アクアリウムラボ」の学生と、和泉短期大学ボランティアサークルが共同で、地域の親子向けの子ども体験イベント(ミニ水族館・おもちゃ作り・冒険遊び場他)を一般社団法人さがまちコンソーシアムが運営する「ユニコムプラザさがみはら」で開催することになり、両大学の学生が「はっぴいアクアリウムプロジェクト」を結成し、11月のイベント開催まで毎週実行委員会を開いて、企画・運営を行った。イベント当日は、市民団体(冒険遊び場)の協力も得、700名以上の来場者があった。分野の異なる学生であったが、お互い学び合うことができ、イベント開催に関し職員から実践を学んだ。2014年度も同様のイベントを12月に開催し、学生は団結力・コミュニケーション能力・実行力を伸ばしたと自己評価している。

## 昭和音楽大学短期大学部

### ■申請書上で計画していた事業内容の状況

| 結果 | 申請書上で計画していた内容                                                                                                                                                        |
|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 併設大学が平成 23 年に実施した「社会における音大卒業生のニーズ調査」の結果を踏まえ、産業界を含む一般社会が音大生に対して抱いている長所と短所を意識した授業内容を検討する。                                                                              |
| ○  | キャリア科目として位置づけた「音楽人基礎①」(1 年必修*)「音楽人基礎②」(2 年選択)において、一般常識や基礎的な人間力、プレゼンテーション・コミュニケーション能力の強化を図る。また、連携する関連業界や海外の芸術団体等からも外部講師の参加を得ることでその内容を充実させる。                           |
| ○  | 平成 24 年度に「音楽人研究」(2 年選択)をキャリア科目として開設し、関連業界との連携のもと、学生がこれらを訪問し、調査研究を踏まえてレポートにまとめ発表させ、業界の実態を認識させる。                                                                       |
| ○  | 企業、団体等から外部講師を招聘して講座等を開講し、キャリア教育の充実に一層努める。特に、卒業後、即戦力となるプロのダンサーをめざす本学バレエコースの実績を生かす。                                                                                    |
| ○  | 必修科目「総合教養」(1 年必修*)、「芸術特別研究①②」(1、2 年必修)を、汎用的能力の獲得のために最大限に活用する。同時に短大独自の専門科目「作曲家・作品研究」、「ピアノ演奏研究①②」において、少人数のクラス編成を生かしながら、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力など汎用的な能力も獲得できる授業展開を工夫する。 |
| ○  | 学修成果の発表という教育的側面から、専門分野における実践的な成果発表の機会を学内外に準備する。地域社会でのミニコンサートを企画し、専門力の向上や学生の意欲向上を図る。                                                                                  |
| ○  | 本学で開催するコンサート等の機会に、関連業界の関係者に審査員の立場で来場を請い、ステージマネージャーやプログラムノート、コミュニケーション力等について必ずしも専門分野に限らない視点も含め、総合的なアドバイスを受ける。                                                         |
| ○  | 平成 23 年度入学生から導入したポートフォリオシステムについては、学年進行に応じて 2 年生まで完成させ、適切な指導を行いながら、履歴表示の高度化などシステムの改善を図る。                                                                              |
| ○  | 「卒業生が実社会で大学の学びをどう活かしているか」、「卒業生が就業する企業等の方からの評価や意見」を把握し、カリキュラムに生かすため、平成 25、26 年度に卒業生、関連業界関係者の参加を得てシンポジウムを開催し、その内容は報告書としてまとめる。グループ校と共有できる方法と音楽大学独自の方法とを探究し、本テーマの実現を目指す。 |

\*平成 25 年度に新設した音楽と社会コース(シニア世代を対象とする)では、平成 26 年度より選択とした。

### ■申請書上で計画していた情報提供の方法・体制

| 結果 | 申請書上で計画していた提供の方法・体制【提供方法】                                                                                                                |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○  | 本学ホームページにて、本事業の概要やその内容に係る経過・成果等を産業界も含め、広く情報発信を行い、本事業に関し、積極的に協力を仰ぐ。                                                                       |
| ○  | 初年度にパンフレットを作成し、本事業の概要、内容、期待される成果、達成目標等を掲載し、配付する。本学学生の特性や音楽で培った能力を広く社会で活かせる事を周知し、協力を仰ぐ。                                                   |
| ○  | ニュースレターを作成し、本事業の各年度の具体的な内容、成果や経過を周知する。学内外および地域の団体や自治体等に幅広く周知を行う。                                                                         |
| ○  | キャリア支援センター運営委員会・スタッフ会議を教職員混成で構成し、定期的に会議を開催し、本事業の内容や経過、成果等について情報の共有を積極的に行う。本事業に委員(スタッフ)が積極的に関わり、産業界・地域・学生・卒業生・保護者等に本事業の周知を積極的に行える体制を構築する。 |
| △  | 産業界で活躍するアドバイザーを委嘱し「アドバイザー会議」を年に1回開催し、本事業に関し、大所高所の観点からの意見をもらい、産業界のニーズに対応した人材育成の推進に活かす。                                                    |
| ○  | 産業界他有識者の複数名による外部評価委員会を組織し、各年度末に学内の自己評価に基づき、当該年度の取組を評価してもらう。この役割を上記産業界アドバイザーに依頼し、産業界等で必要とされている人材の把握や産業界との協力体制等の計画を検討する際の重要な情報とする。         |

## ■「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」参加による効果

平成 25 年度に「産業界の人材ニーズ調査」を行い、社会で活躍するために必要な能力を調査した。産業界の求める人材や大学で期待される教育、取り組むべき施策等を把握し、産業界が育成すべき能力と考える課題解決力、コミュニケーション能力等をキャリア科目の授業に取り入れた。さらに本学卒業生を対象に「卒業生の就業状況調査」も行い、卒業生の現状と、彼らが音楽で培った力を社会でどう生かしているか等を把握した。卒業生が忍耐力、粘り強さ、感性、集中力等を「音大卒業生の強み」と認識していることが改めて分かった。

上記調査の結果をふまえ、一般的に音大生の長所とされる感性、集中力、持久力心等を伸長し、産業界から求められる課題解決力、コミュニケーション能力等について授業内容に取り入れるように努めた。2 年間という短大のカリキュラムにおいて、専門科目においても汎用的能力を養う授業内容やアクティブ・ラーニングを推進する工夫をした。平成 26 年度には『履修要綱』にカリキュラムマップを掲載し、科目ごとに獲得できる力を学生にわかりやすく示した。

ポートフォリオシステムの活用について、既に複数の授業科目で運用しているが、平成 24 年度に、その改善を図り、企業情報等の組込と学生自身の学びを将来に生かす「キャリアデザインシート作成」機能を追加した。

教育改善研究会の各大学の事例発表や合同 FD の授業相互参観により、連携大学における本事業の取組やキャリア教育の内容を認識する貴重な機会を得た。各大学の課題や成果を共有し、本学におけるキャリア教育の課題や問題点が決して特殊なものではないと認識することができた。

平成 25 年度に“実社会に生きる大学の学び”、平成 26 年度に“産業界が求める人材”をテーマにシンポジウムを開催した。平成 25 年度は前述の「産業界の人材ニーズ調査」等の報告やさまざまな分野で活躍する卒業生のパネルディスカッションを実施した。専門分野での学修成果やその過程で身に付けた汎用的能力を社会で生かせることを再認識し、連携大学間でもこれを共有できた。平成 26 年度は、上述の各種調査結果の報告に続き、産業界等の有識者によるパネルディスカッションを実施した。主として「学修成果をどう評価するか」に関して産業界から見たキャリア教育の成果や課題など生の声を聴くことができ、連携大学間でもこれを共有できた。

本事業における短大独自の取組のうち、平成 25、26 年度に地域の保育施設で実施したミニコンサートは、施設側から高い評価を得ることができた。参加した学生にとっても、この経験を通じて学んだことは自信と意欲につながった。

また、平成 24、25、26 年度の各年度末、短大バレー及びポピュラー音楽コースの卒業公演に、それぞれ関連業界の関係者から講評を得たことも有益であった。総合的なアドバイスは、今後カリキュラムの改訂や授業内容に生かす予定である。この 2 つの取組は、短大の活性化に大いに役立つものになった。

本事業の取組により、個性的で多彩な強みを持つ 14 大学が大学の枠を超え、産業界のニーズを大学教育に取り入れ教育全般を高められたことが成果である。また、あまり接点のなかった産業界の視点から音大生の特色を客観的に見ることができ、今後も広い視野と職業意識を持った人材育成を行っていく。



### 3. 取組の今後

#### 当該事業の継続プラン

当初の申請書上では、継続について以下のように記載していた。

グループ全ての大学が、本取組における大学連携や産学連携による「知」の共有と、その継承・発展への期待が高く、支援期間終了後においても当該事業の継続に合意している。そのため、当該事業における平成 26 年度のグループ目標は、平成 27 年度以降の持続可能な体制の確立である(サステナビリティ)。また、グループとしての取組や継続体制等を拡充・強化するため、当該事業を進めて行く中で、他の大学グループとの合同連携の実現を検討していく。

申請書2(3)より

他グループとの合同連携は、本事業の中間報告シンポジウムの際に実施したポスターセッションに、グループを越えた参加が実現した。グループとして、北海道・東北グループ 4 大学連携(岩手県立大学、岩手県立大学盛岡短期大学部、岩手県立大学宮古短期大学部、桜の聖母短期大学)に参加いただき、単独大学として、茨城大学(関越地域大学グループ)に参加いただいた。

また、テーマ3で開催したインターンシップ報告会において、九州・沖縄・山口地域大学グループによるルーブリックを使用させていただいた。

グループとしての事業の継続については、幹事校を各大学で引き継いでいくことで同意している。引継計画および継続後の事業としては以下の通りである。

#### 幹事校の引継計画

平成 26 年 7 月 22 日に開催された大学グループ協議会にて、平成 27 年度以降の幹事校と報告会開催校が諮られ決定した。報告会は次年度の幹事校での開催とし、報告会開催準備に際し、幹事校業務の引継も同時に行う。

| 年度       | 期間             |                 | 報告会開催校   | 幹事校      |
|----------|----------------|-----------------|----------|----------|
| 平成 26 年度 | 2014 年 4 月 1 日 | 2015 年 3 月 31 日 | 電気通信大学   | 電気通信大学   |
| 平成 27 年度 | 2015 年 4 月 1 日 | 2016 年 3 月 31 日 | 横浜国立大学   | 電気通信大学   |
| 平成 28 年度 | 2016 年 4 月 1 日 | 2017 年 3 月 31 日 | 宇都宮大学    | 横浜国立大学   |
| 平成 29 年度 | 2017 年 4 月 1 日 | 2018 年 3 月 31 日 | 昭和音楽大学   | 宇都宮大学    |
| 平成 30 年度 | 2018 年 4 月 1 日 | 2019 年 3 月 31 日 | 創価大学     | 昭和音楽大学   |
| 平成 31 年度 | 2019 年 4 月 1 日 | 2020 年 3 月 31 日 | 亜細亜大学    | 創価大学     |
| 平成 32 年度 | 2020 年 4 月 1 日 | 2021 年 3 月 31 日 | 神奈川工科大学  | 亜細亜大学    |
| 平成 33 年度 | 2021 年 4 月 1 日 | 2022 年 3 月 31 日 | 東京経済大学   | 神奈川工科大学  |
| 平成 34 年度 | 2022 年 4 月 1 日 | 2023 年 3 月 31 日 | 北里大学     | 東京経済大学   |
| 平成 35 年度 | 2023 年 4 月 1 日 | 2024 年 3 月 31 日 | 日本社会事業大学 | 北里大学     |
| 平成 36 年度 | 2024 年 4 月 1 日 | 2025 年 3 月 31 日 | 山梨英和大学   | 日本社会事業大学 |
| 平成 37 年度 | 2025 年 4 月 1 日 | 2026 年 3 月 31 日 | 和泉短期大学   | 山梨英和大学   |
| 平成 38 年度 | 2026 年 4 月 1 日 | 2027 年 3 月 31 日 | 武蔵野大学    | 和泉短期大学   |
| 平成 39 年度 | 2027 年 4 月 1 日 | 2028 年 3 月 31 日 | 電気通信大学   | 武蔵野大学    |
| 続く・・・    |                |                 |          |          |

## 継続される内容

---

### イベントの開催

年 1 回程度、幹事校主催のもと、次年度幹事校を会場としてイベントを行う。

これは、各大学の担当教員、職員が異動等で変更となったとしても、年 1 回のイベントの開催で関係性を維持発展させることが出来る。また、幹事校から次年度幹事校への幹事校業務のノウハウ等の移転も行う。イベント内容としては、平成 26 年度に実施したインターンシップ報告会など、これまで実施したイベントをもとに企画開催する。

### 合同 FD

各大学間での信頼関係が構築されている中、各々の大学が各々の大学に対しても講義の見学を依頼できるような関係性が構築されている。今後、グループ全体に対して公開講義の情報の共有は行わないが、各大学間で見学の調整を行うこととする。

## 4. 取組の実績・成果

### 全体の取組に対する評価

申請書では、以下のように、定量的、定性的評価基準を設けた。

#### (8) 取組の実施効果についての定量並びに定性的評価基準と評価体制等

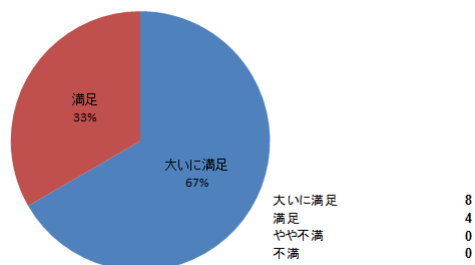
グループ各大学の取組については、各大学が設定する評価基準において後述の評価体制で評価する。大学グループの各取組テーマについては、前述の「(2) 大学グループにおける取組テーマの達成目標・成果」に基づき同様に評価する。また、グループ全体として、アンケート形式による満足度調査を、①「大学間連携」についてグループ各大学に、②「産官学連携」について各参加企業・自治体等に、③「本取組の成果」についてシンポジウム参加者に行い評価の一つの基準とする。なお、評価体制としては、本グループの「教育改善研究会」、「幹事校会」、「関東山梨地域大学グループ協議会」、以上の3つの組織がそれぞれの目的・役割に沿って中間的な評価を行い、取組の客観的評価の必要性から「関東山梨地域産学協働協議会」において最終的評価を行う。

### 「大学間連携」に対する満足度(グループ各大学)

平成 27 年 3 月にグループ各大学にアンケート調査を行った。アンケート調査については以下の結果を得た。

#### 大学間の連携に関して

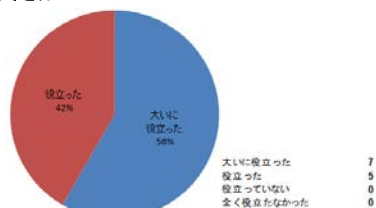
本事業における大学間の連携（合同 FD、教育改善研究会、シンポジウム、大学協議会等）は満足いくものでしたか



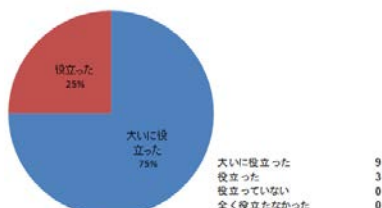
- ・ 当事業がなければ知ることができなかったと思われる他大学の状況を知ることができた。
- ・ 当事業により面識を得た産業界委員からも、今後の教育改善につながる情報を得ることができた。
- ・ 当事業に、学内の役職者が参加することでキャリア教育や地域連携事業を推進することができた。
- ・ 専門分野の違う大学間での情報交換ができた。
- ・ 産業界委員、外部評価委員等からのいわゆる「産業界からのニーズ」の一端を知ることができた。
- ・ 他大学との連携(事例紹介)はたいへん重要であった。
- ・ さまざまな個性のある大学がそれぞれの専門性を生かしながらも、ジェネラルスキルの向上に熱心な様子が学べた。
- ・ ここで培った大学間連携は大変に貴重だった。今後も、この連携が続くことが重要だと感じている。
- ・ 企業、団体の各委員からの意見が大いに参考となった。特にジェネリックスキルに関するコンセンサスが取れたことは、大学でのキャリア教育の方向性にとって指針となった。
- ・ 様々なバックグラウンドをもつ大学の連携で、教育内容や学生の専攻がまったく異なるところであっても、キャリア教育に関する根本的な考え方は変わらないということが実感できた。

## 教育改善研究会に関して

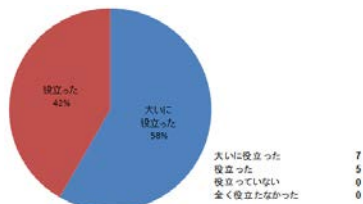
教育改善研究会にてご自身の大学による発表内容に対する他大学および産業界委員からのご意見や、議論は今後の取組に対して役に立つものでしたか



教育改善研究会にて他の大学による発表内容は役に立つものでしたか

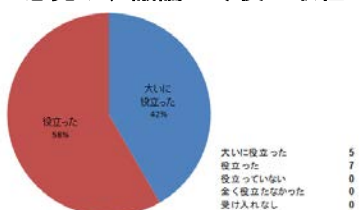


教育改善研究会にて他の大学による発表内容に対する他大学および産業界委員からのご意見や、議論は今後の取組に対して役に立つものでしたか

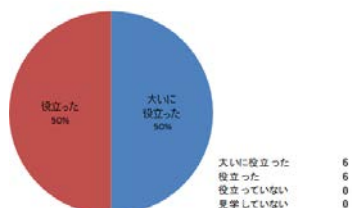


## 合同 FD に関して

他大学教職員の方を受入された際のご意見や、議論は今後の取組に対して役に立つものでしたか



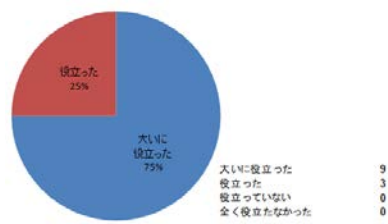
見学された他大学の講義は今後の取組に対して役に立つものでしたか



- 他大学の取組を知ることで本学の取組の改善につながったが、遠方の大学であるため授業実施日に教員が視察することが難しかった。
- 職業人になることを意識した導入教育の実際を学ぶことができた。
- 卒業生を丁寧に組織して教育に貢献してもらっていることが学べた。
- 社会人コンピテンシーの数値の表し方など、他大学の取組が参考になった。
- 本学にはないキャリア教育の体制や手法を学ぶことができた。
- キャリア教育は手探り状態、その中で相互に見学ができたのは参考になった。
- 少人数でのキャリア講義科目の運用体制や授業の内容が参考になった。
- アクティブラーニングの実践を見ることができたことは、キャリア教育プログラムの構築のために大いに参考となった。
- 授業担当の教員の話聞き、学生の受講の様子を直接見ることで、授業の目的や課題がよく理解できた。

産学協働協議会に関して

産学協働協議会での産業界委員の皆様からのご意見や、協議会での議論は今後の取組に対して役に立つものでしたか。





## 「産官学連携」に対する満足度(各参加企業・自治体等)

平成 27 年 2 月 28 日に開催された産学協働協議会にて、産業界委員より本事業に対する取組についてフィードバックをいただいた。

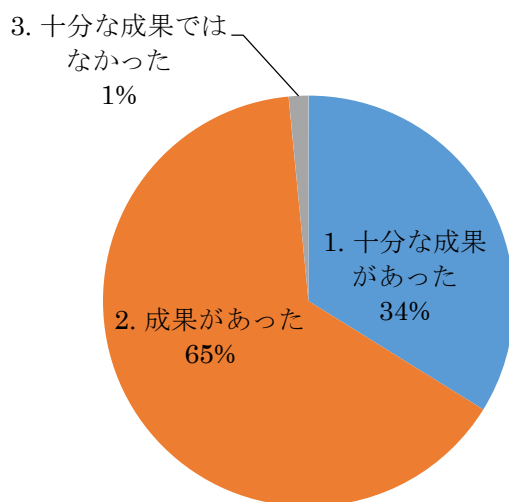
- ・ 3年間大変勉強させて頂いた。
- ・ キャリア教育を実施すれば、就職率がすぐ高くなるという単純なものではないということもよく理解できた。
- ・ キャリア教育がなければどうなるのかを考えると、これも今の時代にはマッチしない。
- ・ 終身雇用制が一部の大会社を除いて、かなり流動化が始まりつつある中、定年までに退職する方が非常に多いという時代になってきている。自分たちの生涯にわたるワークというのは何なのかという、人生とのバランスが取れないといけな。そういうことはなかなかまとめて教えるということは難しいが、大学で教育することは価値がある。
- ・ キャリア教育はキャリアアップ＝就職ということよりむしろ4年間の大学生活で何をアクティブに学ぶかということとなり、それは大学改革に近いのではないか。
- ・ 企業側は、景気が悪くなってきた途端に大学側に即戦力をかなり求めるようになってきたが、面接をするときには、むしろ何を学び、これから何をやりたいか、そして勤めた後も何を学び続けるかという姿勢をどこかで対応していないとやはり難しいのではないかと思えてきている。
- ・ 積極的なラーニングの姿勢の醸成に主力を置いている大学がいくつかあったことを評価したい。
- ・ 学生においては、経験不足を感じる。特に今の学生はネットで情報を仕入れるので、経験というものが非常に不足している。
- ・ 経験の中で、自分がどのように次に向かっていくかということの中々考えられない。
- ・ 積極的に学ぶ、あるいは経験を色々なところで積み、職場でどんどん伸びていく人とそうでない人の二極分化が進むのではないか。
- ・ 聞く力ではなくて述べる発信力が非常にうまくなったと思われる。学生の発表は上手だった。
- ・ 働き手が意志を持って働かないと、日本の産業そのものが低下してしまうのではないか。大学の入り口が広くなり、出口も広がったとしても、大学から出てくる学生が、それぞれ自分の人生まで含めた活性化を進めるようキャリア教育には求めたい。
- ・ 企業の中でも、どうにか創造性を発揮しながら、その場できちんと仕事ができる人を是非多く輩出してほしい。
- ・ 本事業そのものも、多様な学部で意見が違っていてもその多様化が、現在、学生も多様化している中で根気よく粘り強くやっていくことが、将来の展望として一番開けていくのではないか。
- ・ 現場(合同FDで公開された講義)を見ると、教職員の熱い思いというのがこの90分の中に込められているのが感じられた。事前準備から相当時間をかけていると思われた。
- ・ 60歳定年まで同じような仕事をずっと続けていくという保証は全くない。従ってどういう事業構成になっても適応できるような環境適応力をつけて頂きたい。
- ・ 最近だと打たれ弱いという人間が多いが、心理学でいうレジリエンス、しなやかさのようなものも、大学のキャリア教育に関わらず、身につけられるような環境に置いていただきたい。
- ・ 打たれ強くなくてもいいが、打たれ弱くない学生を今後育成してほしい。
- ・ 学び続ける姿勢は重要である。
- ・ 中堅中小企業に多いが、国内で事業しているように見えても、実はそうではないというのがグローバル化になってきている。
- ・ 学ぶ姿勢の中で、ネットなどの情報を得ることは容易になっているが、現場を見に行ってほしいということを学生たちに伝えたい。
- ・ インターンシップでは、企業を訪問した際に、働いている人の顔つきや雰囲気を見て、明るいのかどうか、受付の人はどのような対応をしてくれるのかなどを経験してほしい。
- ・ 基礎学力が抜け落ちてしまっている学生が実は多いのではないか。コミュニケーション能力はあるものの、基礎学力が欠けているのではないかと最近感じている。それはキャリア教育の中なのか、本来の一般教育的な授業なのかはわからないが基礎学力をすくいあげる、平均値を高めてあげるような作業が必要ではないのか。基礎学力がない学生が企業にとりあえず入って、それから数年経ったときに会社の中で差は出てくる。
- ・ 企業から求められていることは1つではない。1つの組織の中では、様々な役割やチームがあり、その中で社員は得意不得意が存在するため、一律の模範解答はないと思う。
- ・ 皆の主体性が強かったら組織として成り立たない中で、個人の長所を伸ばし個性の多様性と求められている人材を見出して、うまく組織の中にはめ込めるよう、学生にフィットした企業や組織に送りだすのが良いのではないか。
- ・ 人生の中で成功体験の積み重ねがあって、今現在の学生がある。学生には小さいことでいいので成功体験を1つ1つ積み重ねることが大きな自信となり、人生における推進力になるようにしてほしい。人生において、成功体験を持っている人の方が強い。

- 今の学生は大人と話す機会が少ない。そういう中で、大学の先生や職員の方も1人1人が学生にとっては大人の世界の入り口であり、窓口だと思う。その点を意識し、「こういう大人になりたい」と思ってもらえるように、学生たちの夢の一部になって頂きたい。
- このような産学の集まりへの参加の機会も多かったが、1つの大学に対して複数の企業とか、1対1ということが多く、こうした多くの大学の方と会える機会は非常に少ないため、非常に興味深かった。
- 大学も企業も、インターンシップの位置づけをどうしていくか、グローバルという意味は何なのかということをこれも併せて考えていかないとはいけない。
- 教養という点では、グローバル化の一方で日本の歴史、技術、伝統を学ぶ機会というのはやはり大学までに学ぶべきだと思う。

### 「本取組の成果」について(シンポジウム参加者)

平成27年2月28日に開催した成果報告シンポジウム参加者に対して、アンケート調査を行い、以下の結果を得た。

## 関東山梨地域大学グループの成果について どのように感じられましたか。



|                |    |     |
|----------------|----|-----|
| 1. 十分な成果があった   | 22 | 34% |
| 2. 成果があった      | 42 | 65% |
| 3. 十分な成果ではなかった | 1  | 1%  |

## 5. 外部評価委員会からの第三者評価

### 外部評価委員会 委員

|     |                  |                    |        |
|-----|------------------|--------------------|--------|
| 委員長 | 岩波 利光(いわなみ としみつ) | 経団連 教育問題委員会        | 前企画部会長 |
|     |                  | 日本電気株式会社           | 特別顧問   |
|     | 片山 英治(かたやま えいじ)  | 野村證券株式会社 金融公共公益法人部 | 主任研究員  |
|     | 小林 浩(こばやし ひろし)   | リクルート進学総研          | 所長     |
|     | 作古 貞義(さこ さだよし)   | 学校法人中内学園流通科学大学     | 名誉教授   |
|     | 平坂 敏夫(ひらさか としお)  | 株式会社ロッテ            | 顧問     |

### 総評

- ・ 広い地域のタイプの異なる大学、短期大学が14校集い、熱心に改善活動にチャレンジしたことを評価
- ・ お互いに刺激し合い、多くの気づきや課題を共有したことは明日に繋がる
- ・ 教職員のみでなく、実社会(産業界)、学生も参画し、より具体的な改善方向を示していることを評価
- ・ 参加校、参加メンバーの熱意と努力、そして成果に敬意を表す

### 実施体制への評価

- ・ 実行された内容からすると、実施体制はよかったと思われる。
- ・ 当初の目的に対し、具体的な検討がされていることから評価ができる。
- ・ 多彩なバックグラウンドを持った大学、短大で構成されるにも関わらず、ジェネリックスキルの習得という共通目標のもとにテーマを絞り込んだ良い取組となった。
- ・ 文科省の留意事項については、真剣に取り組まれた成果がデータとして残っている。

### 事業内容(グループ全体、産学連携)への評価

- ・ 最終報告書については、実に貴重な方向性を示唆する成果物である。汎用性があり、大学教育のベースになる資料で活用できると感じた。完成度が高い。
- ・ 合同FDが印象的である。合同FDの内容について展開数や具体的な成果、実態など情報発信することに大きな価値を生む。
- ・ 教育改善研究会について、発表者の説明が中心で議論がすくないことや、産業界委員が意見を出すことに遠慮されたりすることの改善策として、発表後に議論を行うための時間を設け、まず産業界委員の方に意見をきくことにより、議論を活発化させたことは評価できる。
- ・ 教育改善研究会の際に、講義を受講していた学生に発表をさせたことは、よい取組であった。
- ・ 産業界委員も大学の実情を知らず、特にキャリア教育のことを知らなかった中、各大学の取組内容に対し、好意的な評価を得ていたが、一緒に勉強しながらやっていたことはよい工夫であった。

### 事業内容(テーマ別)への評価

#### テーマ1

- ・ 体系的なキャリア教育モデルは2つの点ですばらしい。1点目は産業界の共通言語、対話のきっかけになりうる。2点目は、テーマの連携、シナジー効果につながるのではないかな。
- ・ 体系的なキャリア教育モデルはテーマ3のインターンシップ共通アンケートとも関わってくる。たとえば、アンケートの質問項目の中にフェーズ1からフェーズ3の学修目標を身につけているかどうかを確認し、企業にキャリア教育がどのように受け止められているかを確認するツールになりうる。
- ・ 企業の側から、フェーズ3を入れた方がいいのではないかな、フェーズ1からやり直した方がいいのではないかな等対話がしやすくなる。
- ・ キャリア教育に関するシラバスの作成方針は、各大学により状況が異なるため、どこまで行うかが課題となる。

## テーマ2

- ・ テーマ1とテーマ3は、産業界との接点になっており、取り組みやすかったであろうが、テーマ2はそれぞれの大学のコアの部分で困難であっただろうと思われた。テーマ2は長期に渡って取り組むことで成果がでてくるのではないかな。継続発展を期待する。
- ・ ポートフォリオモデルの確立について、ポートフォリオの成功事例がほとんどない、という現状において、モデルを確立する要件やうまく運用するためのポイントがどのようなものになるのか。ひとつの方針としては、各大学の取組を 14 大学で共有し各大学で参考にしながら改善を進めることではないか。
- ・ ポートフォリオを産業界側でどのように活用して行けるのかを考えることの方が重要なのではないかな。
- ・ ポートフォリオはシステムでしかない。体系的なキャリア教育モデルのフェーズ 1～3 を、ポートフォリオ上でつけてみることも検討してみてもどうか。
- ・ ポートフォリオの利用促進については学生への動機づけが重要であるが、就職活動と結びつけることや、シラバス上で実際の科目と結びつけるなどの工夫が必要である。

## テーマ3

- ・ 平成 26 年 12 月のインターンシップ報告会は取組成果として非常によかった。

## 事業継続への評価

- ・ 成果物についてはこれから成熟させる過程が必要である。連携のスタート段階としてこの成果には敬意を表する。
- ・ 14 大学の 3 つのテーマについて現実の社会で育て上げる必要がある。今後も継続的に取組を行って欲しい。
- ・ キャリア教育というのは、100 年続いている大学教育を覆すものであって、文部科学省の支援がなければ細ってしまう。継続のためには支援が必要であることは理解できた。

## 6. 評価委員からの評価結果

平成 26 年 2 月 6 日に開催されたテーマA成果報告会についての、評価委員からの評価結果を次ページ以降に掲載する。



**平成24年度～26年度**  
**「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」**  
**【テーマA】委員評価　とりまとめ**

|         |                                                                                 |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 大学グループ名 | 電気通信大学グループ                                                                      |
| 取組名称    | 関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善                                                  |
| 取組テーマ   | 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化<br>産業界のニーズにマッチした学修評価・指導方法の開発<br>産官学地域共同によるインターンシップの高次化 |

**(1) 大学グループの構成と産業界等との連携**

- (1名／8名) 連携の趣旨・目的、取組の方向性を踏まえ、かつ、更なる発展的要素が見受けられる  
(6名／8名) 連携の趣旨・目的、取組の方向性を踏まえている  
(0名／8名) 連携の趣旨・目的、取組の方向性を踏まえているが、縮小しているように見受けられる  
(0名／8名) 連携の趣旨・目的、取組の方向性が踏まえられていない

※回答なし(1名)

※委員からのコメント

- 外部13機関が積極的に関与している点は良い。ただし、外部評価委員会の成果はよく伝わらなかった。
- 一度不採択になったことで、グループ間の意識レベルを合わせた。

**(2) 大学グループにおける取組テーマの達成目標・成果**

- (1名／8名) 成果は十分に見られる  
(6名／8名) 成果は見られる  
(1名／8名) 成果は不十分である  
(0名／8名) 成果は見られない

※委員からのコメント

- 多様な大学の連携によって得られた成果をより詳しく報告してほしい。
- インターンシップの高次化は評価できる。
- 産業界の理解促進に具体的な注力が示されている。(例) 外部評価委員会
- 成果物が見えない。最大の売りであった“ジェネリック・スキル”について具体性あるものが欲しい。

### (3) 大学グループにおける取組テーマの内容

- (1名／8名) 成果につながる取組が十分実施されている
- (6名／8名) 成果につながる取組が一定程度実施されている
- (1名／8名) 成果につながる取組があまり実施されていない
- (0名／8名) 成果につながる取組が実施されていない

※委員からのコメント

- 分野の異なる大学が連携したインターンシップが実施されている。
- テーマⅢのインターンシップの取組は具体的な成果であり、更なる拡大に期待する。
- 産業界へのまきこみ、気づきが見られる。

### (4) 大学間の連携体制と連携取組の実施体制

- (1名／8名)「取組テーマ」ごとに体制は構築され十分に機能している
- (5名／8名)「取組テーマ」ごとに体制は構築され一定程度機能している
- (2名／8名)「取組テーマ」ごとに体制は構築されているが機能は不十分である
- (0名／8名)「取組テーマ」ごとの体制の構築が不十分で機能も不十分である

※委員からのコメント

- 分野、地域の異なる大学間の連携は希薄だったのではないか。
- 連携に向けて個別大学間をつなげる機会になった事例があった。

### (5) 大学グループの取組体制

- (1名／8名) 事業全体について、体制は構築され十分に機能している
- (6名／8名) 事業全体について、体制は構築され一定程度機能している
- (0名／8名) 事業全体について、体制は構築されているが機能は不十分である
- (0名／8名) 事業全体について、体制の構築が不十分で機能も不十分である

※回答なし(1名)

※委員からのコメント

- 判定不能。参加意欲に意識差があるのではないか。

### (6) 取組の実施計画

- (0名／8名) 当初計画以上に進捗している
- (4名／8名) 当初計画通り進捗している
- (2名／8名) 当初計画からやや遅れている
- (0名／8名) 当初計画から大幅に遅れている

※回答なし(2名)

※委員からのコメント

- 判断に足る十分な情報が書かれていない。

### (7) 取組の実施効果についての定量並びに定性的評価基準と評価体制等

- (1名／8名) 設定され十分に機能している
- (3名／8名) 設定され一定程度機能している
- (2名／8名) 設定されているが機能は不十分
- (1名／8名) 設定が不十分で機能も不十分である

※回答なし(1名)

※委員からのコメント

- 現在のところ判断できる情報がない。
- 外部評価委員会の設置は優れた取組といえる。
- 具体的な成果物がみなかった。取り組んでみて気づいた所感を語ることで終わっている。

### (8) 採択時の留意事項について

- (3名／8名) 十分対応している
- (3名／8名) 一定程度対応している
- (2名／8名) 対応は不足している
- (0名／8名) 対応していない

※委員からのコメント

特になし

### (9) 支援期間終了後(平成27年度以降)の取組

- (2名／8名) 十分計画されている
- (2名／8名) 一定程度計画されている
- (4名／8名) 計画は不足している
- (0名／8名) 計画されていない

※委員からのコメント

- まだ見通しが立っていないと思われる。
- 教育改革の視点が不足しているのではないか。
- 報告会が計画されているのみ。具体的計画は不明。
- 予算確保の難しさ。
- 予算と学内キャリア教育への認識は難しい課題だが、キャリア教育の重要性は更に高まると思われる。継続・強化に期待。

### (10) その他

※委員からのコメント

- 幹事校(テーマ別幹事校含む)以外の主体性が見えないが、実際はどうか。

### (11) 総合評価

(0名／8名) 事業の当初目的・計画を上回る効果・成果が期待できる

(6名／8名) 事業の当初目的・計画は達成できると見込まれる

(2名／8名) 事業の当初目的・計画の達成は一部困難な可能性がある

(0名／8名) 事業の当初目的・計画達成は困難と見込まれる

※委員からのコメント

●産業界との連携が具体的に示されている。

●色々取り組んでいることはよく理解できたが、具体的に成果が見えない。成果物ととりまとめを期待したい。

●産業界の委員を巻き込んだ点は評価するが、発表にもあった通り、「産業界のニーズ」はないと考えるし、「個別企業のニーズ」をどう捉えるかが課題だと思う。引き続き「産業界のニーズ」について研究されることを期待する。

●当初の計画（一部変更）を実施する方向で努力しているものの、現状把握のレベルに時間を要している感じ。しかし、そのプロセスを通じて、双方の認識が変化したことが一番の成果ではないか。これからの取組に期待がもてる。標準よりやや下回るレベル。



## 体系的キャリア教育の可視化モデル(テーマ①)

| 体系的キャリア教育の可視化モデル：フェーズと要件 |                                                                                                                                       |      |                                 |                                                                        |
|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
|                          | フェーズの定義                                                                                                                               | 主対象  | 学修目標                            | 主要な学修内容                                                                |
| フェーズ1:<br>Changing       | 学業や将来の進路決定に主体的に取り組む動機づけをする授業:<br>EX: キャリアの捉えかたを学ぶ講義、個人ワークやグループ・ワーク、ディスカッションにより考えさせる授業、社会人講師の講話など。自学の教育方針、学生の能力・資質に鑑みキャリア形成の動機づけになる授業。 | 1～2年 | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する | 1-① 学業と将来との係わりの理解<br>1-② 雇用・就業や社会状況への関心と理解<br>1-③ 自己理解<br>1-④ 概略的な職業理解 |
| フェーズ2:<br>Expansion      | 社会人として必要な力を身につける授業:<br>EX: ジェネリック・スキルを涵養するためのPBL、ディスカッションやディベートを取り入れた授業、職場見学や実務者との交流などの産学連携授業など。学生の能力・資質に鑑み、ジェネリック・スキルを高めるための必要な授業。   | 2～3年 | 実社会に必要なジェネリック・スキルを涵養する          | 2-① 前に踏み出す力の修得<br>2-② 考え抜く力の修得<br>2-③ チームで働く力の修得<br>2-④ より具体的な職業理解     |
| フェーズ3:<br>Practice       | 将来に向けて磨き高める授業:<br>EX: インターンシップ、ジェネリック・スキルを実践するためのPBL、ディスカッションやディベートを取り入れた授業。学生の主要進路先や能力・資質に鑑み、就職準備や卒業後の人生設計に必要な授業。                    | 2～4年 | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く   | 3-① ジェネリック・スキルの実践<br>3-② 職業体験<br>3-③ 就職準備<br>3-④ キャリアビジョンの構築           |

このモデルを運用するにあたっては、以下に留意する。

- ディスカッションや PBL、インターンシップなどの手法は、どのフェーズでも活用可能である。各大学の学修目標に応じて最適な手法を採用する。
- 履修対象学年はあくまで目安である。各フェーズはこの学年に必ずしも合致する必要はなく、各大学のキャリア教育カリキュラムに基づき、最適な履修学年を設定する。
- 必要な学修内容は多岐にわたるが、各フェーズの主要な学修内容を 4 項目に絞って明記した。殊に、フェーズ 2 のジェネリック・スキルに関する学修内容は、さまざまな観点から考えられるが、ここでは「社会人基礎力」の 3 カテゴリーに加え、「より具体的な職業理解」とした。
- 各科目の学修内容は、該当項に点数を記入(合計 10 点)する。重きを置く項は 2～3 点とする。これにより、重きをおく項やフェーズを可視化する。



| 宇都宮大学                      |             | フェーズ1: Changing                 |                                               |                     |                            | フェーズ2: Expansion                  |                             |                                   |                            | フェーズ3: Practice                  |                     |                     |                                  |
|----------------------------|-------------|---------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------|----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|----------------------------|----------------------------------|---------------------|---------------------|----------------------------------|
|                            | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する |                                               |                     |                            | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する            |                             |                                   |                            | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く    |                     |                     |                                  |
|                            | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>と理<br>解<br>の | 1-②<br>と会<br>理状<br>況・<br>解への<br>就業<br>や心<br>社 | 1-③<br>自<br>己理<br>解 | 1-④<br>理概<br>略的<br>な職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力の | 2-③<br>力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働く | 2-④<br>職よ<br>理具<br>体的<br>な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルの<br>リッ<br>ク | 3-②<br>職<br>業体<br>験 | 3-③<br>就<br>職準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョリ<br>のア<br>構ビ<br>築 |
| 科目名                        | 履修対象(学部・学年) |                                 |                                               |                     |                            |                                   |                             |                                   |                            |                                  |                     |                     |                                  |
| 人間と社会                      | 全学部/1～4年    | 2                               | 3                                             | 1                   | 3                          |                                   |                             |                                   | 1                          |                                  |                     |                     |                                  |
| キャリアデザイン                   | 全学部/1～4年    | 2                               | 2                                             | 2                   | 2                          |                                   | 1                           | 1                                 |                            |                                  |                     |                     |                                  |
| より良く生きる                    | 全学部/1～4年    | 3                               | 1                                             | 3                   |                            | 1                                 | 1                           |                                   |                            |                                  |                     |                     | 1                                |
| 働くことの意味と実際(グローバル時代のキャリア形成) | 全学部/1～4年    | 2                               | 2                                             | 2                   | 2                          | 1                                 | 1                           |                                   |                            |                                  |                     |                     |                                  |
| 企業のグローバル戦略とキャリア形成          | 全学部/1～4年    |                                 | 3                                             | 2                   | 1                          |                                   |                             |                                   | 1                          |                                  |                     | 1                   | 2                                |
| グローバル時代の企業経営               | 全学部/1～4年    | 2                               | 2                                             | 1                   | 1                          | 1                                 | 1                           |                                   |                            |                                  |                     | 1                   | 1                                |
| 先輩に学ぶ                      | 全学部/1～4年    | 3                               | 1                                             | 3                   | 1                          |                                   |                             |                                   |                            |                                  |                     |                     | 2                                |
| 実践企業人材論                    | 全学部/1～4年    | 3                               | 3                                             | 2                   |                            |                                   |                             |                                   |                            |                                  |                     | 1                   | 1                                |
| 国際インターンシップ                 | 全学部/1～4年    | 2                               | 2                                             | 2                   | 2                          |                                   |                             |                                   |                            |                                  | 1                   | 1                   |                                  |
| 起業の実際と理論(アントレプレナーシップの養成)   | 全学部/1～4年    |                                 |                                               |                     |                            | 3                                 | 3                           | 2                                 |                            | 2                                |                     |                     |                                  |
| 課題発見・解決型インターンシップ           | 全学部/1～4年    |                                 | 1                                             |                     |                            | 2                                 | 2                           | 2                                 | 2                          |                                  | 1                   |                     |                                  |
| インターンシップ                   | 全学部/1～4年    | 1                               | 1                                             | 1                   |                            |                                   |                             |                                   | 1                          | 1                                | 2                   | 2                   | 1                                |
|                            | 小計          | 20                              | 21                                            | 19                  | 12                         | 8                                 | 9                           | 5                                 | 5                          | 3                                | 4                   | 6                   | 8                                |
|                            | 合計          | 72                              |                                               |                     |                            | 27                                |                             |                                   |                            | 21                               |                     |                     |                                  |

| 電気通信大学       |             | フェーズ1: Changing                        |                                             |                     |                                 | フェーズ2: Expansion                  |                             |                                   |                               | フェーズ3: Practice                          |                         |                         |                                                   |
|--------------|-------------|----------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|------------------------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------|
|              | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する        |                                             |                     |                                 | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する            |                             |                                   |                               | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く            |                         |                         |                                                   |
|              | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>りと<br>理将<br>解来<br>の | 1-②<br>関社雇<br>心会用<br>と状・<br>理況就<br>解への<br>や | 1-③<br>自<br>己理<br>解 | 1-④<br>理概<br>解略<br>的<br>な職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力の | 2-③<br>力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働く | 2-④<br>職より<br>業理具<br>解体的<br>な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルネ<br>のり<br>実ッ<br>実践ク | 3-②<br>職<br>業<br>体<br>験 | 3-③<br>就<br>職<br>準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョ<br>ン<br>リ<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 科目名          | 履修対象(学部・学年) |                                        |                                             |                     |                                 |                                   |                             |                                   |                               |                                          |                         |                         |                                                   |
| キャリアデザイン基礎   | 情報理工学部/1年   | 5                                      | 2                                           | 1                   | 2                               |                                   |                             |                                   |                               |                                          |                         |                         |                                                   |
| キャリアデザイン     | 情報理工学部/1年   | 2                                      | 1                                           | 1                   | 2                               | 1                                 | 1                           |                                   |                               |                                          |                         |                         | 2                                                 |
| キャリアデザイン1    | 情報理工学部/2年   |                                        | 1                                           | 2                   | 1                               |                                   | 2                           | 2                                 |                               |                                          |                         |                         | 2                                                 |
| キャリアデザイン2    | 情報理工学部/2年   |                                        | 1                                           | 1                   | 1                               |                                   | 2                           | 2                                 |                               | 1                                        |                         |                         | 2                                                 |
| キャリア教育演習リーダー | 情報理工学部/3年   |                                        |                                             | 1                   |                                 | 2                                 | 2                           | 3                                 |                               | 1                                        |                         |                         | 1                                                 |
|              |             |                                        |                                             |                     |                                 |                                   |                             |                                   |                               |                                          |                         |                         |                                                   |
|              | 小計          | 7                                      | 5                                           | 6                   | 6                               | 3                                 | 7                           | 7                                 | 0                             | 2                                        | 0                       | 0                       | 7                                                 |
|              | 合計          | 24                                     |                                             |                     |                                 | 17                                |                             |                                   |                               | 9                                        |                         |                         |                                                   |

| 横浜国立大学           |             | フェーズ1: Changing                 |                                          |                     |                                 | フェーズ2: Expansion                      |                                 |                                       |                                  | フェーズ3: Practice                                     |                         |                         |                                              |
|------------------|-------------|---------------------------------|------------------------------------------|---------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------------------------|
|                  | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する |                                          |                     |                                 | 実社会に必要なジェネリック・スキルを涵養する                |                                 |                                       |                                  | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く                       |                         |                         |                                              |
|                  | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>と理<br>解<br>の | 1-②<br>関社<br>心会<br>と用<br>状・<br>理況<br>解への | 1-③<br>自<br>己理<br>解 | 1-④<br>理概<br>解略<br>的<br>な職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出<br>す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力<br>の | 2-③<br>力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働<br>く | 2-④<br>職よ<br>業理<br>具解<br>体的<br>な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルネ<br>の<br>リ<br>実<br>ツ<br>践<br>ク | 3-②<br>職<br>業<br>体<br>験 | 3-③<br>就<br>職<br>準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョ<br>ン<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 科目名              | 履修対象(学部/学年) |                                 |                                          |                     |                                 |                                       |                                 |                                       |                                  |                                                     |                         |                         |                                              |
| キャリアデザインA        | 全学部/1～2年    | 1                               |                                          | 3                   | 2                               | 1                                     | 1                               | 1                                     | 1                                |                                                     |                         |                         |                                              |
| キャリアデザインB        | 全学部/1～2年    | 1                               | 3                                        | 1                   |                                 | 1                                     | 1                               | 1                                     |                                  |                                                     |                         |                         | 2                                            |
| Wake Up! プロジェクト  | 全学部/1年      | 3                               |                                          | 1                   | 1                               | 1                                     | 2                               | 2                                     |                                  |                                                     |                         |                         |                                              |
| まなび座Ⅰ・校友会リレートーク  | 全学部/1年      | 3                               | 1                                        | 1                   | 2                               | 1                                     | 1                               | 1                                     |                                  |                                                     |                         |                         |                                              |
| 機械工学と社会とのかかわり合い  | 理工学部/1～4年   | 2                               | 1                                        |                     | 2                               | 1                                     | 1                               | 1                                     | 1                                |                                                     |                         |                         | 1                                            |
| システム・エンジニアリング    | 全学部/1～4年    | 2                               | 1                                        |                     | 2                               | 1                                     | 1                               | 1                                     | 1                                |                                                     |                         | 1                       |                                              |
| まなび座Ⅱ・リーダーシップの実践 | 全学部/2～4年    | 1                               |                                          | 1                   | 1                               | 2                                     | 2                               | 3                                     |                                  |                                                     |                         |                         |                                              |
| ビジネス・コミュニケーション   | 全学部/2～4年    | 1                               | 1                                        | 1                   |                                 | 1                                     | 1                               | 3                                     | 1                                |                                                     |                         | 1                       |                                              |
| キャリア・ケーススタディ     | 全学部/2～4年    | 1                               | 1                                        | 1                   |                                 | 1                                     |                                 |                                       | 3                                |                                                     |                         | 1                       | 2                                            |
| マイ・プロジェクト・ランチャー  | 経営学部/1～4年   | 1                               |                                          |                     |                                 | 1                                     | 1                               | 3                                     | 1                                | 2                                                   |                         | 1                       |                                              |
| インターンシップ         | 経営学部/2～4年   |                                 |                                          |                     |                                 |                                       |                                 |                                       | 1                                | 3                                                   | 3                       | 2                       | 1                                            |
|                  | 小計          | 16                              | 8                                        | 9                   | 10                              | 11                                    | 11                              | 16                                    | 9                                | 5                                                   | 3                       | 6                       | 6                                            |
|                  | 合計          | 43                              |                                          |                     |                                 | 47                                    |                                 |                                       |                                  | 20                                                  |                         |                         |                                              |

| 亜細亜大学             |             | フェーズ1: Changing                 |                                                 |                         |                                     | フェーズ2: Expansion                      |                                 |                                       |                                      | フェーズ3: Practice                         |                         |                         |                                              |
|-------------------|-------------|---------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------------------------|
|                   | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する |                                                 |                         |                                     | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する                |                                 |                                       |                                      | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く           |                         |                         |                                              |
|                   | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>と理<br>解<br>の | 1-②<br>と会<br>理状<br>況・<br>解<br>への<br>関<br>心<br>社 | 1-③<br>自<br>己<br>理<br>解 | 1-④<br>理概<br>解略<br>的<br>な<br>職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出<br>す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力<br>の | 2-③<br>力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働<br>く | 2-④<br>職より<br>業理<br>具<br>体<br>的<br>な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルネ<br>のり<br>実ッ<br>践ク | 3-②<br>職<br>業<br>体<br>験 | 3-③<br>就<br>職<br>準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョ<br>ン<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 科目名               | 履修対象(学部・学年) |                                 |                                                 |                         |                                     |                                       |                                 |                                       |                                      |                                         |                         |                         |                                              |
| 人生と進路選択           | 全学部/全学年     | 1                               | 2                                               | 2                       |                                     |                                       |                                 |                                       | 2                                    | 1                                       |                         | 1                       | 1                                            |
| キャリアデザイン          | 全学部/1・2年    | 2                               | 2                                               | 1                       | 1                                   | 1                                     | 1                               | 1                                     |                                      | 1                                       |                         |                         |                                              |
| 現代アジアとキャリアデザイン    | 全学部/全学年     | 2                               | 3                                               | 1                       |                                     |                                       |                                 | 1                                     | 1                                    |                                         |                         | 1                       | 1                                            |
| テーマ研究(中国キャリア開発入門) | 全学部/全学年     | 1                               | 1                                               | 2                       |                                     |                                       |                                 |                                       | 3                                    | 1                                       | 1                       |                         | 1                                            |
| オリエンテーション・ゼミナール   | 経営学部/1年     | 1                               | 1                                               | 2                       | 2                                   | 1                                     | 1                               | 1                                     |                                      | 1                                       |                         |                         |                                              |
| 基礎ゼミナール           | 経営学部/1年     | 1                               |                                                 | 1                       |                                     | 1                                     | 2                               | 2                                     | 1                                    | 1                                       |                         |                         | 1                                            |
| トップマネジメント特別講義     | 経営学部/3年     | 1                               | 2                                               | 1                       |                                     | 1                                     | 1                               |                                       | 3                                    |                                         |                         |                         | 1                                            |
| ホスピタリティマネジメント特別講義 | 経営学部/3年     |                                 | 1                                               | 1                       |                                     | 1                                     | 2                               |                                       | 3                                    |                                         |                         | 1                       | 1                                            |
| 日本経済の現状と展望        | 経済学部/2・3・4年 | 1                               | 2                                               | 1                       |                                     | 1                                     | 1                               |                                       | 3                                    |                                         |                         |                         | 1                                            |
| インターナショナル・フォーラム   | 国際関係学部/3・4年 | 1                               | 1                                               | 1                       |                                     |                                       |                                 |                                       | 2                                    | 1                                       |                         | 2                       | 2                                            |
| キャリア・インターンシップ     | 全学部/2年      | 1                               |                                                 |                         |                                     | 1                                     |                                 |                                       | 2                                    | 1                                       | 3                       | 1                       | 1                                            |
|                   | 小計          | 12                              | 15                                              | 13                      | 3                                   | 7                                     | 8                               | 5                                     | 20                                   | 7                                       | 4                       | 6                       | 10                                           |
|                   | 合計          | 43                              |                                                 |                         |                                     | 40                                    |                                 |                                       |                                      | 27                                      |                         |                         |                                              |

| 北里大学       |             | フェーズ1: Changing                      |                                          |                         |                                     | フェーズ2: Expansion                      |                                 |                                      |                               | フェーズ3: Practice                   |                         |                         |                                              |
|------------|-------------|--------------------------------------|------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------------------------|
|            | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する      |                                          |                         |                                     | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する                |                                 |                                      |                               | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く     |                         |                         |                                              |
|            | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>と理<br>解<br>来<br>の | 1-②<br>関社<br>心会<br>と用<br>状・<br>理況<br>解への | 1-③<br>自<br>己<br>理<br>解 | 1-④<br>理概<br>解略<br>的<br>な<br>職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出<br>す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力<br>の | 2-③<br>力チ<br>の<br>修ム<br>得で<br>働<br>く | 2-④<br>職より<br>業具<br>理体的<br>解な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルの<br>実ッ<br>践ク | 3-②<br>職<br>業<br>体<br>験 | 3-③<br>就<br>職<br>準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョ<br>ン<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 科目名        | 履修対象(学部・学年) |                                      |                                          |                         |                                     |                                       |                                 |                                      |                               |                                   |                         |                         |                                              |
| 仕事と人生      | 全学部1年       | 2                                    | 2                                        | 2                       | 1                                   |                                       |                                 |                                      | 1                             | 1                                 |                         |                         | 1                                            |
| ラーニングスキル   | 海洋生命科学部1年   | 3                                    |                                          | 2                       |                                     | 2                                     | 2                               |                                      |                               | 1                                 |                         |                         |                                              |
| プレゼンテーション  | 海洋生命科学部3年   | 2                                    |                                          | 3                       |                                     | 2                                     | 1                               |                                      |                               | 2                                 |                         |                         |                                              |
| 融合型講義      | 海洋生命科学部2～3年 | 2                                    | 2                                        | 1                       | 3                                   |                                       |                                 |                                      | 2                             |                                   |                         |                         |                                              |
| きたさとプログラムⅠ | 海洋生命科学部1年   |                                      |                                          | 2                       |                                     | 2                                     | 2                               | 2                                    |                               | 2                                 |                         |                         |                                              |
| きたさとプログラムⅡ | 海洋生命科学部2年   |                                      |                                          | 2                       |                                     | 2                                     | 2                               | 2                                    |                               | 2                                 |                         |                         |                                              |
| きたさとプログラムⅢ | 海洋生命科学部3年   |                                      | 1                                        | 2                       | 1                                   |                                       |                                 |                                      | 1                             | 2                                 |                         | 2                       | 1                                            |
|            | 小計          | 9                                    | 5                                        | 14                      | 5                                   | 8                                     | 7                               | 4                                    | 4                             | 10                                | 0                       | 2                       | 2                                            |
|            | 合計          | 33                                   |                                          |                         |                                     | 23                                    |                                 |                                      |                               | 14                                |                         |                         |                                              |

| 創価大学          |             | フェーズ1: Changing                      |                                               |                     |                                 | フェーズ2: Expansion                      |                                 |                                       |                                  | フェーズ3: Practice                         |                         |                         |                                              |
|---------------|-------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------|---------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------------------------|
|               | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する      |                                               |                     |                                 | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する                |                                 |                                       |                                  | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く           |                         |                         |                                              |
|               | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>と理<br>解<br>来<br>の | 1-②<br>関社<br>心会<br>と用<br>状・<br>理況<br>解への<br>や | 1-③<br>自<br>己理<br>解 | 1-④<br>理概<br>解略<br>的<br>な職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出<br>す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力<br>の | 2-③<br>力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働<br>く | 2-④<br>職よ<br>業理<br>具解<br>体的<br>な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルネ<br>のり<br>実ッ<br>践ク | 3-②<br>職<br>業<br>体<br>験 | 3-③<br>就<br>職<br>準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョ<br>ン<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 科目名           | 履修対象(学部・学年) |                                      |                                               |                     |                                 |                                       |                                 |                                       |                                  |                                         |                         |                         |                                              |
| 社会貢献と経済学      | 経済学部・1年     | 2                                    | 2                                             | 1                   |                                 | 1                                     | 1                               | 2                                     | 1                                |                                         |                         |                         |                                              |
| キャリアデザイン基礎    | 全学部 1年      | 3                                    | 1                                             | 2                   | 1                               | 1                                     | 1                               | 1                                     |                                  |                                         |                         |                         |                                              |
| キャリアデザインと職業   | 全学部 1～4年    | 2                                    | 3                                             | 1                   | 2                               | 1                                     | 1                               |                                       |                                  |                                         |                         |                         |                                              |
| ワールドビジネスフォーラム | 全学部 1～4年    | 3                                    | 2                                             | 2                   | 1                               |                                       | 1                               |                                       | 1                                |                                         |                         |                         |                                              |
| キャリアビジョンⅠ     | 全学部 3～4年    |                                      |                                               | 2                   | 2                               | 1                                     |                                 | 2                                     | 2                                |                                         |                         |                         | 1                                            |
| キャリアビジョンⅡ     | 全学部 4年      |                                      |                                               |                     |                                 |                                       | 1                               |                                       | 2                                | 1                                       |                         | 3                       | 3                                            |
| トップが語る現代経営    | 全学部 1～4年    | 1                                    | 2                                             |                     | 3                               |                                       | 2                               |                                       | 2                                |                                         |                         |                         |                                              |
| 企業研究          | 経済学部 2～4年   |                                      | 2                                             |                     | 3                               |                                       |                                 |                                       | 3                                |                                         |                         | 1                       | 1                                            |
| インターンシップⅠ・Ⅱ   | 経済学部 1～4年   |                                      |                                               |                     |                                 |                                       |                                 | 1                                     | 2                                | 2                                       | 3                       | 1                       | 1                                            |
| インターンシップⅢ・Ⅳ   | 経済学部 1～4年   |                                      |                                               |                     |                                 |                                       |                                 | 1                                     | 2                                | 2                                       | 3                       | 1                       | 1                                            |
|               | 小計          | 11                                   | 12                                            | 8                   | 12                              | 4                                     | 7                               | 7                                     | 15                               | 5                                       | 6                       | 6                       | 7                                            |
|               | 合計          | 43                                   |                                               |                     |                                 | 33                                    |                                 |                                       |                                  | 24                                      |                         |                         |                                              |



| 東京経済大学             |             | フェーズ1: Changing                      |                                                  |                         |                                     | フェーズ2: Expansion                      |                                 |                                       |                                     | フェーズ3: Practice                         |                         |                         |                                              |
|--------------------|-------------|--------------------------------------|--------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------------------------|
|                    | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する      |                                                  |                         |                                     | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する                |                                 |                                       |                                     | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く           |                         |                         |                                              |
|                    | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>と理<br>解<br>来<br>の | 1-②<br>関社雇<br>心会用<br>と状・<br>理況就<br>解への<br>業<br>や | 1-③<br>自<br>己<br>理<br>解 | 1-④<br>理概<br>解略<br>的<br>な<br>職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出<br>す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力<br>の | 2-③<br>力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働<br>く | 2-④<br>職よ<br>業理<br>具<br>体<br>的<br>な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルネ<br>のり<br>実ッ<br>践ク | 3-②<br>職<br>業<br>体<br>験 | 3-③<br>就<br>職<br>準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョ<br>ン<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 科目名                | 履修対象(学部・学年) |                                      |                                                  |                         |                                     |                                       |                                 |                                       |                                     |                                         |                         |                         |                                              |
| キャリアデザイン入門         | 経済学部1年      | 2                                    | 2                                                | 2                       | 2                                   | 1                                     |                                 | 1                                     |                                     |                                         |                         |                         |                                              |
| 職業選択とキャリア形成 I (導入) | 経済学部2、3年    | 2                                    | 3                                                | 2                       | 3                                   |                                       |                                 |                                       |                                     |                                         |                         |                         |                                              |
| キャリアデザイン発展         | 経済学部2年      |                                      | 2                                                | 1                       | 2                                   | 2                                     |                                 | 1                                     | 2                                   |                                         |                         |                         |                                              |
| 職業選択とキャリア形成 I (発展) | 経済学部2、3年    | 1                                    | 3                                                | 1                       |                                     |                                       | 2                               |                                       | 3                                   |                                         |                         |                         |                                              |
| キャリアデザイン実践         | 経済学部3年～     |                                      |                                                  |                         |                                     | 2                                     | 2                               | 2                                     | 1                                   | 3                                       |                         |                         |                                              |
| 金融キャリア講座           | 全学部3年       |                                      |                                                  |                         |                                     |                                       |                                 |                                       | 3                                   | 2                                       |                         | 3                       | 2                                            |
| 雇用の変化とキャリア形成       | 経済学部2年～     |                                      |                                                  |                         |                                     |                                       |                                 |                                       | 3                                   | 2                                       |                         | 3                       | 2                                            |
| インターンシップ           | 経済学部3年      |                                      |                                                  |                         |                                     |                                       |                                 |                                       |                                     | 2                                       | 3                       | 3                       | 2                                            |
| 地域インターンシップ         | 全学部2年～      |                                      |                                                  |                         |                                     |                                       |                                 |                                       |                                     | 3                                       | 2                       | 3                       | 2                                            |
| 基礎学力講座 I (数的処理) 初級 | 経済学部2年～     |                                      |                                                  |                         |                                     |                                       | 3                               |                                       |                                     |                                         |                         | 5                       | 2                                            |
| 基礎学力講座 I (作文) 初級   | 経営学部2年～     |                                      |                                                  |                         |                                     |                                       | 3                               |                                       |                                     |                                         |                         | 5                       | 2                                            |
|                    | 小計          | 5                                    | 10                                               | 6                       | 7                                   | 5                                     | 10                              | 4                                     | 12                                  | 12                                      | 5                       | 22                      | 12                                           |
|                    | 合計          | 28                                   |                                                  |                         |                                     | 31                                    |                                 |                                       |                                     | 51                                      |                         |                         |                                              |

| 日本社会事業大学         |             | フェーズ1: Changing                      |                                                     |                         |                                     | フェーズ2: Expansion                      |                                 |                                       |                                       | フェーズ3: Practice                         |                         |                         |                                                   |
|------------------|-------------|--------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------|
|                  | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する      |                                                     |                         |                                     | 実社会に必要なジェネリック・スキルを涵養する                |                                 |                                       |                                       | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く           |                         |                         |                                                   |
|                  | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>りと<br>理<br>解<br>の | 1-②<br>関社<br>心会<br>と用<br>理状<br>況・<br>理就<br>解業<br>のや | 1-③<br>自<br>己<br>理<br>解 | 1-④<br>理概<br>解略<br>的<br>な<br>職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出<br>す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力<br>の | 2-③<br>力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働<br>く | 2-④<br>職よ<br>業り<br>理具<br>解体<br>的<br>な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルネ<br>のり<br>実ッ<br>践ク | 3-②<br>職<br>業<br>体<br>験 | 3-③<br>就<br>職<br>準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョ<br>ン<br>リ<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 科目名              | 履修対象(学部・学年) |                                      |                                                     |                         |                                     |                                       |                                 |                                       |                                       |                                         |                         |                         |                                                   |
| 福祉計画インターンシップ     | 社会福祉学部/3～4年 | 2                                    | 1                                                   | 1                       |                                     | 2                                     |                                 |                                       | 1                                     |                                         | 1                       | 2                       |                                                   |
| アカデミック・プランニング I  | 社会福祉学部/1～2年 | 2                                    | 1                                                   | 2                       | 2                                   |                                       |                                 |                                       |                                       | 1                                       |                         |                         | 2                                                 |
| アカデミック・プランニング II | 社会福祉学部/3～4年 |                                      | 1                                                   | 1                       |                                     | 1                                     |                                 |                                       | 2                                     | 1                                       |                         | 2                       | 2                                                 |
|                  | 小計          | 4                                    | 3                                                   | 4                       | 2                                   | 3                                     | 0                               | 0                                     | 3                                     | 2                                       | 1                       | 4                       | 4                                                 |
|                  | 合計          | 13                                   |                                                     |                         |                                     | 6                                     |                                 |                                       |                                       | 11                                      |                         |                         |                                                   |

| 武蔵野大学                 |             | フェーズ1: Changing                  |                                              |                     |                                 | フェーズ2: Expansion                  |                             |                                   |                                | フェーズ3: Practice                          |                         |                         |                                       |
|-----------------------|-------------|----------------------------------|----------------------------------------------|---------------------|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|------------------------------------------|-------------------------|-------------------------|---------------------------------------|
|                       | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する  |                                              |                     |                                 | 実社会に必要なジェネリック・スキルを涵養する            |                             |                                   |                                | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く            |                         |                         |                                       |
|                       | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>と理<br>解来<br>の | 1-②<br>関社雇<br>心会用<br>と状・<br>理況就<br>解への<br>業や | 1-③<br>自<br>己理<br>解 | 1-④<br>理概<br>解略<br>的<br>な職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力の | 2-③<br>力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働く | 2-④<br>職より<br>業理具<br>理解体的<br>な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルネ<br>のり<br>実ッ<br>実践ク | 3-②<br>職<br>業<br>体<br>験 | 3-③<br>就<br>職<br>準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョ<br>ンリ<br>のア<br>構ビ<br>築 |
| 科目名                   | 履修対象(学部・学年) |                                  |                                              |                     |                                 |                                   |                             |                                   |                                |                                          |                         |                         |                                       |
| キャリアデザイン(前期:講義)       | 全学部／1年      | 1                                | 2                                            | 0                   | 1                               | 1                                 | 1                           |                                   | 1                              |                                          |                         | 1                       | 2                                     |
| キャリアデザイン(後期:体験・調査・研究) | 全学部／1年      |                                  | 1                                            | 1                   |                                 | 3                                 | 2                           | 2                                 |                                |                                          |                         |                         | 1                                     |
| 国内インターンシップ            | 全学部／2年      |                                  |                                              |                     |                                 | 1                                 |                             |                                   | 2                              | 2                                        | 3                       | 1                       | 1                                     |
| 海外インターンシップ            | 全学部／3年      |                                  |                                              |                     |                                 | 1                                 |                             |                                   | 1                              | 3                                        | 3                       | 1                       | 1                                     |
| 産官学連携ゼミ               | 全学部／3年      |                                  |                                              |                     |                                 |                                   | 1                           | 1                                 | 2                              | 1                                        | 2                       | 2                       | 1                                     |
| 長期インターンシップ            | 全学部／3年      |                                  |                                              |                     |                                 |                                   | 2                           | 1                                 | 1                              | 1                                        | 3                       | 2                       |                                       |
|                       | 小計          | 1                                | 3                                            | 1                   | 1                               | 6                                 | 6                           | 4                                 | 7                              | 7                                        | 11                      | 7                       | 6                                     |
|                       | 合計          | 6                                |                                              |                     |                                 | 23                                |                             |                                   |                                | 31                                       |                         |                         |                                       |

| 神奈川工科大学      |             | フェーズ1: Changing                 |                        |             |                     | フェーズ2: Expansion       |                     |                       |                       | フェーズ3: Practice               |             |             |                |
|--------------|-------------|---------------------------------|------------------------|-------------|---------------------|------------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|-------------|-------------|----------------|
|              | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する |                        |             |                     | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する |                     |                       |                       | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く |             |             |                |
|              | 学修内容        | 1-①<br>学業と将来の<br>関係理解           | 1-②<br>社会状況・就業<br>への関心 | 1-③<br>自己理解 | 1-④<br>概略的な職業<br>理解 | 2-①<br>前に踏み出す<br>力     | 2-②<br>考え抜く力の<br>修得 | 2-③<br>チームで働く<br>力の修得 | 2-④<br>より具体的な<br>職業理解 | 3-①<br>スキルの実践                 | 3-②<br>職業体験 | 3-③<br>就職準備 | 3-④<br>キャリアの構築 |
| 科目名          | 履修対象(学部・学年) |                                 |                        |             |                     |                        |                     |                       |                       |                               |             |             |                |
| キャリア設計       | 全学部/1年      | 3                               | 2                      | 2           | 2                   |                        |                     | 1                     |                       |                               |             |             |                |
| キャリア開発       | 全学部/1年      | 1                               | 1                      | 2           |                     | 2                      | 2                   | 2                     |                       |                               |             |             |                |
| インターンシップ準備演習 | 全学部/2～3年    |                                 |                        | 1           | 2                   | 1                      | 1                   | 1                     | 2                     |                               |             | 2           |                |
| 業界研究         | 全学部/3年      |                                 | 1                      | 1           |                     |                        |                     |                       | 4                     |                               |             | 2           | 2              |
| スタディスキル      | 全学部/1年      | 2                               |                        | 2           |                     | 2                      | 2                   | 2                     |                       |                               |             |             |                |
| インターンシップ     | 全学部/3年      |                                 |                        |             |                     |                        |                     |                       | 1                     | 3                             | 3           | 2           | 1              |
|              |             |                                 |                        |             |                     |                        |                     |                       |                       |                               |             |             |                |
|              | 小計          | 6                               | 4                      | 8           | 4                   | 5                      | 5                   | 6                     | 7                     | 3                             | 3           | 6           | 3              |
|              | 合計          | 22                              |                        |             |                     | 23                     |                     |                       |                       | 15                            |             |             |                |

| 昭和音楽大学           |             | フェーズ1: Changing                 |                                       |                  |                              | フェーズ2: Expansion           |                          |                            |                        | フェーズ3: Practice                   |                  |                  |                                            |
|------------------|-------------|---------------------------------|---------------------------------------|------------------|------------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|------------------------|-----------------------------------|------------------|------------------|--------------------------------------------|
|                  | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する |                                       |                  |                              | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する     |                          |                            |                        | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く     |                  |                  |                                            |
|                  | 学修内容        | 1-①                             | 1-②                                   | 1-③              | 1-④                          | 2-①                        | 2-②                      | 2-③                        | 2-④                    | 3-①                               | 3-②              | 3-③              | 3-④                                        |
| 科目名              | 履修対象(学部・学年) | 係学<br>わり<br>りと<br>理<br>解<br>の   | 関社雇<br>心会用<br>と状・<br>理況就<br>解への<br>業や | 自<br>己<br>理<br>解 | 理概<br>解略<br>的<br>な<br>職<br>業 | 力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出す | 修考<br>得え<br>抜く<br>力<br>の | 力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働く | 職より<br>業理具<br>解体的<br>な | スジ<br>キエ<br>ルネ<br>のり<br>実ッ<br>実践ク | 職<br>業<br>体<br>験 | 就<br>職<br>準<br>備 | ジキ<br>ョ<br>ン<br>リ<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 音楽人基礎①           | 全学1年        | 3                               | 1                                     | 3                |                              | 1                          | 1                        | 1                          |                        |                                   |                  |                  |                                            |
| 音楽人基礎②           | 全学2年        | 2                               | 1                                     | 1                | 2                            | 1                          |                          |                            | 2                      |                                   |                  |                  | 1                                          |
| 音楽人研究            | 全学2年        |                                 |                                       |                  |                              | 2                          | 1                        | 2                          | 3                      | 1                                 |                  |                  | 1                                          |
| フィールド・インターンシップ①② | 全学3、4年      |                                 |                                       |                  |                              | 2                          | 1                        | 1                          |                        | 2                                 | 2                |                  | 2                                          |
|                  |             |                                 |                                       |                  |                              |                            |                          |                            |                        |                                   |                  |                  |                                            |
|                  |             |                                 |                                       |                  |                              |                            |                          |                            |                        |                                   |                  |                  |                                            |
|                  | 小計          | 5                               | 2                                     | 4                | 2                            | 6                          | 3                        | 4                          | 5                      | 3                                 | 2                | 0                | 4                                          |
|                  | 合計          | 13                              |                                       |                  |                              | 18                         |                          |                            |                        | 9                                 |                  |                  |                                            |

| 山梨英和大学        |             | フェーズ1: Changing                 |                                       |                  |                              | フェーズ2: Expansion           |                          |                            |                         | フェーズ3: Practice                  |                  |                  |                                       |
|---------------|-------------|---------------------------------|---------------------------------------|------------------|------------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------|----------------------------------|------------------|------------------|---------------------------------------|
|               | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する |                                       |                  |                              | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する     |                          |                            |                         | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く    |                  |                  |                                       |
|               | 学修内容        | 1-①                             | 1-②                                   | 1-③              | 1-④                          | 2-①                        | 2-②                      | 2-③                        | 2-④                     | 3-①                              | 3-②              | 3-③              | 3-④                                   |
| 科目名           | 履修対象(学部・学年) | 係学<br>わ業<br>りと<br>理将<br>解来<br>の | 関社雇<br>心会用<br>と状・<br>理況就<br>解への<br>業や | 自<br>己<br>理<br>解 | 理概<br>解略<br>的<br>な<br>職<br>業 | 力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出す | 修考<br>得え<br>抜く<br>力<br>の | 力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働く | 職より<br>業理具<br>理解体的<br>な | スジ<br>キエ<br>ルネ<br>のり<br>実ッ<br>践ク | 職<br>業<br>体<br>験 | 就<br>職<br>準<br>備 | ジキ<br>ョ<br>ン<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| キャリアデザイン1     | 1年          | 1                               | 3                                     | 1                | 3                            | 1                          |                          | 1                          |                         |                                  |                  |                  |                                       |
| アカデミックリテラシー   | 1年          | 3                               | 1                                     | 3                | 1                            | 1                          | 1                        |                            |                         |                                  |                  |                  |                                       |
| キャリアデザイン3     | 2・3年        |                                 | 1                                     |                  |                              | 1                          | 1                        | 2                          | 2                       | 2                                |                  |                  | 1                                     |
| サービスラーニング     | 1・2年        |                                 | 2                                     | 1                | 1                            | 2                          | 2                        | 2                          |                         |                                  |                  |                  |                                       |
| インターンシップ      | 2・3年        |                                 |                                       |                  |                              | 2                          | 1                        | 2                          |                         | 2                                | 3                |                  |                                       |
| 海外インターンシップ    | 2・3年        |                                 |                                       |                  |                              | 2                          | 2                        |                            |                         | 3                                | 1                |                  | 2                                     |
| キャリアデザイン4     | 3・4年        |                                 |                                       |                  | 1                            |                            |                          |                            | 3                       |                                  | 2                | 2                | 2                                     |
| キャリアカウンセリング演習 | 3・4年        |                                 |                                       |                  |                              | 2                          | 2                        |                            |                         | 3                                |                  |                  | 3                                     |
|               | 小計          | 4                               | 7                                     | 5                | 6                            | 11                         | 9                        | 7                          | 5                       | 10                               | 6                | 2                | 8                                     |
|               | 合計          | 22                              |                                       |                  |                              | 32                         |                          |                            |                         | 26                               |                  |                  |                                       |



| 和泉短期大学    |             | フェーズ1: Changing                 |                                             |                     |                                 | フェーズ2: Expansion                  |                             |                                   |                               | フェーズ3: Practice                    |                         |                         |                                              |
|-----------|-------------|---------------------------------|---------------------------------------------|---------------------|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------------------------|
|           | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する |                                             |                     |                                 | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する            |                             |                                   |                               | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く      |                         |                         |                                              |
|           | 学修内容        | 1-①<br>係学<br>わり<br>と理<br>解<br>の | 1-②<br>関社雇<br>心会用<br>と状・<br>理況就<br>解への<br>や | 1-③<br>自<br>己理<br>解 | 1-④<br>理概<br>解略<br>的<br>な職<br>業 | 2-①<br>力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出す | 2-②<br>修考<br>得え<br>抜く<br>力の | 2-③<br>力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働く | 2-④<br>職より<br>業理具<br>解体的<br>な | 3-①<br>スジ<br>キエ<br>ルの<br>実ッ<br>実践ク | 3-②<br>職<br>業<br>体<br>験 | 3-③<br>就<br>職<br>準<br>備 | 3-④<br>ジキ<br>ョ<br>ン<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 科目名       | 履修対象(学部・学年) |                                 |                                             |                     |                                 |                                   |                             |                                   |                               |                                    |                         |                         |                                              |
| キャリアデザインⅠ | 全学部/1年      | 2                               | 2                                           | 2                   | 2                               |                                   |                             |                                   |                               |                                    |                         |                         |                                              |
| キャリアデザインⅡ | 全学部/2年      |                                 |                                             |                     |                                 | 1                                 | 1                           | 1                                 | 2                             | 1                                  |                         | 3                       | 2                                            |
|           | 小計          | 2                               | 2                                           | 2                   | 2                               | 1                                 | 1                           | 1                                 | 2                             | 1                                  | 0                       | 3                       | 2                                            |
|           | 合計          | 8                               |                                             |                     |                                 | 5                                 |                             |                                   |                               | 6                                  |                         |                         |                                              |

| 昭和音大短期大学部 |             | フェーズ1: Changing                 |                                       |                  |                              | フェーズ2: Expansion           |                          |                            |                         | フェーズ3: Practice                   |                  |                  |                                       |
|-----------|-------------|---------------------------------|---------------------------------------|------------------|------------------------------|----------------------------|--------------------------|----------------------------|-------------------------|-----------------------------------|------------------|------------------|---------------------------------------|
|           | 学修目標        | 自己認識および社会認識を元に、自律的キャリア形成意識を醸成する |                                       |                  |                              | 実社会で必要なジェネリック・スキルを涵養する     |                          |                            |                         | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く     |                  |                  |                                       |
|           | 学修内容        | 1-①                             | 1-②                                   | 1-③              | 1-④                          | 2-①                        | 2-②                      | 2-③                        | 2-④                     | 3-①                               | 3-②              | 3-③              | 3-④                                   |
| 科目名       | 履修対象(学部・学年) | 係学<br>わり<br>りと<br>理<br>解<br>の   | 関社雇<br>心会用<br>と状・<br>理況就<br>解への<br>業や | 自<br>己<br>理<br>解 | 理概<br>解略<br>的<br>な<br>職<br>業 | 力前<br>のに<br>修踏<br>得み<br>出す | 修考<br>得え<br>抜く<br>力<br>の | 力チ<br>のー<br>修ム<br>得で<br>働く | 職より<br>業理具<br>理解体的<br>な | スジ<br>キエ<br>ルネ<br>のり<br>実ッ<br>実践ク | 職<br>業<br>体<br>験 | 就<br>職<br>準<br>備 | ジキ<br>ョ<br>ン<br>の<br>ア<br>構<br>ビ<br>築 |
| 音楽人基礎①    | 全学1年        | 3                               | 1                                     | 2                | 1                            | 1                          | 1                        | 1                          |                         |                                   |                  |                  |                                       |
| 音楽人基礎②    | 全学2年        | 2                               | 1                                     | 1                | 2                            | 1                          |                          |                            | 2                       |                                   |                  |                  | 1                                     |
| 芸術特別研究①   | 全学1年        | 2                               |                                       | 2                | 2                            |                            | 2                        |                            |                         | 1                                 |                  |                  | 1                                     |
| 芸術特別研究②   | 全学2年        | 2                               |                                       | 2                | 2                            |                            | 2                        |                            |                         | 1                                 |                  |                  | 1                                     |
| 音楽人研究     | 全学2年        |                                 |                                       |                  | 1                            | 2                          | 1                        | 2                          | 2                       | 1                                 |                  |                  | 1                                     |
| 総合教養      | 全学1年        | 1                               |                                       | 2                |                              | 1                          | 3                        | 3                          |                         |                                   |                  |                  |                                       |
|           | 小計          | 10                              | 2                                     | 9                | 8                            | 5                          | 9                        | 6                          | 4                       | 3                                 | 0                | 0                | 4                                     |
|           | 合計          | 29                              |                                       |                  |                              | 24                         |                          |                            |                         | 7                                 |                  |                  |                                       |

**産学連携教育モデル:各大学のカリキュラムの改善点(テーマ①)**

|        | 改善事項           | 改善の取り入れ元                                          | 改善科目、および改善内容                                                                                                                                                                                                        |
|--------|----------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 宇都宮大学  | キャリア教育科目の体系化   | ・教育改善研究会での意見交換や産業界委員の意見                           | 本学の教育理念、学生の資質等に基づきさらに、特色ある内容の教育を体系的に実施することを検討。<br>即ち、基盤教育において社会への関心や、学業やその他の活動に対する主体的な取組の姿勢を醸成するとともに、専門学部でのキャリア教育の拡充と連携を一層図るための取組を進めた。                                                                              |
|        | ジェネリック・スキルの強化  | ・教育改善研究会での意見交換                                    | 「キャリアデザイン」などの授業科目や新規インターンシッププログラムなどの実施により一層拡充した。                                                                                                                                                                    |
|        | アクティブ・ラーニングの推進 | ・教育改善研究会での各大学の事例                                  | 「キャリアデザイン」などの基礎的キャリア科目や「働くことの意味と実際(グローバル時代のキャリア形成)などの外部講師によるキャリア科目を始め、全てのキャリア科目をアクティブラーニング科目と認定し、ラーニングコモンズを活用してグループワーク等アクティブな授業を行った。                                                                                |
|        | 産学連携授業の充実      | ・各研究会での産業界委員の意見                                   | <b>起業の実際と理論(アントレプレナーシップの養成):</b><br>より学生の主体性とアントレナーシップの充実のために先輩起業家との交流と支援、及びそれに基づく講義やグループワークをより充実させた。<br><b>課題発見・解決型インターンシップ:</b><br>企業との密接な連携の下にプログラムを開発・実施した。                                                     |
|        | インターンシップの充実    | ・本事業での H25 試行実施を通じて                               | <b>課題発見・解決型インターンシップ:</b><br>前年度の試行を踏まえて、受入先を4企業(H25 は1企業)に拡充するとともに、課題の専門性を考慮して各チーム毎に指導・助言者を配置するなど、内容と運営体制の拡充を図った。                                                                                                   |
| 電気通信大学 | ジェネリック・スキルの強化  | ・教育改善研究会<br>・合同 FD(和泉短期大学)<br>・シンポジウム<br>・産学協働協議会 | <b>&lt;キャリア教育基礎(旧電気通信大学概論)&gt;</b><br>・講義計画の際に、産業界委員からご意見などを活かした内容になるよう、産業界の若手社員のパネルディスカッションを導入するなどして反映した。<br>・ワークシートの作成時に、他大学(和泉短期大学)が教育改善研究会で発表した内容を踏まえて引用した。具体的には、生活時間記録用のワークシートについて、和泉短期大学で実践されている内容を参考に改善を行った。 |
|        | アクティブ・ラーニングの推進 | ・教育改善研究会                                          | <b>&lt;キャリア教育基礎&gt;</b><br>・学生に発表の機会を多くもたらす PBL を導入した。                                                                                                                                                              |
|        | 産学連携授業の導入      | ・教育改善研究会<br>・合同 FD<br>・シンポジウム<br>・産学協働協議会         | <b>&lt;キャリア教育基礎(旧電気通信大学概論)&gt;</b><br>・社会人 OB の講話の際に、講話内容について産業界からのコメントを活かしたものに修正した。<br>・事業所見学でも行っている産業界の若手 OB とのコミュニケーションの機会を増やすため、若手 OB によるパネルディスカッションを導入した。                                                      |

|        | 改善事項           | 改善の取り入れ元                                                                                                                        | 改善科目、および改善内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 横浜国立大学 | キャリア教育科目の体系化   | ・教育改善研究会での意見交換、合同FDでの授業見学など、本事業の一連の活動を通じて                                                                                       | <b>キャリア教育科目の体系化方針:</b><br>大学の教育方針、学生の資質、目指す進路により適するキャリア教育も異なる前提に立ち、本学学生の特性に合うキャリア教育体系を構築中。初年次段階で、主体的に学業に向かう姿勢を醸成し、学生の本分である学業を通じてジェネリック・スキルを養成できるようにする。                                                                                                                                                        |
|        | ジェネリック・スキルの強化  | ・横浜国立大学「産業界ニーズ調査結果」(H25 教育改善研究会)<br>・合同FDでの授業見学(電気通信大、神奈川工大、昭和音大など)<br>・各研究会での産業界委員の意見                                          | <b>キャリアデザイン B:</b><br>結婚など私生活との調和を含め自律的キャリア形成能力を養成する内容を取り入れた。<br><b>ビジネス・コミュニケーション:</b><br>主体的なコミュニケーションのありかたをコンセプトに、ビジネス上の具体例でディスカッションする授業を開発・導入した。<br><b>Wake up! プロジェクト:</b><br>課題解決型PBLにより、組織集団の中で必要なジェネリック・スキルを体感させる授業を取り入れた。<br><b>まなび座Ⅱ:</b><br>1年生対象の「まなび座Ⅰ」に上級生がまとめ役で入り、リーダーシップを実践させる授業をH27年より立ち上げる。 |
|        | アクティブ・ラーニングの推進 | ・亜細亜大学「インタビュー実践」など、教育改善研究会での各大学の事例<br>・合同FDでの授業見学(宇都宮大、昭和音大など)                                                                  | <b>キャリアデザイン A/B、ビジネス・コミュニケーション:</b><br>グループ・ディスカッションがしやすいテーマ設定、雰囲気作りなどを改善した。<br><b>キャリア・ケーススタディ:</b><br>課題に社会人インタビューを採用。身近な社会人にキャリア歴や仕事の遣り甲斐をインタビューしてレポートさせた。                                                                                                                                                 |
|        | 産学連携授業の導入      | ・横浜国立大学「産業界ニーズ調査結果」(H25 教育改善研究会)<br>・電気通信大「キャリア教育の取組および授業見学」、昭和音楽大「音楽人研究とフィールドインターンシップの実践」など、教育改善研究会での各大学の事例<br>・各研究会での産業界委員の意見 | <b>Wake up! プロジェクト:</b><br>組織集団の中で発揮されるジェネリック・スキルを体感させ、大学で主体的に学ぶ姿勢を醸成するため、企業2社の協力により、課題解決型PBLを取り入れた。<br><b>まなび座Ⅰ(新入生)/Ⅱ(上級生):</b><br>ⅠとⅡは合同授業。本学・校友会の協力のもと、社会人との対話により学業と職業との係わりや、働く意義を考える。Ⅱ上級生は新入生たちのディスカッションをリードする過程で、自分らしいリーダーシップの発揮のしかたを模索する。                                                              |
| 亜細亜大学  | キャリア教育科目の体系化   | ・教育改善研究会での意見交換、合同FDでの授業見学など、本事業の一連の活動を通じて                                                                                       | <b>キャリア教育科目の体系化:</b><br>・キャリア教育科目の配置が学部によってまちまちであるため、これを可能な限り体系化し、本学学生として培うべき就業力育成が可能となるよう、科目レベルのシラバスも再検討していく。                                                                                                                                                                                                |
|        | ジェネリック・スキルの強化  | ・合同FDでの授業見学(26.6.28.山梨英和大学)                                                                                                     | <b>オリエンテーション・ゼミナール/基礎ゼミナール</b><br>・授業担当教員が合同FDに参加することで、学生の能動的な授業参加のための授業運営上の工夫などを体感。これを参考に担当科目における学生のジェネリックスキル向上を今後図っていく。                                                                                                                                                                                     |
|        | インターンシップの充実    | ・合同FDでの授業見学(26.6.28.山梨英和大学)<br>・合同FDでの授業見学(26.10.25.宇都宮大学)<br>・インターンシップ報告会への参加(26.12.13.電気通信大学)                                 | <b>新規インターンシップ科目の開設検討:</b><br>・授業担当教員が合同FDに参加し、企業紹介パンフレット等の成果物制作型インターンシップの必要性を見出したことから、これを平成27年度の新規インターンシップ科目として開講すべく検討・準備中である。<br><b>キャリア・インターンシップ:</b><br>・他大学におけるインターンシップ協力企業等を参考に、より多様な受け入れ企業の開拓に注力することとなった。<br>・企業研修実施にあたっては、受入企業に応じた教員の個別指導をより充実させることとした。                                                |

|      | 改善事項           | 改善の取り入れ元                                               | 改善科目、および改善内容                                                                                                                                                                                                       |
|------|----------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 北里大学 | キャリア教育科目の体系化   | ・教育改善研究会での意見交換、合同FDでの授業見学など、本事業の一連の活動を通じて              | <b>キャリア教育科目の体系化方針：</b><br>大学の教育方針、大学生活を行う上での学生に求められる行動指針など本学学生の特性に合うキャリア教育体系を構築中。初年次段階で、主体的に学業及び社会に向かう姿勢を醸成し、学生の本分である学業の充実に加え、ジェネリック・スキルを養成できるようにする。                                                               |
|      | ジェネリック・スキルの強化  | ・合同FDでの授業見学（電気通信大、創価大、東京経済大、昭和音大など）<br>・各研究会での産業界委員の意見 | <b>きたさとプログラムⅠ：</b><br>26年度は初めて1年次からプログラムを開講した。プログラムでは主体的に学生生活に取り組むことを示唆した。今後は効率的なプログラムの運用と効果的なプログラム内容の実施に努める。                                                                                                      |
|      | アクティブ・ラーニングの推進 | ・合同FDでの授業見学（電気通信大、亜細亜大など）                              | <b>きたさとプログラムⅠⅡ：</b><br>グループでのミーティングを軸に課題解決型の実践を実施。27年度からはインターンシップ導入講義でアクティブラーニングを少人数で実施予定。                                                                                                                         |
| 創価大学 | ジェネリック・スキルの強化  | 教育改善研究会（神奈川工科大学・亜細亜大学の事例発表など）                          | <b>産学連携講座「社会貢献と経済学」</b><br>初年次の科目ということもあり、履修者のジェネリック・スキルの差が大きいことから、アクティブ・ラーニングを導入し、学生が共同作業する中で、ジェネリック・スキルを学び合えるように工夫をした。特にグループでプレゼンを作り上げる中で、リーダーシップや協調性や課題解決力が磨かれ、プレゼンそのものを通して、情報伝達力や表現力が磨かれた。                     |
|      | アクティブ・ラーニングの推進 | 教育改善研究会（亜細亜大学の事例発表など）                                  | <b>産学連携講座「社会貢献と経済学」</b><br>初回の授業より、グループ作りを行い、授業中におけるグループワークやグループでのプレゼンテーションを積極的に取り入れた。また、授業時間外においても、グループでの研鑽やプレゼンテーションの初準備など、リーダーを中心とした共同作業ができる工夫を行った。また、学外で行われるスタディーツアーやインターンシップへの参加を推進し、経験者が授業においてプレゼンテーションを行った。 |
|      | 産学連携授業の導入      | 教育改善研究会（山梨英和大学・和泉短期大学の事例発表など）                          | <b>産学連携講座「社会貢献と経済学」</b><br>「学業と将来の係わりの理解」「職業理解」「社会貢献と職業」などの理解が、初年次の学生でも理解できるような授業構成を工夫し、改善した。産学連携をすることにより、学外講師を招き、社会の諸状況を、よりリアルに学ぶことができた。また、この授業は、産業界側と大学共同で、シラバスを作成した。                                            |
|      | インターンシップの充実    | 教育改善研究会（東京経済大学・宇都宮大学・昭和音楽大学の事例発表など）・インターンシップ報告会（各連携開催） | <b>「インターンシップⅠ・Ⅱ」「インターンシップⅢ・Ⅳ」</b><br>インターンシップに参加する前に行う研修の充実を図った。具体的には、過去において行った就業力主観テスト（インターンシップ開始前と終了後に実施）の結果をもとに、事前研修の内容を改善した。例としては、「課題設定力」の伸びが低い場合は、事前研修において、様々な課題を発見し、解決していく工夫を行った。                            |

|          | 改善事項           | 改善の取り入れ元                                      | 改善科目、および改善内容                                                                                                                                                                                         |
|----------|----------------|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 東京経済大学   | キャリア教育科目の体系化   | 教育改善研究会(神奈川工科大学の事例発表など)                       | 経済学部では1年次から4年次までの体系的な科目として、「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン発展」「キャリアデザイン実践」を開講した。現在、全学的なキャリア科目群の体系化について検討を行っている。                                                                                                 |
|          | ジェネリック・スキルの強化  | 合同FD(電気通信大学、神奈川工科大学、山梨英和大学)及び教育改善研究会(亜細亜大学)など | 「キャリアデザイン実践」ではこれまでに身に付けたジェネリックスキルを実践することを目的とし、企業の協力を得て小中学生対象のイベントを実施した。また、2015年度より全学部の学生が履修できる「総合教育ワークショップ」を開講し、比較的少人数のクラスでテーマごとのワークショップを行い、ジェネリックスキルを身に付けることを目指している。                                |
|          | アクティブ・ラーニングの推進 | 合同FD(電気通信大学、武蔵野大学など)                          | 「キャリアデザイン発展」では働く上での態度・姿勢を培うことを目標とし、グループワーク、ディスカッションを多く取り入れているクラスとチームビルディング演習を行うクラスを設けた。                                                                                                              |
|          | 産学連携授業の推進      | 合同FD(武蔵野大学、山梨英和大学など)                          | 2014年度に地元の信用金庫と連携協定を締結し、今後、授業への講師派遣、地元企業の紹介などを行う予定である。「職業選択とキャリア形成Ⅰ・Ⅱ」では、主に卒業生をゲスト講師に招き、多様な業界・職種の理解を深めているが、今後は地元の中小企業への理解を深めることが可能となる。                                                               |
|          | インターンシップの充実    | 教育改善研究会(宇都宮大学、創価大学の事例発表など)                    | 地元信用金庫との連携により、「インターンシップ」「地域インターンシップ」の受け入れ企業の拡大や課題解決型インターンシップの実施が可能となる。また、経営学部では2015年度「グローバル・キャリア入門」を特別講義として開講し、海外企業と国内企業での短期インターンシップと留学生との交流を通して、グローバル人材として求められる能力について理解を深めるとともにジェネリックスキルの修得を目指している。 |
| 日本社会事業大学 | キャリア教育科目の体系化   | 合同FDでの授業見学(電気通信大学)、教育改善研究会での報告(宇都宮大学)         | 1～2年生が対象の「アカデミック・プランニングⅠ」において、教員とのコミュニケーションをとる力や生活記録化の体験をさせ、3～4年生が対象の「アカデミック・プランニングⅡ」において、専門の学習と就労の関係を理解させるように改善する。                                                                                  |
|          | ジェネリック・スキルの強化  | 学内のFDでの意見交換                                   | 1年生が対象の「教養基礎演習」において、読み方、調べ方、書き方のトレーニングを強化するように改善する。毎学年実施しているコミュニケーション検定の内容の見直しを行う。                                                                                                                   |
|          | アクティブ・ラーニングの推進 | 教育改善研究会での報告(武蔵野大学)                            | 3年生が対象の「専門演習」において、実際の活動とかかわった学びを行う。障害者支援、被災地、発展途上国のNGO、国内のNPOなどとかかわりを持っているクラスが既にあるが、その数を増やす。                                                                                                         |
|          | 産学連携授業の導入      | 合同FDでの授業見学(電気通信大学、昭和音楽大学)                     | 社会福祉実践現場と協力して人材の育成を行っていく。全科目で1回はゲストスピーカーを設けるようにしているが、それをより積極的に活用するようにする。                                                                                                                             |



|         | 改善事項                       | 改善の取り入れ元                                                                                          | 改善科目、および改善内容                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---------|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 武蔵野大学   | ジェネリック・スキルの強化              | 神奈川工科大学での実施事例                                                                                     | 神奈川工科大学での教育測定(成長度把握アセスメント)の実施事例を本学の教育評価参考にして、就業力支援を図った。                                                                                                                                                                                                      |
|         | アクティブ・ラーニングの推進             | ・教育改善研究会での意見交換、合同FDでの授業見学、アクティブラーニングに関する調査結果など、本事業の一連の活動を通じて                                      | 電気通信大学の取組を参考に「学年縦割授業」をベースとするアクティブラーニングの授業を、H27より一部の学部で採用することとした。                                                                                                                                                                                             |
|         | インターンシップの充実                | インターンシップ報告会等                                                                                      | ・他大学の実施事例を参考に、本学でも多様なインターンシップの導入を図った。<br>・「国内インターンシップ」では、実習期間2週間以上2単位の他に、1週間1単位のプログラムを新設し、インターンシップにチャレンジするハードルを下げることで、より多くの学生が就業体験を経験できるように改善した。<br>・「海外インターンシップ」では、英語圏だけでなく、中国語圏のインターンシップ先を新設することにより、学生の就業体験機会を増やし、かつ費用負担減に繋がることはもちろん、産業界のニーズにも応えられるよう改善した。 |
| 神奈川工科大学 | キャリアプランニング力及びジェネリック・スキルの強化 | ・横浜国立大学「産業界ニーズ調査結果」(H25教育改善研究会)<br>・合同FDでの授業見学(電気通信大、創価大、昭和音大など)<br>・各研究会での産業界委員の意見・成長度把握アセスメント結果 | <b>改善科目:キャリア設計</b><br>ジェネリック・スキルに加え、私生活との調和を含め自律的キャリア形成能力を養成する内容を取り入れた。<br>本学のポートフォリオを活用し、授業内容を改善した。<br>成長度把握アセスメントの実施から授業内容の改善を検討中。                                                                                                                         |
|         | 授業方法(PBL/アクティブ・ラーニング等)の改善  | ・横浜国立大学「産業界ニーズ調査結果」(H25教育改善研究会)<br>・合同FDでの授業見学(電気通信大、創価大、昭和音大など)<br>・各研究会での産業界委員の意見・成長度把握アセスメント結果 | <b>改善科目:キャリア開発</b><br>合同FDでの授業見学(電気通信大、創価大、昭和音大など)等から、参観者のアンケートを参考に授業方法を改善した。<br>本学のポートフォリオを利用し授業方法を改善した。<br>成長度把握アセスメントの実施から授業方法の改善を検討中。                                                                                                                    |
|         | 産学連携授業の充実                  | ・各業界の有名企業から外部講師を招聘                                                                                | <b>改善科目:業界研究</b><br>各業界から外部講師を招聘し、自己の適性と社会に存在する多種多様な産業の実態を把握し、出来る限り就職のミスマッチを未然に防止することによりキャリアデザインに取り組む。そして、各自の適性に見合った業界を選択するための一助とする。インターンシップに対応するため、情報収集及び具体的行動についての準備を喚起する。                                                                                 |
|         | インターンシップの充実                | ・関東山梨地域グループに於けるインターンシップの取組                                                                        | <b>改善科目:インターンシップ準備演習</b><br>大学での学習内容が企業や事業所・教育現場などでどのように活用されているか、また自分の職業観、社会性、働くことの意義、仕事や会社への具体的な理解とイメージ等を、就業体験を通して持つことができるようになるための準備を行う。                                                                                                                    |

|        | 改善事項           | 改善の取り入れ元                                                                                                                             | 改善科目、および改善内容                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和音楽大学 | キャリア教育科目の体系化   | ・教育改善研究会での意見交換、合同 FD での授業見学など、本事業の一連の活動を通じて                                                                                          | 平成 23 年度より、専門教育と連動した体系的なキャリア教育をカリキュラムの中に位置づけた。幅広い視点で音楽を捉える力を育み、将来にわたり、多方面で活躍できる人材育成をめざしている。現在までに「音楽人基礎①」(H23)「音楽人基礎②」(H24)「音楽人研究」(H24)「フィールドインターンシップ①」(H25)「フィールドインターンシップ②」(H26)を開講し、音楽業界と連携して、複眼的な視点による職業観を育成している。今後も本学学生が主体的に学ぶ姿勢を醸成し、音楽の専門力と汎用的能力の両方を養成できるようにする。 |
|        | ジェネリック・スキルの強化  | ・昭和音楽大学「社会における音楽大学卒業生のニーズ調査」(H24 年度実施)「産業界の人材ニーズ調査結果」(H25 年度実施)。平成 26 年教育改善研究会他で発表<br>・合同 FD での授業見学(電気通信大、神奈川工大等)<br>・各研究会での産業界委員の意見 | <b>音楽人基礎①:</b><br>講義内容にディスカッション・グループワーク、プレゼンテーションを導入し、多様なコースを超えて話し合う機会を持ち、グループ内で意見をまとめ発表を行った。また、個々の学生が自分自身がこれまでに経験してきたことを基にプロフィールを作成させ、文章作成能力を強化。<br><b>音楽人基礎②:</b><br>コミュニケーション力を養うため、講義内容にグループワークの要素を取り入れ、ディスカッションを行った。                                           |
|        | アクティブ・ラーニングの推進 | ・合同 FD での授業見学(電気通信大学など)<br>・亜細亜大学「インタビュー実践」など、教育改善研究会での各大学の事例                                                                        | <b>音楽人研究:</b><br>業界リサーチに基づく関係者へのインタビューを課題として設定。学生がグループで音楽関連企業や団体等を訪問。実際の現場の方にインタビューし、その内容をレポートにまとめ発表し、将来希望する職種に対し理解を深めた。                                                                                                                                            |
|        | 産学連携授業の導入      | ・教育改善研究会での各大学の事例<br>・各研究会での産業界委員の意見                                                                                                  | <b>音楽人基礎②:</b><br>音楽業界や舞台芸術団体等からゲスト講師を招聘し、業界で必要とされる能力を知り、主体性を持った学びに繋げている。<br>また、様々な職業に就く卒業生によるパネルディスカッションも行い、複眼的視点による職業観を育成している。                                                                                                                                    |
|        | インターンシップの充実    | ・合同 FD での授業見学(亜細亜大学・東京経済大学など)<br>・インターンシップ報告会への参加(H26/12/13)                                                                         | <b>フィールドインターンシップ:</b><br>音楽系企業や芸術文化組織等との連携のもと、現場での就業体験を行う。自己を見つめ、将来について考える機会を与えると同時に、事前準備や終了後の報告会、報告書作成等を通じて、プレゼンテーション能力、文章力を養い、より実践的な力をつけることを目指している。今後は、学生の希望職種等を鑑み、より多様な受け入れ企業の開拓も視野に入れていきたい。                                                                     |

|        | 改善事項           | 改善の取り入れ元                                                         | 改善科目、および改善内容                                                                                                                                                                                    |
|--------|----------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 山梨英和大学 | キャリア教育科目の体系化   | ・教育改善研究会での意見交換、合同FD(電気通信大、宇都宮大学など)での授業見学など、本事業の一連の活動を通じて         | <b>キャリア教育科目の体系化方針：</b><br>各フェーズごとに学修目標を立てた体系的な教育を構築した。特に初年次はキャリアデザイン1を必修とし、自修力を高めるための授業を展開した。                                                                                                   |
|        | ジェネリック・スキルの強化  | ・教育改善研究会(昭和音楽大学「音楽人研究とフィールドインターンシップの実践」など)での意見交換など、本事業の一連の活動を通じて | キャリア教育の設計に関してはすべてジェネリックスキルを強化するよう意識してカリキュラムを設計している。そのベースとなるように学生の能力調査(PROGテスト)、企業や卒業生、学生に対してアンケート調査を行った。キャリアデザイン3ではチームで働く力や主体性を伸ばすための取組を行っている。                                                  |
|        | アクティブ・ラーニングの推進 | ・教育改善研究会(日本社会事業大学の事例等)での意見交換など、本事業の一連の活動を通じて                     | <b>キャリアデザイン1：</b><br>社会人の講話を聴き、その際に学生には改題を提示していただく。課題は職業観の育成に繋がるものとした。それに対する回答としてチームで考えをまとめ、ポスター発表若しくはプレゼンテーションを実施。                                                                             |
|        | 産学連携授業の導入      | ・教育改善研究会での意見交換、合同FD(電気通信大学)での授業見学など、本事業の一連の活動を通じて                | 本学は7コース制をとっているがその中でビジネス・コミュニケーションコースと連携し、産学連携授業を行った。特に、地元企業との連携を強化し現地視察を通じたビジネスの現場理解の場を設けた。さらに職業観を涵養する為に多様な職種(企業人、NPO法人、官公庁)の方と連携した授業を行った。                                                      |
|        | インターンシップの充実    | ・教育改善研究会での意見交換、合同FD(東京経済大学、横浜国立大学、宇都宮大学)での授業見学など、本事業の一連の活動を通じて   | <b>インターンシップ：</b><br>ジェネリックスキル調査を前提に課題解決力を育成する為のプログラムを導入。事前学習では地元の産業界と連携し、地域が抱える課題を解決しながら学修を深めた。実習においては育成した課題解決力を活かすよう受入先と連携し研修内容を構築した。<br><b>海外インターンシップ：</b><br>主体性やグローバル感覚を育成する為に2013年度開講した科目。 |
| 和泉短期大学 | キャリア教育科目の体系化   | 教育改善研究会での意見交換                                                    | 本学では1年次から2年次までの体系的な科目として、「キャリアデザインⅠ」「キャリアデザインⅡ」を開講した。現在、キャリア科目群の体系化について検討を行っている。                                                                                                                |
|        | ジェネリック・スキルの強化  | 各研究会での産業界委員の意見                                                   | <b>「キャリアデザインⅠ」</b><br>キャリア発達向上を目指し①キリスト教の教えに基づく価値形成、②市民・生活者としての視点の醸成③専門職としての成長の3点の内容を取り入れた。                                                                                                     |
|        | アクティブ・ラーニングの推進 | 教育改善研究会での各大学の事例                                                  | <b>「キャリアデザインⅠ」</b><br>グループディスカッションを取り入れた講義を設けた。                                                                                                                                                 |
|        | 産学連携授業の推進      | 教育改善研究会での各大学の事例                                                  | <b>「キャリアデザインⅡ」</b><br>相模原市幼稚園協会、横浜市私立幼稚園協会、相模原市保育連絡協議会から講師を招き就職状況についての講演を行う。又、卒業生を講師に招き、職種の理解を深めることができる。                                                                                        |
|        | インターンシップの充実    | 教育改善研究会での各大学の事例                                                  | 日本保育協会との連携により、「インターンシップ：ふれあい体験」協会加盟園でのインターンシップの実施を行う。                                                                                                                                           |

|             | 改善事項           | 改善の取り入れ元                                                                                          | 改善科目、および改善内容                                                                                                                                                                                                              |
|-------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和音楽大学短期大学部 | キャリア教育科目の体系化   | ・教育改善研究会での意見交換、合同FDでの授業見学など、本事業の一連の活動を通じて                                                         | 平成23年度より、専門教育と連動した体系的なキャリア教育をカリキュラムの中に位置づけた。幅広い視点で音楽を捉える力を育み、将来にわたり、多方面で活躍できる人材育成をめざしている。現在までに「音楽人基礎①」(H23)「音楽人基礎②」「音楽人研究」(H24)を開講し、音楽業界と連携して、複眼的な視点による職業観を育成している。今後も本学学生が主体的に学ぶ姿勢を醸成し、音楽の専門力と汎用的能力の両方を養成できるようにする。        |
|             | ジェネリック・スキルの強化  | ・昭和音楽大学「産業界の人材ニーズ調査結果」(H25年度に実施。平成26年教育改善研究会他で発表)<br>・合同FDでの授業見学(電気通信大、神奈川工大等)<br>・各研究会での産業界委員の意見 | <b>音楽人基礎①:</b><br>講義内容にディスカッション・グループワーク、プレゼンテーションを導入し、多様なコースを超えて話し合う機会を持ち、グループ内で意見をまとめ発表を行った。また、個々の学生が自分自身がこれまでに経験してきたことを基にプロフィールを作成させ、文章作成能力を強化。<br><b>音楽人基礎②:</b><br>コミュニケーション力を養うため、講義内容にグループワークの要素を取り入れ、ディスカッションを行った。 |
|             | アクティブ・ラーニングの推進 | ・合同FDでの授業見学(電気通信大学など)<br>・亜細亜大学「インタビュー実践」など、教育改善研究会での各大学の事例                                       | <b>音楽人研究:</b><br>業界リサーチに基づく関係者へのインタビューを課題として設定。学生がグループで音楽関連企業や団体等を訪問。実際の現場の方にインタビューし、その内容をレポートにまとめ発表し、将来希望する職種に対し理解を深めた。                                                                                                  |
|             | 産学連携授業の導入      | ・教育改善研究会での各大学の事例<br>・各研究会での産業界委員の意見                                                               | <b>音楽人基礎②:</b><br>音楽業界や舞台芸術団体等からゲスト講師を招聘し、業界で必要とされる能力を知り、主体性を持った学びに繋げている。<br>また、様々な職業に就く卒業生によるパネルディスカッションも行い、複眼的視点による職業観を育成している。                                                                                          |

## インターンシップ共通アンケート(テーマ③)

インターンシップ受入れご担当者様

### インターンシップ受入れ先に関するアンケートのお願い

日頃より学生のインターンシップ受入れにつきましては、格別のご協力をいただいております。心より感謝申し上げます。

私たち、関東山梨地域大学グループは、文部科学省の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択され、その活動の一環として、インターンシップの高次化に取り組んでおります。この中で、学生の基礎力向上のために、新たなインターンシップモデルの開発や課題解決型インターンシップのあり方について検討を行っております。

つきましては、大変お忙しいところかと存じますが、別紙の受入れ学生に関するアンケートにご回答いただくとともに、以下のアンケートにも、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

アンケート結果に関しましては、企業名・個人名が特定されることがないかたちで、分析結果を公開させていただきます。分析結果は、ご協力いただきました企業・団体にもお伝えをさせていただきます。9月末日をめどに、アンケートをお届けした大学担当者が、アンケートを回収に伺います。ご不明な点に関するお問い合わせは、アンケートをご依頼させていただきました大学の担当者まで、お願い致します。

関東山梨地域大学グループ

インターンシップ高次化担当

創価大学キャリアセンター長 長谷部秀孝

※関東山梨地域大学グループ参加校：宇都宮大学、電気通信大学、横浜国立大学、亜細亜大学、神奈川工科大学、北里大学、昭和音楽大学、創価大学、東京経済大学、日本社会事業大学、武蔵野大学、山梨英和大学、和泉短期大学、昭和音楽大学短期大学部

-----切り取り-----

1. 貴社（貴団体）名 \_\_\_\_\_
2. 業種 1. 製造業 2. 販売業 3. サービス業 4. 金融業 5. その他（ ）
3. 貴社に入社を希望する学生に対して特に求める基礎力を、下記の中（1～10）から3つお選びいただき、番号に○を付けていただけますでしょうか？ご回答いただく担当者様のお考えで結構でございます。
  1. 論理的思考力（複眼的な視点から論理的に思考を展開する力）
  2. 言語表現力（日本語及び外国語を用いて、正確な文章を書き、話す力）
  3. 数量的分析力（数量的・統計的なデータを正確に把握し、分析する力）
  4. 対人基礎力（目標に向けて他者と協力的に仕事を進める力）
  5. 討議推進力（多様性を理解し、建設的に議論を推進していく力）
  6. 自己育成力（自らの行動を律し、理想とする自己に近づけていく力）
  7. 課題設定力（客観的に情報を収集し、本質的な課題を設定する力）
  8. 目標達成力（自らの計画や目標を、具体的に実現していく力）
  9. 創造的思考力（既成概念にとらわれず、独創的に考える力）
  10. 異文化対応力（異なる環境においても自らの能力を発揮できる力）

アンケートのご協力、大変にありがとうございました。

受入れ企業・  
団体様用

## インターンシップ・アンケート(終了時に回答)

アンケート記入日 年 月 日 ( )

受入れ学生の大学名・氏名

受入れ企業・団体名

実施日数:

以下の9つの問いに対して、インターンシップ開始時と終了時で、どのように変化をしたかを選び、「○」を付けてください。

### 1. 仕事の順番や考え方など、道筋を立てて、仕事に取り組むことができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

論理的思考力

### 2. 仕事において、適切な言葉を使うことや、文章を書くことができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

言語表現力

### 3. 仕事で扱う「数(金額等も含む)」を正確に扱うことができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

数量的分析力

### 4. 他者と協力をして仕事をする事ができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

対人基礎力

### 5. 意見を交わす際、建設的な話し合いをすることができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

対話推進力

### 6. 仕事を通して、自身の目標に近づく努力をすることができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

自己育成力

### 7. 仕事を通して、自身の課題を発見し、その解決に向けて努力をすることができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

課題設定力

### 8. 仕事を通して、自身の目標を達成することができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

目標達成力

### 9. 既存概念にとらわれずに、創造的に仕事を捉えることができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

創造的思考力

### 10. 異なった環境の中でも、自らの力を発揮することができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

異文化対応力

### 11. インターンシップを通して、特に向上したと思われる点があればお書きください。



受入れ企業・  
団体様用

## インターンシップ・アンケート(終了時に回答)

アンケート記入日 2014年 6月 27日 ( 金 )

受入れ学生の大学名・氏名 ○○大学・鈴木太郎

受入れ企業・団体名 三多摩商事 実施日数: 5日間(6/23 - 6/27)

以下の9つの問いに対して、インターンシップ開始時と終了時で、どのように変化をしたかを選び、「○」を付けてください。

1. 仕事の順番や考え方など、道筋を立てて、仕事に取り組むことができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     | ○ |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

論理的思考力

2. 仕事において、適切な言葉を使うことや、文章を書くことができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     | ○ |        |
| 終了時 |       |   | ○   |   |        |

言語表現力

3. 仕事で扱う「数(金額等も含む)」を正確に扱うことができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   | ○   |   |        |
| 終了時 |       |   | ○   |   |        |

数量的分析力

4. 他者と協力して仕事をする事ができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     |   | ○      |
| 終了時 |       |   |     | ○ |        |

対人基礎力

5. 意見を交わす際、建設的な話し合いをすることができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   | ○   |   |        |
| 終了時 |       | ○ |     |   |        |

討議推進力

6. 仕事を通して、自身の目標に近づく努力をすることができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   | ○   |   |        |
| 終了時 |       | ○ |     |   |        |

自己育成力

7. 仕事を通して、自身の課題を発見し、その解決に向けて努力をすることができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     | ○ |        |
| 終了時 | ○     |   |     |   |        |

課題設定力

8. 仕事を通して、自身の目標を達成することができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   | ○   |   |        |
| 終了時 |       | ○ |     |   |        |

目標達成力

9. 既成概念にとらわれずに、創造的に仕事を捉えることができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   |     | ○ |        |
| 終了時 |       |   | ○   |   |        |

創造的思考力

10. 異なった環境の中でも、自らの力を発揮することができる。

|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
| 開始時 |       |   | ○   |   |        |
| 終了時 |       | ○ |     |   |        |

異文化対応力

11. インターンシップを通して、特に向上したと思われる点があればお書きください。

初日は、挨拶がうまくできない様子でしたが、最終日には、元気に挨拶ができるようになり、社員ともコミュニケーションが取れるようになりました。

学生用

# インターンシップ・アンケート(終了時に回答)

アンケート記入日 年 月 日 ( )

学籍番号

氏 名

インターンシップ先

日数:

以下の9つの問いに対して、インターンシップ開始時と終了時で、どのように変化をしたかを選び、「○」を付けてください。

## 1. 仕事の順番や考え方など、道筋を立てて、仕事に取り組むことができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

論理的思考力

## 2. 仕事において、適切な言葉を使うことや、文章を書くことができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

言語表現力

## 3. 仕事で扱う「数(金額等も含む)」を正確に扱うことができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

数量的分析力

## 4. 他者と協力をして仕事をする事ができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

対人基礎力

## 5. 意見を交わす際、建設的な話し合いをすることができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

討議推進力

## 6. 仕事を通して、自身の目標に近づく努力をすることができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

自己育成力

## 7. 仕事を通して、自身の課題を発見し、その解決に向けて努力をすることができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

課題設定力

## 8. 仕事を通して、自身の目標を達成することができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

目標達成力

## 9. 既存概念にとらわれずに、創造的に仕事を捉えることができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

創造的思考力

## 10. 異なった環境の中でも、自らの力を発揮することができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

異文化対応力

## 11. インターンシップを通して、特に向上したと思われる点をお書きください。

## 12. 上記の「1.」から「10.」は、社会で活躍するための力を示していますが、今回経験したインターンシップで、特に必要と思われた力の番号を3つ選び、番号に○を付けてください。

学生用

## インターンシップ・アンケート(終了時に回答)

アンケート記入日 2014年 6月 27日 ( 金 )

学籍番号 1406999 氏 名 鈴木 太郎

インターンシップ先 三多摩商事 日数: 5日間(6/23 - 6/27)

以下の9つの問いに対して、インターンシップ開始時と終了時で、自身の能力が、どのように変化をしたかを選び、「○」を付けてください。

1. 仕事の順番や考え方など、道筋を立てて、仕事に取り組むことができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   |        |
| 終了時 |       |   |     |   |        |

論理的思考力

2. 仕事において、適切な言葉を使うことや、文章を書くことができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     | ○ |        |
| 終了時 |       | ○ |     |   |        |

言語表現力

3. 仕事で扱う「数(金額等も含む)」を正確に扱うことができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   | ○   |   |        |
| 終了時 |       |   | ○   |   |        |

数量的分析力

4. 他者と協力をして仕事をする事ができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     |   | ○      |
| 終了時 |       |   | ○   |   |        |

対人基礎力

5. 意見を交わす際、建設的な話し合いをすることができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   | ○   |   |        |
| 終了時 |       | ○ |     |   |        |

討議推進力

6. 仕事を通して、自身の目標に近づく努力をすることができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       | ○ |     |   |        |
| 終了時 |       | ○ |     |   |        |

自己育成力

7. 仕事を通して、自身の課題を発見し、その解決に向けて努力をすることができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       | ○ |     |   |        |
| 終了時 | ○     |   |     |   |        |

課題設定力

8. 仕事を通して、自身の目標を達成することができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   | ○   |   |        |
| 終了時 | ○     |   |     |   |        |

目標達成力

9. 既存概念にとらわれずに、創造的に仕事を捉えることができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   |     | ○ |        |
| 終了時 |       |   | ○   |   |        |

創造的思考力

10. 異なった環境の中でも、自らの力を発揮することができる。

|     |       |   |     |   |        |
|-----|-------|---|-----|---|--------|
|     | よくできた | — | できた | — | できなかった |
| 開始時 |       |   | ○   |   |        |
| 終了時 |       | ○ |     |   |        |

異文化対応力

11. インターンシップを通して、特に向上したと思われる点をお書きください。

初日は、挨拶さえもできない状況でしたが、最終日には、多くの社員さんとコミュニケーションが取れるようになり、対人基礎力が向上したと思います。

12. 上記の「1.」から「10.」は、社会で活躍するための力を示していますが、今回経験したインターンシップで、特に必要と思われた力の番号を3つ選び、番号に○を付けてください。

# 教育改善研究会 開催情報

| 年度       | 開催日               | テーマ  | 発表              | タイトル                                                |
|----------|-------------------|------|-----------------|-----------------------------------------------------|
| 平成 24 年度 | 平成 25 年 1 月 16 日  | テーマ1 | 電気通信大学          | キャリア教育の取組および授業見学                                    |
|          | 平成 25 年 3 月 26 日  | テーマ2 | 昭和音楽大学          | 学修評価とアクティブ・ラーニングの事例紹介                               |
|          |                   | テーマ2 | 神奈川工科大学         | キャリアポートフォリオについて                                     |
| 平成 25 年度 | 平成 25 年 6 月 20 日  | テーマ1 | 宇都宮大学           | 宇都宮大学における 4 年一貫キャリア教育                               |
|          |                   | テーマ2 | 日本社会事業大学        | e-ポートフォリオを活用した<br>アカデミックプランニングについて                  |
|          | 平成 25 年 8 月 5 日   | テーマ3 | 昭和音楽大学          | インターンシップの実践                                         |
|          | 平成 25 年 11 月 13 日 | テーマ1 | 亜細亜大学           | インタビュー実践<br>(オリエンテーション・ゼミナール)                       |
|          |                   | テーマ2 | 創価大学            | 産業界のニーズに応える学修評価の取組                                  |
|          |                   | テーマ3 | 東京経済大学          | 地域インターンシップの取組                                       |
|          | 平成 25 年 12 月 19 日 | テーマ1 | 横浜国立大学          | 産業界ニーズ調査結果と<br>キャリア教育体系の整備                          |
|          |                   | テーマ2 | 和泉短期大学          | 保育者養成校におけるキャリアデザイン                                  |
|          |                   | テーマ3 | 山梨英和大学          | インターンシップにおける段階履修の確立<br>チームビルディング、受入機関との関係構築<br>課題設定 |
|          |                   |      |                 |                                                     |
| 平成 26 年度 | 平成 26 年 6 月 17 日  | テーマ1 | 横浜国立大学          | アクティブ・ラーニングの実践：<br>主体的な学びの模索                        |
|          |                   | テーマ2 | 山梨英和大学          | 地元産業界と連携したアクティブ・ラーニング<br>の実践と検証アセスメントの実施            |
|          |                   | テーマ3 | 創価大学            | 産業界のニーズに応えるインターンシップ<br>課題解決型インターンシップの事例             |
|          | 平成 26 年 10 月 21 日 | テーマ1 | 日本社会事業大学        | アクティブ・ラーニングの創造<br>地域事業所と連携した大学生の参加型学習               |
|          |                   | テーマ2 | 亜細亜大学           | 活動体験を『本物の自信』につなげる<br>就業力マイレージの運用と課題                 |
|          |                   | テーマ3 | 宇都宮大学           | 国際インターンシップとは<br>海外でインターンシップを行う意義等                   |
|          | 平成 27 年 1 月 20 日  | テーマ1 | 昭和音楽大学<br>短期大学部 | 実践的な成果発表の機会について                                     |
|          |                   | テーマ2 | 昭和音楽大学          | 産業界の音楽大学への期待<br>各種調査結果から                            |
|          |                   | テーマ3 | 和泉短期大学<br>北里大学  | はっぴいアクアリウム・プロジェクトの取組<br>繋がる力・繋げる力                   |
|          |                   |      |                 |                                                     |

## 関東山梨地域大学グループ

関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善

### 取組テーマ①

産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化

## ジェネリック・スキルを高めるキャリア教育

### ◆専門分野を超えた共通目標としてのキャリア教育のありかた

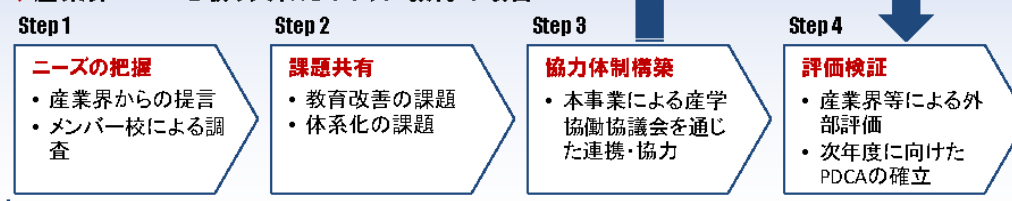
取組テーマ①には、本グループのメンバー全14大学・短大が参加している。地域性、専門分野や学生の資質・進路が多様なメンバー校が蓄積してきた知見を活かしこれまでの取組みを相互評価すると共に、産業界との連携により、ジェネリック・スキルを養成する体系的キャリア教育プログラムモデル、および産学連携の教育モデルの構築を目指している。

### ◆体系的キャリア教育への改善

#### キャリア教育体系案

フェーズ1 **Changing**: 低学年時に、社会や仕事に興味関心をもつ授業  
 フェーズ2 **Expansion**: 力を身につける授業(PBLなど)  
 フェーズ3 **Practice**: 将来に向けて磨き高める授業(インターンシップなど)

### ◆産業界ニーズを取り入れたキャリア教育の改善



関東山梨地域産学協働協議会、教育改善研究会等で共有・議論

## 体系的キャリア教育の実現を目指して

### ■教育改善研究会における各大学の発表

#### 平成24年度

電気通信大学「キャリア教育の取り組みおよび授業見学」

#### 平成25年度

宇都宮大学「宇都宮大学における4年一貫キャリア教育」

亜細亜大学「インタビュー実践」(オリエンテーション・ゼミナール)

横浜国立大学「産業界ニーズ調査結果とキャリア教育体系の整備」

#### 平成26年度(予定)

横浜国立大学「アクティブラーニング事例」

昭和音楽大学「産学連携授業:音楽人基礎②」

創価大学「産学連携講座と連動したインターンシップ」

日本社会事業大学「産業界との連携推進事業プロジェクト」



(産業界委員の発言)



(関東山梨地域産学協働協議会)



(テーマ①分科会)

### ■今後の取組(予定)

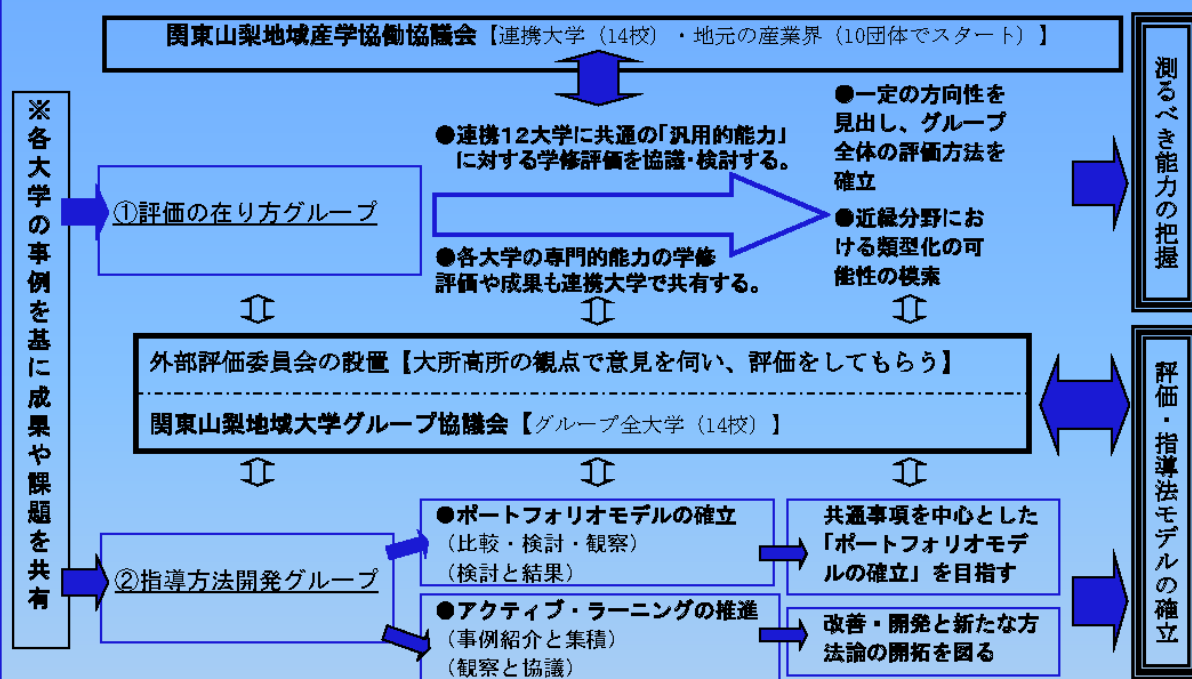
1. 改善事例共有の継続とキャリア教育体系の構築
2. キャリア開発科目の高次化に向けた産学協力体制の構築

取組テーマ① 参加大学: 横浜国立大学(幹事校)、亜細亜大学(副幹事校)、宇都宮大学、電気通信大学、神奈川工科大学、北里大学、創価大学、昭和音楽大学、東京経済大学、日本社会事業大学、武蔵野大学、山梨英和大学、和泉短期大学、昭和音楽大学短期大学部

# 関東山梨地域大学グループ 関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善

## 取組テーマ② 産業界のニーズにマッチした学習評価・指導方法の開発

### 学生の主体的な学修を支える学修評価・指導方法の多元的な開発



### 専門的能力を支える“社会に貢献できる汎用的能力”の涵養

#### ■教育改善研究会における各大学の発表

##### 平成24年度

昭和音楽大学「学修評価とアクティブラーニングの事例紹介」  
 神奈川工科大学「キャリアポートフォリオについて」

##### 平成25年度

日本社会事業大学「e-ポートフォリオを活用したアカデミックプランニングについて」  
 創価大学「産業界のニーズに応える学修評価の取組み」  
 和泉短期大学「保育者養成校におけるキャリアデザイン」



#### ■学修成果に関する調査の実施

平成25年度、連携大学で共通する「汎用的能力」に対する学修成果に関する評価の在り方を検討し、測るべき能力の把握と評価方法の確立を目的とし調査を実施した。併せて、指導方法の開発に関し、アクティブ・ラーニングの事例と学生の伸長を図るアセスメントを収集した。来年度以降は、下記の取組を行い、連携大学で情報を共有するとともに、平成25年度より実施している合同FDに関する資料としても活用する。

#### ■今後の取組（予定）

##### 1. 評価の在り方に関し、測るべき能力等の整理・分析・類型化

平成25年度に集積した連携大学からの学修成果およびアクティブ・ラーニングの事例を基に、前者に係る測るべき能力の整理・類型化と後者に係る分析・類型化を行う。

##### 2. 産業界のニーズに応えるための教育改善研究会を実施

産業界の関係者により基調講演とシンポジウム形式の討論会を行い、大所高所の観点から議論し、意見をもらう。

取組テーマ②：昭和音楽大学（幹事校）、神奈川工科大学（副幹事校）、電気通信大学、亜細亜大学、創価大学、東京経済大学、日本社会事業大学、武蔵野大学、山梨英和大学、和泉短期大学、昭和音楽大学短期大学部

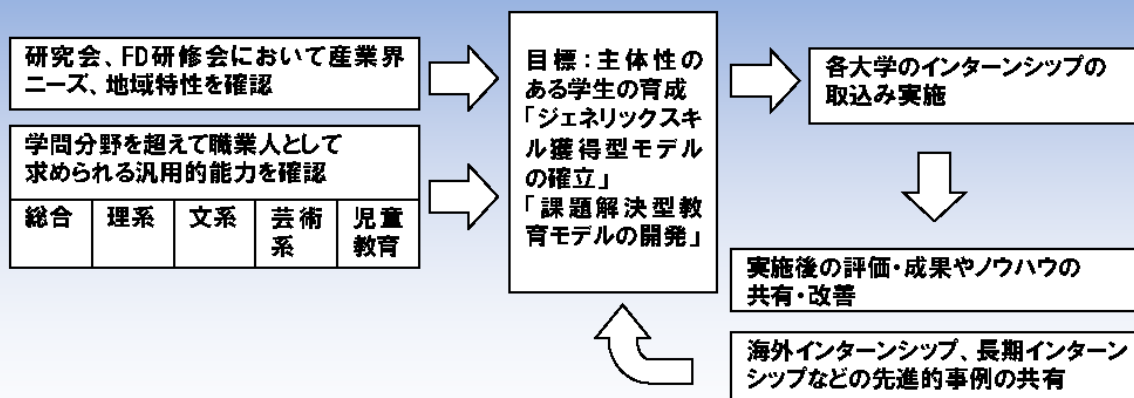


関東山梨地域大学グループ  
関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善

取組テーマ③  
産官学地域共同によるインターンシップの高次化  
ジェネリックスキル獲得型モデルの確立

◆専門分野を超えた共通目標としてのジェネリックスキル養成

取組テーマ③に参加する11の大学・短大は、専門分野も学生の進路も多様であり、各大学で行われているインターンシップも様々なものがある。当取組においては、各大学で実施されているインターンシップに関する情報を共有し、産業界委員からの意見を反映させ、職業人として万人に求められる汎用的な能力(ジェネリックスキル)を養成するインターンシップのモデルの確立を目指している。



「課題解決型・長期・短期・海外」インターンシップを実施

■教育改善研究会における各大学の発表

平成24年度

武蔵野大学「ホスピタリティ産業における長期インターンシップ」

平成25年度

昭和音楽大学「音楽人研究とフィールドインターンシップの実践」

東京経済大学「地域インターンシップの取組み」

山梨英和大学「インターンシップにおける段階履修の確立」

平成26年度(予定)

宇都宮大学「海外インターンシップの取組み」

創価大学「東北被災地における課題解決型インターンシップ」

和泉短期大学「保育実践型インターンシップの取組み」



■今後の取組(予定)

1. 評価指標の作成

ジェネリックスキルの獲得に関する評価指標を作成し、参加大学が実施するインターンシップ終了後、学生及び受入企業へ共同アンケートを実施する。

2. 合同成果報告会の実施

各大学の代表学生による合同成果報告会を開催し、情報共有と成果の確認を行う。

取組テーマ③ 参加大学：創価大学(幹事校)、東京経済大学(副幹事校)、宇都宮大学、電気通信大学、亜細亜大学、北里大学、武蔵野大学、神奈川工科大学、昭和音楽大学、山梨英和大学、和泉短期大学



# 宇都宮大学

## 地域と連携したグローバル人材の育成

### キャリア開発科目の高次化

#### ◆キャリアフェスティバル

本学独自・最大のイベントで、キャリア教育の一貫として業界を代表する企業を招き、パネルディスカッションや分科会を行っている。業界全体の現状と将来、企業の経営戦略・方針等、グローバルマインドを養うなど広い視点から学ぶ機会を提供している。

##### 第一部(パネルディスカッション)

本田技研工業、オリエンタルランド、資生堂、東芝メディカルシステムズ

##### 第二部(分科会)

上記の他、ゆうちょ銀行、山崎製パン、ヤマト運輸、清水建設、JTB関東、栃木県庁



#### ◆キャリア教育科目の拡充

●科目名: 企業のグローバル戦略とキャリア形成(24年度新設)  
企業のグローバル戦略に関する学びを通して、自らのキャリア形成を企業の現役の人事パーソンとともに考える。

●科目名: グローバル時代の企業経営(25年度新設)  
グローバル化が進行する中、企業がどのように経営されているのかについての基礎知識を学ぶ。  
※基盤キャリア教育科目9科目開設、新設科目を検討中。

#### ◆課題発見・解決型インターンシップの開発・実施

企業が抱える課題に対して、学生がチームで、課題の分析、解決、改善に向けた提案型のインターンシップを行う。職業人と関わりながら、実践的な挑戦を通して、チームワーク、課題解決力、主体性、チャレンジ精神、組織理解・自己理解を育む。



### インターンシップの高次化

#### ◆国際キャリア合宿セミナー

地域からのグローバル化(Globalization)と地域のグローバル化(Glocalization)に対応するための人材を育成する。

##### ●科目名: 国際キャリア開発

豊富な経験を有する講師とともに、講義・ワークショップ形式により、働く意味、仕事と地域や世界とのつながりについて学ぶ。

##### ●科目名: 国際実務英語

国際キャリア開発の英語版で英語のみで授業を行い、発表も各分科会毎に英語で行う。



#### 国際実務英語参加者の声(大学3年生)

It was only three days to learn, but it was so many things what we could learn. Lecturers taught us many things like vocabularies, cultures, and communication skills. What is more was that I could meet some new friends! They also tell me some great things. I could realized it's hard to share each ideas, but it is important. We tried to discuss about our theme, and tried to solve theme. That is the process to learning skills. In this three days, I learned that importance of deal with friends not only studying English.

#### ◆国際インターンシップ

栃木県内企業等の海外事業所で、就業体験を通じ、専門的な知識の修得とともにグローバルな社会人として活躍できる能力を育成する。往復航空代金の8割程度を大学が支援する。



#### ・実績

平成26年度1月末現在

| 平成24年度 |     | 平成25年度 |     |
|--------|-----|--------|-----|
| 企業数    | 参加者 | 企業数※   | 参加者 |
| 3      | 3   | 5(10)  | 13  |

タイ、ベトナム

タイ、ベトナム、マレーシア、アメリカ、イギリス

※( )内の数字は、参加者募集を行った企業数を示す。

# 電気通信大学

## 3年生と1年生の学年横断教育を必修化

### ◆プロジェクト活動を通じて社会人基礎力を養成

キャリア教育演習・リーダー(1471名)

3年生と1年生が協力しながら進める学年横断型の演習では、3年生が1年生に対して、大学生生活をスムーズに軌道に乗せるようピアサポートを行い、研究室見学での引率、自らテーマと課題を設定し、目標達成を目指したチーム活動などを通じて、リーダーシップ、コミュニケーション力と問題解決力、自己管理能力、チームワークを学び、そして自分なりのリーダーシップの発揮の仕方を体験する。必修化により、例えばコミュニケーションが苦手な学生にも履修する機会が与えられ、全体的な底上げを図る。

学年横断教育科目である必修のキャリア教育演習およびキャリア教育演習リーダーを中心として、1年次選択必修科目の電気通信大学概論、2年次選択必修科目キャリアデザイン1、キャリアデザイン2において補完する内容を盛り込んでいる。



|              | 開講時期 |      |      |      |      |      |
|--------------|------|------|------|------|------|------|
|              | 1年前期 | 1年後期 | 2年前期 | 2年後期 | 3年前期 | 3年後期 |
| キャリア教育演習     | ●    | ●    |      |      |      |      |
| 電気通信大学概論     | ○    |      |      |      |      |      |
| キャリアデザイン1    |      |      | ○    |      |      |      |
| キャリアデザイン2    |      |      |      | ○    |      |      |
| キャリア教育演習リーダー |      |      |      |      | ●    | ●    |

●:必修、○:選択必修

## 電気通信大学キャリア教育の特徴

### ◆産業界出身の特任講師のきめ細やかな支援体制

電気通信大学のキャリア教育で授業を担当する産業界出身者。キャリア教育5科目で64名が活躍しており、学生へのきめ細やかな支援を実現している。(平成25年度)

### ◆学習ポートフォリオシステムの活用

学習ポートフォリオシステムを活用して、キャリア教育の特任教員や特任講師から綿密な声掛けを行い、学生に対してきめ細かな支援体制を構築している。同時に、学生相互のコミュニケーションも、この学習ポートフォリオシステムの掲示板機能で行う。

### ◆学生によるピアサポート

学年横断教育は、産業界出身の特任講師のきめ細やかな支援のもと、学生同士がプロジェクトチームを結成して進めるもので、3年生のリーダーシップの下で学生自ら課題を設定し、3年生と1年生が協力して課題解決に取り組む。学生は、1年次のフォローアップから3年次のリーダーシップまで学年進行で学ぶ。プロジェクト活動を通して、社会人基礎力「チームで働く力(チームワーク)」「考え抜く力(シンキング)」「前に踏み出す力(アクション)」を養成する。

## 学年横断教育を補完するアクティブラーニング

### ◆研究室見学

キャリア教育演習・リーダー(1471名)

例年6月に開催する「大学院オープンラボ」の際に研究室への見学を行う。見学に際して、3年生と1年生のグループを作り、事前の調査および、当日の見学をグループで行っている。見学対象研究室数:224研究室



### ◆ディベート

キャリアデザイン1(452名)

ディベートの準備を行う過程で、主体性、働きかけ力、実行力を身に付ける。普段自分がもつ視点と異なる視点からテーマを分析理解することで、考え抜く力を養成する。



### ◆アイデアマラソン

キャリアデザイン2(452名)

マラソンでは1冊のノートで各自が持ち、自分の発想を1日1つ以上書く。学生には発想法を経験し、考え抜く力を養成すると同時に、継続して行うことの重要性を認識させる。

### ◆事業所見学

電気通信大学概論(1年次選択必修:777名)

キャリアデザイン1(2年次選択必修:452名)

夏季集中講義として、46の事業所に分散して企業見学を行う。事前に企業調査とグループワークを行い、見学先事業所では、企業内の見学とともに若手技術者(OB・OG)との懇談会も開催。キャリア設計の意識を高める。

### 平成25年度の見学先(50音順)

|                 |                     |                 |
|-----------------|---------------------|-----------------|
| アクセンチュア(株)      | (独)製品評価技術基盤機構(NITE) | (株)日立国際電気       |
| アジレント・テクノロジー・イン | ソニー(株)              | (株)日立製作所        |
| ターナショナル(株)      | 大日本印刷(株)            | 富士通(株)          |
| (株)アマダ          | 多摩信用金庫              | (株)フジテレビジョン     |
| (株)NTTDocomo    | (公財)鉄道総合技術研究所       | 富士電機(株)         |
| (株)荏原製作所        | 東芝ソリューション(株)        | 古河電気工業(株)       |
| (株)エフエム東京       | 特許庁                 | 三菱マテリアル(株)      |
| (株)オービックビジネスコン  | トッパンフォームズ(株)        | 三菱東京UFJ銀行       |
| サルタント           | 日産自動車(株)            | 三好内外特許事務所       |
| (株)オプトエレクトロニクス  | (株)日本経済新聞社          | (株)村田製作所        |
| キヤノン(株)         | 日本航空電子工業(株)         | (株)メディアグローバルリンク |
| グループ(株)         | 日本電気(株)(NEC)        | クス              |
| (株)KDDI研究所      | 日本発条(株)             | (株)安川電機         |
| (独)産業技術総合研究所    | 日本放送協会(NHK)         | 横河電機(株)         |
| シスコシステムズ(合)     | 日本マイクロソフト(株)        | (株)リコー          |
| (独)新エネルギー・産業技   | 日本ユニシス(株)           |                 |
| 術総合開発機構(NEDO)   | (株)野村総合研究所          |                 |
| 住友電気工業(株)       |                     |                 |

以上46社・団体

# 横浜国立大学

## 産業界ニーズ調査でわかったこと

### ■ 産業界のニーズ

#### 主体性を養うキャリア教育を期待

- ✓ 理想と現実を埋めるキャリア教育を
- ✓ 働く意味、学問との係わりなど、職業観を醸成する教育を
- ✓ アクティブ・ラーニングで主体性を

#### 大学教育全般への期待

- ✓ 論理的思考力を養う教育を
- ✓ 主体性、コミュニケーション力を養う教育を、理系は基礎力を
- ✓ グローバル対応力:国内で通用する実務能力と、異文化を受け入れる姿勢を

**①主体性**  
(ジェネリック・スキルの原動力)

**②ジェネリック・スキル**  
(主体性に基づき、個々のスキルが発動)

**③コミュニケーション能力**  
(外部に表出)

実行力

課題解決力

交渉・調整・ディベート力

論理的思考力

情報収集・分析力

チームワーク、協調性

外国語能力

ビジネスマナー、常識

### ■ 新入社員の課題

**産業界:**どんな職場でも適応する柔軟性や忍耐力を備え、自ら考えて行動ができる人材を求めている

**入社2年目の卒業生:**論理的思考力、課題解決力など個別課題に眼がいきがち。本質は、組織の中で主体的に動く姿勢の欠如にあることを理解していない

### ■ 中堅社員の課題

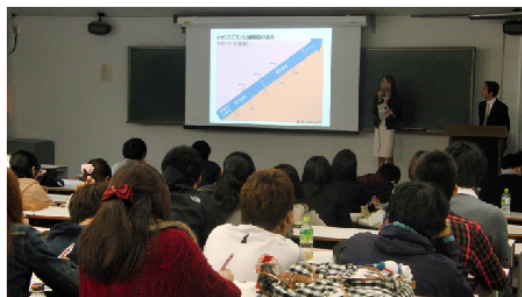
**産業界:**組織のリーダーになる意識と、より高度な業務遂行能力を求めている

**入社6年目の卒業生:**企業側が求めることと、卒業生が理解する課題とはほぼ一致。分かっているが期待に応えきれない面、私生活との調和に悩みあり

## 生真面目な優等生のやる気を引き出す教育へ

### ■ 本学が目指すキャリア教育

- ✓ 社会との関連で学業の目的を発見させ自律的学修へ
- ✓ 就職のためだけでなく、ライフ・キャリアの視点で
- ✓ 自ら考え動く、を体感させる授業を



### ➡ キャリアデザインA/B :H25新設

- 自己理解、職業理解、社会環境の理解から職業観醸成へ
- 個人ワークからディスカッションに発展させる授業
- クリッカーを活用し講義を活性化
- 職業探検:PBL方式で業界や職業のグループ研究

### ➡ キャリア・ケーススタディ:H25新設

- 現役社会人をゲストに招き、担当教員との対談形式で、キャリア形成過程を明らかにする
- テーマは1社でキャリアを積むこと、転職でキャリアを拓くこと、結婚生活との両立、メンタル疾患の問題等

### ➡ ビジネス・コミュニケーション:H25新設

- 社会人基礎力のうち、集団の中で主体的にコミュニケーションを取り結ぶ意識改革に焦点を当てる
- 表現手法ではなく、汎用可能なコミュニケーションの考えかたとその実践手法



**YNU** 横浜国立大学  
YOKOHAMA National University  
Initiative for Global Arts & Sciences



# 亜細亜大学

## 社会で生きぬく力を育むキャリア教育！

### インタビュー実践！（オリエンテーション・ゼミナール）



経営学部新生が全員必修で受講します。（平成25年度は約540人が受講）  
社会人として継続的に仕事が務まる力＝「就業力」の育成を目指し、新生は5つの力を1年次に身につけていきます。

経営学部1年次必修科目「オリエンテーションゼミナール（インタビュー実践！）」では、多種多様な職種のビジネスパーソンを相手に、新生がインタビューを行い、記事を作成します。アポイントや情報収集など、制作課程の全てが新生にとって初めての経験です。

実体験を積み重ねることが、就業力を育む…亜細亜大学は、就職をゴールとするのではなく、働きだしたその先を見据えたキャリア教育を実践しています。

平成25年度からは、1年次後期に必修科目「基礎ゼミナール」を置き、アクティブラーニングをも内包させました。両科目とも基本的に初年次教育科目ですが、新規のキャリア関連科目としても位置付けられ、アドバンストインターンシップの性格も取り入れています。



#### 受講者アンケート結果

「授業に満足できた」との回答＝**80.7%**  
「聴きとる力」「文章を作る力」が向上した＝**79.2%**  
「行動する力」が向上した＝**77.3%**  
「自立する力」が向上した＝**73.4%**  
「生きぬく力」が向上した＝**54.1%**（今後の課題！）

## 建学精神「自助協力」に基づき、 「国際力」「人間力」「創造力」を養成する教育を展開

### 真のキャリアプラン構築のためのインターンシップ

- ★キャリア・インターンシップ（正規授業科目）
- ★経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科  
インターンシップ（正規授業科目）
- ★海外ビジネスインターンシップ（正規授業科目）
- ★キャリア支援課によるインターンシップ機会提供



### 産業界のニーズを学生が肌で感じられる特別講義

- ★トップマネジメント特別講義（経営学部）
- ★ホスピタリティマネジメント特別講義  
（ホスピタリティ・マネジメント学科）
- ★経済学特別講義（経済学部）
- ★インターナショナル・フォーラム（国際関係学部）



亜細亜大学  
ASIA UNIVERSITY

# 北里大学

## 社会とつながる講義

### ◆ 座学と現場体験を結びつける「融合型授業科目」

海洋生命科学部では、専門分野の社会における重要性を理解できるよう、平成23年度から、座学と現場体験の融合を図っている。まずは「水族養殖学」「水族生理学」といった科目に関連する企業、研究機関から外部講師を招聘し、実際の業務に学問がどう機能しているかをリアリティをもって語っていただいた。今後も「環境科学」「食品衛生学」など、海洋生物資源に関わる専門科目において、産業人による授業を充実させていく。

## 新型インターンシップ

### ◆ ミニ水族館「北里アクアリウムラボ」を学生が運営

ミニ水族館「アクアリウムラボ」を、相模原キャンパスに開設。学生が主体的に企画・展示・運営・管理を行っているもので、企画力、協働力を発揮するとともに、見学者への解説などコミュニケーション能力の強化にもつながっている。

### ◆ 体験実習の充実で社会を知る

北海道大学水産学部附属練習船「おしよ丸」に乗船しての調査実習や東京湾における巻き網漁業と漁獲物の水揚げ見学実習を実施。これらの体験で海洋の環境や生物への理解を深め、協働作業を学ぶと同時に、社会の構造と生業について考える機会を持った。



### ◆ 地域連携、他大学との連携によるインターンシップの実践

社会人基礎力、社会への関心の向上、視野の拡大のため、産業界や自治体等の協力の下、連携大学である和泉短期大学との連携インターンシップを実施。地域貢献のイベントを企画、運営した。



北里大学海洋生命科学部  
Kitasato University School of Marine Biosciences

# 創価大学

## 産学連携講座を中心にインターンシップを実施

### ◆産学連携講座「社会貢献と経済学」

創価大学経済学部では、産業界のニーズに対応した人材を育成するために、多くの企業等と連携をした産学連携講座を1年生を対象に開講。



震災の被災地より講師を招いた授業の様子

平成25年度の連携企業等  
JTBコーポレートセールス、  
南三陸ホテル観光、先駆、  
ソーシャルプランニング、花  
王、UR都市機構、リアセッ  
ク、日経メディアプロモー  
ション、ジェイ・ウォルター・  
トンプソン・ジャパン、本学  
OB・OG4名など

### ◆海外インターンシップ

国内でインターンシップ等を経験した学生が、経済学部が運営する海外でのインターンを経験できるように、今年度より、マレーシアでのインターンシップ・プログラムを開始した。

### ◆学生絆プロジェクト

「社会貢献と経済学」の受講経験者、東北復興インターンシップ・プログラム経験者、東北復興スタディーツアー経験者、復興応援経験者などが、キャンパスで自発的に復興への取組みを行う団体を結成し、本取組みと連動。

企業・団体等と連携し、  
「**産業界のニーズ**」に  
対応した人材を育成

### ◆東北復興スタディー・ツアー

インターンシップ先の方々からインターンシップの内容や働くことの意義を伺い、学生に対するインターンシップへの参加推進、社会貢献への意欲向上を図る。

### ◆復興応援塾

インターンシップ実施中の空き時間を利用して、被災地の働く方や復興に従事している方を招き、働くことの意義や社会貢献について学ぶワークショップを実施。産業界のニーズに対応できる人材の育成を行う。

### ◆東北復興インターンシップ・プログラム



JTBコーポレートセールスと連携し、宮城県南三陸町の「南三陸ホテル観光」にて、1年次より参加可能なインターンシップ・プログラムを実施。課題発見・課題解決型のインターンシップを経験し、キャンパスで自発的な復興支援プロジェクトを実施。



創価大学 経済学部

Soka University Faculty of Economics

Discover your potential  
自らの発見



# 東京経済大学

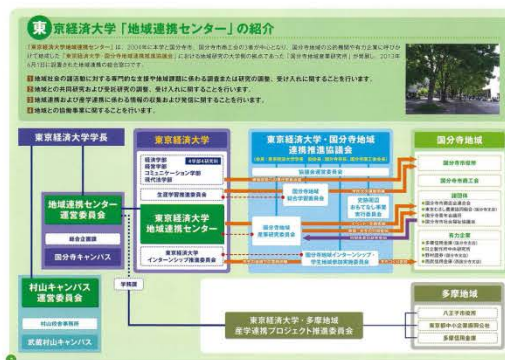
## 地域連携による教育改善の取り組み

### ◆2013年地域連携センター発足

東京経済大学は平成16年より国分寺地域における地域連携活動を実施してきました。今回の教育改善事業では、この取り組みを多摩地域に拡大し、地域のニーズに対応した教育・研究を行うこととしています。昨年、地域連携センターと同運営委員会を設置し、活動の拠点を構築中です。ゼミ活動などでは学生が地域の課題に向き合い、課題解決に取り組むとともに、学生自身の社会人基礎力の養成を目指しています。



ニコ★ニコ  
NICONICO



## 国分寺地域から多摩地域へ連携を拡大

東京西部の多摩地域には、多くのすぐれた中小企業が集積しています。業種も製造業、サービス業、農業、観光業など幅広く多岐にわたります。地元の産業界のニーズにこたえるために連携を一層強化し、大学の教育研究成果の地域への還元、学生の地域での活動を推進しています。



東京経済大学 概要  
創立 1900年  
設置学部  
経済学部(経済学科、国際経済学科)  
経営学部(経営学科、流通マーケティング学科)  
コミュニケーション学部(コミュニケーション学科)  
現代法学科(現代法学科)  
21世紀教養プログラム  
学生数 6420名(2013年5月1日現在)  
専任教員数 160名(特任講師、客員教授を含む 2013年4月1日現在)  
所在地 東京都国分寺市南町1-7-34



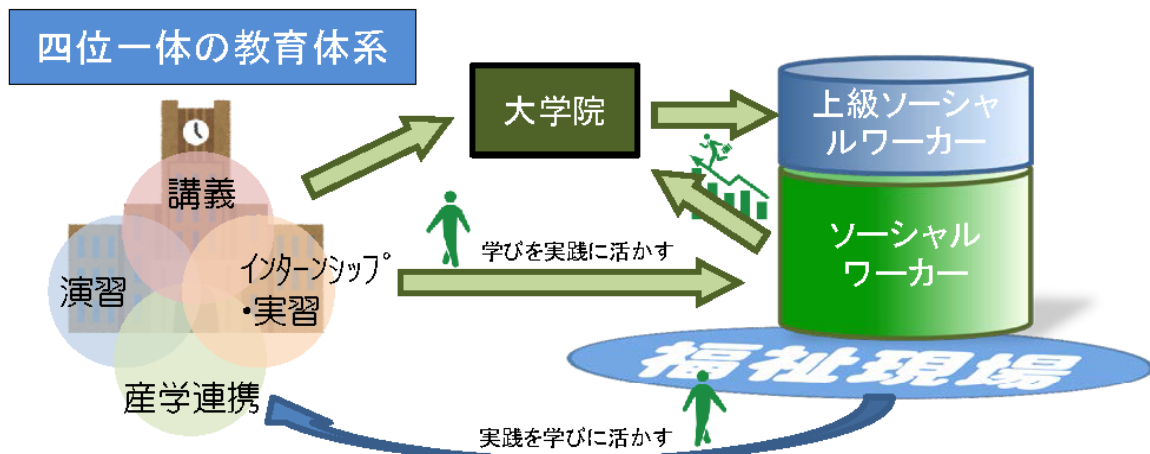
バリ★バリ  
BARI-BARI

東京経済大学



**日本社会事業大学**

## 超高齢化社会に対応した 「日本の社会福祉を牽引するリーダーの育成」



## 産業界と連携する三つの柱

## ◆講義(キャリアデザイン)

1・2年生を対象として、社会の動き・求められる人材像・自己の将来像を描くための「気づき」と「聴く・調べる・動く・伝える」体験型学習。

## ◆ 演習

- ・学生同士、学生と教員の距離が近い。
- ・実践現場との連携による実践的なスキルの向上。

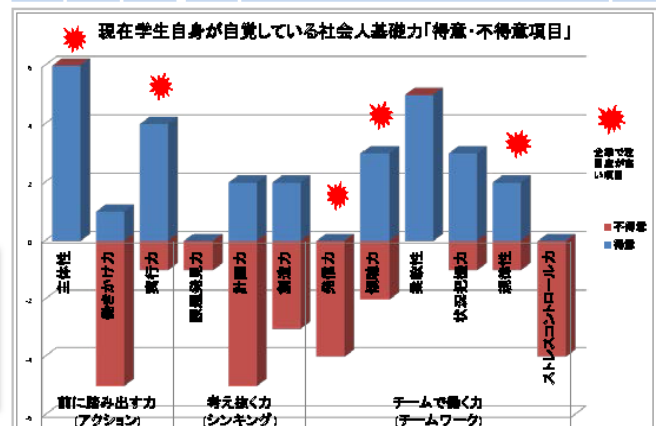
## ◆インターンシップ・実習

インターンシップ、「社会福祉士」を始め、各種資格取得のための実習教育。

- ・生活の場としての福祉を学ぶ。
- ・理論と技術を一体空間で学ぶ。
- ・さまざまなアクティビティを学ぶ。



| 社会を知る    |          |          | 自分を知る |           | 仕事を知る   |        |
|----------|----------|----------|-------|-----------|---------|--------|
| 社会の変化を知る | 今の時代を考える | 企業の変化を知る | 自己分析  | 社会人基礎力研究  | 業界・企業研究 | 社会人の意義 |
|          |          |          |       | プレゼンテーション |         |        |
|          |          |          |       | ディスカッション  |         |        |



# 武蔵野大学

## 産官学連携によるアクティブラーニング

### ◆【武蔵野BASIS】(全学共通基礎課程)

「キャリアデザイン」全学部1年生(薬学部除く)

「武蔵野BASIS」科目群の一つで、**自分の将来をデザイン**するために、「社会を知る」「理想を培養する(目標を立てる)」

「将来の可能性を発見する」ことを目標として、「**人生を豊かに生きていくための力**」を養います。

1. **社会で活躍するゲスト講師**の生き方を通じ、①社会を理解する、②就業環境を考える、③社会が求める能力を理解する、④働くことの意義を考える。
2. 「**体験・調査・研究**」の4つの**カテゴリー**の中から、自ら1つ選択し実践する。①海外フィールドワーク、②国内フィールドワーク、③ボランティア体験、④キャリア系学会・講演会・シンポジウムへ参加する。

連携企業団体: 社会で活躍するゲスト講師、海外国内訪問企業団体、NPO等団体、自治体、JA、他



### ◆【産官学連携プログラム】

「産学連携ゼミ」「長期インターンシップ」「総合研究」全学部3・4年生(薬学部除く)

従来より行ってきた就業体験としての国内・海外インターンシップ(2~4週間)をさらに発展させ、平成24年度より新たに開始した取り組み。学科横断のゼミ形式で、大学内における座学の「産学連携ゼミ」、各企業と官公庁との連携による1ヶ月以上ないし**通年の「長期インターンシップ」**、「総合研究」をゼミ形式でセットで行う。**大学と企業が本気で協働・連携を行う「完全オーダーメイド」のプログラム**です。

各ゼミ名称: 「ホスピタリティ産業ゼミ」「組織開発論ゼミ」「地方行政・図書館司書ゼミ」「SNS Webマーケティングゼミ」「ブランディング・マーケティング実践ゼミ」「教育インターンシップゼミ」

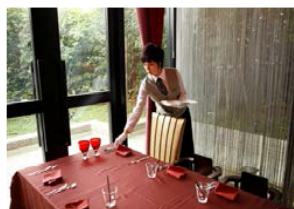
連携機関等: 企業NPO等団体、自治体、他

「海外インターンシップ」全学部3年生(薬学部除く)

2年次の春にエントリーし、3回の選抜やTOEIC・英会話講座等の学習を経て、3年次の夏期休暇中にアメリカ・カナダ・オーストラリア等で4週間のインターンシップを行う。派遣先業界は、商社・メーカー・ホテル・旅行・航空・環境・福祉等多岐にわたる。平成17年から派遣開始し、平成25年度までに131名の学生を派遣している。**プログラム参加学生の就職率が極めて高く、毎年100%に近い就職率**を誇っている。

「国内インターンシップ」全学部2年生(薬学部除く)

平成15年度から正課カリキュラムとして設置。参加希望者は年々増え、現在では**年間の派遣学生数が200~250名程度**となっている。当初は3年次夏期の参加が中心であったが、平成24年度より対象学年を学部2年次に変更。より**早い段階での就業体験**により、気づきを得ることを目的としている。また、同じく平成24年度からは、大学院のビジネス日本語コースで学ぶ留学生との合同授業となった。派遣先ごとに担当教員を配置し、履歴書指導や実習目標の設定、実習後の事後面談まで、一貫した指導を行っている。



# 武蔵野大学

## 【武蔵野BASIS】(本日の事例発表テーマ)

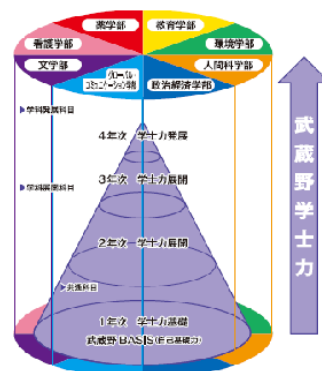
### ◆【武蔵野BASISとは何か】

「全学共通基礎課程」

“BASIS”とは「(知識・体系などの)基礎・共通基盤」を意味し、全学の学生が、初年度を武蔵野キャンパスで過ごすことで、共通体験としての本学のidentityを確立していき、大学での“学び”の基礎を培うことになる。

そのことが、体系的な教育課程として、その後の学科における履修・学修に結びついていく必要がある。各学部・学科の独自性と連携した「武蔵野BASIS」は、画期的な「全カリキュラム体制」である。

### ◆【各学部の体系図】



### ◆【武蔵野BASISの科目構成】

| 科目名                                             | 身に付く力                                                                                                                 |
|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 心とからだ<br>建学<br>健康体育                             | 心身の成熟期を迎えるこの時期から生涯にわたり、健康に過ごすための視点と方法論。                                                                               |
| 学問のための基礎<br>コンピュータ<br>日本語リテラシー<br>武蔵野BASIS基礎    | 調査や研究、論文執筆などでコンピュータを最大限に活用する力。<br>レポートや研究論文における論理性・表現力を最大化するための力。<br>卒業後も生きる高度な学問を学ぶための基礎。                            |
| 外国語<br>外国語(英語)<br>外国語(初修)                       | TOEICテストなどで高い得点をマークできる、バランスのとれた基礎英語能力と実践力。<br>中国語、韓国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の基本学習を通じ、基本的な読む・書く・話すなどの、言語活用能力。                |
| 自己理解他者理解<br>基礎セルフディベロップメント<br>自己の探求<br>キャリアデザイン | それぞれの専門領域での学びをさらに広げていくための教養力とアカデミックスキル。<br>自己や他者を深く理解し、人間関係を深め、有意義な大学生活を実現するための力。<br>自分の目標を表現し、社会的存在として人々を豊かに生かしていく力。 |

※実学科・看護学科の科目構成は一部異なる。

### ◆【授業風景】



PICK UP!!

### 7分野の教養科目を集中的に学び知性を磨く

社会人への基礎力を養う基礎セルフディベロップメント科目  
全学科<sup>※</sup>の学生が1年間共に学ぶ7分野の教養科目群 ※実学科は除く



# 神奈川工科大学

## 実務家教員との連携体制 / アクティブラーニングの実践

### ◇キャリア設計

ポートフォリオを活用し、実務経験のある教員による講座として開講。全学部・10学科の必修科目として1年次前期に開講。主にグループワークを中心とした演習形式で実施。職業観の形成、大学の学びと社会・仕事の関係をイメージ、大学学習目標の設定、ポートフォリオの利活用の理解、及び ロジカルシンキング・タイムマネジメントに関する基礎能力を身につける。

### ◇キャリア開発

キャリア設計と同様に実務家による講座。ポートフォリオ利用。社会人に必要な自己認識力、ポジティブ思考力、チーム活動力、対人コミュニケーション力を身につける。

- 科目名: キャリア設計・キャリア開発
- 連携: 企業・団体での実務経験のある教員



### ◇インターンシップ準備演習

一部外部企業から講師による指導。講義・演習・実習形式の組み合わせ。大学での学習内容が企業等でどう活用されているか、また自分の職業観・社会性・働く事の意義・仕事や会社への具体的な理解とイメージを就業体験を持つことが出来るようになるための準備を行う。

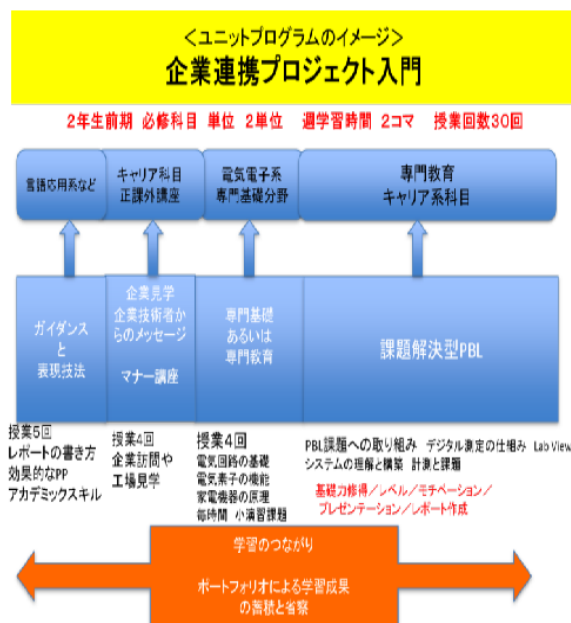
- 科目名: インターンシップ準備演習
- 連携機関等: 企業・団体からの外部講師  
(15 回の内 6 回)



### ◇アクティブラーニング学習の事例

企業連携プロジェクト入門

PBL学習と知識やスキルの習得や社会人基礎力・キャリア力育成が有機的に繋がり学生の学習効果(ループリック評価の導入)の向上。



- 科目名: 企業連携プロジェクト入門
- 連携機関等: 未来技術研究所 若杉先生  
日立アプライアンス多賀家電事業本部



### ◇「学習評価・指導方法」の調査研究

産業界のニーズに対応した学習評価・指導方法(ループリック等)を調査・研究・開発し次年度のキャリア系教育科目の改善策を検討中である。



# 昭和音楽大学

## 広い視野と職業意識を持った人材の育成

### 専門教育と連動した体系的なキャリア教育

平成23年度より専門教育と連動した体系的なキャリア教育をカリキュラムの中に位置づけました。これまでも音楽関連企業・団体等と連携してきましたが、国内の音楽業界に加え、海外の舞台芸術団体等とも連携し、キャリア科目の内容の充実を図っています。

#### ◆コミュニケーション力の強化

##### 音楽人基礎①(大学1年生必修)

多様なコースの学生によるグループディスカッションやプレゼンテーション等を通じ、基礎的な人間力を強化するとともに、「社会(産業界)のニーズ」「将来の夢を実現させるには何をすべきか」等への意識を促します。自分自身や社会を知り、自分自身の価値についても考え、大学4年間の目標を設定することを目指します。



#### ◆産業界と連携した職業観の育成

##### 音楽人基礎②(大学2年生必修)

国内の音楽業界や海外の舞台芸術団体等からゲスト講師を招聘し、音楽業界等の産業界で必要とされる能力を知り、主体性を持った学びに繋がります。

また、社会で活躍する様々な職業に就く卒業生によるパネルディスカッションも行います。卒業生との質疑応答を通じ、複眼的視点による職業観を育成します。



## 時代の変化に対応できる“実践力の強化”

#### ◆産業界の人材ニーズ調査

現代社会で重要と考えられている社会人としての基礎力を把握し、社会で重要視される能力を体系的に整理することで、産業界が求める人材ニーズを把握しました。また、産業界から期待されている大学教育の在り方と大学が取り組むべき施策を把握することで、今後の大学でのキャリア教育等に役立てることを目的として調査しました。調査結果は、連携大学でも共有し、今後の教育に活かします。



「社会」という  
舞台上で活躍  
するために

#### ◆シンポジウムの開催

本学併設の短期大学部と共同でシンポジウム「実社会に生きる大学の学び」を開催しました。産業界の人材ニーズ調査の結果の発表や本学卒業生によるパネルディスカッションを行いました。「大学の学びを実社会でどう活かすか」産業界の評価や意見を把握し今後の教育に活かすため連携大学と共有できる方法と本学独自の方法を探究しました。



#### ◆企業訪問と発表

##### 音楽人研究(大学2年生選択)

自分と音楽の関係を客観的な視点で捉え、芸術関連組織や音楽系企業との連携のもと、学生が実際に仕事の現場を訪問し、調査研究をふまえて、レポートにまとめプレゼンテーションを行いました。



#### ◆インターンシップ

##### フィールドインターンシップ(大学3年生選択)

音楽関連企業や芸術関連団体の協力のもと、将来の仕事に繋がる実際の現場で就業体験を行い、仕事に対する具体的なイメージをつかみ、実践的な力を獲得します。

# 山梨英和大学

## Study-Career Bridge System

### 「インターンシップにおける段階履修の確立」

～チームビルディング、受入機関との関係構築、課題設定～

これまで実施していたインターンシップの形態を改善し、下記の形態を導入。本学の存する山梨県の産業は、第3次産業が全体企業の66%を占め、中でもサービス業が大きな割合を占めている。この地域特性を十分に把握し、**学生が自ら考え行動し、地域に貢献できるようなプログラム**を構築し、産業界からのニーズに対応した人材育成の強化を図る。

**課題設定型インターンシップ**：「課題発見力・課題解決力」を伸ばすためのプログラム。

**海外インターンシップ**：新たな事にチャレンジする事が出来る、論理性・柔軟性のあるグローバル人材育成のために、海外でのインターンシップを実施。

**長期間インターンシップ**：PDCAサイクルも実体験を通して学ぶ事ができるよう、長期間でのインターンシップを実施。



インターンシップの学習効果を向上させるため、事前・事後学習にも注力した。特に事前学習では、地元企業の事業課題に対する解決策をチームで検討する演習を導入。自ら考え行動するスキルと意識を磨いた。

長期インターンシップの課題：

■ヴァンフォーレ甲府：「大学生の集客を増やすための提案」

■山梨県立県民文化ホール：「国文祭のメインイベントを成功させる」

### 「課題発見力」「発信力」「規律性」など、 地場の産業界が重視する能力を育成するキャリア教育！

#### 「発信力」強化を実践したキャリアデザインⅠ

社会人講話(テーマ：『キャリアを紡ぐこと』)を聴講した後、気付いたことや考えたことなどをチームごとにまとめ、プレゼンテーションした(パワーポイント、ポスターを各1回)。一連の活動を通し、学生たちは「いかに自分たちの主張をまとめ伝えるか」を考え抜き、自らの成長を実感した。



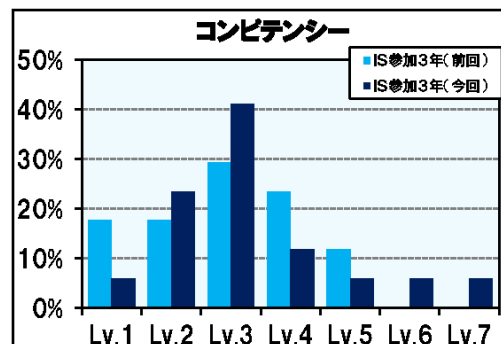
自衛官から東日本大震災の講話を伺う



講話を聴いてのポスターセッション

#### 学士課程教育成果検証アセスメント

インターンシップなどのキャリア教育を受講した学生の教育効果を検証する為のアセスメントを実施。今年度は、コンピテンシー＞対自己基礎力＞統率力の向上が見られた。





# 和泉短期大学

## 保育者に求められる5つのコンピテンシーの向上！

### ◆ 保育業界のニーズを体験できるキャリア授業・特別講義

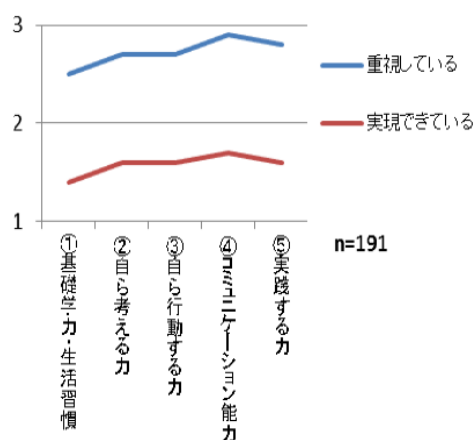
- ・将来なりたい職業人を目指してイメージを膨らませ、実現するよう努力する。
- ・「主体的に考え、行動できる保育者」になる事を目標とする。

●科目名: キャリアデザインA・B(1・2年必修)

●連携機関等: 相模原市幼稚園協会、相模原市保育連絡協議会 他



### コンピテンシーの実現度 (学生の自己評価)



5つのコンピテンシー

### ◆「キャリアファイル」(ポートフォリオ)を使った実践力向上

「キャリアファイル」とは保育者に求められる5つのコンピテンシーの達成度を学生が記録していくファイル。自分が学んだ成果と、これから取り組む課題が明らかにされている。定期的に達成度を教職員と振り返りをする。

●科目名: 保育・教育実践演習(2年必修)

●連携機関等: 幼稚園、保育園、児童福祉施設



### ◆ インターンシップ「はっぴいアクアリウムプロジェクト」 (北里大学との共同 PBL インターンシップの高次化)

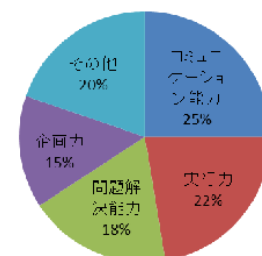
学生自身の企画によるプロジェクトで、北里大学との共同取組。企画会議を10回以上開催。11月23日のイベント参加者は親子など約700人。

●対象: 北里アクアリウム・ラボ他/和泉短期大学ボランティアサークル他 50名

●連携機関等: (社)相模原・町田大学地域コンソーシアム、県北エリアのプレイパーク5団体



### PBLで成長したと思う能力



### 参加学生の声

一つのイベントを成功させるには、様々な機関と連携をしたり、話し合いを重ねたりということが必要であることを改めて感じました。



学校法人

和泉短期大学

# 昭和音楽大学短期大学部

## 将来歩く道を自分で切り拓くために

### ◆産業界との連携で“コミュニケーション力の向上”と“職業意識の醸成”

音楽人基礎①(1年生必修) 音楽人基礎②(2年生選択)

#### ■□産業界(音楽業界)の社長経験者によるワークショップ■□

「音楽で仕事をするために必要な能力」について様々な角度から捉えるため、多様なコースの履修学生が、専攻を超えて話し合う機会を持ちます。

大手レコード会社の元代表取締役社長を招聘し、「音楽業界で働くために今準備すべきこと」「音楽で社会貢献するには」「音楽業界でなぜコミュニケーションが必要か」の3つのテーマについて、学生が少人数のグループに分かれてディスカッションを行い、意見をまとめ発表も行います。

#### ■□複眼的な視点による職業観の育成■□

社会で活躍する様々な職業に就く卒業生によるパネルディスカッションを行います。卒業生との質疑応答を通じ、複眼的視点による職業観を育成します。

また、自分自身や社会を知り、自分自身の価値についても考え、2年間の学生生活の目標を設定することを目指します。



## 音楽で培った力を社会で活かせる力へ

### ◆プレゼンテーションの機会

音楽人研究(2年生選択)

自分と音楽の関係を客観的な視点で捉え、芸術関連組織や音楽系企業との連携のもと、学生が実際に仕事の現場を訪問し、調査研究をふまえて、レポートにまとめプレゼンテーションを行う科目です。

作曲家・作品研究(1年生選択必修)

さまざまなジャンルの作品を広く体験し学ぶことにより、より豊かな音楽的教養を身につけることを目的としています。専門領域にかかわらず、音楽芸術に関する幅広い教養を深め、学生による発表の場を設けることで、プレゼンテーション力やコミュニケーション力など、汎用的な能力も養います。



### ◆実践的な学修成果発表の機会

保育施設でのミニコンサート

平成25年度、学修成果発表の機会として、学外での演奏活動を開始し、様々な専攻学生が3か所の保育園で演奏しました。協力下さった保育園から「本物の音楽を子どもが楽しめる演奏内容で、感銘しました」との感想を頂き、学生からも「子ども達が自分達の演奏に反応してくれて、勉強になった」「体調管理の大切さを痛感した」という声もあり、教育効果も感じられました。



### ◆産業界の人材ニーズ調査とシンポジウムの開催

社会で重要とされている能力を体系的に整理し、産業界が求める人材ニーズを把握し、併せて期待される大学教育の在り方と大学が取り組むべき施策を把握することで、今後のキャリア教育等に役立てることを目的として調査しました。また、本学併設の大学と共同でシンポジウム「実社会に生きる大学の学び」を開催し、調査の結果を発表し、本学卒業生によるパネルディスカッションも行いました。産業界の評価や意見を把握し今後の教育に活かすため連携大学と共有できる方法と本学独自の方法を探究しました。



## 関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善

# 関東山梨地域大学グループ

## 外部評価委員会の評価

### 外部評価委員会

|     |                      |                         |               |
|-----|----------------------|-------------------------|---------------|
| 委員長 | 若波 利光<br>(しわなみ としみつ) | 日本電気株式会社<br>総務部・教育問題委員会 | 特別顧問<br>前全副会長 |
|     | 片山 京治<br>(かたやま けいじ)  | 野村證券株式会社<br>金融公共公益法入部   | 主任研究員         |
|     | 小林 浩<br>(こばやし ひろし)   | リクルート進学総局               | 所長            |
|     | 佐々 真哉<br>(ささ まこと)    | 学校法人川内学園流通科学大学          | 名誉教授          |
|     | 平塚 健一<br>(ひらつか けんいち) | 株式会社マツダ                 | 顧問            |



### 外部評価委員からの総評

- ・ 広い地域のタイプの異なる大学、短期大学が14校集い、熱心に改善活動にチャレンジしたことを評価
- ・ お互いに刺激し合い、多くの気づきや課題を共有したことは明日に繋がる
- ・ 教職員のみでなく、実社会(産業界)、学生も参画し、より具体的な改善方向を示していることを評価
- ・ 参加校、参加メンバーの熱意と努力、そして成果に敬意を表する

### ◆実施体制への評価

- ・ 多彩なバックグラウンドを持った大学、短大で構成される中、目的に対する具体的な成果が出ており、良好な実施体制と評価できる
- ・ ジェネリックスキルの習得という共通目標のもとにテーマを絞り込んだ
- ・ 文科省の留意事項に対する真摯な対応

## グループ全体に対する評価

### ◆成果報告書

- ・ 方向性を示唆する成果物
- ・ 汎用性高く活用しうるキャリア教育のベースになりうる資料
- ・ 高い完成度

### ◆合同FD

- ・ 合同FDが印象的(授業公開と相互見学/理解、産業界も)
- ・ 合同FDの内容について展開数や具体的な成果、実態などの情報発信することが大きな価値を生む

### ◆教育改善研究会

- ・ 産業界委員との議論活性化
- ・ 授業を履修していた学生からの発表の導入
- ・ グループ全体でのシンポジウムによる情報発信と理解(一回/年)
- ・ 各大学によるシンポジウム他の活性化

## 事業の継続について

### ◆幹事校の引継計画

今後の幹事校は左図のとおりを担当する

### ◆継続される内容

#### ○報告会の開催

年1回程度、幹事校を主催とし、次年度の幹事校を会場としてイベントを行う。今後継続して開催する報告会は次年度の幹事校での開催とし、報告会開催準備に際し、幹事校業務の引継も同時に行う。

#### ○合同FD

今後も継続して各大学の講義の公開と相互見学は継続していく。

| 年度     | 期間        |            | 報告会開催校   | 幹事校      |
|--------|-----------|------------|----------|----------|
| 平成26年度 | 2014年4月1日 | 2015年3月31日 | 電気通信大学   | 電気通信大学   |
| 平成27年度 | 2015年4月1日 | 2016年3月31日 | 横浜国立大学   | 電気通信大学   |
| 平成28年度 | 2016年4月1日 | 2017年3月31日 | 宇都宮大学    | 横浜国立大学   |
| 平成29年度 | 2017年4月1日 | 2018年3月31日 | 昭和音楽大学   | 宇都宮大学    |
| 平成30年度 | 2018年4月1日 | 2019年3月31日 | 創価大学     | 昭和音楽大学   |
| 平成31年度 | 2019年4月1日 | 2020年3月31日 | 亜細亜大学    | 創価大学     |
| 平成32年度 | 2020年4月1日 | 2021年3月31日 | 神奈川工科大学  | 亜細亜大学    |
| 平成33年度 | 2021年4月1日 | 2022年3月31日 | 東京経済大学   | 神奈川工科大学  |
| 平成34年度 | 2022年4月1日 | 2023年3月31日 | 北里大学     | 東京経済大学   |
| 平成35年度 | 2023年4月1日 | 2024年3月31日 | 日本社会事業大学 | 北里大学     |
| 平成36年度 | 2024年4月1日 | 2025年3月31日 | 山梨英和大学   | 日本社会事業大学 |
| 平成37年度 | 2025年4月1日 | 2026年3月31日 | 和泉短期大学   | 山梨英和大学   |
| 平成38年度 | 2026年4月1日 | 2027年3月31日 | 武蔵野大学    | 和泉短期大学   |
| 平成39年度 | 2027年4月1日 | 2028年3月31日 |          | 武蔵野大学    |



# 関東山梨地域大学グループ 関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善

## 取組テーマ① 産業界のニーズに対応したキャリア開発科目の高次化

取組テーマ①は、本グループのメンバー全14大学・短大合同の分科会として運営された。産業界のニーズを反映し、かつ各グループ校の先進事例や特色ある取組を吸収しつつ、それぞれの教育方針や学生の実情に応じてキャリア開発科目を高次化することが目的である。本活動を通して、体系的キャリア教育の可視化モデル、および各大学の特色を活かした産学連携教育モデルを計画通り構築した。

## 成果1：体系的キャリア教育の可視化モデル



## 成果2：産学連携教育モデルの確立

- 活動を通じて共有された産業界ニーズ
- 他大学の先進事例(教育改善研究会、合同FDなど)からの学び
- 産業界委員との継続討議
- 各大学の教育方針や学生の資質、進路先を踏まえた改善活動

- 産学連携で自学に最適化してキャリア教育モデルを確立
- 改善された科目は延べ74科目、新設された科目は18科目

### キャリア教育科目の体系化

グローバル人材を含む産業界ニーズを元に、キャリア教育体系の全般的な見直し

### ジェネリックスキルの強化

共有された産業界ニーズに基づく授業内容の改善

### アクティブ・ラーニングの推進

ジェネリック・スキル強化のため、授業手法の改善

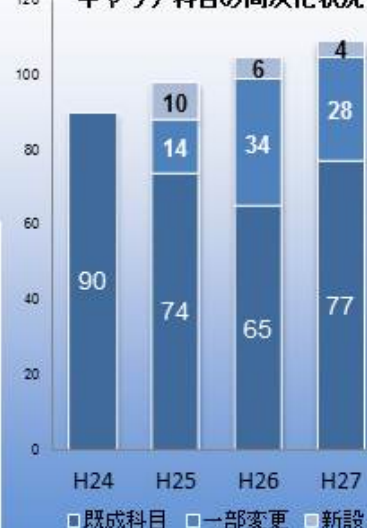
### 産学連携授業の導入

ジェネリック・スキル強化、将来の進路選定のサポートに向けた授業内容の改善

### インターンシップの充実

ジェネリック・スキル強化、将来の進路選定のサポートに向けた授業内容の改善

キャリア科目の高次化状況



取組テーマ① 参加大学：横浜国立大学(幹事校)、亜細亜大学(副幹事校)、宇都宮大学、電気通信大学、神奈川工科大学、北里大学、創価大学、昭和音楽大学、東京経済大学、日本社会事業大学、武蔵野大学、山梨英和大学、和泉短期大学、昭和音楽大学短期大学部

関東山梨地域大学連携による産業界等のニーズに対応した教育改善

## 産業界のニーズにマッチした学修評価・指導方法の開発

取組テーマ②は、本グループのメンバー全11大学・短大合同の分科会として運営され、産業界のニーズを反映し、「現状と課題の共有」「対応策の開発」「各大学取組への反映・実践」というプロセスで取組を行うこととした。対応策としては、①ポートフォリオモデルの確立 ②アセスメントの改善 ③FDIにおけるアクティブラーニングの推進の3つの施策を設定し、開発・改善を成果目標として取組を推進した。

- 「アセスメントの改善」は、「学修評価」の対象である「汎用的能力」の類型化に焦点
- 連携14大学で実施のキャリア科目から修得できる学修成果を調査し、汎用的能力を分類
- 各大学の学修成果と経産省・昭和三十九年度調査による産業界が期待する能力との乖離点を分析

| 汎用的能力      |            |         |      |          |        |    |         |     |              |             |     |     |    |     |           |          |            |        |     |     |     |       |     |     |
|------------|------------|---------|------|----------|--------|----|---------|-----|--------------|-------------|-----|-----|----|-----|-----------|----------|------------|--------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|
| 人間関係・社会形成  |            |         |      |          |        |    |         |     | 自己理解・自己管理能力  |             |     |     |    |     |           |          |            | 課題対応能力 |     |     |     |       |     |     |
| コミュニケーション力 | プレゼンテーション力 | リーダーシップ | 知識敬養 | 関心・意欲・態度 | 論理的思考力 | 技能 | マネジメント力 | 協調性 | 国際性・異文化理解・適応 | 表現力・文章力・言葉力 | 創造力 | 責任感 | 感性 | 倫理観 | 情報発信・活用能力 | 問題発見・認識力 | 問題対応・課題解決力 | 実行力    | 行動力 | 主体性 | 分析力 | 予測する力 | 考察力 | 革新性 |

- 教育改善研究会から連携各大学の運用状況や課題・問題点を共有
- ポートフォリオシステムの活用を「社会でどう活かせるか」産業界委員と研究・協議
- 以上を踏まえ、学生が主体的に持ち、将来の職業を意識した学習を促す仕組みを各連携大学で構築

- 連携各大学のアクティブ・ラーニングの事例を収集し、整理・類型化
- 合同FDでキャリア科目の授業を公開し、先進事例からの学びを共有
- 産業界の期待と大学教育との整合性を検討し、カリキュラム改訂に活用

アクティブ・ラーニングを中心に、3年間にわたり合同FDIにおける授業の相互参観を行った。

137



## 取組みテーマ③ 産官学地域共同によるインターンシップの高次化 産業界のニーズに対応したインターンシップへ

### ◆各大学の専門性を越えたインターンシップの高次化を推進

取組みテーマ③に参加する11の大学・短大は、専門分野も学生の進路も多様であり、各大学で行われているインターンシップも様々なものがある。当取組みにおいては、各大学で実施されているインターンシップに関する情報を共有し、産業界委員からの意見を反映させ、職業人として万人に求められる汎用的な能力(ジェネリックスキル)を養成するインターンシップ・モデルの確立に向けた取組みを推進した。

### 連携校のインターンシップへの取組みを調査



受入れ先と学生が同じ設問に答える「インターンシップ共通アンケート」実施！

インターンシップの高次化へ



「インターンシップ報告会」に参加をした学生(左写真)  
 2014年12月13日(土)電気通信大学において、12大学15組の学生が参加をして、「インターンシップ報告会」を開催された。学生は、インターンシップで得られた成果を発表。産業界の委員が講評を述べ、各大学でのインターンシップの高次化への推進の契機となった。



# 宇都宮大学

## 地域と連携したグローバル人材の育成

### キャリア開発科目の高次化

#### ◆キャリアフェスティバル

本学独自・最大のイベントで、キャリア教育の一環として業界を代表する企業で経営や人事に携わり活躍している方をパネリストに迎え、パネルディスカッションや分科会を行っている。業界全体の現状と将来、企業の経営戦略・方針等、グローバルマインドを養うなど広い視点から学ぶ機会を提供している。

#### 第一部(パネルディスカッション)

読売新聞、丸紅、キヤノン、大和鋼管工業

#### 第二部(分科会)

上記の他、ゆうちょ銀行、小野薬品工業、大成建設、オリエンタルランド、日本通運、栃木県庁、宇都宮市役所

#### ◆キャリア教育科目の拡充

##### ●科目名:企業のグローバル戦略とキャリア形成(24年度開設)

企業のグローバル戦略に関する学びを通して、自らのキャリア形成を企業の現役の人事パーソンとともに考える。

##### ●科目名:グローバル時代の企業経営(25年度開設)

グローバル化が進行する中、企業がどのように経営されているのかについての基礎知識を学ぶ。

#### ◆課題発見・解決型インターンシップの開発・実施

企業が抱える課題に対して、学生がチームで、課題の分析、解決、改善に向けた提案型のインターンシップを行う。

職業人と関わりながら、実践的な挑戦を通して、チームワーク、課題解決力、主体性、チャレンジ精神、組織理解・自己理解を育む。平成26年度は4企業(平成25年度は1企業)に拡充



キャリアフェスティバル



課題発見・解決型インターンシップ

### インターンシップの高次化

#### ◆国際キャリア合宿セミナー

地域からのグローバル化(Globalization)と地域のグローバル化(Glocalization)に対応するための人材を育成する。

##### ●科目名:国際キャリア開発

豊富な経験を有する講師とともに、講義・ワークショップ形式により、働く意味、自分と地域社会や世界とのつながり、今後の学びの動機を考える。

##### ●科目名:International Career Seminar

国際キャリア開発の英語版で、英語のみで授業を行い、発表も各分科会毎に英語で行う。

#### International Career Seminar 参加者の声

(大学4年生) I learned how other members react and give support to each other. They tried their best to give their all and could get their confidence. As for me, I have a clearer image about my future and I have the confidence to step forward and face any difficulties in the future.



国際キャリア合宿セミナー



国際インターンシップ

#### ◆国際インターンシップ

栃木県内企業等の海外事業所で、就業体験を通じ、専門的な知識の修得とともにグローバルな社会人として活躍できる能力を育成する。往復航空代金の8割程度を大学が支援する。

平成27年度1月末現在

| 平成24年度  |     | 平成25年度                  |     | 平成26年度     |     |
|---------|-----|-------------------------|-----|------------|-----|
| 企業数     | 参加者 | 企業数                     | 参加者 | 企業数        | 参加者 |
| 3       | 3   | 5                       | 13  | 3          | 9   |
| タイ、ベトナム |     | タイ、ベトナム、マレーシア、アメリカ、イギリス |     | ベトナム、マレーシア |     |

### 3年間の成果

#### ◆キャリア開発科目の高次化

学生は企業が世界を見据えて活動していることを実感し、こうした社会の中で働くことのリアルな認識と学びへの意欲を醸成するとともに、主体性、起業家精神、課題解決力などのジェネリックスキルの育成が図られた。また、各学部における独自のキャリア教育の取組との具体的な連携を進めることができた。

#### ◆インターンシップの高次化

・語学力や国際経験等、そこだけが重視されるのではなく、他を尊敬し、共感し、「グローバル」について、自らの活動から多角的に広く捉えることができた。  
・国際的な生の現場において実務的・実践的な体験を通して、専門知識だけでなく、国際化の進展に伴う産業界や地域社会等のニーズに対応できる能力が育成された。

# 電気通信大学

## 電気通信大学キャリア教育の特徴

### ◆学生によるピアサポート

学年横断教育は、産業界出身の特任講師のきめ細かな支援のもと、学生同士がプロジェクトチームを結成して進めるもので、3年生のリーダーシップの下で学生自ら課題を設定し、3年生と1年生が協力して課題解決に取組む。学生は、1年次のフォロワーシップから3年次のリーダーシップまで学年進行で学ぶ。プロジェクト活動を通して、社会人基礎力「チームで働く力(チームワーク)」「考え抜く力(シンキング)」「前に踏み出す力(アクション)」を養成する。

## ◆学習ポートフォリオシステムの活用

学習サポートフォリオシステムを活用して、学生に対してきめ細かな支援体制を構築している。同時に、学生相互のコミュニケーションも、掲示板機能で行う。

## ◆産業界出身の特任講師のきめ細やかな支援体制

電気通信大学のキャリア教育で授業を担当する産業界出身者。キャリア教育5科目で64名が活躍しており、学生へのきめ細やかな支援を実現している。（平成25年度）

[illegible]

テーマ1の体系的  
キャリアの可視化モ  
デルにおけるフェーズ  
1、フェーズ2が中心  
とした構成となってい  
る。

## 学年横断教育を補完するアクティブラーニング

### ◆研究室見学

キャリア教育演習・リーダー

例年6月に開催する「大学院オープンラボ」の際に研究室への見学を行う。見学に際して、3年生と1年生のグループを作り、事前の調査および、当日の見学をグループで行っている。



見学対象研究室数: 224研究室



## ◆ディベート

## キャリアデザイン1

ディベートの準備を行う過程で、主体性、働きかけ力、実行力を身に付ける。普段自分をもつ視点と異なる視点からテーマを分析理解することで、考え抜く力を養成する。



## ◆アイデアマラソン

キャリアデザイン2

マラソンでは1冊のノートを各自が持ち、自分の発想を1日1つ以上書く。学生には発想法を経験し、考え抜く力を養成すると同時に、継続して行うことの重要性を認識させる。

## ◆ディブリオバトル

## キャリアデザイン2

本の良さを熱く語ることで、コミュニケーション力の向上を目指す。コミュニケーション力の向上のみならず「他者理解、相互理解」を求めています。自分とは違う考えのあることなどの多様性を理解する

### ◆事業所見學

電気通信大学概論キャリアデザイン1

夏季集中講義として、46の事業所に分散して企業見学を行う。事前に企業調査とグループワークを行い、見学先事業所では、企業内の見学とともに若手技術者（OB・OG）との懇談会も開催。キャリア設計の意識を高める。

[illegible]

## 3年間の成果

## ◆ピアサポートの実践とリーダーシップへの理解

キャリア教育演習・リーダー

3年生と1年生が協力しながら進める学年横断型の演習では、3年生が1年生に対して、大学生生活をスムーズに軌道に乗せるようピアサポートを行った。また、研究室見学での引率、自らテーマと課題を設定し目標達成を目指したチーム活動などを通じて、リーダーシップの実践を行い、リーダーシップへの理解を進めた。

## ◆他大学とのキャリア教育に関する情報交換

『産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業』において、関東山梨地域大学グループの他大学の講義を合同FDという形で見学を行い、本学の講義へ活かすことができました。また本学の取組を他大学に活かすような情報発信が行えた。

# 横浜国立大学

## 産業界ニーズ：主体性を養うキャリア教育を

### ■ 新入社員の課題

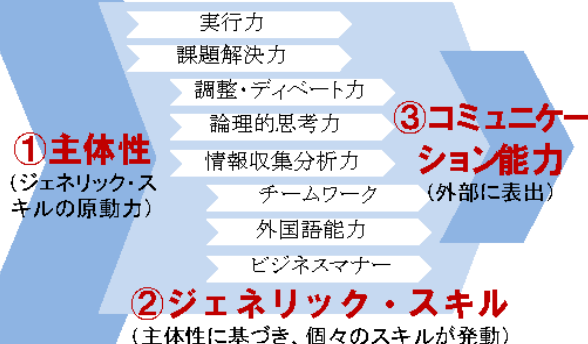
本質は、組織の中で主体的に動く姿勢の欠如にあることを理解していない

### ■ 中堅入社6年目社員の課題

企業側が求めることは理解しているが、期待に応えきれない。私生活との調和に悩みあり

### ■ 産業界：どんな職場でも適応する柔軟性や忍耐力を備え、自ら考えて行動ができる人材を求めている

- ✓ 理想と現実を埋めるキャリア教育を
- ✓ 働く意味、学問との係わり、職業観を醸成する教育を
- ✓ アクティブ・ラーニングで主体性を



(H25年実施の産業界ニーズ調査結果：企業人事担当者および卒業生36名にインタビュー調査を実施し、ジェネリック・スキルの構造と若手社員の具体的な課題を分析)

## 主体的な学びがジェネリック・スキルを培う

### ■ 本学が目指すキャリア教育方針：生真面目な優等生のやる気を引き出す

- ① 全体方針：就職を超えてライフ・キャリアの視点から、**自律的に職業キャリアを形成**する意識を醸成する
- ② 初年次段階：学業と将来進路との係わりの意識付けを含め、**主体的に学ぶ姿勢**を早期に形成させる
- ③ 2年次以降：学業を通じて、社会で貢献する基礎力としての**ジェネリック・スキルを養成**する
- ④ 授業手法：ワン・キャンパスの利点を活かし、**アクティブ・ラーニング**で自らのキャリアを拓く意識と態度を養成する

### 体系的 キャリア教育の 可視化モデル

|                 |          | フェーズ1: Changing                  |                     |              |                | フェーズ2: Expansion       |                |                  |                  | フェーズ3: Practice               |            |            |                |
|-----------------|----------|----------------------------------|---------------------|--------------|----------------|------------------------|----------------|------------------|------------------|-------------------------------|------------|------------|----------------|
|                 |          | 自己認識および社会認識を元に、自律的なキャリア形成意識を醸成する |                     |              |                | 実社会に必要なジェネリック・スキルを涵養する |                |                  |                  | 卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く |            |            |                |
|                 |          | 理解<br>学業と将来の係り                   | 関心と理解<br>雇用や社会状況の係り | 自己理解<br>自己認識 | 概観的な職業理解<br>修得 | 前に踏み出す力の修得<br>修得       | 考え抜く力の修得<br>修得 | チームで働く力の修得<br>修得 | より具体的な職業理解<br>修得 | ジェネリック・スキル<br>実践              | 職業体験<br>実践 | 就業準備<br>実践 | キャリアデザイン<br>実践 |
| キャリアデザインA       | 全学部/1～2年 | 1                                |                     | 3            | 2              | 1                      | 1              | 1                | 1                |                               |            |            |                |
| キャリアデザインB       | 全学部/1～2年 | 1                                | 3                   | 1            |                | 1                      | 1              | 1                | 1                |                               |            |            | 2              |
| Wake Up! プロジェクト | 全学部/1年   | 3                                |                     | 1            | 1              | 1                      | 2              | 2                |                  |                               |            |            |                |
| まなび座Ⅰ           | 全学部/1年   | 3                                | 1                   | 1            | 2              | 1                      | 1              | 1                |                  |                               |            |            |                |
| 機械工学と社会との係り合い   | 理工/1～4年  | 2                                | 1                   |              | 2              | 1                      | 1              | 1                | 1                |                               |            |            | 1              |
| システム・エンジニアリング   | 全学部/1～4年 | 2                                | 1                   |              | 2              | 1                      | 1              | 1                | 1                |                               |            | 1          |                |
| まなび座Ⅱ           | 全学部/2～4年 | 1                                |                     | 1            | 1              | 2                      | 2              | 3                |                  |                               |            |            |                |
| ビジネス・コミュニケーション  | 全学部/2～4年 | 1                                | 1                   | 1            |                | 1                      | 1              | 3                | 1                |                               |            | 1          |                |
| キャリア・ケーススタディ    | 全学部/2～4年 | 1                                | 1                   | 1            |                | 1                      |                |                  | 3                |                               |            | 1          | 2              |
| マイ・プロジェクト・ランチャー | 経営/1～4年  | 1                                |                     |              |                | 1                      | 1              | 3                | 1                | 2                             |            | 1          |                |
| インターンシップ        | 経営/2～4年  |                                  |                     |              |                |                        |                |                  | 1                | 3                             | 3          | 2          | 1              |
|                 | 小計       | 16                               | 8                   | 9            | 10             | 11                     | 11             | 16               | 9                | 5                             | 3          | 6          | 6              |
|                 | 合計       |                                  |                     | 43           |                |                        |                | 47               |                  |                               |            | 20         |                |

### ➡ キャリアデザインA/B

- ・ 自己理解、職業理解、社会環境の理解から職業観醸成へ
- ・ クリッカー、ディスカッションを活用

### ➡ Wake up! プロジェクト

- ・ 産学連携による課題解決型PBL
- ・ 教員は教えずに、企業講師は手加減しないスパルタ方式
- ・ リアルな課題により学生を覚醒させる

### ➡ キャリア・ケーススタディ

- ・ 現役社会人と担当教員との対談で、キャリア形成過程を明らかにする
- ・ テーマは1社で積むキャリア、転職、結婚生活との両立、メンタル疾患等

### ➡ まなび座Ⅰ/Ⅱ (H27開講予定)

- ・ 新入生と上級生の合同授業。
- ・ 大学で学ぶ意義、職業との係わりなど、卒業生を含むディスカッション等により、相互作用で成長を促す



**YNU** 横浜国立大学  
YOKOHAMA National University  
Initiative for Global Arts & Sciences グローバルな学問の発展



# 亜細亜大学



## 社会で生きぬく力を育むキャリア教育を実践！

### テーマ① キャリア開発科目の高次化

#### 「インタビュー実践(オリエンテーション・ゼミナール)」

- ◆新入生が、**ビジネスパーソン**に対しインタビューにチャレンジ。その内容をオリジナル記事にまとめあげます。記事の添削をプロの新聞記者(OB)が行い、文章を作る力を飛躍的にアップさせます。
- ◆経営学部新入生が**全員必修**で受講します。(平成26年度は約530人が受講)
- ◆社会人として継続的に仕事を務める力=「**就業力**」の向上を目指し、新入生は果敢にアポ取り、インタビュー、記事作成に取り組みます。
- ◆優秀作品を収録した作品集を発行。さらなる教育効果の向上を目指すとともに活動内容を広く周知。

#### インタビュー実践に関する受講生アンケート結果

| 項目                 | H24   | H25   | H26   |
|--------------------|-------|-------|-------|
| 「インタビュー実践の取り組み」に満足 | 78.6% | 79.9% | 81.6% |
| 「聴きとる力」が向上した       | 77.9% | 79.7% | 81.2% |
| 「文章を作る力」が向上した      | 75.7% | 79.3% | 83.2% |
| 「行動する力」が向上した       | 78.0% | 77.1% | 81.8% |
| 「自立する力」が向上した       | 59.3% | 63.8% | 70.5% |
| 「生きぬく力」が向上した       | 54.3% | 54.2% | 60.3% |

満足度も年々アップ！教育効果の向上が一目瞭然。



### テーマ② 学習評価・指導方法の開発

#### 「就業力マイレージシステム(就マイ君)」を導入

- ◆本学独自のポートフォリオシステム「就マイ君」を導入し、日々の活動記録を学生個人が入力。
- ◆就業力育成のため、教員が学生に入力を心がけるよう授業等で指導。
- ◆稼働状況等(H27年2月5日現在)
  - 経営学部在学学生数:2,143人(4学年合計)
  - 登録活動記録数:14,095件
  - 1人平均記録数:6.6件
  - 1件以上登録者数:1,631人
  - 1人最高登録件数:70件
- ◆学生が自分で記録した活動状況データを読み直すことで振り返りができ、就職時のエントリーシート作成時の**自己分析等**に、大きな成果を上げている。

### テーマ③ インターンシップの高次化

#### 多彩なインターンシッププログラムを展開

- ◆キャリアインターンシップ
- ◆ホスピタリティ・マネジメント学科  
インターンシップ  
(ホテル、フードサービス、トラベル、  
パッセンジャー、クラブ)
- ◆アジア夢カレッジ  
中国インターンシップ
- ◆多文化インターンシップ  
(韓国、シンガポール、中国、  
香港、マレーシア)
- ◆経営学部  
夏季インターンシップ(課外)
- ◆平成27年度には、**新規インターンシップ科目を  
2科目開設！**

# 北里大学

### 社会とつながる講義

#### ◆ 座学と現場体験を結びつける「融合型授業科目」

海洋生命科学部では、専門分野の社会における重要性を理解できるよう、平成23年度から、座学と現場体験の融合を図っている。まずは「水族養殖学」「水族生理学」といった科目に関連する企業、研究機関から外部講師を招聘し、実際の業務に学問がどう機能しているかをリアリティをもって語っていただいた。また、「環境科学」「食品衛生学」など、海洋生物資源に関わる専門科目において、産業人による授業を充実させた。

### 学生主体の課外活動

#### ◆ ミニ水族館「北里アクアリウムラボ」を学生が運営

ミニ水族館「アクアリウムラボ」を、相模原キャンパスに開設。学生が主体的に企画・展示・運営・管理を行っているもので、企画力、協働力を発揮するとともに、見学者への解説などコミュニケーション能力の強化にもつながっている。

### 新型インターンシップ

#### ◆ 地域連携、他大学との連携によるインターンシップの実践

社会人基礎力、社会への関心の向上、視野の拡大のため、ボランティア団体や自治体等（公益社団法人さがまちコンソーシアムの協力、指導）の協力の支援の下、**連携大学**である和泉短期大学との連携インターンシップを実施。地域貢献のイベントを学生主体で企画、運営した。



産業界のニーズに対応したキャリア開発科目:取りまとめ表（平成27年度開講予定科目）

|       |                       | フェーズ1: Changing                                                      |                             |                               |                    |                      | フェーズ2: Expansion     |                       |                              |                             | フェーズ3: Practice |             |                   |  |  |
|-------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------|-------------|-------------------|--|--|
| 学修目標  |                       | 自己認識および社会認識を元に、実社会で必要なジェネリック・スキルを習得する。卒業後のキャリア形成に向けて、就業意識を高め、スキルを磨く。 |                             |                               |                    |                      |                      |                       |                              |                             |                 |             |                   |  |  |
| 学修内容  |                       | 1-①<br>自己認識<br>の理解                                                   | 1-②<br>学業と将来<br>への関心と<br>理解 | 1-③<br>雇用・就業<br>や社会状況<br>への理解 | 1-④<br>自己理解<br>の理解 | 2-①<br>前知識の修得<br>の修得 | 2-②<br>前知識の修得<br>の修得 | 2-③<br>チームで働く<br>力の修得 | 2-④<br>より具体的<br>な職業理解<br>の修得 | 3-①<br>ジェネリック<br>スキルの実<br>践 | 3-②<br>職業体験     | 3-③<br>就職準備 | 3-④<br>キャリアア<br>ピ |  |  |
| 北里大学  | 科目名                   | 履修対象(学部・学年)                                                          |                             |                               |                    |                      |                      |                       |                              |                             |                 |             |                   |  |  |
|       | 仕事と人生                 | 2                                                                    | 2                           | 2                             | 1                  |                      |                      |                       | 1                            | 1                           |                 |             | 1                 |  |  |
|       | きたさとプログラムⅠ            |                                                                      |                             | 2                             | 2                  | 2                    | 2                    | 2                     |                              | 2                           |                 |             |                   |  |  |
|       | きたさとプログラムⅡ            |                                                                      |                             | 2                             | 2                  | 2                    | 2                    | 2                     |                              | 2                           |                 |             |                   |  |  |
|       | きたさとプログラムⅢ            |                                                                      | 1                           | 2                             | 1                  |                      |                      |                       | 1                            | 2                           |                 | 2           | 1                 |  |  |
|       | ラーニングスキル<br>プレゼンテーション | 3                                                                    |                             | 2                             | 2                  | 2                    | 2                    |                       |                              | 1                           | 2               |             |                   |  |  |
| 融合型講義 |                       | 2                                                                    |                             | 3                             |                    | 2                    | 1                    |                       |                              | 2                           |                 |             |                   |  |  |
| 小計    |                       | 9                                                                    | 5                           | 14                            | 5                  | 8                    | 7                    | 4                     | 4                            | 10                          | 0               | 2           | 2                 |  |  |
| 合計    |                       | 332314                                                               |                             |                               |                    |                      |                      |                       |                              |                             |                 |             |                   |  |  |

### 課外キャリアプログラム

#### ◆ キャリア形成支援プログラムの構築と実践

連携大学が行っているキャリアプログラムを参考に学生の**主体性、自主性**を引き出すプログラムの構築をめざし、2013年度から「きたさとプログラム」を課外キャリアプログラムとして実施した。チームでの課題解決を主な取組とし、2013年度では2年次生、3年次生を対象とし、2014年度からは1年次生も対象とした。

### 3年間の成果と課題

#### ◆ 連携によるキャリア支援強化

14大学の連携により、各大学のキャリア支援活動の共有と問題点の共有ができたことはとても大きな成果であった。各大学の特性に合わせて進化したプログラムもあるが、基本的には学生の活動実績に比例してジェネリックスキルが獲得されていることが把握できた。キャリアプログラムに自主的に参加した学生の多くは、その後の活動も活発であり、社会人基礎力が高くなっていることは明白であった。特に社会人や外部の学生との協働作業は効果が高く、今後はプログラムの質の向上と学生の主体的な参加を促す方法について、連携大学と引き続き情報交換や連携した実践を行うことで、より高次のキャリア支援ができるものと考えられる。



北里大学海洋生命科学部  
Kitasato University School of Marine Biosciences



# 創価大学

## 産学連携講座を中心にインターンシップを実施

### ◆産学連携講座「社会貢献と経済学」

創価大学経済学部では、産業界のニーズに対応した人材を育成するために、多くの企業等と連携をした産学連携講座を1年生を対象に開講。



震災の被災地より講師を招いた授業の様子

本取組みでの連携企業等  
JTBコーポレートセールス、南三陸ホテル観光、先駆、ソーシャルプランニング、花王、UR都市機構、リアセック、日経メディアプロモーション、ジェイ・ウォルター・トンプソン・ジャパン、本学OB・OGなど

### ◆海外インターンシップ

国内でインターンシップ等を経験した学生が、経済学部が運営する海外でのインターンを経験できるように、香港やマレーシアでのインターンシップ・プログラムを開始した。



### ◆東北復興インターンシップ

JTBコーポレートセールスと連携し、宮城県南三陸町の「南三陸ホテル観光」にて、1年次より参加可能なインターンシップ・プログラムを実施。課題発見・課題解決型のインターンシップを経験し、キャンパスで自発的な復興支援プロジェクトを実施。

### ◆東北復興スタディーツアー

インターンシップ先などを訪問し、インターンシップ先の方からインターンシップの内容及び働くことの意義を伺う。また、ボランティア活動にも参加し、社会貢献への意欲向上を図る。

### ◆学生絆プロジェクト

「社会貢献と経済学」の受講経験者、東北復興インターンシップ経験者、東北復興スタディーツアー経験者などが、キャンパスで自発的に復興への取組みを行う団体を結成し、本取組と連携。

### ◆復興応援塾

インターンシップ実施中の空き時間を利用して、被災地の働く方や復興に従事している方を招き、働くことの意義や社会貢献について学ぶワークショップを実施。産業界のニーズに対応できる人材の育成を行う。

産業界のニーズに対応したキャリア開発科目:取りまとめ表  
(平成27年度開講予定科目)

| 科目名            | 履修対象(学部・学年) | フェーズ1:Change |     |     |     |     | フェーズ2:Extension |     |     |     |     | フェーズ3:Practice |     |     |     |     |
|----------------|-------------|--------------|-----|-----|-----|-----|-----------------|-----|-----|-----|-----|----------------|-----|-----|-----|-----|
|                |             | 1-①          | 1-② | 1-③ | 1-④ | 1-⑤ | 2-①             | 2-② | 2-③ | 2-④ | 2-⑤ | 3-①            | 3-② | 3-③ | 3-④ | 3-⑤ |
|                |             | 1-①          | 1-② | 1-③ | 1-④ | 1-⑤ | 2-①             | 2-② | 2-③ | 2-④ | 2-⑤ | 3-①            | 3-② | 3-③ | 3-④ | 3-⑤ |
| 社会貢献と経済学       | 経済学部1年      | 2            | 2   | 1   |     |     | 1               | 1   | 2   | 1   |     |                |     |     |     |     |
| キャリアデザイン基礎     | 全学部1年       | 3            | 1   | 2   | 1   | 1   | 1               | 1   | 1   |     |     |                |     |     |     |     |
| キャリアデザインと職業    | 全学部1~4年     | 2            | 3   | 1   | 2   | 1   | 1               | 1   |     |     |     |                |     |     |     |     |
| グローバルビジネスフォーラム | 全学部1~4年     | 3            | 2   | 2   | 1   |     | 1               |     |     |     |     |                |     |     |     |     |
| キャリアデザイン1      | 全学部3~4年     |              |     |     |     |     |                 |     |     | 2   | 2   |                |     |     |     | 1   |
| キャリアデザイン2      | 全学部4年       |              |     |     |     |     |                 |     |     | 1   | 2   | 2              | 1   |     | 3   | 3   |
| トップが語る成功法      | 全学部1~4年     | 1            | 2   |     | 3   |     | 2               | 2   |     |     |     |                |     |     |     |     |
| 企業研究           | 経済学部2~4年    | 2            |     |     | 3   |     |                 |     |     |     |     |                |     |     | 1   | 1   |
| インターンシップ1・2    | 経済学部1~4年    |              |     |     |     |     |                 |     |     | 1   | 2   | 2              | 3   | 1   | 1   |     |
| インターンシップ3・4    | 経済学部1~4年    |              |     |     |     |     |                 |     |     | 1   | 2   | 2              | 3   | 1   | 1   |     |
| 小計             |             | 11           | 12  | 8   | 12  | 4   | 7               | 7   | 10  | 5   | 6   | 6              | 7   |     |     |     |
| 合計             |             | 43           |     |     |     |     | 33              |     |     | 24  |     |                |     |     |     |     |

## ■3年間の成果■

- ・産学連携講座に164名が受講
- ・学部における産学連携講座が定着
- ・東北復興インターンに198名が参加
- ・東北復興スタディーツアーに113名が参加
- ・社会貢献と学生の育成の融合が確立
- ・海外2ヶ所におけるインターンシップ・プログラムを確立 など

企業・団体等と連携し、「産業界のニーズ」に対応した人材を育成!



創価大学 経済学部

Soka University Faculty of Economics

Discover your potential  
自分力の発見



# 東京経済大学

## 地域連携による実践的キャリア教育の推進

### ■ 国分寺地域における連携

2004年より「東京経済大学・国分寺地域連携推進協議会」を設け、「地域インターンシップ」の他、ゼミ、学生団体、ボランティアなどによる連携を実施。



### ■ 2013年6月、地域連携センターを設置

地域連携センターを拠点に以下のことに取り組む。

- 1 地域社会の諸活動に対する専門的な支援、地域課題に係わる調査、研究
- 2 地域との共同研究、受託研究
- 3 地域連携及び産学連携に係る情報の収集・発信
- 4 地域との協働事業

産業界のニーズに対応したキャリア開発科目「取りまとめ表」  
(平成27年度開講予定科目)

| 学部               | 学修内容        | フェーズ1: Changing |        |        |        | フェーズ2: Expansion |        |        |        | フェーズ3: Practice |        |        |        |
|------------------|-------------|-----------------|--------|--------|--------|------------------|--------|--------|--------|-----------------|--------|--------|--------|
|                  |             | 1-①             | 1-②    | 1-③    | 1-④    | 2-①              | 2-②    | 2-③    | 2-④    | 3-①             | 3-②    | 3-③    | 3-④    |
| 前期               | 開講対象(学部・学年) | 経済学部1年          | 経済学部2年 | 経済学部3年 | 経済学部4年 | 経済学部1年           | 経済学部2年 | 経済学部3年 | 経済学部4年 | 経済学部1年          | 経済学部2年 | 経済学部3年 | 経済学部4年 |
| キャリアデザイン入門       | 経済学部1年      | 2               | 2      | 2      | 2      | 1                |        | 1      |        |                 |        |        |        |
| キャリアデザイン発展       | 経済学部2年      |                 | 2      | 1      | 2      | 2                |        | 1      | 2      |                 |        |        |        |
| キャリアデザイン実践       | 経済学部3年～     |                 |        |        |        | 2                | 2      | 2      | 1      | 3               |        |        |        |
| 職業選択とキャリア形成Ⅰ(導入) | 経済学部2、3年    | 2               | 3      | 2      | 3      |                  |        |        |        |                 |        |        |        |
| 職業選択とキャリア形成Ⅱ(発展) | 経済学部3、4年    | 1               | 3      | 1      |        |                  | 2      |        | 3      |                 |        |        |        |
| 企業キャリア実践         | 全学部2年       |                 |        |        |        |                  |        | 3      | 2      |                 | 3      | 2      |        |
| 雇用の変化とキャリア形成     | 経済学部3年～     |                 |        |        |        |                  |        |        | 3      | 2               |        | 3      | 2      |
| インターンシップ         | 経済学部3年      |                 |        |        |        |                  |        |        |        | 2               | 3      | 3      | 2      |
| 地域インターンシップ       | 全学部2年～      |                 |        |        |        |                  |        |        |        | 3               | 2      | 3      | 2      |
| 基礎学力養成Ⅰ(数的地理)初級  | 経済学部2年～     |                 |        |        |        | 3                |        |        |        |                 |        | 5      | 2      |
| 基礎学力養成Ⅰ(作文)初級    | 経済学部2年～     |                 |        |        |        | 3                |        |        |        |                 |        | 5      | 2      |
| 合計               |             | 8               | 10     | 8      | 7      | 8                | 10     | 4      | 12     | 12              | 8      | 22     | 12     |

### ■ 多摩地域へ連携を拡大し、教育改善を推進

- ・産学連携シンポジウムの開催
- ・ゼミ調査「多摩地域の農業・観光調査報告書ー多摩地域の可能性としての農業・観光業ー」他
- ・まちづくりに関するシンポジウムの開催
- ・留学生による地元中小企業での一日企業見学の実施



## 3年間の成果

### ➡ 多摩地域における連携の強化

- ・「東京経済大学・多摩地域産学連携プロジェクト推進委員会」で地元産業界との関係強化をはかる。
- ・地元の信用金庫と協力協定締結。



### ➡ キャリアデザイン科目の体系化

- ・経済学部で「キャリアデザイン」に関する科目を年次ごとに開講。
- ・実践科目ではジェネリックスキルを身に付けるために企業と連携したイベントを開催。



### ➡ インターンシップの拡大

- ・H23 217人 → H26 232人(見込)
- ・多摩地域でのインターンシップ、海外インターンシップの推進。



さあ、あなたもチャレンジ精神！TKUチャレンジ®

東京経済大学

**日本社会事業大学**

**超高齢化社会に対応した  
「日本の社会福祉を牽引するリーダーの育成」**

## 四位一体の教育体系



## ◆講義(キャリアデザイン)

1・2年生を対象として、社会の動き・求められる人材像・自己の将来像を描くための「気づき」と「聴く・調べる・動く・伝える」体験型学習を実施。

## ◆ 演習

- ・学生同士、学生と教員の距離が近い。
- ・実践現場との連携し実践的なスキルの向上。

## ◆インターンシップ・実習

インターンシップ、「社会福祉士」を始め、各種資格取得のための実習教育。

- ・生活の場としての福祉を学ぶ。
- ・理論と技術を一体空間で学ぶ。
- ・さまざまなアクティビティを学ぶ。

産業界のニーズに対応したキャリア開発科目:取りまとめ表  
(平成27年度開講予定科目)

|                 |             | フェーズ1: Changing                         |                                       |                 |                 | フェーズ2: Expansion                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | フェーズ3: Practice                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------|-------------|-----------------------------------------|---------------------------------------|-----------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習目標            |             | 自己認識および社会認識を元<br>に、自らのキャリア形成意識を<br>醸成する |                                       |                 |                 | 実社会に必要なジェネリック・ス<br>キルを習得する                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 卒業後のキャリア形成に向け<br>て、就業意識を高め、スキルを<br>磨く                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 学習内容            |             | 1-1<br>わが<br>学業と<br>将来の<br>関係           | 1-2<br>就職<br>意向・<br>職業への<br>関心と<br>向き | 1-3<br>自己<br>理解 | 1-4<br>社会<br>理解 | 2-1<br>2-2<br>2-3<br>2-4<br>2-5<br>2-6<br>2-7<br>2-8<br>2-9<br>2-10<br>2-11<br>2-12<br>2-13<br>2-14<br>2-15<br>2-16<br>2-17<br>2-18<br>2-19<br>2-20<br>2-21<br>2-22<br>2-23<br>2-24<br>2-25<br>2-26<br>2-27<br>2-28<br>2-29<br>2-30<br>2-31<br>2-32<br>2-33<br>2-34<br>2-35<br>2-36<br>2-37<br>2-38<br>2-39<br>2-40<br>2-41<br>2-42<br>2-43<br>2-44<br>2-45<br>2-46<br>2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57<br>2-58<br>2-59<br>2-60<br>2-61<br>2-62<br>2-63<br>2-64<br>2-65<br>2-66<br>2-67<br>2-68<br>2-69<br>2-70<br>2-71<br>2-72<br>2-73<br>2-74<br>2-75<br>2-76<br>2-77<br>2-78<br>2-79<br>2-80<br>2-81<br>2-82<br>2-83<br>2-84<br>2-85<br>2-86<br>2-87<br>2-88<br>2-89<br>2-90<br>2-91<br>2-92<br>2-93<br>2-94<br>2-95<br>2-96<br>2-97<br>2-98<br>2-99<br>2-100 | 2-1<br>2-2<br>2-3<br>2-4<br>2-5<br>2-6<br>2-7<br>2-8<br>2-9<br>2-10<br>2-11<br>2-12<br>2-13<br>2-14<br>2-15<br>2-16<br>2-17<br>2-18<br>2-19<br>2-20<br>2-21<br>2-22<br>2-23<br>2-24<br>2-25<br>2-26<br>2-27<br>2-28<br>2-29<br>2-30<br>2-31<br>2-32<br>2-33<br>2-34<br>2-35<br>2-36<br>2-37<br>2-38<br>2-39<br>2-40<br>2-41<br>2-42<br>2-43<br>2-44<br>2-45<br>2-46<br>2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57<br>2-58<br>2-59<br>2-60<br>2-61<br>2-62<br>2-63<br>2-64<br>2-65<br>2-66<br>2-67<br>2-68<br>2-69<br>2-70<br>2-71<br>2-72<br>2-73<br>2-74<br>2-75<br>2-76<br>2-77<br>2-78<br>2-79<br>2-80<br>2-81<br>2-82<br>2-83<br>2-84<br>2-85<br>2-86<br>2-87<br>2-88<br>2-89<br>2-90<br>2-91<br>2-92<br>2-93<br>2-94<br>2-95<br>2-96<br>2-97<br>2-98<br>2-99<br>2-100 | 2-1<br>2-2<br>2-3<br>2-4<br>2-5<br>2-6<br>2-7<br>2-8<br>2-9<br>2-10<br>2-11<br>2-12<br>2-13<br>2-14<br>2-15<br>2-16<br>2-17<br>2-18<br>2-19<br>2-20<br>2-21<br>2-22<br>2-23<br>2-24<br>2-25<br>2-26<br>2-27<br>2-28<br>2-29<br>2-30<br>2-31<br>2-32<br>2-33<br>2-34<br>2-35<br>2-36<br>2-37<br>2-38<br>2-39<br>2-40<br>2-41<br>2-42<br>2-43<br>2-44<br>2-45<br>2-46<br>2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57<br>2-58<br>2-59<br>2-60<br>2-61<br>2-62<br>2-63<br>2-64<br>2-65<br>2-66<br>2-67<br>2-68<br>2-69<br>2-70<br>2-71<br>2-72<br>2-73<br>2-74<br>2-75<br>2-76<br>2-77<br>2-78<br>2-79<br>2-80<br>2-81<br>2-82<br>2-83<br>2-84<br>2-85<br>2-86<br>2-87<br>2-88<br>2-89<br>2-90<br>2-91<br>2-92<br>2-93<br>2-94<br>2-95<br>2-96<br>2-97<br>2-98<br>2-99<br>2-100 | 2-1<br>2-2<br>2-3<br>2-4<br>2-5<br>2-6<br>2-7<br>2-8<br>2-9<br>2-10<br>2-11<br>2-12<br>2-13<br>2-14<br>2-15<br>2-16<br>2-17<br>2-18<br>2-19<br>2-20<br>2-21<br>2-22<br>2-23<br>2-24<br>2-25<br>2-26<br>2-27<br>2-28<br>2-29<br>2-30<br>2-31<br>2-32<br>2-33<br>2-34<br>2-35<br>2-36<br>2-37<br>2-38<br>2-39<br>2-40<br>2-41<br>2-42<br>2-43<br>2-44<br>2-45<br>2-46<br>2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57<br>2-58<br>2-59<br>2-60<br>2-61<br>2-62<br>2-63<br>2-64<br>2-65<br>2-66<br>2-67<br>2-68<br>2-69<br>2-70<br>2-71<br>2-72<br>2-73<br>2-74<br>2-75<br>2-76<br>2-77<br>2-78<br>2-79<br>2-80<br>2-81<br>2-82<br>2-83<br>2-84<br>2-85<br>2-86<br>2-87<br>2-88<br>2-89<br>2-90<br>2-91<br>2-92<br>2-93<br>2-94<br>2-95<br>2-96<br>2-97<br>2-98<br>2-99<br>2-100 | 2-1<br>2-2<br>2-3<br>2-4<br>2-5<br>2-6<br>2-7<br>2-8<br>2-9<br>2-10<br>2-11<br>2-12<br>2-13<br>2-14<br>2-15<br>2-16<br>2-17<br>2-18<br>2-19<br>2-20<br>2-21<br>2-22<br>2-23<br>2-24<br>2-25<br>2-26<br>2-27<br>2-28<br>2-29<br>2-30<br>2-31<br>2-32<br>2-33<br>2-34<br>2-35<br>2-36<br>2-37<br>2-38<br>2-39<br>2-40<br>2-41<br>2-42<br>2-43<br>2-44<br>2-45<br>2-46<br>2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57<br>2-58<br>2-59<br>2-60<br>2-61<br>2-62<br>2-63<br>2-64<br>2-65<br>2-66<br>2-67<br>2-68<br>2-69<br>2-70<br>2-71<br>2-72<br>2-73<br>2-74<br>2-75<br>2-76<br>2-77<br>2-78<br>2-79<br>2-80<br>2-81<br>2-82<br>2-83<br>2-84<br>2-85<br>2-86<br>2-87<br>2-88<br>2-89<br>2-90<br>2-91<br>2-92<br>2-93<br>2-94<br>2-95<br>2-96<br>2-97<br>2-98<br>2-99<br>2-100 | 2-1<br>2-2<br>2-3<br>2-4<br>2-5<br>2-6<br>2-7<br>2-8<br>2-9<br>2-10<br>2-11<br>2-12<br>2-13<br>2-14<br>2-15<br>2-16<br>2-17<br>2-18<br>2-19<br>2-20<br>2-21<br>2-22<br>2-23<br>2-24<br>2-25<br>2-26<br>2-27<br>2-28<br>2-29<br>2-30<br>2-31<br>2-32<br>2-33<br>2-34<br>2-35<br>2-36<br>2-37<br>2-38<br>2-39<br>2-40<br>2-41<br>2-42<br>2-43<br>2-44<br>2-45<br>2-46<br>2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57<br>2-58<br>2-59<br>2-60<br>2-61<br>2-62<br>2-63<br>2-64<br>2-65<br>2-66<br>2-67<br>2-68<br>2-69<br>2-70<br>2-71<br>2-72<br>2-73<br>2-74<br>2-75<br>2-76<br>2-77<br>2-78<br>2-79<br>2-80<br>2-81<br>2-82<br>2-83<br>2-84<br>2-85<br>2-86<br>2-87<br>2-88<br>2-89<br>2-90<br>2-91<br>2-92<br>2-93<br>2-94<br>2-95<br>2-96<br>2-97<br>2-98<br>2-99<br>2-100 | 2-1<br>2-2<br>2-3<br>2-4<br>2-5<br>2-6<br>2-7<br>2-8<br>2-9<br>2-10<br>2-11<br>2-12<br>2-13<br>2-14<br>2-15<br>2-16<br>2-17<br>2-18<br>2-19<br>2-20<br>2-21<br>2-22<br>2-23<br>2-24<br>2-25<br>2-26<br>2-27<br>2-28<br>2-29<br>2-30<br>2-31<br>2-32<br>2-33<br>2-34<br>2-35<br>2-36<br>2-37<br>2-38<br>2-39<br>2-40<br>2-41<br>2-42<br>2-43<br>2-44<br>2-45<br>2-46<br>2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57<br>2-58<br>2-59<br>2-60<br>2-61<br>2-62<br>2-63<br>2-64<br>2-65<br>2-66<br>2-67<br>2-68<br>2-69<br>2-70<br>2-71<br>2-72<br>2-73<br>2-74<br>2-75<br>2-76<br>2-77<br>2-78<br>2-79<br>2-80<br>2-81<br>2-82<br>2-83<br>2-84<br>2-85<br>2-86<br>2-87<br>2-88<br>2-89<br>2-90<br>2-91<br>2-92<br>2-93<br>2-94<br>2-95<br>2-96<br>2-97<br>2-98<br>2-99<br>2-100 | 2-1<br>2-2<br>2-3<br>2-4<br>2-5<br>2-6<br>2-7<br>2-8<br>2-9<br>2-10<br>2-11<br>2-12<br>2-13<br>2-14<br>2-15<br>2-16<br>2-17<br>2-18<br>2-19<br>2-20<br>2-21<br>2-22<br>2-23<br>2-24<br>2-25<br>2-26<br>2-27<br>2-28<br>2-29<br>2-30<br>2-31<br>2-32<br>2-33<br>2-34<br>2-35<br>2-36<br>2-37<br>2-38<br>2-39<br>2-40<br>2-41<br>2-42<br>2-43<br>2-44<br>2-45<br>2-46<br>2-47<br>2-48<br>2-49<br>2-50<br>2-51<br>2-52<br>2-53<br>2-54<br>2-55<br>2-56<br>2-57<br>2-58<br>2-59<br>2-60<br>2-61<br>2-62<br>2-63<br>2-64<br>2-65<br>2-66<br>2-67<br>2-68<br>2-69<br>2-70<br>2-71<br>2-72<br>2-73<br>2-74<br>2-75<br>2-76<br>2-77<br>2-78<br>2-79<br>2-80<br>2-81<br>2-82<br>2-83<br>2-84<br>2-85<br>2-86<br>2-87<br>2-88<br>2-89<br>2-90<br>2-91<br>2-92<br>2-93<br>2-94<br>2-95<br>2-96<br>2-97<br>2-98<br>2-99<br>2-100 |
| 科目名             | 履修対象(学部・学年) | 2                                       | 1                                     | 1               | 2               | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| キャリア計画・インターンシップ | 社会福祉学部/3～4年 | 2                                       | 1                                     | 2               | 2               | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| アカデミック・フロンティアⅠ  | 社会福祉学部/1～2年 | 2                                       | 1                                     | 1               | 1               | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| アカデミック・フロンティアⅡ  | 社会福祉学部/3～4年 | 2                                       | 1                                     | 1               | 1               | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 小計              |             | 4                                       | 3                                     | 4               | 2               | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 0                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 0                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 合計              |             | 13                                      |                                       |                 |                 | 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

## 3年間の成果

- ✓ この事業を通して、教員相互の情報交換がより活発化し、問題意識の共有化が図れた(本事業への延べ参加教員11名)。
- ✓ 福祉現場などの第一線で活躍している方をゲスト講師として延べ38教科、延べ51名を招き延べ4,820名の学生への現場における情報提供を行い自己の将来におけるキャリア形成の機会が提供できた。
- ✓ キャリアデザインにおいては体験型学習をとおし、それぞれが自己の将来についてのキャリアに関してプランニングを行うことができた。



# 武蔵野大学

## 産官学連携によるアクティブラーニング

### ◆【武蔵野BASIS】(全学共通基礎課程)

「キャリアデザイン」全学部1年生(薬学部除く)

「武蔵野BASIS」科目群の一つで、**自分の将来をデザイン**するために、「社会を知る」「理想を培養する(目標を立てる)」「将来の可能性を発見する」ことを目標として、「**人生を豊かに生きていくための力**」を養います。

(1) **社会で活躍するゲスト講師**の生き方を通し、①社会を理解する、②就業環境を考える、③社会が求める能力を理解する、④働くことの意義を考える。

(2) **「体験・調査・研究」の4つのカテゴリー**の中から、自ら1つ選択し実践する。①海外フィールドワーク、

②国内フィールドワーク、③ボランティア体験、④キャリア系学会・講演会・シンポジウムへ参加する。

連携企業団体: 社会で活躍するゲスト講師、海外国内訪問企業団体、NPO等団体、自治体、JA、他



### ◆【産官学連携プログラム】

「産学連携ゼミ」「長期インターンシップ」「総合研究」全学部3・4年生(薬学部除く)

従来より行ってきた就業体験としての国内・海外インターンシップ(2~4週間)をさらに発展させ、平成24年度より新たに開始した取り組み。学科横断のゼミ形式で、大学内における座学の「産学連携ゼミ」、各企業と官公庁との連携による1ヶ月以上ないし**通年の「長期インターンシップ」**、「総合研究」をゼミ形式でセットで行う。**大学と企業が本気で協働・連携を行う「完全オーダー・メイド」のプログラム**です。

各ゼミ名称:「ホスピタリティ産業ゼミ」「組織開発論ゼミ」「地方行政・図書館司書ゼミ」「SNS Webマーケティングゼミ」「ブランディング・マーケティング実践ゼミ」「教育インターンシップゼミ」  
連携機関等: 企業NPO等団体、自治体、他



「海外インターンシップ」全学部3年生(薬学部除く)

2年次の春にエントリーし、3回の選抜とTOEIC・英会話講座等の学習を経て、3年次の夏期休暇中にアメリカ・カナダ・オーストラリア等で4週間のインターンシップを行う。派遣先業界は、商社・メーカー・ホテル・旅行・航空・環境・福祉等多岐にわたる。平成17年から派遣開始し、平成25年度までに131名の学生を派遣している。**プログラム参加学生の就職率が極めて高く、毎年100%に近い就職率を誇っている。**

「国内インターンシップ」全学部2年生(薬学部除く)

平成15年度から正課カリキュラムとして設置。参加希望者は年々増え、現在では**年間の派遣学生数が200~250名程度**となっている。当初は3年次夏期の参加が中心であったが、平成24年度より対象学年を学部2年次に変更。より**早い段階での就業体験**により、気づきを得ることを目的としている。また、同じく平成24年度からは、大学院のビジネス日本語コースで学ぶ留学生との合同授業となった。派遣先ごとに担当教員を配置し、履歴書指導や実習目標の設定、実習後の事後面談まで、一貫した指導を行っている。

## — 3年間の成果 —

①実務家教員の活用

産業界から講師を招聘し授業を展開(実務家教員:50名)

②産学連携科目の拡充

産業界と連携した**実践的な教育プログラム(授業)の開発**

(産学連携ゼミ・長期インターンシップ12科目開講/連携企業・団体 25社)

③産学連携教育の

PDCAサイクルを構築

本学の産学連携科目に係る企業や団体等が一堂に集まり成果や課題を共有する**合同会議**

(**コロキウム**)を**実践**(年1回)し、より有効な教育手法の開発等を産業界と一体となって産学連携教育を推進できる**PDCAサイクルを構築**。

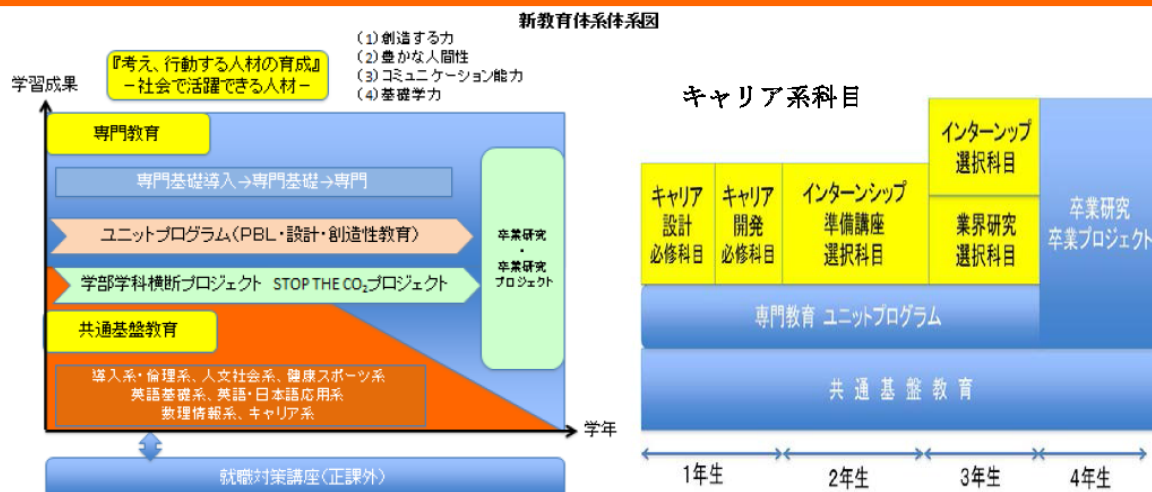
④学内組織の強化

取組の成果を評価・検証し、各種教育プログラムの高次化を図るための**IR推進室**を学内に設置

# 神奈川工科大学

## 産学共同によるキャリア教育の推進

### 神奈川工科大学の新教育体系



#### ◆キャリア教育科目の拡充

- 科目名: キャリア設計(1年次前期必修)  
ジェネリック・スキルに加え、学生生活を通しキャリア形成を企業の実務家教員と考える。また、社会人基礎力を中心にしたアセスメント評価を実施。
- 科目名: キャリア開発(1年次後期必修)  
ジェネリック・スキルに加え、学生生活を通しキャリア形成を企業の実務家教員と考える。また、社会人基礎力を中心にしたアセスメント評価を実施。
- 科目名: インターンシップ準備演習(2年次後期選択)
- 科目名: インターンシップ(3年次選択)  
企業講師による講義・演習・実習形式を組み合わせ、大学での学びが企業でどう活用されているかを学ぶ。就業体験を通し、主体的な学びを維持させていく。
- 科目名: 業界研究(3年次選択)  
産学共同によるキャリア教育をさらに推進するため、各業界企業より講師を招聘。講義・演習の講座を行う。



「キャリア設計」  
チーム発表風景



「業界研究」  
ディスカッション風景

### 3年間の成果と課題

#### ◆キャリア教育の推進

14大学の連携は、キャリア教育を推進するために、たいへん有意義であった。「教育FD」を通し、新たな視点でキャリア教育を捉え、ジェネリック・スキルへの取り組みを活発することができた。今後はプログラムのさらなる向上と何よりも学生の「主体的な学び(右表:学修時間)」を促すよう教育効果をあげていきたい。

#### <過当たり授業外学修時間>

|       | 2012年 | 2013年 | 2014年 |
|-------|-------|-------|-------|
| ～15分  | 10.5% | 17.1% | 18.5% |
| ～30分  | 38.0% | 43.5% | 45.4% |
| ～60分  | 36.8% | 33.2% | 29.0% |
| ～120分 | 11.4% | 6.0%  | 6.0%  |
| 120分～ | 3.2%  | 0.2%  | 1.1%  |

# 昭和音楽大学

## 広い視野とキャリア意識を持った人材の育成

### 専門教育と連動した体系的なキャリア教育

#### □汎用的能力の強化

「音楽人基礎①」(1年必修)で、基礎的な人間力や多様なコースの学生によるグループディスカッション等を取り入れ、汎用的能力の強化を図ることができた。



#### □複眼的視点による職業観の醸成

「音楽人基礎②」(2年必修)で、国内の音楽業界に加え、海外の舞台芸術団体等とも連携し、内容を充実させた。様々な職業に就く卒業生のパネルディスカッションから複眼的視点による職業観の育成を行った。



#### □「音楽人研究」開講

自分と音楽の関係を客観的な視点で捉え、芸術関連組織や音楽系企業と連携して、学生が実際の仕事現場を訪問した。そこで、調査研究した内容をレポートにまとめて発表も行った。将来の職業に対し、具体的なイメージをつかめた。



#### □「フィールド・インターンシップ」開講

実際の現場で就業体験を行って実践的な力を獲得し、客観的に将来の職業について考え、感じ、学んだことを発表した経験から、学生自身が成長を実感することができた。また、器楽や声楽等を専攻する学生は、方向から捉え、視野を広げ、将来の方向性を見出すきっかけになった。



#### □ポートフォリオシステムの活用

平成24年度に改善を図り、企業情報等の組込と学生自身の学びを将来に活かす「キャリアデザインシート作成」機能を追加した。個々の学生が、大学生活の経験を記録することで、自分の成長を自覚し「行動力」「情報収集力」「文章作成力」「自立心」等の力を培うことがつながった。学生が主体性を持ち、将来の職業も意識した学修を促す仕組みが整えられた。



## 3年間の取組成果～確かな力を携え社会へ～

個性的で多様な強みを持つ14大学が大学の枠を超え、産業界のニーズを大学教育に取り入れ教育全般を高められたことが最大の成果である。あまり接点のなかった産業界の視点から音大生の特色を客観的に見ることができ、今後も広い視野とキャリア意識を持った人材育成を行っていく。

### シンポジウムの開催 ～産業界への音楽大学への期待～

平成25年度“実社会に生きる大学の学び”、平成26年度“産業界が求める人材”をテーマにシンポジウムを開催し、専門分野での学修成果やその過程で学んだ汎用的能力を社会で生かせることを再認識した。



平成26年度は、産業界等の有識者と大学関係者による「学修成果をどう評価するか」をテーマにした討論を行った。キャリア教育の成果や課題など生の声が聴け、今後の教育に活かす方法について連携大学間でも共有できた。



### 産業界が求める人材ニーズと音大生の強みを把握

#### 「産業界の人材ニーズ調査」を実施

産業界の求める人材や大学で期待される教育や取り組むべき施策等を把握した。産業界が重要と考える課題解決力、コミュニケーション能力等をキャリア科目の授業に取り入れた。

#### 「卒業生の就業状況調査」を実施

卒業生の現状と音楽で培った力を社会でどう活かしているかを把握した。卒業生が忍耐力、粘り強さ、感性、集中力等を「音大卒業生の強み」と認識していると分かった。これらの汎用的能力をキャリア科目を通じ、学生に意識させた。





# 山梨英和大学

## Study-Career Bridge System

### 「インターンシップにおける段階履修の確立」

～チームビルディング、受入機関との関係構築、課題設定～

これまで実施していたインターンシップの形態を改善し、下記の形態を導入。本学の存する山梨県の産業は、第3次産業が全体企業の66%を占め、中でもサービス業が大きな割合を占めている。この地域特性を十分に把握し、学生が自ら考え行動し、地域に貢献できるようなプログラムを構築し、産業界からのニーズに対応した人材育成の強化を図る。

**課題設定型インターンシップ**：「課題発見力・課題解決力」を伸ばすためのプログラム。

3年間の成果→参加人数 124人

**海外インターンシップ**：新たな事にチャレンジする事が出来る、論理性・柔軟性のあるグローバル人材育成のために、海外でのインターンシップを実施。

3年間の成果→参加人数 11人

**長期間インターンシップ**：PDCAサイクルも実体験を通して学ぶ事ができるよう、長期間でのインターンシップを実施。

3年間の成果→参加人数 5人



インターンシップの学習効果を向上させるため、事前・事後学習にも注力した。特に事前学習では、地元企業の事業課題に対する解決策をチームで検討する演習を導入。自ら考え行動するスキルと意識を磨いた。

### 「課題発見力」「発信力」「規律性」など、 地場の産業界が重視する能力を育成するキャリア教育！

#### 「発信力」強化を実践したキャリアデザインⅠ

社会人講話(テーマ：『キャリアを紡ぐこと』)を聴講した後、気付いたことや考えたことなどをチームごとにまとめ、プレゼンテーションした(パワーポイント、ポスターを各1回)。一連の活動を通し、学生たちは「いかに自分たちの主張をまとめ伝えるか」を考え抜き、自らの成長を実感した。



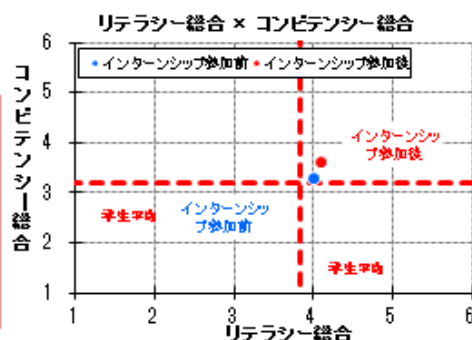
自衛官から東日本大震災の講話を伺う



講話を聴いてのポスターセッション

#### 学士課程教育成果検証アセスメント

インターンシップなどのキャリア教育を受講した学生の教育効果を検証する為のアセスメントを実施。今年度は、コンピテンシーとリテラシー共に向上が見られた。



# 和泉短期大学

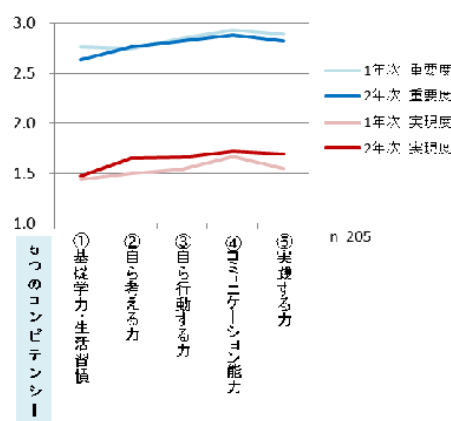
## 保育者に求められる5つのコンピテンシーの向上！

### ◆ 保育業界のニーズを体験できるキャリア授業・特別講義

・主体的に考え、行動できる保育者を目標に、「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」「保育・教職実践演習」(2年必修)等授業の他、保育実践者による特別講義・「冒険遊び場」講習会等を開催した。



コンピテンシーの実現度  
(学生の自己評価)

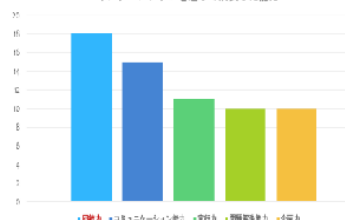


### ◆ 「キャリアファイル」(ポートフォリオ)を使った実践力向上

「キャリアファイル」とは保育者に求められる5つのコンピテンシーの達成度を学生が記録していくファイルで、学生が重視する能力と実現度が明らかにされた。学生の自己評価を基に、保育者としての基本的な生活習慣(睡眠・食事・運動)をより重視した「キャリアファイル」の簡略化、改訂を行った。



インターンシップを通して成長した能力



### ◆ インターンシップ「はっぴいアクアリウムプロジェクト」 (北里大学との共同 PBL インターンシップの高次化)

北里大学との共同取組で、学生自身の企画によるプロジェクト。12月7日のイベント参加者は地域の親子など約700人であった。インターンシップを通して、学生の成長した能力を可視化した。



## 3年間の成果

### ◆ コンピテンシーの成果を可視化

保育者に求められる5つのコンピテンシーを明確に示し、「キャリアファイル」を通して、学生自ら達成度を測ることができた。学生が評価する重要度(生活習慣・基礎学力)と実現度を可視化し、「キャリアカルテファイル」の改訂、カリキュラムの改訂を実施した。

### ◆ 保育実践力アップ

保育者としての実践力を向上するため、キャリアデザイン(CD)センターで日常的に支援者による特別教室(基礎学力アップ教室・保育力支援教室・パソコン教室)を提供した。その結果、保育実践力が向上したとの評価が得られた。

### ◆ 他大学と連携したプロジェクト

関東山梨大学地域グループの北里大学と共同で、学生主体のプロジェクト(「はっぴいアクアリウムプロジェクト」)を立ち上げた。尚、このプロジェクトは今後、本協議会メンバーである一般社団法人さがまちコンソーシアムの主催事業として、継続されることになった。



学校法人  
和泉短期大学



# 昭和音楽大学短期大学部

## 音楽や芸術で育んだ力を社会へ

### 「専門教育と連動した体系的なキャリア教育」

平成23年度よりキャリア教育をカリキュラムの中に位置づけ、音楽関連企業・団体等と連携して内容の充実を図っている。

【科目】「音楽人基礎①」(1年必修)「音楽人基礎②」(2年選択)「音楽人研究」(2年選択)

### コミュニケーション能力の強化

グループディスカッションやプレゼンテーション等を通じて基礎的な人間力を強化する。

「音楽で仕事をするために必要な能力」を様々な角度から捉える。



### 職業意識の醸成

社会で活躍する卒業生のパネルディスカッションを実施し、将来の職業について意識する。

産業界(音楽業界)の関係者を招聘し、業界で仕事をするために必要な力を知り、主体性を持った学びにつなげる。



### 少人数のゼミ形式による音楽教育

学修成果:専門分野の知識や技能と汎用的能力の強化

【専門的能力】

演奏力:演奏技術の基礎知識と実践など

鑑賞力:他者の演奏に対する評価など

アンサンブル能力:様々なアンサンブルによる演奏を体験

【汎用的能力】

文章作成力:自己分析や自己表現

プレゼンテーション力:自身の発表や他者の発表の意見

コミュニケーション力:討論・意見交換やアンサンブル

マネジメント力:演奏会の企画運営やグループの研究発表



## 3年間の取組成果～自ら歩く道を切り拓く～

### 広い視野と職業意識を持った人材の育成

音楽関連企業等と連携し、客観的に将来の職業を考える「音楽人研究」を開講した。実際の仕事の現場を学生が訪問し、感じたことや学んだことをレポートにまとめ、発表し、自身の成長を実感できた。また、学生が幅広い視点で音楽を捉え視野を広げて、将来を考えるきっかけにもなった。



### 地域のニーズに応える実践的な成果発表の機会

「本物の音楽を子どもたちに聴かせたい」という地域の保育園の熱い想いから学生の保育施設でのミニコンサートがスタートした。専門技術の研鑽に夢中だった学生が、子どもたちに音楽を楽しんでもらうために企画から取り組み、チーム内の合意結成やコミュニケーションの大切さを学んだ。音楽を通して感動を伝えることのできた経験は学生たちの自身となり、その後の主体的な学修へとつながった。



### 音楽業界関係者の協力でプロのレベルを体感

関連業界の専門家に本学学生が出演する公演等に来場を請い、卒業後にプロとして活躍できる人材の育成を観点として、学修成果の評価を依頼した。専門技術だけでなくコミュニケーション能力やステージマナー等も含め、舞台を作り上げるために必要な要素について総合的な意見や提言をいただくことができ、貴重な資料として教育に反映している。





## 各大学のシンポジウム等の情報

### 学部4年 院2年 合同企業説明会開催

8月8日(金) 大学会館  
午前: 9:30~12:30(受付 9:00~)  
午後: 13:30~16:30(受付13:00~)

卒業学年を対象にした、夏の合同企業説明会を大学会館で行います。今年は午前の部、午後の部に分かれて、約40社の企業が参加予定。毎年この説明会で内定を得る先輩がいます!! 参加企業は後日お知らせします!! このチャンスを逃さないで。

**「キャリア相談・随時受付中!!!」**  
就職相談では、毎日、経験や知識が豊富なキャリアアドバイザーが皆さんの相談に応じます。就職への不安や、就職への悩み、また、応募書類のアドバイスや面接練習など、どんな悩みでも大丈夫です。希望の方は UU Career Navi から事前予約をお願いします。

おきめないで頑張ろう

### UU キャリアナビって? なに? なに?

UUキャリアナビとは、宇都宮大学に寄せられた求人情報をインターネット上で検索できるシステムです。大学でも自宅でも求人票を閲覧することができます!!

**ナビでできること**

- 大学に寄せられた求人(年間約7500件)をいつでも気軽に閲覧できます。
- キャリアアドバイザーへの就職相談の予約申請ができます。
- 大学で行われるガイダンスやセミナーなどの情報メールが届きます。もちろん、参加申し込みも可能!
- マイページにて連絡先住所や連絡先電話番号が簡単に確認できます。自宅だけでなく、卒業後も活用します。

宇都宮大学 UU Career Navi  
http://www.uu.ac.jp/career-navi/

←今すぐアクセス! 今すぐ登録!

**就職支援ハローワークからのご案内**

ハローワークって、仕事を探した人が行くところだと思いませんか?  
新卒就職ハローワークは、大学・大学・短大・高専・専門学校などの学生さんや、卒業生が就職のサポートを受ける専門のハローワークです。大学での就職以外に、ハローワークでも就職ができます!!

宇都宮市中央大通り1-1-1  
フジックスビル5F  
TEL: 028 (678) 8311  
FAX: 028 (678) 8312

★センターからみなさんへのおお願い★  
進路決定、就職内定したら、必ず進路決定書をUUキャリアナビ上で登録して下さい!

編集後記 暑  
梅雨に入り、みなさんいかがお過ごしですか? 天気が悪いと気持ちも曇りますが、日本ならではの風景を感じられる季節でもあります。アンタニカ大学! 青春した草木など、時には足を止めて季節を感じてみて下さい。また、就職に慣れてしまったら、進路に悩んだ時には、キャリアセンターまでぜひ利用して下さい。(小)

宇都宮大学 キャリア教育・就職支援センター ☎ 028 (649) 5089 / 028 (649) 5106

### 第1回 JUST 主催イベント 就活スタートアップ講座

11月12日(水)、14日(金) 15:30~18:00  
キャリアカフェにて開催します!

就活を経験した  
宇大生だからこその  
リアルな話!!  
JUSTの就活体験談を  
聞いてみよう!

JUSTはこれから就活生をサポートするイベントを実施していきます!  
宇大生の就活ってどんな感じなの? 公開試験ってどうだった? などなど  
就活についてわからないこと、不安なこと、JUSTの先輩に聞いてみましょう!

就活を終えた先輩から話を聞こう!!  
JOB-HUNT X3 JUKANYA UNIV. SUPPORT TEAM  
就活スタートアップ講座

11月12日(水) 11月14日(金) 15:30~18:00  
会場: カルティスビル2F (水・金) 15:30~18:00  
※ 当日は、先着順で定員になり次第、受付を中止します。

※ 当日は、先着順で定員になり次第、受付を中止します。

### UU キャリアナビって? なに? なに?

UUキャリアナビとは、宇都宮大学に寄せられた求人情報をインターネット上で検索できるシステムです。大学でも自宅でも求人票を閲覧することができます!!

**ナビでできること**

- 大学に寄せられた求人(年間約7500件)をいつでも気軽に閲覧できます。
- キャリアアドバイザーへの就職相談の予約申請ができます。
- 大学で行われるガイダンスやセミナーなどの情報メールが届きます。もちろん、参加申し込みも可能!
- マイページにて連絡先住所や連絡先電話番号が簡単に確認できます。自宅だけでなく、卒業後も活用します。

宇都宮大学 UU Career Navi  
http://www.uu.ac.jp/career-navi/

←今すぐアクセス! 今すぐ登録!

**就職支援ハローワークからのご案内**

ハローワークって、仕事を探した人が行くところだと思いませんか?  
新卒就職ハローワークは、大学・大学・短大・高専・専門学校などの学生さんや、卒業生が就職のサポートを受ける専門のハローワークです。大学での就職以外に、ハローワークでも就職ができます!!

宇都宮市中央大通り1-1-1  
フジックスビル5F  
TEL: 028 (678) 8311  
FAX: 028 (678) 8312

★センターからみなさんへのおお願い★  
進路決定、就職内定したら、必ず進路決定書をUUキャリアナビ上で登録して下さい!

編集後記 暑  
現、宇都宮大学・院1年生から企業の広報活動の開始時期が12月から3月に、採用選考活動の開始時期が4月から8月に変更されているのは既に広く承知のとおり。世間では、既に就職活動がスタートしているのはご存じですか? 何かと、知りたければ、キャリア教育・就職支援センターまでぜひ聞いて下さい!(梅)

宇都宮大学 キャリア教育・就職支援センター ☎ 028 (649) 5089 / 028 (649) 5106

## キャリアNEWS

Vol.17 情報版 平成26年6月16日発行  
大学生活、頑張るきみへ!  
発行: 宇都宮大学 キャリア教育・就職支援センター

### 課題発見・解決型インターンシップ 報告会を開催しました!

6月6日(金)インターンシップ説明会において、報告会を併せて実施しました。

今年の春休みにこのインターンシップに参加した学生5名からの報告! 約2ヶ月間の成果を自分たちの言葉で伝えます。

約150名の学生がこの報告を聴きました。

企業で働くリアルな思いを聞く  
**課題発見 インターンシップ**

卒業説明会開催!  
10月25日(土) 秋晴れの日、学生、保護者ら700名以上が参加しました!

受入企業の(株)横倉本店南店訪ねからのご講演。  
「自分の意見を自分の言葉で伝えることが学生たちと働きたいという企業のお言葉もいただき、みんな笑顔。おかげさまで良かったです!」

課題発見・解決型 インターンシップって??

組織が抱える課題に対して、チームで取り組む、実践型のインターンシップです! 企業の中に入って企業の皆さんと協力しながら、その業界・企業・会社について学び、そこで働くということを感じ、その後企業の持つ課題に関して、その背景や要因を調べ、自分達で解決したい課題を見つけ、解決・改善に向けた具体的な提案を行っていきます。

7月上旬に今年の募集説明会開催予定! (詳しくは3Aページへ)

## キャリアNEWS

Vol.18 情報版 平成26年11月10日発行  
大学生活、頑張るきみへ!  
発行: 宇都宮大学 キャリア教育・就職支援センター

### 2014キャリアフェスティバル報告

10月25日(土)秋晴れの日、学生、保護者ら700名以上が参加しました!

今年で8年目になるキャリアフェスティバル、皆さんは、参加しましたか?  
今年のキャリアフェスティバルを少しご紹介!

↑会場は、たくさんの人で埋め尽くされました。

業界トップ企業が宇大に集結! 目からうろこの本音が満載!

2014 **キャリアフェスティバル**  
10月25日(土) 10:00~17:00  
会場: カルティスビル2F

横断的な質問が数多くありました! 企業の方に聞きたいことがたくさんありました!

分科会でも活発な意見交換、質疑応答が交わられました。

分科会は、10会場に分かれ更にたくさんの業界の話を聞かせてくれました。

業界を代表する企業の経営者や人事の責任者から、今後の学生の将来を思いやる保護者や、学生の企業への期待、そして学生自身が働く機会をもらいました!

キャリアフェスティバルは、宇都宮大学のキャリア教育プログラム

⇒ 次ページは、学生からのキャリアフェスティバル報告!!



宇都宮大学キャリア教育プログラム

業界トップ企業が宇大に集結！  
目からうろこの本音が満載！

2014

# キャリア フェスティバル

毎年700人  
以上の  
学生が参加！

日時 10月25日 (土) 12:30~17:30 全学年対象！ 1年生から参加しよう！  
第一体育館 他ににて開催！

カジュアルな  
服装で  
参加してください！

## 参加企業

- |          |             |
|----------|-------------|
| ■ キヤノン   | ■ オリエンタルランド |
| ■ ゆうちょ銀行 | ■ 大成建設      |
| ■ 小野薬品工業 | ■ 読売新聞      |
| ■ 丸紅     | ■ 日本通運      |
| ■ 栃木県庁   | ■ 大和鋼管工業    |
|          | ■ 宇都宮市役所    |

「会社」「業界」がよくわかる!!

### — お申込み方法 —

申請書に必要事項をご記入の上、[キャリア教育・就職支援センター](#)（4号館2F）  
又は、[工学部学生係](#)までお申込み下さい。

【申込締切】

10月9日(木)

※本事業は、キャリア教育の一環であり、採用選考活動とは一切関係ありません。



亜細亜大学経営学部主催

経営学部プレゼンバトル

# プレバト<sub>2014</sub>

## 挑戦者、求む！

経営学部 1 年生による、  
プレゼンを武器にした、  
**熱き闘い。**

2013 優勝テーマ  
「図書館の電子化  
について」(賞品 GET)



ES(エントリーシート)締切

12月8日(月)15:00まで  
予選会(ES 審査突破のチーム)

12月15日(月)3・4時限  
本選(予選会突破の8チーム)

12月22日(月)3~5時限

※エントリー方法の詳細はメールにて配信、  
「基礎ゼミ」授業内でもお知らせします。



経営学部1年生 プレゼンテーション大会

# プレゼンバトル2014

## <発表題目>

「明治神宮～永遠の杜の秘密を巡って」「子供靴市場から見る『瞬足』」

「香りのニューロマーケティング」「入湯税についての一考察」

「都市と自然～武蔵野市の緑化政策」「絵画を読むことについて」

「アベノミクスの理想と現実」「紙 vs.タブレット～教育における効果とは」



**12/22(月)**

**12:50～16:50**

**5号館 511 教室**

主催：亜細亜大学経営学部



東京経済大学 産学連携シンポジウム

# 多摩地域の 地域連携の“今”を語る

～社会科学系大学の地域貢献とは?～



東京経済大学は、このほど東京経済大学・多摩地域産学連携プロジェクト推進委員会を設置し、多摩地域における産学連携の一層の推進を目指すことになりました。初年度を締め括る事業として、社会科学系の総合大学である本学が、調査・研究・教育等の機能を通じ、いかにして、またどこまで地域の産学連携に貢献しえるのか、その可能性を模索するシンポジウムを開催します。

2013年3月15日(金)

シンポジウム 13時～17時半  
情報交換会 17時半～19時

**会 場**：東京経済大学（国分寺キャンパス）2号館B301教室

**参 加 費**：無料（情報交換会参加の場合は会費2千円）

**申込方法**：裏面の申込用紙にご記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込みください。また、本学ウェブサイトからもお申込みいただけます。

**主 催**：東京経済大学

**後 援**：関東経済産業局 多摩信用金庫 東京都中小企業振興公社 八王子市

東京経済大学



シンポジウム

# 国分寺

## 新しいまちへの期待

― 北口再開発をめぐって

東京経済大学福士ゼミナール

東京都中小企業振興公社 共催

日時：2014年2月15日（土） 13時▶17時 入退場自由

13時開場（13時20分シンポジウム開始）

場所：国分寺駅ビル8階Lホール

入場無料（関心のある方はぜひご参加下さい）

内容：第Ⅰ部 第4回大学生のまちづくり論 13時30分▶14時55分

テーマ「北口再開発と周辺商店街の振興」

国分寺駅北口の再開発と周辺商店街の振興について、学生があつく語ります。

第Ⅱ部 「北口再開発と私たちの望む街～実現に向けて、私たちにできることは何？」

15時05分▶16時50分

パネラー 東栄会会長

荒井 大介

北口駅前通り交通安全まちづくり協議会会長

新井 勲

国分寺市立第7小学校PTA関係者

東京経済大学学生

コーディネーター 東京都中小企業振興公社

山本 貴子

東京経済大学

問い合わせ先：042-328-9206（東京経済大学福士研究室）

文部科学省 平成26年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」

# アクティブ・ラーニングの創造

## —地域事業所と連携した大学生の参加型学習—

知識基盤社会づくりが求められている日本社会において、大学における教育のあり方も大きく問われています。与えられた知識や技術を身につけるだけでなく、課題意識をもって学ぶとともに、課題解決への実践力を育むことが求められています。そこでは、個人が所有する知のあり方を超えた、集団的な知の創造がめざされています。

このような教育の方法として、活動を通して学ぶことが注目され、地域事業所と連携した教育が志向されています。日本社会事業大学では、2012年度から3年間にわたって、文部科学省「産業界との連携推進事業プロジェクト」の助成を受けて、実験的な教育を展開してきました。それらの成果を発表いたします。



参加  
無料

日程 2014年 9月20日（土）

時間 13:30～16:00（受付開始13:00）

会場 日本社会事業大学清瀬キャンパス  
教学A棟401教室

プログラム内容

・概要説明 ・シンポジウム① ・シンポジウム② ・シンポジウム③  
・質疑応答

【お問い合わせ】

日本社会事業大学学生支援課  
TEL042-496-3115





平成 24 年度 KAIT 教育シンポジウム

ー大学の授業を改善するー

## 就業力育成・大学の質保証を考える！

神奈川工科大学 基礎・教養教育センター、教育開発センター主催



平成 25 年 3 月 1 日(金) 10:30～17:00

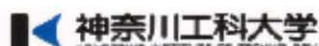
神奈川工科大学 情報学部棟 12 階メディアホール

神奈川県厚木市下荻野 1030 046-291-3259

### ■開催趣旨

神奈川工科大学では、平成 24 年度より「新教育体系」として新カリキュラムをスタートさせました。その取組は全学的な教育改革による「幅広い職業人養成の大学ー中核的役割（リーダー）を担う人材ー」の育成に則ったもので、カリキュラムにおいて基盤となる PBL 教育とキャリア教育を含めた基盤教育を緊密に連携させ、体系化を図ることにあります。

今回のシンポジウムでは、その一年目として、特に「基盤教育科目」の実践報告とその内容について説明・報告し、討論会を実施いたします。さらに、基調講演として、東京大学大学院教育学研究科比較教育社会学コース教授である本田由紀先生をお招きし、「社会構造の変容と大学の課題」と題し、これからの大学教育についてご考察いただくとともに、産業界の視点を加えた「大学の質保証を考える」をテーマにパネルディスカッションを行っていきます。このシンポジウムを通し、より良い教育を求め、次年度への足がかりにしていきたいと考えています。





平成24年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」関東山梨地域大学グループとして選定されました

平成25年度 昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部シンポジウム

# 実社会に生きる大学の学び

産業界のニーズにマッチした大学教育のあり方



多様な取り組みを持つ14大学が、大学の枠を超え産業界のニーズを大学教育に反映入れ、学士課程教育全般を高めようと取り組んでいます。

本シンポジウムでは、「大学の学びを社会でどう活かすか」産業界の評価や意見を招き、今後の教育に生かすため、連携各大学と共有できる方法と音楽大学独自の方法を探究します。

**日時** 平成26年1月14日(火)  
受付開始 15:15 シンポジウム 15:45～18:00

**参加費** 無料

**会場** 昭和音楽大学 南校舎 C313教室

**主催** 昭和音楽大学・昭和音楽大学短期大学部

**協力** 関東山梨地域大学グループ協議会  
<http://www.s-aacademia.jp/>  
宇都宮大学 宇都宮県立大学 宇都宮県立大学 宇都宮県立大学 宇都宮県立大学  
山梨大学 山梨県立大学 山梨県立大学 山梨県立大学 山梨県立大学  
山梨県立大学 山梨県立大学 山梨県立大学 山梨県立大学 山梨県立大学



昭和音楽大学  
昭和音楽大学短期大学部

平成26年度

# 関東山梨地域大学グループ 教育改善研究会および シンポジウム「産業界が求める人材」 ～求められる学修成果とその評価～

文部科学省平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善充実体制整備事業」採択

個性的で多様な強みを持つ14大学が、大学の枠を超え産業界のニーズを大学教育に取り入れ、教育全般を高めるため「教育改善研究会」を実施しています。

また、シンポジウムでは、産業界の意見や評価を把握し、今後の教育に生かすため、連携各大学と共有できる方法と音楽大学独自の方法を探求します。

参加費無料

申込受付中  
(当日申込可)

日時

平成27年1月20日(火)

教育改善研究会 12:30開場/13:00開会

シンポジウム 14:40開場/15:00開会

場所

昭和音楽大学 南校舎

教育改善研究会 1F 第一会議室

シンポジウム 5F C511教室

主催

教育改善研究会 関東山梨地域大学グループ協議会

シンポジウム 昭和音楽大学 昭和音楽大学短期大学部

関東山梨地域大学グループ(全14大学) <http://www.s-needs.uoc.ac.jp/>

中部大学 電気通信大学 静岡県立大学 山梨県立大学 北山大学 信州大学 東京経済大学 日本経済大学  
武蔵野大学 神奈川工科大学 昭和音楽大学 音楽情報大学 音楽情報大学 昭和音楽大学短期大学部

お問い合わせ

昭和音楽大学 昭和音楽大学短期大学部 キャリア支援センター

〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上郷1-11-1 TEL 044-953-9561 FAX 044-953-1311 受付時間 平日曜日～金曜日 9:30～17:00

URL <http://www.topel-shogwa-music.ac.jp/career/s1.html/> E-MAIL [career@topel-shogwa-music.ac.jp](mailto:career@topel-shogwa-music.ac.jp)





# こども体験イベント ここに魚が?! 遊び場が?! ~作って、遊んで、見て、知って~

三二水族館、冒険遊び場 おもちゃ作り、講演会

ユニコムプラザさがみはらに1日だけの  
遊び場がやってくる!



日時:2013年11月23日(土・祝)

10:30~15:00 (講演会13:00~)

場所:ユニコムプラザさがみはら  
(ボー/相模大野サウスモール3階)



北里大学と和泉短期大学の学生による「**はっぴいアクアリウムプロジェクト**」の主催です。親子で楽しんでいただくために、移動水族館と遊びのコーナーを用意しました。是非親子でお越しください。(小学生以上は友達同士でも可)入場無料

主催:「**はっぴいアクアリウムプロジェクト**」(北里大・和泉短大)

共催: 県北エリアのプレイパーク (社)相模原・町田大学地域コンソーシアム

お問い合わせ:042-754-1133(和泉短期大学・木村)



北里大学・和泉短期大学  
今年もやってきた!!

12/7(日)

こども

体験イベント

# ここに魚が!? 遊び場が!?

～作って、遊んで、見て、知って～

おもちゃ作り

三二水族館



ユニコムフラザさがみはら  
に

1日 だけの遊び場 がやってくる!

タコかいほう教室

冒険遊び場



平成24年度 文部科学省  
「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」





|       |                 |
|-------|-----------------|
| 作成者   | 電気通信大学 松木利憲 他   |
| 作成日   | 2015 年 2 月 6 日  |
| 最終更新日 | 2015 年 3 月 25 日 |

